このたびはギャラン フォルティス スポーツバックをお買い上げいただき，ありがとうございます。

J09200100969

この取扱説明書は，お客様のお車をいつも安全・快適に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。
また，お車のお手入れや万一のときの処置についても記載してありますので，ご使用前に必ずお読みください。
「安全なドライブのために」は重要ですので，しっかりお読みください。

安全に関する表示

● 運転者や他の人が傷害を受けるおそれがあることと，その回避方法をつぎの表示で記載しています。重要な事項ですので必ず読んでお守りください。

⚠ 警告　記載事項を守らないと，死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。

⚠ 注意　記載事項を守らないと，傷害や事故につながるおそれがあること。

安全のためにしてはならない行為。（イラスト内に表示されています）

その他の表示

● お車に関することやその他のアドバイスは，つぎの表示で記載しています。

アドバイス　お車のために守っていただきたいこと。
知っておくと便利なこと。

タイプ別装備　グレードにより異なる装備やオプション装備に表示しています。

● 取扱説明書は車の中に保管してください。
● 保証および点検，整備内容については，別冊のメンテナンスノートをご覧ください。
● 三菱マルチコミュニケーションシステムの取り扱い要領については別冊の取扱説明書をご覧ください。
● お車をゆずられるときは，取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。

・装備仕様の変更などにより，本書の内容がお客様のお車と合わないことがありますので，あらかじめご了承ください。
・ご不明な点は，担当営業スタッフにお問い合わせください。

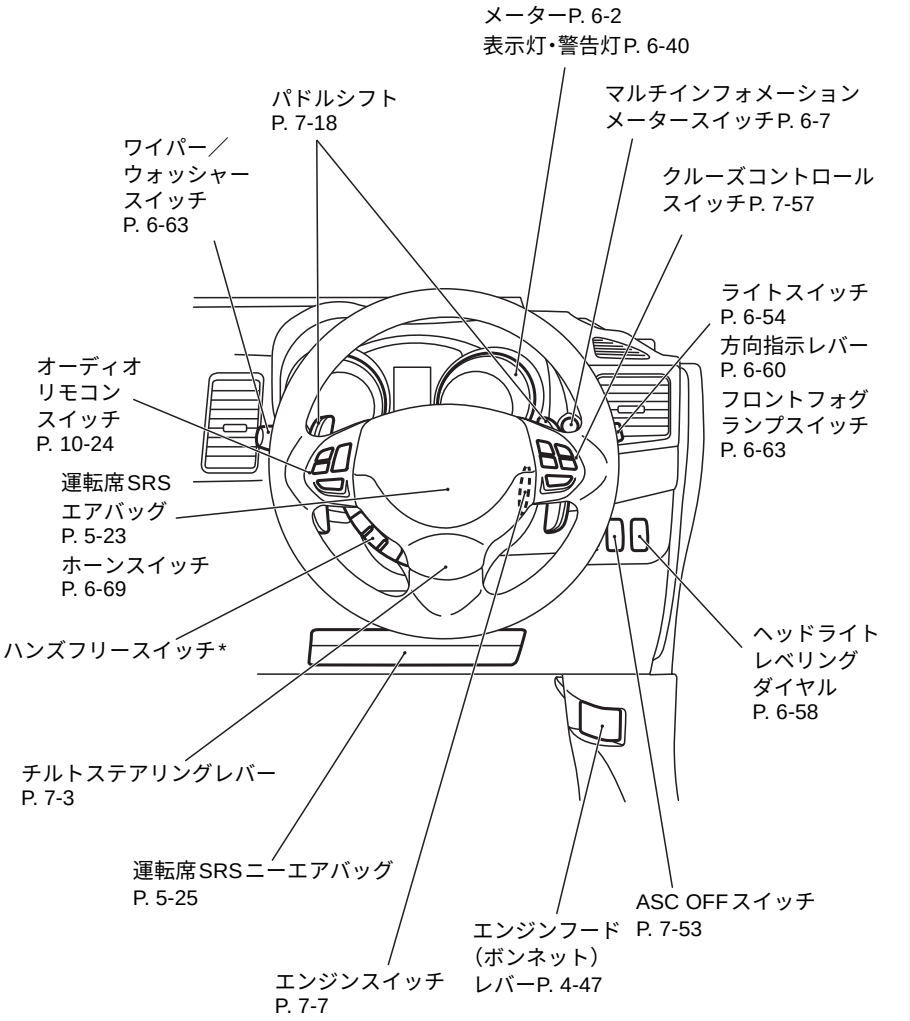
目次

絵で見る目次	1
安全なドライブのために お車を安全に運転していただくための正しい取り扱いについて説明しています。	2
環境にやさしく快適なドライブのために	3
各部の開閉	4
安全装備	5
メーター・スイッチ	6
運転装置	7
室内装備	8
エアコン	9
オーディオ	10
簡単な整備・車のお手入れ	11
寒冷時の取り扱い	12
もしものときの処置	13
サービスデータ	14
さくいん	15

ハンドルまわり

J00100800568

1



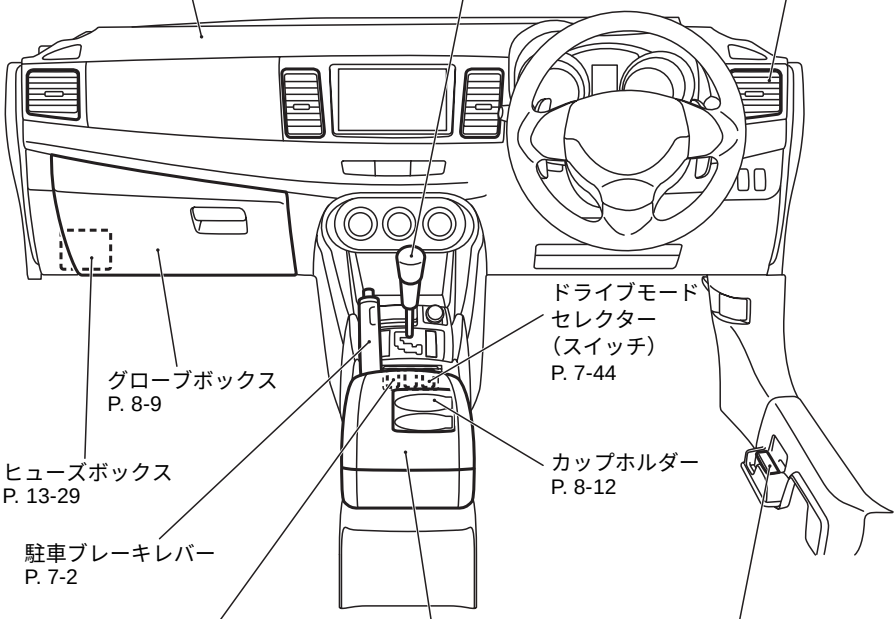
•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。
*別冊の取扱説明書をご覧ください。

AGF001241

計器盤まわり

J00100101193

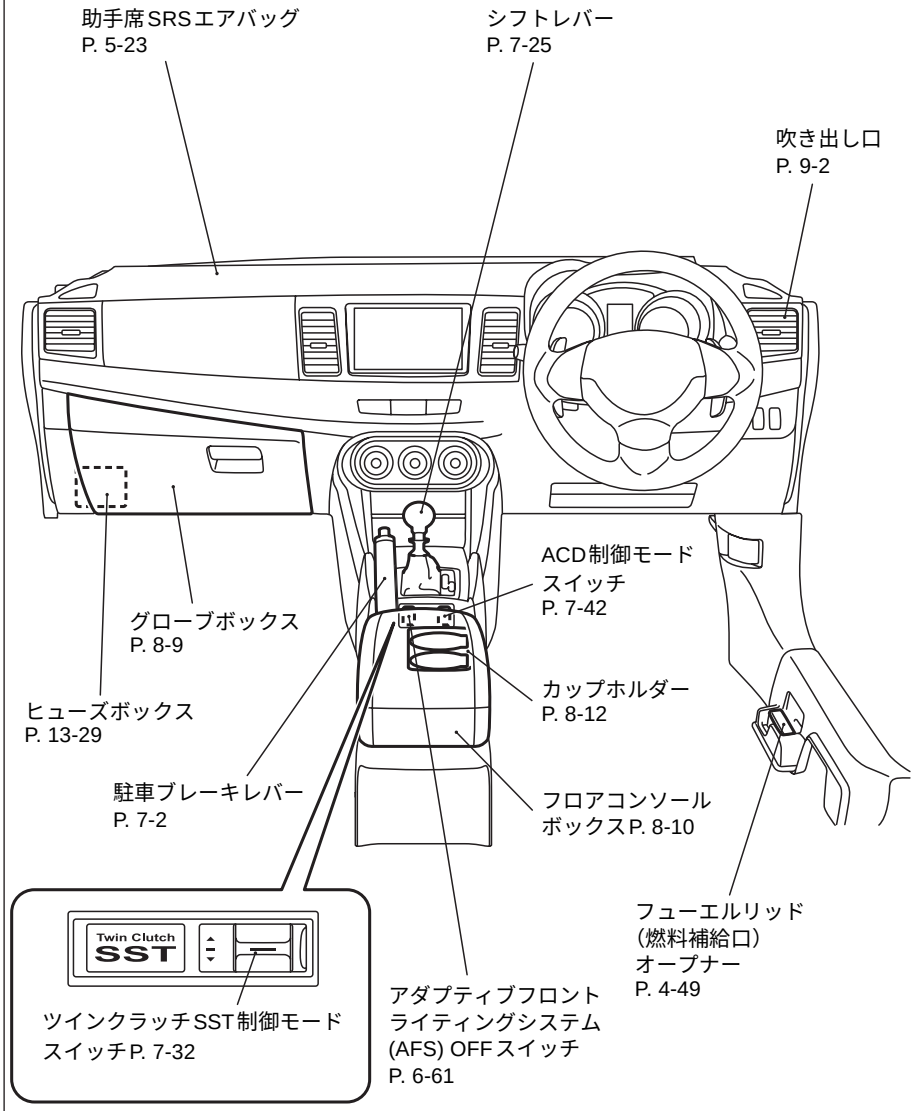
除く,RALLIART



•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AGF001137

RALLIART



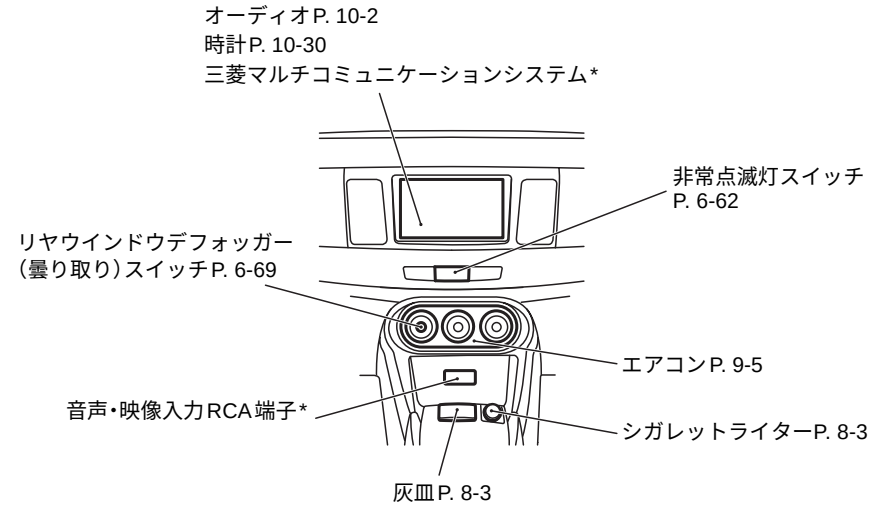
•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AGF001267

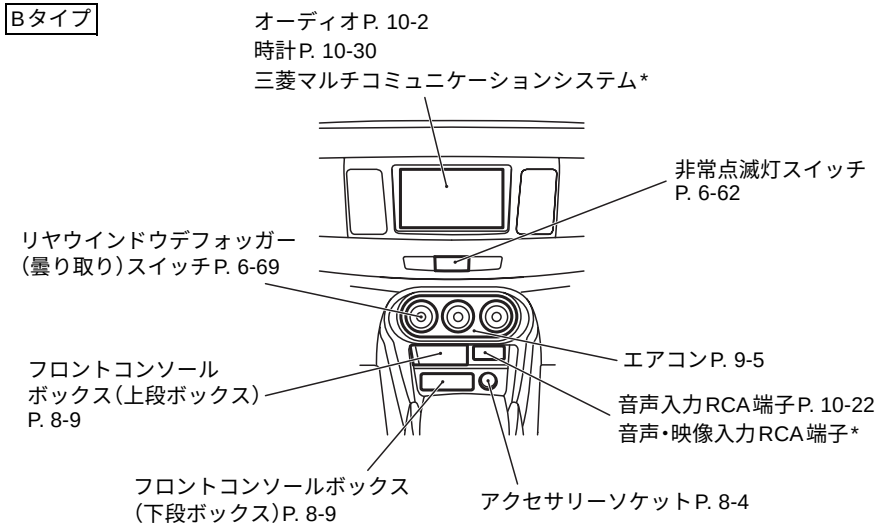
センターパネル

J00100200559

Aタイプ



Bタイプ



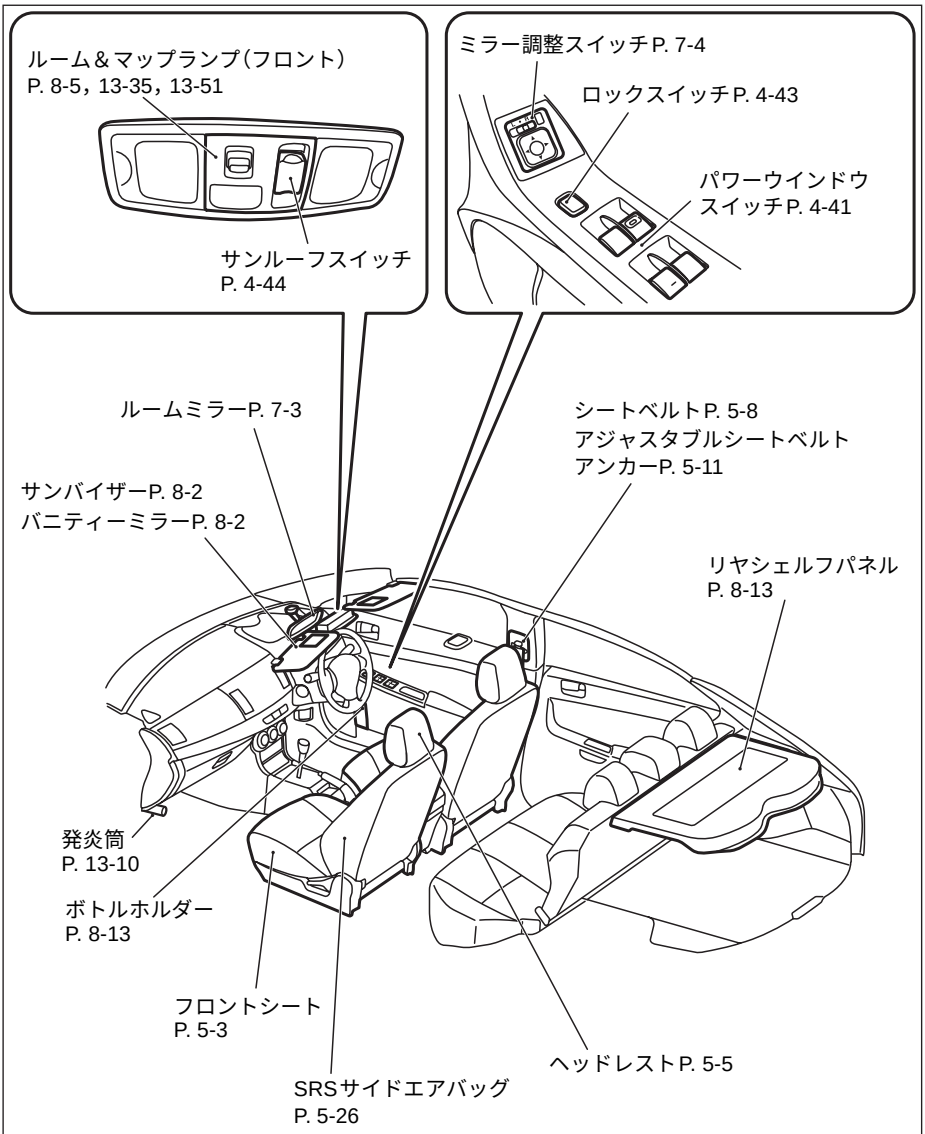
•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。
*別冊の取扱説明書をご覧ください。

AGF001153

室内

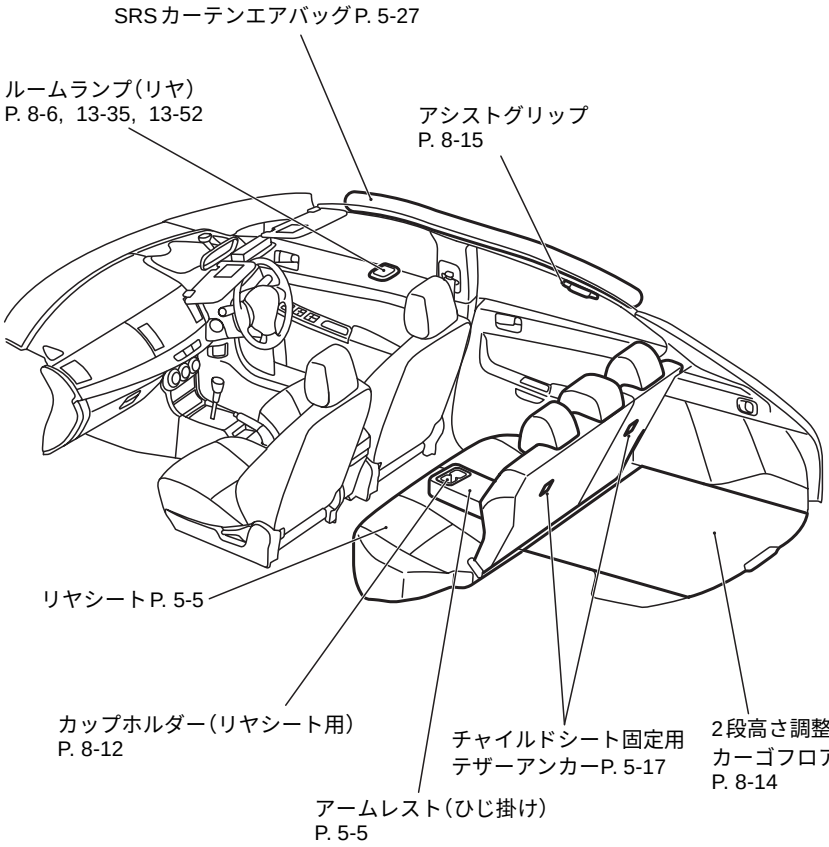
J00100301049

1



•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AGF001166



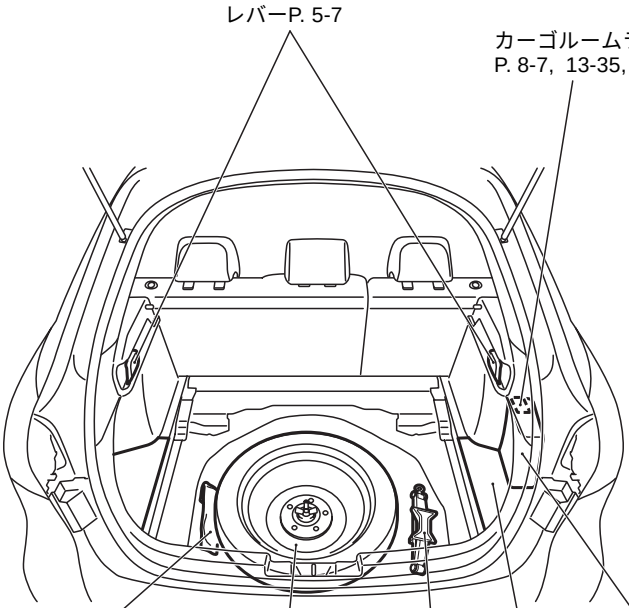
•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AGF001179

ラゲッジコンパートメント

J00100700088

1



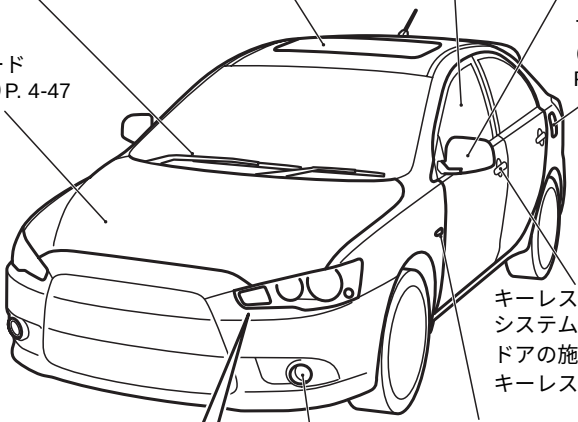
•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AGF001182

外まわり

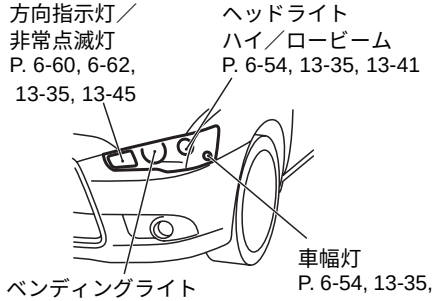
J00100401226

除く,RALLIART



除く,ディスチャージヘッドライト付き車

ディスチャージヘッドライト付き車

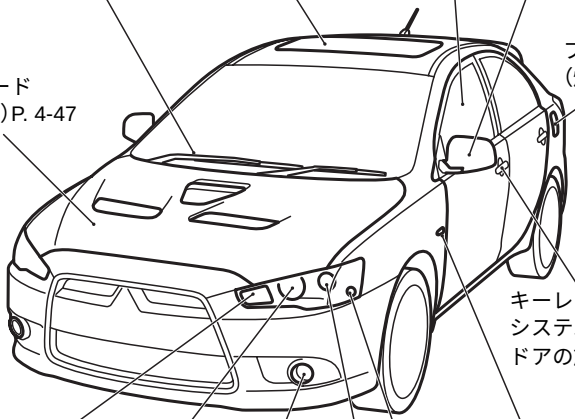


•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AGF001195

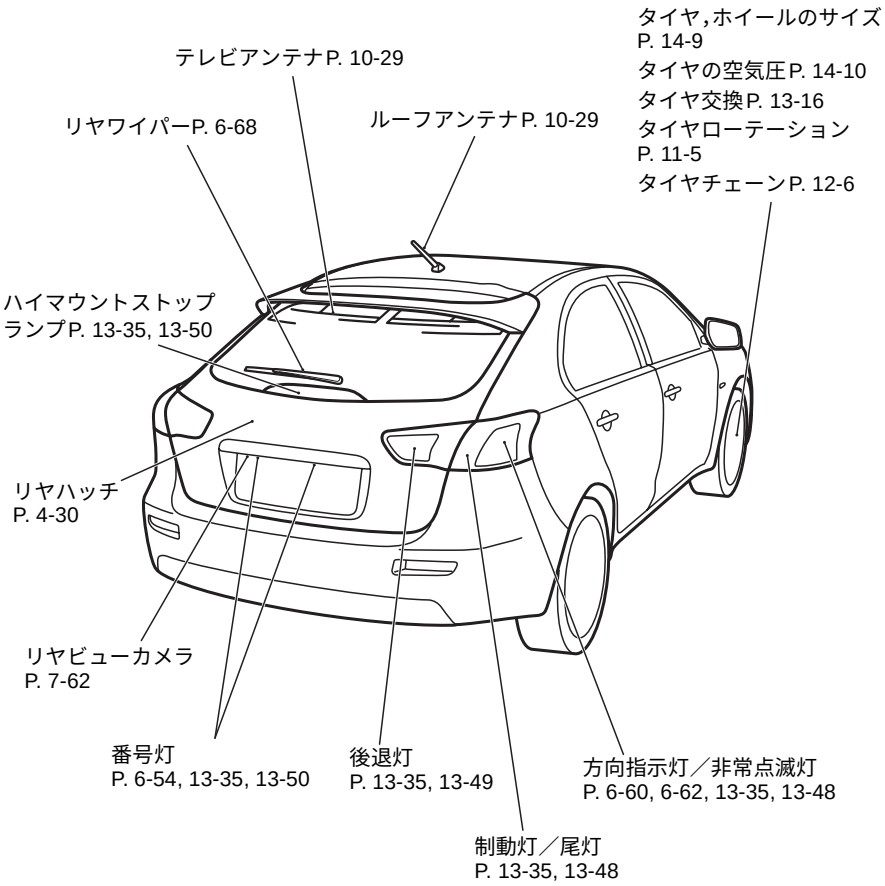
RALLIART

1



•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AGF001209



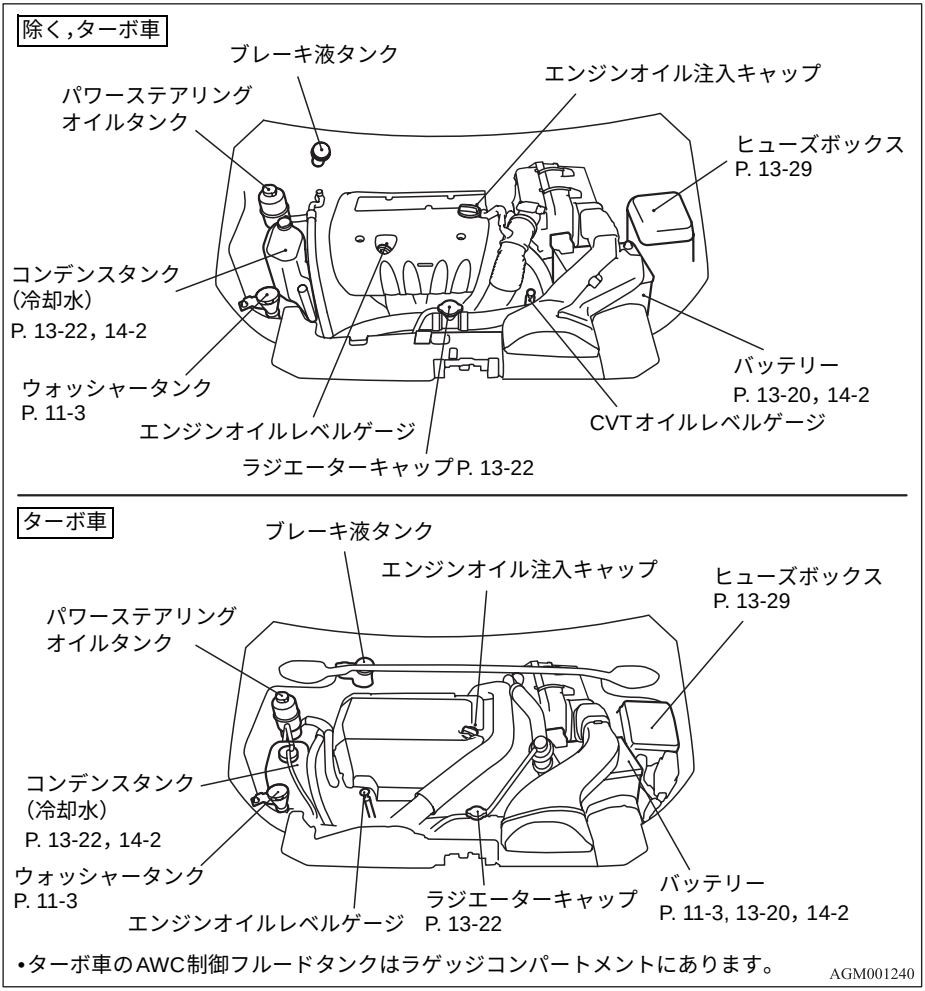
•装備仕様の違いやメーカーオプションなども含んでいます。

AGF001212

エンジンルーム

J00100500969

1



⚠注意

● 点検や交換した後は,工具や布などをエンジンルームに置き忘れていないことを確認してください。

安全なドライブのために

お車のご使用前に知っておいていただきたいこと，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

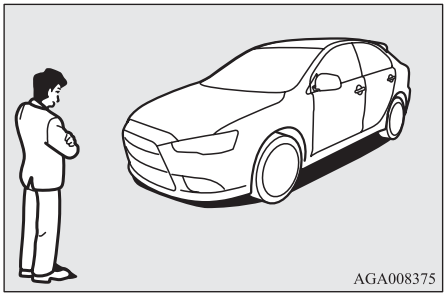
日常点検 2- 2
出発前は 2- 4
お子さまを乗せるときは. 2- 7
走行するときは. 2- 11
走行中に異常に気づいたら 2- 15
CVT車・ツインクラッチSST車の取り扱い. 2- 16
駐停車するときは 2- 21
こんなことにも注意 2- 23
セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは 2- 26

日常点検

J00200100634

点検，整備を忘れずに

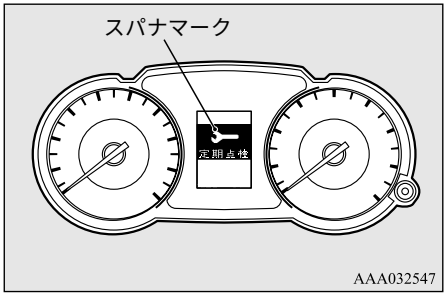
- 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。
- 日常点検整備は，長距離を走行するときや，洗車，給油時などにお客様自身で行う点検整備です。
- 日常点検整備の項目および点検のしかたについては，別冊の「メンテナンスノート」に記載してありますので必ずお読みください。



- サービスリマインダーが点灯したら三菱自動車販売会社で定期点検整備を受けてください。

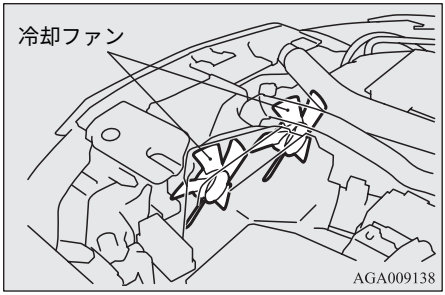
サービスリマインダー

- 次回定期点検までの残り月数と残り距離をお知らせする機能です。
  定期点検時期に近づくと，エンジンスイッチをLOCKからONにしたときにメーター内のスパナマークが数秒間表示され，定期点検時期であることをお知らせします。
  →「サービスリマインダーについて」P. 6-26



エンジンルームを点検するときは

- エンジン回転中はエンジンルームに手を入れないでください。
  手や衣服がドライブベルトなどに巻き込まれるおそれがあります。
- ツインクラッチSST車は，エンジンを止めてもエンジンルーム内の温度が高ければ冷却ファンがしばらくの間は作動し続けます。
  冷却ファンが作動中にやむを得ず，エンジンルームを点検するときは，冷却ファンに手や衣服などを巻き込まれたり，やけどをするおそれがありますので注意してください。
  一定時間作動した後，冷却ファンは自動的に停止します。



- エンジンルーム内の部品には高温になるものがあります。
  やけどをするおそれがありますので，各部が十分冷えてから点検してください。
- 排気ガスなどが定められた基準に合うように調整されていますので，アイドリング回転数などのエンジン調整は三菱自動車販売会社で行ってください。

ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは

- ラジエーターやコンデンスタンク（冷却水）が熱いときは，ラジエーターキャップを外さないでください。
  蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。

燃料は指定されたものを補給

J00202000523

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。
- 軽油や有鉛ガソリン，粗悪ガソリン，高濃度アルコール混合燃料，三菱自動車純正部品以外のガソリン添加剤（含む，水分除去剤）を使用しないでください。
  排気ガス浄化装置や燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
  →「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P. 14-2

三菱自動車販売会社で点検を受けて

J00202100133

- つぎの場合は車が故障しているおそれがあります。
  そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - いつもと違う音や臭いや振動がするとき
  - ブレーキ液が不足しているとき
  - 地面に油の漏れたあとが残っているとき

出発前は

J00200200866

シートベルトは必ず着用

- 運転する前に必ずシートベルトを着用してください。
  →「シートベルト」P. 5-8
- 同乗者にもシートベルトを着用させてください。

燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

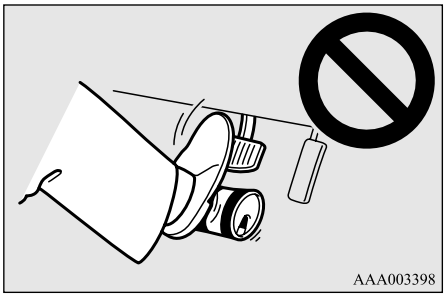
- 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まないでください。
  容器が破裂したり，蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。

窓越しにエンジンをかけない

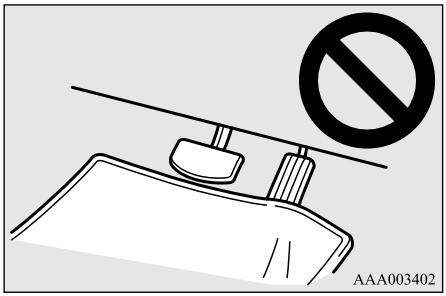
- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 正しい運転姿勢で運転席に座り，エンジンをかける習慣をつけましょう。
- CVT　車はセレクターレバーがⓅの位置にあることを，ツインクラッチSST　車はシフトレバーがⓅにあることを確認します。
  いずれの場合も思わぬ事故を避けるため，ブレーキペダルを右足でしっかり踏んでエンジンをかける習慣をつけてください。
  →「キーレスオペレーションシステム：エンジンの始動」P. 4-13，4-19
  →「エンジンのかけ方」P. 7-9

運転席の足元付近を点検

● ブレーキペダルの下に物がころがり込むと，ブレーキ操作ができなくなるおそれがあります。
出発前に運転席の足元付近を点検してください。



● フロアマットはペダルに引っかからないよう，車にあったものを正しく敷いてください。
また，ずれないようフックなどで確実に固定してください。
ペダルをおおったり，重ねて敷くとペダル操作の妨げになり，重大な事故につながるおそれがあります。

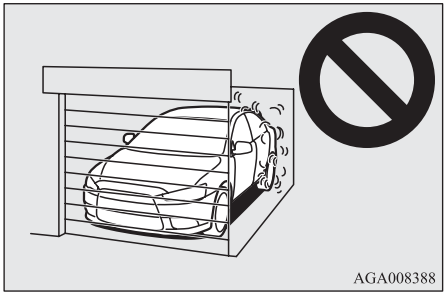


荷物を積むときは

● 荷物はできるだけ低くし，シートの高さ以上に積まないでください。
後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたとき，荷物が前方に飛び出してケガをするなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。
また，コーナリングのとき，車の揺れが大きくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
● SRS カーテンエアバッグ付き車では，側面ガラス付近に荷物を積まないでください。SRSカーテンエアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。
● 重い荷物はできるだけ前の方に積んでください。
後ろの方が重くなるとハンドルが不安定になります。
● 荷物は荷くずれしないようにしっかりと固定してください。

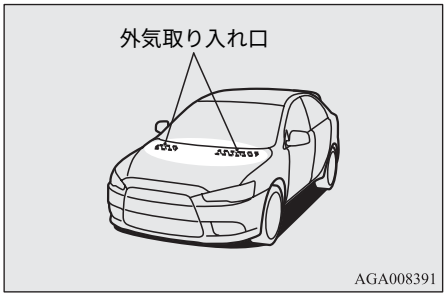
周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

- 周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。
  排気ガスが車内や建物内などに充満して，ガス中毒になるおそれがあります。
- やむを得ないときは，換気を十分に行ってください。



フロントガラス前部の雪，落ち葉などは取り除く

- フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪，落ち葉などが付いているときは取り除いてください。
  そのままにしておくと，車内の換気が十分にできずガラスが曇り，視界が悪くなるおそれがあります。



お子さまを乗せるときは

J00200300708

お子さまはリヤシートに座らせる

- 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく，お子さまが運転装置にふれて，重大な事故につながるおそれがあります。
- やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも，つぎのことをお守りください。
  - 必ずシートベルトを着用する
  - シートをできるだけ後方に下げる
  - シートに深く腰かけて，背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる
- お子さまがシートベルトやチャイルドシートを使用せずにインストルメントパネルの前に立っていたり，助手席に正しい姿勢で座っていなかったりすると，SRS エアバッグが膨らむ際，SRSエアバッグにより，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを必ず着用させる

- ひざの上にお子さまを抱かないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，腕だけでは十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

- リヤシートでも必ずシートベルトを着用してください。

お子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトを着けたとき，肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまには，体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
  →「チャイルドシート」P. 5-13
  通常のシートベルトでは，衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 6 才未満のお子さまは，チャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 乳児用シート（ベビーシート）は助手席に取り付けないでください。
  助手席に取り付けると助手席エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向き乳児用シート（ベビーシート）の上部にかかり，背もたれに押しつけられて，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまの安全のための装備

- お子さまの安全のため，つぎのような装備があります。
  使い方を一度お読みになって，お子さまの安全にお役立てください。

◆ ISO[*1] FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカー

[*1] ISO は International Standardization Organization（国際標準化機構）の略語です。

- ISO FIX 規格に対応したチャイルドシート[*2]を取り付けるための固定専用バーおよびテザーアンカーです。
  この固定専用バーおよびテザーアンカーを使用するときは，チャイルドシートを車両のシートベルトで固定する必要はありません。
  →「ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーでの取り付け方」P. 5-17

[*2] お客様のお車用として認可を受けたチャイルドシートのみ使用できます。

◆ チャイルドシート固定機構付シートベルト

- シートベルトを全部引き出すと，巻き戻し途中では引き出し方向にベルトが動かない状態となり，ISO FIX 対応していないチャイルドシートを固定することができます。
  →「チャイルドシート固定機構付シートベルトでの取り付け方」P. 5-18

◆ セーフティー機構付パワーウインドウ

●万一，お子さまが手や首などをはさんだとき，自動的にドアガラスが少し下がります。
→「セーフティー機構」P. 4-43

◆ セーフティー機構付サンルーフ タイプ別装備

●万一，お子さまが手や首などをはさんだとき，自動的にサンルーフが少し開きます。
→「セーフティー機構」P. 4-45

◆ ロックスイッチ

●ロックスイッチをONにすると，助手席，後席のパワーウインドウスイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
→「ロックスイッチ」P. 4-43

◆ チャイルドプロテクション

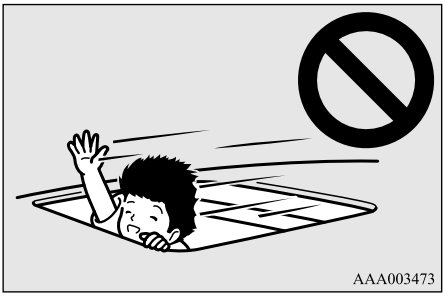
●ドアにあるレバーを施錠側にしておくと，後席ドアが車内から開けられなくなります。
→「チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）」P. 4-30

ドア，ウインドウ，サンルーフ，シートの操作は大人が行う

●手や顔などをはさまないよう注意して操作してください。
●お子さまが誤って操作しないよう，パワーウインドウにはロックスイッチをお使いください。

窓やサンルーフから手や顔を出させない

●窓やサンルーフから手や顔を出していると，車外の物などに当たったり，急ブレーキをかけたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。



お子さまをシートベルトで遊ばせない

● お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
特にチャイルドシート固定機構付シートベルトの場合，ベルトを体に巻きつけたりして遊んでいると，誤ってチャイルドシート固定機構が作動し，ベルトが引き出せずに窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
万一，誤ってチャイルドシート固定機構を作動させてしまい，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

車から離れるときはお子さまも一緒に

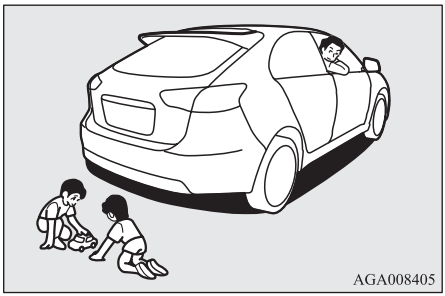
● お子さまだけを車内に残さないでください。
炎天下での車内は高温となり，熱中症になるおそれがあります。
● 車内にキーを残したままにしておくと，お子さまのいたずらにより，パワーウインドウなど電装品の誤った操作，車の発進，火災など，重大な事故につながるおそれがあります。

走行するときは

J00200400565

発進するときは

- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは，子どもや障害物など，車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。
- 車をバックさせるときは目で後方を確認してください。
  バックミラーでは確認できない死角があります。

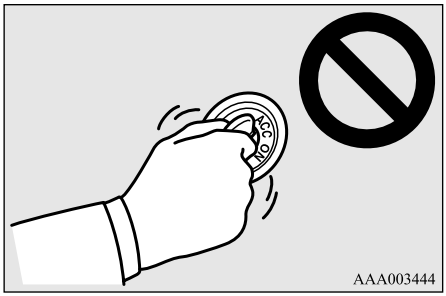


同乗者はシートを倒して寝ころばない

- 走行中，同乗者はシートを倒して寝ころばないでください。
  シートを倒して寝ころんでいると，急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，身体がシートベルトの下にもぐり込み，重大な傷害を受けるおそれがあります。

走行中はエンジンを止めない

- 走行中にエンジンを止めると，ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。



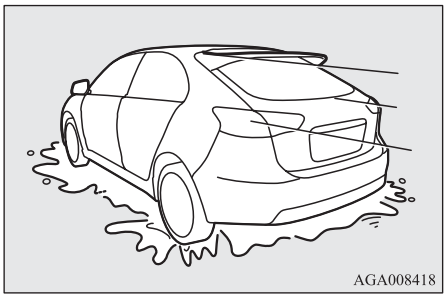
急発進，急加速，急ブレーキ，急ハンドルは避けて

● 急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
スピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

雨天時や水たまりを走行するときは

J00202200512

● 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。
● 水たまり走行後や洗車後，ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
● わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。
● タイヤがすり減っていたり，空気圧が適正でないと，スリップしたり，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。



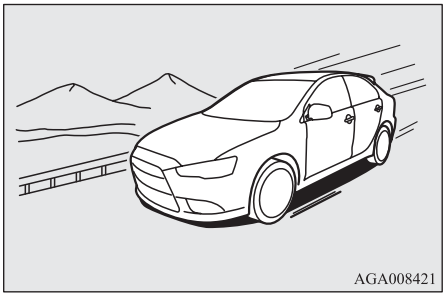
ハイドロプレーニング現象とは…

● 水のたまっている道路を高速で走行するとき，あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず，水上を滑走する状態になり，車のコントロールが効かなくなる現象。

下り坂ではエンジンブレーキを併用

J00202300630

- ぬれた道路や凍結した道路での急激なエンジンブレーキは避けてください。
  スリップして重大な事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  坂の勾配に応じて必ずエンジンブレーキを併用してください。



エンジンブレーキとは…

- 走行中，アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力のことで，低速の変速段ほどよく効きます。

ベーパロックとは…

- ブレーキ液がブレーキの摩擦熱により過熱されて沸騰することにより気泡が発生し，ブレーキペダルを踏んでも気泡を圧縮するだけでブレーキが効かなくなる現象。

フェード現象とは…

- ブレーキパッドまたは，ブレーキライニングの摩擦面が過熱されることにより摩擦力が低下し，ブレーキの効きが悪くなる現象。

ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

J00202400110

- ブレーキペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。
  ブレーキ部品が早く摩耗したり，ブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。

スタック（立ち往生）したときは

J00202600125

- スタックしたときは，タイヤを高速で回転させないでください。
  タイヤがバースト（破裂）したり，異常過熱により，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  →「タイヤがスリップして発進できない」P. 13-4

寒冷時にブレーキの効きが悪くなったときは

J00202700197

● 寒冷時や雪道走行ではブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。

段差などを通過するときは

J00202800273

● 段差などを通過するときは，できるだけゆっくり走行してください。
段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。
またつぎのような場合，車体，バンパー，マフラーなどを損傷するおそれがありますので十分注意してください。
- 駐車場の出入口
- 路肩や車止めのある場所
- 勾配の急な場所
- わだちのある道路

走行中に異常に気づいたら

J00200500524

走行中にエンストしたときは

● 走行中にエンストしたときは，運転操作に変化がおきますので，つぎの方法で車を安全な場所に止めてください。
- ブレーキ倍力装置が働かなくなるため，ブレーキの効きが非常に悪くなります。
  通常よりブレーキペダルを強く踏んでください。
- パワーステアリング装置が働かなくなるため，ハンドルが非常に重くなります。
  通常よりハンドルを強く操作してください。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

● 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると，車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
ハンドルをしっかり持ち，徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。
● つぎのようなときは，パンクやバーストが考えられます。
- ハンドルがとられるとき
- 異常な振動があるとき
- 車両が異常に傾いたとき

警告灯が点灯または点滅したときやマルチインフォメーションディスプレイ内に警告表示されたときは

● 警告灯が点灯または点滅したときやマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示されたときは安全な場所に停車し，適切な処置をしてください。
→「インフォメーション画面表示一覧」P. 6-42
→「警告灯が点灯または点滅したときは！」P. 13-2
点灯または点滅もしくは表示したまま走行すると，思わぬ事故を引き起こしたり，エンジンなどを損傷するおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

● 車体床下に強い衝撃を受けたときは，すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
ブレーキ液や燃料の漏れ，損傷などがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず三菱自動車販売会社にご連絡ください。

CVT車・ツインクラッチSST車の取り扱い

J00200600541

CVT車の特性

クリープ現象とは...

- セレクターレバーを Ⓟ, Ⓝ 以外に入れると動力がつながった状態となり，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すオートマチック車（CVT車）特有の現象。

キックダウンとは...

- 走行中にアクセルペダルを深く踏み込むと，自動的に変速比が切り換わり急加速ができます。これをキックダウンといいます。

ツインクラッチSST車の特性

ツインクラッチSST はエンジンとトランスミッションを統合的に制御することにより，オートマチックトランスミッションのような滑らかな変速およびマニュアルトランスミッションに近い燃費性能と加速性能を同時に実現したトランスミッションです。
また，2 種類の制御モードの中から走行条件に合ったモードを選択することができます。
マニュアルシフトの操作と合わせてさまざまな走行状況に対応できます。
→「ツインクラッチSST 制御モード」P. 7-19
→「マニュアルシフト」P. 7-22

クリープ現象とは...

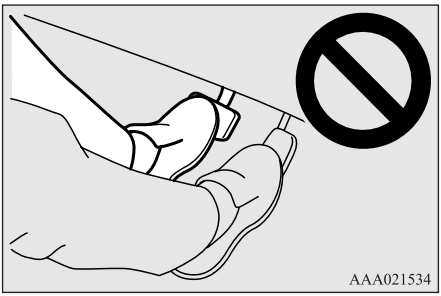
- シフトレバーを Ⓟ, Ⓝ 以外に入れ，ブレーキペダルを放すと動力がつながった状態となり，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すツインクラッチ SST 車特有の現象。

キックダウンとは...

- シフトレバーを Ⓓ に入れて走行中にアクセルペダルを深く踏み込むと，自動的に低速ギヤに切り換わり急加速ができます。これをキックダウンといいます。

ブレーキペダルは右足で

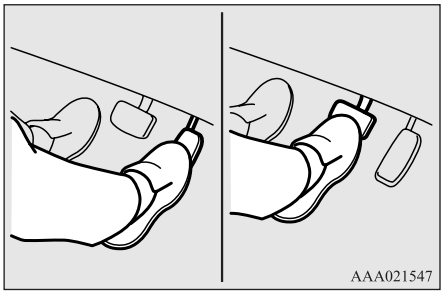
- 左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。



エンジンをかける前に

J00201100501

● アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。



● セレクターレバー（CVT車）またはシフトレバー（ツインクラッチ SST 車）がⓅの位置にあることを確認してください。

エンジンをかけるときは

J00201200342

● ブレーキペダルを右足で踏んだままエンジンをかけます。
アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくいときは，エンジンをかけてから足をブレーキペダルに踏みかえます。
→「キーレスオペレーションシステム：エンジンの始動」P. 4-13，4-19
→「エンジンのかけ方」P. 7-9

エンジン始動後

J00201300095

● エンジン始動直後は，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

発進するときは

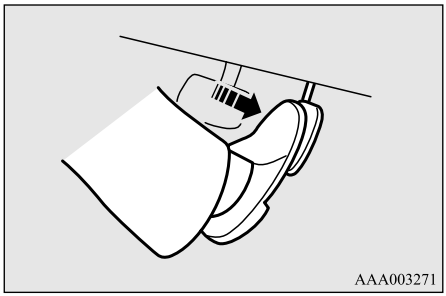
J00201500244

● ブレーキペダルを右足で踏んだままセレクターレバー（CVT車）またはシフトレバー（ツインクラッチ SST 車）を操作します。

● アクセルペダルを踏み込みながらセレクターレバー（CVT車）またはシフトレバー（ツインクラッチSST車）を操作しないでください。
急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。
また，トランスミッションの故障の原因になります。

● Ⓡに入れるとブザーが鳴ります。
ブザーは車の外には聞こえませんので注意してください。

● 発進するときは，ブレーキペダルから徐々に足を離し，アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。



走行中は

J00201600418

● 走行中は，セレクターレバー（CVT車）またはシフトレバー（ツインクラッチSST車）をⓃに入れないでください。
誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキがまったく効かなくなり，思わぬ事故の原因になります。
また，トランスミッションの故障の原因になります。

● ツインクラッチSST車は，スポーティな走行を連続して行いツインクラッチ SSTオイルの温度が上昇すると，シフトレバーまたはパドルシフトを操作してからシフトチェンジするまでの時間が長くなることがあります。

● ⒹからⓇ，ⓇからⒹおよびⓅに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてからセレクターレバー（CVT車）またはシフトレバー（ツインクラッチSST車）を操作してください。
車が動いているうちにセレクターレバー（CVT 車）またはシフトレバー（ツインクラッチ SST 車）を操作するとトランスミッションの故障の原因になります。

停車中は

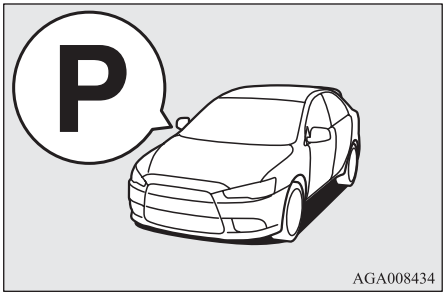
J00201700217

- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
  ブレーキペダルをしっかり踏んでください。
- 停車中は，むやみに空ぶかしをしないでください。
  万一，セレクターレバー（CVT車）またはシフトレバー（ツインクラッチSST車）が(P)，(N)以外に入っていた場合，思わぬ急発進の原因になります。

駐車するときは

J00201800478

- 駐車するときは，ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけ，セレクターレバー（CVT車）またはシフトレバー（ツインクラッチSST車）を(P)に入れます。
- 車が完全に止まらないうちに(P)に入れると，急停止してけがをするおそれがあります。
  また，トランスミッションの故障の原因になります。
- 車から離れるときは，必ずエンジンを止めてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバー（CVT車）またはシフトレバー（ツインクラッチSST車）が(P)，(N)以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。



● ツインクラッチSST車は，エンジンスイッチをLOCKしてからエンジンが止まり車両の電源が切れるまでに，約1秒かかります。

約1秒かかる理由は…
エンジンスイッチをLOCKにしてからエンジンが止まるまでの間にツインクラッチ SST 内部のギヤの結合を解除し，つぎのエンジン始動をスムーズに行うためです。
ツインクラッチSSTは内部に備えた2個のクラッチを交互につなぎ換えることでスムーズな変速を行います。また，つながっていないクラッチ側のギヤを結合した状態にすることで素早い変速を行います。
このようにギヤが結合したままの状態でエンジンが止まると，つぎのエンジン始動時に抵抗となるため，エンジン停止までの約1秒間にギヤの結合を解除します。

その他に気をつけること

J00201900206

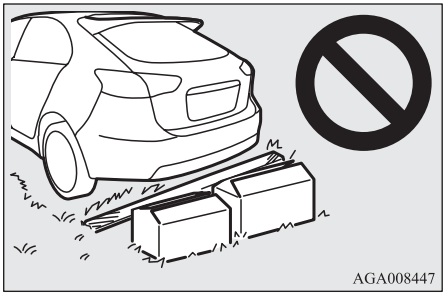
● 車を少し移動させるときでも，正しい運転姿勢をとり，ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
● 少しだけ後退したときなどは，セレクターレバー（CVT車）またはシフトレバー（ツインクラッチSST車）がⓇに入っていることを忘れてしまうことがあります。
後退した後は，すぐにⓇからⓅまたはⓃに戻す習慣をつけましょう。
● 車を後退させるときは，身体を後ろにひねった姿勢になり，ペダルの操作がしにくくなります。
ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。
● 切り返しなどでⒹからⓇ，ⓇからⒹと何度もレバーを操作するときは，そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み，車を完全に止めてから行ってください。
車が動いているうちにⓅやⓇに入れると，トランスミッションの故障の原因になります。

駐停車するときは

J00200700988

燃えやすいものの近くには車を止めない

● 枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。
走行後の排気管は高温になっているため，火災になるおそれがあります。



長時間のアイドリングは避ける

● 長く停車するときは，エンジンを止めてください。
燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

車から離れるときは

● 車が無人で動き出したり，盗難にあうおそれがありますので，車から離れるときは必ずつぎのことをお守りください。
- 駐車ブレーキをかける。
- CVT 車はセレクターレバーをⓅに，ツインクラッチ SST 車はシフトレバーをⓅに入れる。
- エンジンを止める。
- キーを携帯し，ドアを施錠する。

また，施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

車を移動するときは必ずエンジンを始動する

● エンジンがかかっていないと，ブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。
坂道で車を移動させるときも，必ずエンジンをかけてください。

仮眠するときは必ずエンジンを止める

- 排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 無意識にシフトレバーやセレクターレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。
- 無意識にアクセルペダルを踏み続けたときに，オーバーヒートを起こしたり，エンジンや排気管などの異常過熱により，火災事故が発生するおそれがあります。

坂道に駐車するときは

- 坂道に駐車するときは，駐車ブレーキを確実にかけ，CVT車はセレクターレバーを(P)に，ツインクラッチSST車はシフトレバーを(P)に入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。
  輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
  輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
- 急な坂道での駐車は避けてください。無人で車が動き出すなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

雪が積もった場所や降雪時に駐車するときは必ずエンジンを止める

- エンジンがかかった状態で，車のまわりに雪が積もると排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

- パワーステアリング装置が損傷するおそれがあります。

こんなことにも注意

J00200900948

運転中に自動車電話や携帯電話を使用しない

- 運転中，運転者が自動車電話や携帯電話を使用すると周囲の状況に対する注意が不十分になり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転中，運転者がハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

オーディオの操作は停車してから

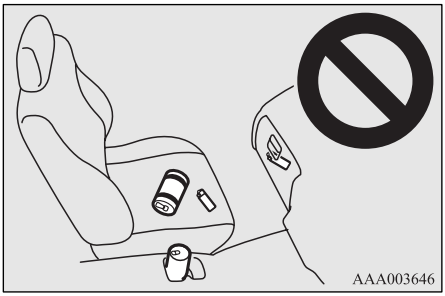
- 走行中にオーディオまたは，カーナビゲーションなどの操作をしないでください。
  操作に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

喫煙しながらの運転は控える

- 喫煙しながらの運転は控えてください。
  注意がおろそかになり，思わぬ事故を招くことがあります。

車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しない

- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。

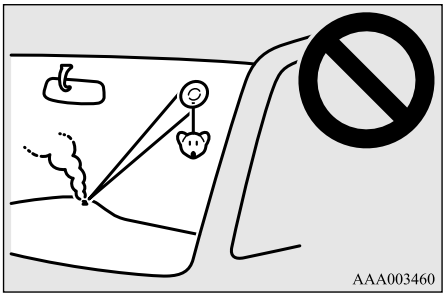


灰皿を使用したあとは

- 灰皿を使用したあとは，マッチやタバコの火は確実に消し，必ず閉めてください。
  万一の場合，火災になるおそれがあります。

アクセサリー取り付け時の注意

●ウインドウガラスなどにアクセサリーをつけたり，インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
運転の妨げになったり，吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など，思わぬ事故の原因となります。



●塗装が施されている部分にはアクセサリーなどをつけないでください。
吸盤に含まれる特殊な成分により，塗装面がはがれたり，変色したりするおそれがあります。

タイヤ，ホイールは指定サイズを使用

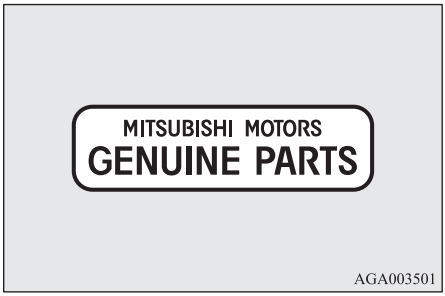
●タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。
●指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
→「タイヤ,ホイールのサイズ」P. 14-9
●ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。
お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

エンジンをかけたままジャッキアップをしない

●ジャッキアップ中はエンジンをかけたり，ジャッキアップした車輪を回転させないでください。
接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

違法改造はしない

● 法律で認められている改造以外は行わないでください。
また，三菱自動車純正部品以外の部品を装着すると，車の性能や機能に影響し，思いがけない事故が発生するおそれがあります。



電装品や無線機などの注意

● 電装品や無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。
配線が車体に干渉したり，保護ヒューズがないなど取付け方法が適切でないと，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，火災など，思わぬ事故につながるおそれがあります。

セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは

J00201000340

燃料の取り扱いに注意

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- 気化した燃料を吸わないように注意してください。燃料には有毒な成分を含んでいるものもあります。
- 給油中はドアおよびドアガラスを閉めてください。車内に気化した燃料が侵入するおそれがあります。
- 燃料をこぼさないように注意してください。塗装の変色，シミ，ひび割れの原因になります。付着したときは，柔らかい布などでふき取ってください。

静電気は確実に除去する

- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

フューエルキャップの取り扱いに注意

- フューエルキャップを開けるときは，急激に回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。
- フューエルキャップを閉めたときは，確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。
- 三菱自動車純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。

ガソリンスタンドの注意事項を守る

- ガソリンスタンドに掲示されている注意事項を守ってください。
- 補給口に給油ノズルを確実に差し込んでください。
  給油ノズルが正しく差し込まれていないと，燃料がこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。
  つぎ足しを繰り返すと燃料があふれ出るおそれがあります。
- 給油方法についてご不明な点は，ガソリンスタンドの係員にご相談ください。

環境にやさしく快適なドライブのために

経済的な運転をするために 3- 2
機能を上手く使うために. 3- 3
環境保護のために守っていただきたいこと 3- 3

経済的な運転をするために

J00300200362

無駄な荷物を載せない

J00300500017

- 不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

発進，加速はスムーズに

J00300600018

- 不必要な急発進，急加速，急減速など，アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け，アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

スピードに応じた変速位置に

J00300700019

- 変速位置は，走行速度に応じた正しい位置を選択してください。

速度はできるだけ一定に

J00300800010

- 法定速度を守り，できるだけ一定のスピードで運転してください。

空ぶかしは禁物

J00300900011

- 空ぶかしは，燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となりますので避けてください。

駐車時はエンジンストップ

J00301000019

- 携帯電話の使用や休憩などで，長い間車を止めるときは，エンジンを止めてください。燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

タイヤの空気圧は定期的にチェック

J00301100010

- タイヤの空気圧はこまめに点検し，常に規定の空気圧に調整してください。

エアコンは控えめに

J00301200011

- エアコンは燃費に影響します。
  冷やしすぎに注意して適温を心がけてください。

その他に気を付けること

J00301300012

- 車間距離を十分にとり，不必要なブレーキをかけないようにしてください。
- 下り坂では早めにアクセルペダルを戻し，エンジンブレーキを使用してください。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けてください。

機能を上手く使うために

J00300300158

携帯電話やパソコンなどの電子機器からの影響

J00301400013

- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがあります。
  このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- 車内や車の近くでパソコンなどの電子機器を使用すると，カーナビゲーションが正常に作動しないことがあります。
  このときは，電子機器を車からできるだけ離して使用してください。

環境保護のために守っていただきたいこと

J00300400162

廃棄物を処理するときは

J00301500014

- バッテリーは，鉛や希硫酸が使われています。
  使用済みのバッテリーは，新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- タイヤを燃やすと有害なガスが発生します。
  使用済みのタイヤは，新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルを地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  エンジンオイルを交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 冷却水を地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  冷却水を交換する場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

エアコンの冷媒ガスについて

J00301600015

- エアコン冷媒は，オゾン層を破壊させない代替フロンガス HFC-134a (R134a) を使用していますが，この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は三菱自動車販売会社でガス漏れの点検を行い，ガスの大気放出を防止してください。

MEMO

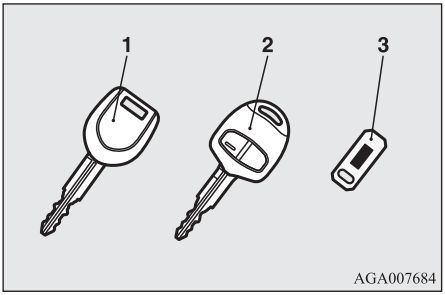
各部の開閉

キー 4- 2
エンジンイモビライザー(盗難防止装置) 4- 3
キーレスエントリー 4- 4
キーレスオペレーションシステム 4- 6
ドア 4- 26
センタードアロック 4- 28
チャイルドプロテクション(後席ドア安全施錠装置) 4- 30
リヤハッチ 4- 30
セキュリティーアラーム 4- 33
パワーウインドウ 4- 41
サンルーフ 4- 44
エンジンフード(ボンネット) 4- 47
フューエルリッド(燃料補給口) 4- 49

キー

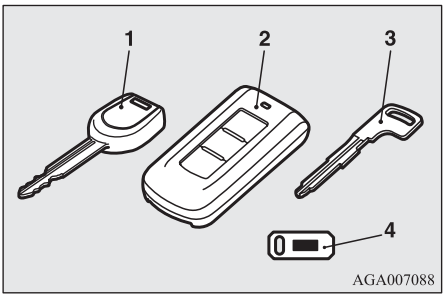
J00400101024

除く，キーレスオペレーションシステム付き車



1: エンジンイモビライザー用キー
2: キーレスエントリーキー（エンジンイモビライザー機能付き）
3: キーナンバープレート

キーレスオペレーションシステム付き車



1: エンジンイモビライザー用キー
2: キーレスオペレーションキー（エンジンイモビライザーおよびキーレスエントリー機能付き）
3: エマージェンシーキー
4: キーナンバープレート

⚠警告

- 航空機内にキーを持ち込むときは，機内でキーのスイッチを押さないでください。スイッチを押すと電波が発信され，航空機の運航に悪影響をおよぼすおそれがあります。かばんなどに入れて持ち込むときも，簡単にスイッチが押されないようにしてください。

アドバイス

- キー（除く，エマージェンシーキー）は信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，つぎの点をお守りください。
  - ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所には放置しない
  - 分解，改造をしない
  - キーを無理に曲げたり，強い衝撃を与えない
  - 水にぬらさない
  - 磁気を帯びたキーホルダーなどを近づけない
  - オーディオ，パソコン，テレビなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
  - 超音波洗浄器などで洗浄しない
- 万一，キーを紛失したときは，盗難などを防ぐため，ただちに三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，キーナンバーを三菱自動車販売会社へ連絡していただければ，キーを作ることができます。キーナンバーはキーナンバープレートに打刻してあります。キーナンバープレートは，キーとは別に大切に保管してください。
- あらかじめ登録されたキー（除く，エマージェンシーキー）以外ではエンジンがかかりません。
  →「エンジンイモビライザー」P. 4-3
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定したときは，つぎの点にご注意ください。
  →「セキュリティーアラーム」P. 4-33
  - セキュリティーアラームをシステム作動可能状態にしているときは，キーやドアのロックノブを使って解錠した後ドアを開けると警報が作動します。
  - セキュリティーアラームを「作動する」に設定していても，キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使わないで施錠した場合はシステム準備状態になりません。

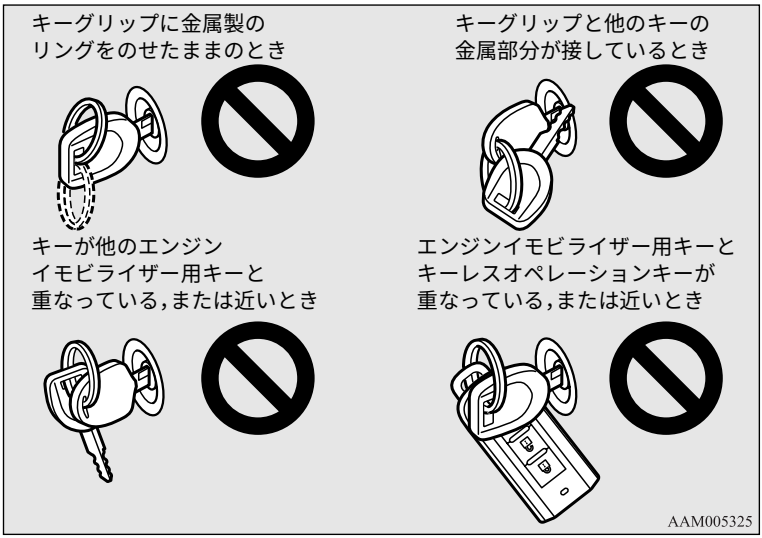
エンジンイモビライザー（盗難防止装置）

J00400200334

エンジンイモビライザー（盗難防止装置）は，車両盗難防止のため，あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンがかからないようにした装置です。

アドバイス

- つぎのようなときは，車がキーからの信号を受信できずエンジンスイッチを START に回してもエンジンがかからないことがあります。



  このようなときは,キーに接している金属や他のキーを取り除いてからエンジンスイッチをACCまたはLOCKに戻し，再度エンジンをかけます。
  エンジンがかからないときは，三菱自動車販売会社にご連絡ください。
- 強い電波を発する物や設備の近くでは正しく作動しないことがあります。
- キーを紛失したときや，新しいキーを作りたいときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。除く，キーレスオペレーションシステム付き車は，同じ車両で最大8本までキーを登録できます。また，キーレスオペレーションシステム付き車は，キーレスオペレーションキーを最大4個まで，エンジンイモビライザー用キーを最大4本まで登録できます。このとき残りのすべてのキーとお車を三菱自動車販売会社へお持ちください。

キーレスエントリー

タイプ別装備

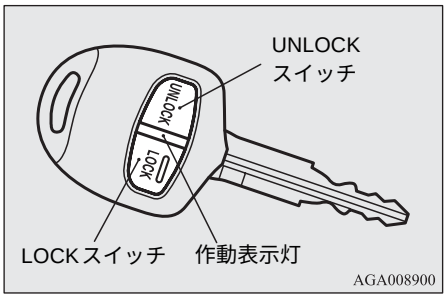
J00400301039

キーレスオペレーションシステム付き車

キーレスオペレーションシステム付き車のキーレスエントリーについては「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」をお読みください。→P. 4-24

除く，キーレスオペレーションシステム付き車

リモコンスイッチですべてのドアおよびリヤハッチの施錠・解錠，およびドアミラー，パワーウインドウ，サンルーフを操作することができます。



ドアおよびリヤハッチの施錠・解錠

J00413900016

LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびリヤハッチが施錠し，UNLOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびリヤハッチが解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびリヤハッチを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- リモコンスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。

アドバイス

- セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
  詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P. 4-33
- UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

◆ 施錠・解錠時の作動確認

J00414000014

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点灯はフロントルームランプのスイッチがDOOR位置，またリヤルームランプ タイプ別装備 のスイッチが中間（●）の位置にあるときに限られます。

施錠時：非常点滅灯が1回点滅
解錠時：ルームランプが約 15 秒間点灯し，非常点滅灯が2回点滅

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ドアミラーの格納・復帰

J00406600109

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチをさらに続けて2回押すとドアミラーが格納されます。UNLOCK スイッチを押して解錠した後，約 30 秒以内に UNLOCK スイッチをさらに続けて 2 回押すとドアミラーは元の位置に戻ります。

パワーウインドウの閉じ方

J00406700113

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチを再度約1秒以上押し続けるとすべてのドアガラスが閉まります。
途中で止めたいときはLOCKまたはUNLOCKスイッチを押します。

サンルーフの閉じ方

J00406800013

サンルーフ付き車

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチを再度約1秒以上押し続けるとサンルーフが閉まります。途中で止めることはできません。

アドバイス

- リモコンスイッチによるつぎの操作を変更することができます。
  - パワーウインドウとサンルーフの「閉じる」操作をできなくする。
  - パワーウインドウの「開ける」機能を追加する。
  - ドアミラーの格納・復帰をドアおよびリヤハッチの施錠・解錠と連動させる。
  - ドアミラー，パワーウインドウおよびサンルーフの操作をできなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。
- リモコンスイッチは車から約 1m 以内で作動します。
  近くにTV塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。
- つぎのようなときはリモコンスイッチは作動しません。
  - エンジンスイッチにキーが差してあるとき
  - ドア，リヤハッチが開いている，または半ドアのとき
- リモコンスイッチを紛失したときや，新しいリモコンスイッチを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。最大8個まで作ることができます。
- つぎのときは電池の消耗が考えられます。三菱自動車販売会社で電池を交換してください。
  - 正しい距離でリモコンスイッチを押しても施錠・解錠しないとき
  - 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

キーレスオペレーションシステム

タイプ別装備

J00407400319

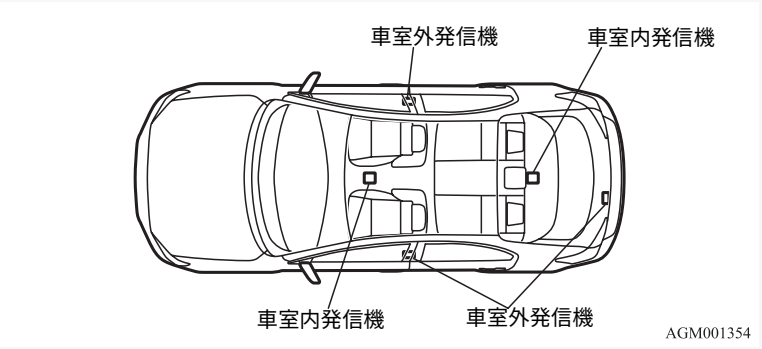
キーレスオペレーションシステムは，キーレスオペレーションキーを携帯するだけで，ドアおよびリヤハッチの施錠・解錠操作やエンジンの始動操作ができるシステムです。また，キーレスオペレーションキーはキーレスエントリーのリモコンスイッチとしても使えます。

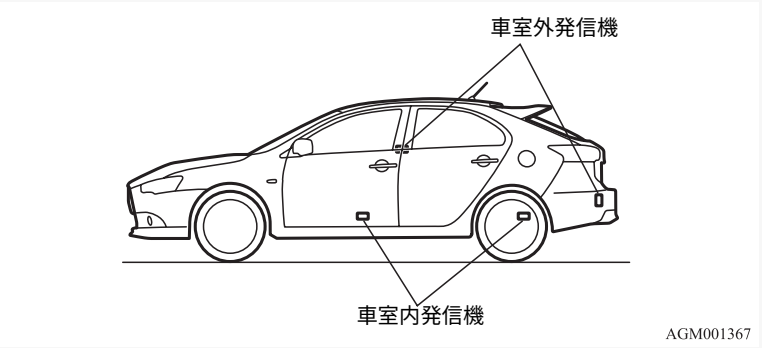
→「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」P. 4-24

キーレスオペレーションキーは必ず運転者が携帯してください。ドアおよびリヤハッチの施錠・解錠やエンジンの始動など車を操作するために必要ですので，車から離れるときは必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。

⚠警告

- 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を使用している方は，車室外発信機・車室内発信機から約 22cm 以内に近づかないようにしてください。キーレスオペレーションシステムに使用している電波が植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。





⚠警告

● 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器を使用している方は,キーレスオペレーションシステムに使用している電波による影響について医療用電気機器製造業者などに確認してからご使用ください。電波が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

キーレスオペレーションシステムでできる操作をつぎのように変更することができます。(キーレスエントリーとしての操作は可能です)

- ドアおよびリヤハッチの施錠・解錠操作のみできるようにする
- エンジンの始動操作のみできるようにする
- キーレスオペレーションシステムを働かないようにする

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

キーレスオペレーションシステムでできる操作を変更した場合，作動している発信機はつぎの通りです。

- ドアおよびリヤハッチの施錠・解錠操作のみ：車室外発信機および車室内発信機
- エンジンの始動操作のみ：車室内発信機

アドバイス

● キーレスオペレーションキーは微弱な電波を使用しています。
つぎのような場合，正しく作動しなかったり，不安定な作動となることがあります。
- 近くにTV塔や変電所，放送局，空港など強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やパソコンなどの電化製品と一緒に携帯しているとき
- キーレスオペレーションキーが金属製のものに接したり，覆われているとき
- 近くでキーレスエントリーを使用しているとき
- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき
- 強い電波，ノイズのある場所に置いたとき

このようなときはエマージェンシーキーを使用してください。
→「キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは」P. 4-19

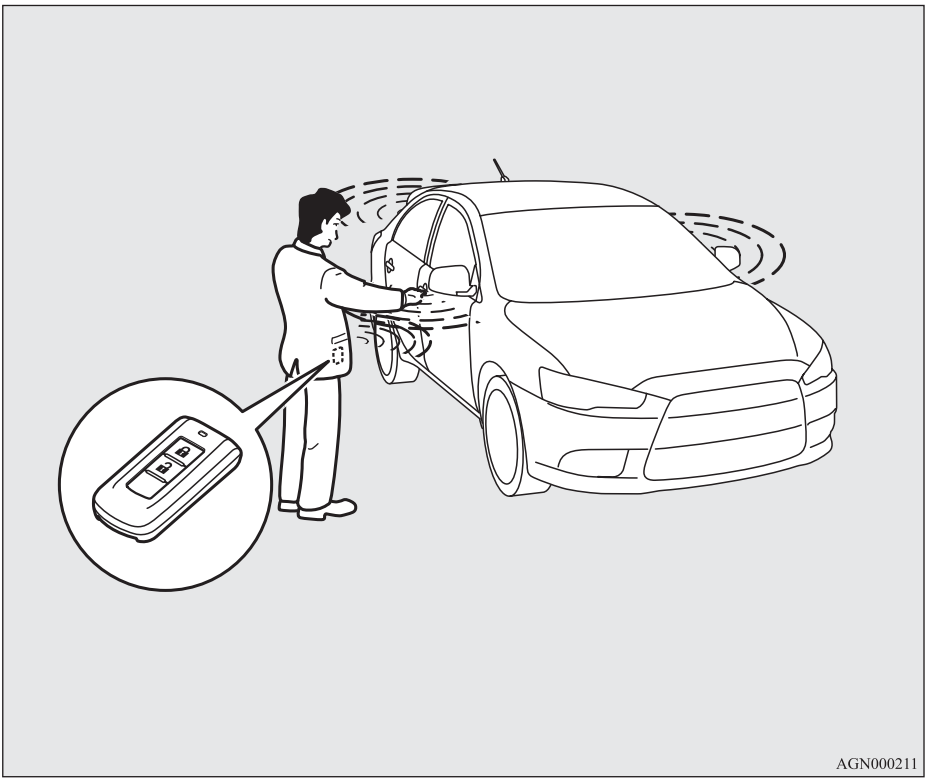
● キーレスオペレーションキーは，車両との通信のために常時受信動作をしているため，キーレスオペレーションキーの使用に関係なく常に電池を消耗しています。使用状況にもよりますが，電池の寿命は約1年～3年です。電池が消耗した場合は，三菱自動車販売会社で新しい電池に交換してください。

● キーレスオペレーションキーは，常時受信動作をしているため，強い電波の受信は電池の消耗につながります。テレビ，パソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

キーレスオペレーションシステムの作動範囲について

J00407500277

キーレスオペレーションキーを携帯してキーレスオペレーションシステムの作動範囲内に入り，ドアまたはリヤハッチのスイッチおよびハンドルを操作するとIDコードの照合を行います。
車両とキーレスオペレーションキーのIDコードが一致した場合のみ，ドアおよびリヤハッチの施錠・解錠操作やエンジンの始動操作が可能になります。



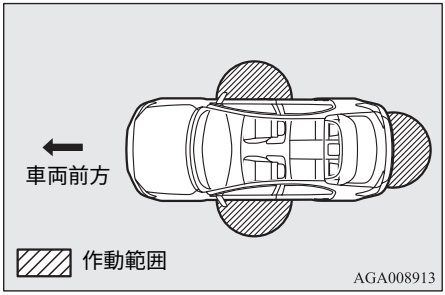
AGN000211

アドバイス

- キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているときや，強い電波またはノイズのある場所などでは，作動範囲が狭くなったり，不安定な作動となることがあります。

◆ドアおよびリヤハッチを施錠・解錠するときの作動範囲

作動範囲は運転席ドア，助手席ドアおよびリヤハッチのハンドルから周囲約70cm以内です。



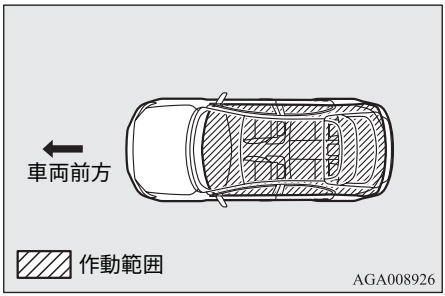
アドバイス

- キーレスオペレーションキーを検知しているドアおよびリヤハッチの操作でのみ施錠・解錠ができます。
- キーレスオペレーションキーがフロントドア，ドアガラス，リヤハッチに近づきすぎているときは作動しないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが運転席ドア，助手席ドアおよびリヤハッチのハンドルから周囲約 70cm 以内でも，地面の近くや高い場所にあるときは，作動しないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあれば，キーレスオペレーションキーを携帯していない人でも，運転席ドア，助手席ドアおよびリヤハッチのハンドル操作でドアおよびリヤハッチの施錠・解錠ができます。

◆エンジンを始動するときの作動範囲

J00407600207

作動範囲は車室内です。



アドバイス

- キーレスオペレーションキーが作動範囲内にあっても，グローブボックスなどの小物入れやインストルメントパネル周辺，ドアポケットまたはラゲッジコンパートメントなどにあるときは，エンジン始動ができないことがあります。
- キーレスオペレーションキーが車外にあっても，ドアやドアガラスに近づきすぎているときは，エンジン始動ができることがあります。

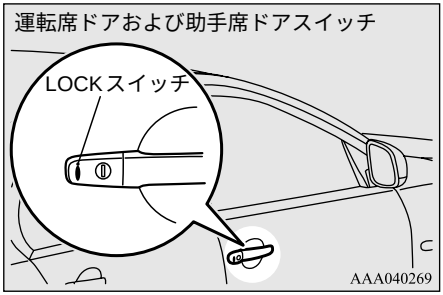
キーレスオペレーション機能を使って操作するときは

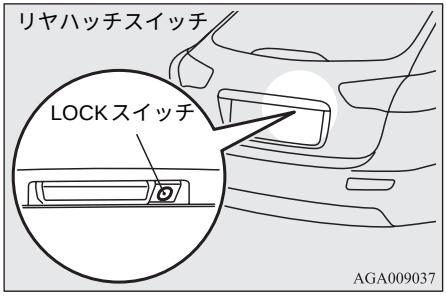
J00407700282

◆ ドアおよびリヤハッチの施錠

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，作動範囲内で運転席ドア，助手席ドアまたはリヤハッチの LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびリヤハッチが施錠します。

「各部の開閉:ドア，センタードアロック，リヤハッチ」も合わせてお読みください。→P. 4-26，4-28，4-30





アドバイス

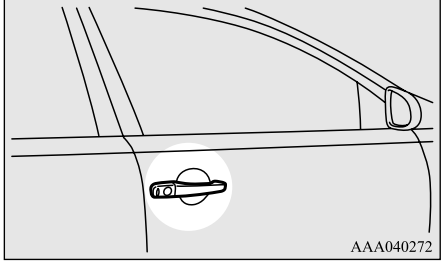
- つぎのようなときは，キーレスオペレーション機能は作動しません。
  - 車内にキーレスオペレーションキーがあるとき
  - ドア，リヤハッチが開いている，または半ドアのとき
  - エンジンスイッチがLOCK以外のとき
  - エンジンスイッチにエマージェンシーキーが差してあるとき
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
  詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P. 4-33
- 施錠の確認をするときは,施錠後約3秒以内にドアまたはリヤハッチのハンドルを引いてください。施錠後約3秒以上過ぎてハンドルを引くと，ドアおよびリヤハッチは再び解錠されます。
- 施錠の確認ができる時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

◆ ドアおよびリヤハッチの解錠

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，作動範囲内で運転席ドア，助手席ドアのハンドルを握る，またはリヤハッチのハンドルを引くとすべてのドアおよびリヤハッチが解錠します。
解錠しても約30秒以内にドアを開けなければ自動的に施錠されます。

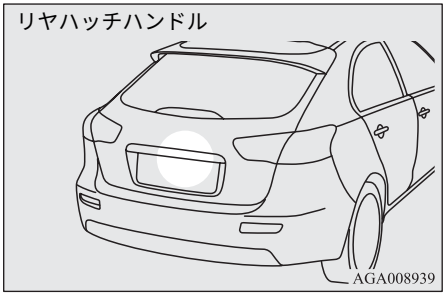
「各部の開閉:ドア，センタードアロック，リヤハッチ」も合わせてお読みください。
→P. 4-26，4-28，4-30

運転席ドアおよび助手席ドアハンドル



AAA040272

リヤハッチハンドル



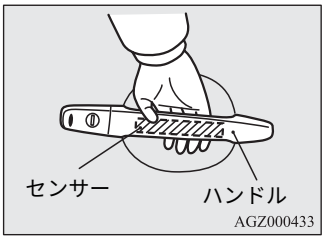
AGA008939

アドバイス

- つぎのようなときは，キーレスオペレーション機能は作動しません。
  - ドア，リヤハッチが開いている，または半ドアのとき
  - エンジンスイッチがLOCK以外のとき
  - エンジンスイッチにエマージェンシーキーが差してあるとき
- 施錠した後約3秒間は,施錠の確認のためドアを解錠することはできません。

アドバイス

- 解錠するときは，ドアハンドル裏側のセンサー部を確実に握り，解錠されたことを確認してからハンドルを引いてください。なお，つぎのようなときは解錠が遅れたり，解錠されないことがあります。
  - ハンドル裏側のセンサー部以外を触れたとき
  - 皮またはスキーなどの手袋を手に装着してハンドル裏側のセンサー部に触れたとき
  - 他の車のキーレスオペレーションキーや，電波を発する通信機器または電化製品などを同時に携帯しているとき



AGZ000433

- 急なドアハンドル操作では，解錠されないときがあります。そのときは，再度ハンドルを握り直して，解錠されたことを確認してからハンドルを引いてください。
- キーレスオペレーションキーが車室外発信機の作動範囲内にあるとき，洗車や大雨などでドアのハンドルに多量の水がかかるとキーレスオペレーションシステムが働いてドアおよびリヤハッチが解錠することがありますが，約30秒後に自動的に施錠されます。
- 解錠した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点灯はフロントルームランプのスイッチがDOOR位置，またリヤルームランプ タイプ別装備 のスイッチが中間（●）の位置にあるときに限られます。

施錠時: 非常点滅灯が 1 回点滅し，ブザーが1回鳴る

解錠時: ルームランプが約 15 秒点灯し，非常点滅灯が2回点滅し，ブザーが2回鳴る

アドバイス

● つぎの機能を変更することができます。
- 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
- 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）およびブザーを働かなくする。
- 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

◆ ドアミラーの格納

ドアまたはリヤハッチの LOCK スイッチを押して施錠した後，約 30 秒以内に LOCK スイッチをさらに続けて 2 回押すとドアミラーが格納されます。

◆ パワーウインドウの閉じ方

ドアまたはリヤハッチの LOCK スイッチを押して施錠した後，約 30 秒以内に LOCK スイッチを再度約 1 秒以上押し続けるとすべてのドアガラスが閉まります。
途中で止めたいときは LOCK スイッチを押します。

◆ サンルーフの閉じ方

サンルーフ付き車

ドアまたはリヤハッチの LOCK スイッチを押して施錠した後，約 30 秒以内に LOCK スイッチを再度約 1 秒以上押し続けるとサンルーフが閉まります。途中で止めることはできません。

アドバイス

● ドアおよびリヤハッチのスイッチによるつぎの操作を変更することができます。
- パワーウインドウとサンルーフの「閉じる」操作をできなくする。
- ドアミラーの格納をドアおよびリヤハッチの施錠と連動させる。
- ドアミラー，パワーウインドウおよびサンルーフの操作をできなくする。

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

◆ エンジンの始動

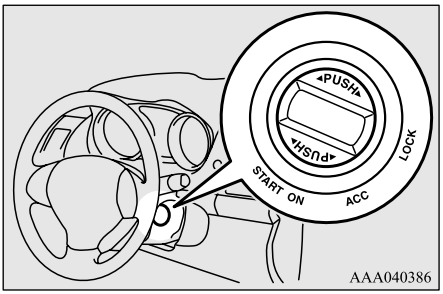
J00432300149

車両盗難防止のため，あらかじめ登録されたキーレスオペレーションキー以外ではエンジンがかかりません。(エンジンイモビライザー機能)

キーレスオペレーションキーを携帯しているとき，エンジンスイッチを回すとエンジンの始動ができます。

「運転装置：エンジンのかけ方」も合わせてお読みください。
→P. 7-9

エンジンイモビライザー用キーを使ってエンジンをかけるときの操作については「運転装置：エンジンイモビライザー用キーまたはキーレスエントリー用キーを使ってエンジンをかけるとき」をお読みください。→P. 7-9



エンジンスイッチの位置と働き

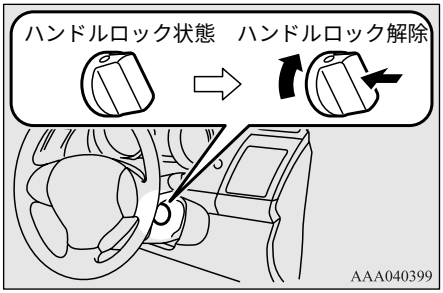
LOCK (PUSH OFF)	ハンドルがロックされる位置
LOCK (PUSH ON)	車室内での ID コードの照合が一致したとき，ハンドルロックが解除されてエンジンスイッチを回すことができます
ACC	エンジンを止めたままでもオーディオ，シガレットライターなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置 すべての電気系統が働きます
START	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったらエンジンスイッチから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります

アドバイス

- エンジン停止時はエンジンスイッチをLOCK (PUSH OFF) にしてください。エンジンを止めたままオーディオなどの電気製品を使用したり，エンジンスイッチを長時間ONまたはACC のままにしておくと，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンスイッチがACCのままで約30分経過すると，ACCの位置で作動する装備の電源を自動的にカットします。
→「ACC電源オートカット機能」P. 7-8
- キーレスオペレーションキーを一旦車外に持ち出した後は，エンジンスイッチをSTARTに回してもエンジンがかからないことがあります。このようなときは，エンジンスイッチを確実に LOCK (PUSH OFF)に戻し，再度エンジンをかけます。
- エンジンが回転しているときは，エンジンスイッチをSTARTの位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。

LOCK (PUSH OFF) から ACC に回すときは

エンジンスイッチを押しながらゆっくり回します。



アドバイス

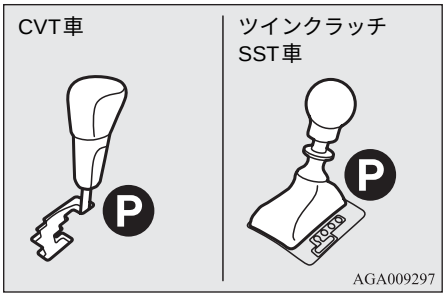
- エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) からACCに回らないときは，再度エンジンスイッチを押してハンドルを左右に動かした後，エンジンスイッチを回します。
- キーレスオペレーションキーが車室内にないとエンジンスイッチを回すことはできません。
→「エンジンを始動するときの作動範囲」P. 4-9

ACCからLOCKに回すときは

LOCKまでゆっくり押しながら回します。CVT車はセレクターレバーがⓅ以外の位置にあるとき，ツインクラッチSST車はシフトレバーがⓅ以外の位置にあるときにエンジンスイッチを LOCK まで回すことはできません。

エンジンのかけ方

1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P. 5-3
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. CVT 車はセレクターレバーがⓅにあることを，ツインクラッチSST車はシフトレバーがⓅにあることを確認します。



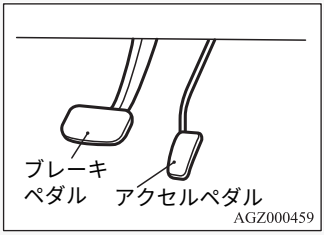
アドバイス

● CVT 車はセレクターレバーがⓅまたはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
ツインクラッチSST車はシフトレバーがⓅのとき，またはシフトレバーがⓃでブレーキペダルを踏んでいるとき以外はエンジンがかかりません。
安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。

4. ブレーキペダルを右足で踏み，エンジンスイッチをLOCK (PUSH OFF)からLOCK (PUSH ON) に押しながらSTART にゆっくり回してエンジンをかけます。

⚠警告

● アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。



アドバイス

- エンジンをかけている途中でエンジンスイッチから手をはなしても，エンジン始動のために数秒間スターチングモーターが回り続けます。(除く，ターボ車)
- エンジンがかからないときはつぎの手順に従ってください。
  - アクセルペダルを踏み込んだままエンジンをかけてください。
  - エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。

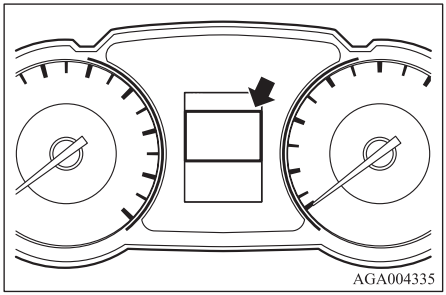
⚠注意

- アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくい場合でも，エンジンがかかった後はブレーキペダルを踏んでください。

警告作動について

J00407800209

キーレスオペレーションシステムでは誤操作や車両盗難防止のため，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面の表示およびブザーで注意を促します。
警告作動をしたときは，必ず車両およびキーレスオペレーションキーの確認を行ってください。また，キーレスオペレーションシステムに異常がある場合も表示します。



つぎのような警告作動の場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

	●キーレスオペレーションシステムに異常があるとき
	●キーレスオペレーションキーの電池が消耗しているとき

つぎのようなときにも警告作動しますが，正しい使い方をすれば表示は消えます。

●キーレスオペレーションキーと車両の ID コードの照合ができなかったとき

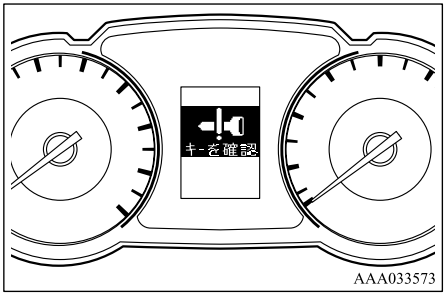
	IDコードの異なるキーレスオペレーションキーを携帯している,またはキーレスオペレーションキーが作動範囲内にないことが考えられます。
	→「キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構」P. 4-17

●ドアまたはリヤハッチのLOCKスイッチを押しても施錠できないとき

	→「キー閉じ込め防止機構」P. 4-18
	→「半ドア防止機構」P. 4-18
	→「エンジンスイッチ切り忘れ防止機構」P. 4-18

◆ キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構

J00410600184



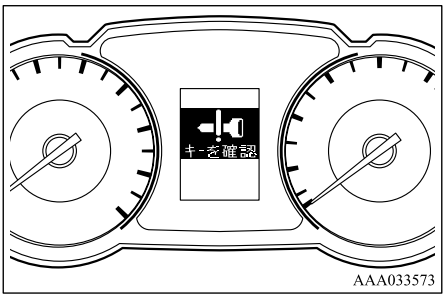
駐車中，かつエンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外の位置にあるとき，いずれかのドアを開けてキーレスオペレーションキーを車内から持ち出した後ドアを閉めると，「キーを確認」の表示と4回鳴るブザーで警告します。

アドバイス

- ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出すと，キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構は働きません。
- ドアを開けずに窓からキーレスオペレーションキーを持ち出したとき，キーレスオペレーションキー持ち出し監視機構を働かせることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- エンジン始動の作動範囲内でキーレスオペレーションキーを携帯していても，周囲の環境または電波状態などにより，キーレスオペレーションキーと車両の ID コードの照合ができなかったときは，警告が作動することがあります。

◆ キー閉じ込め防止機構

J00410700169



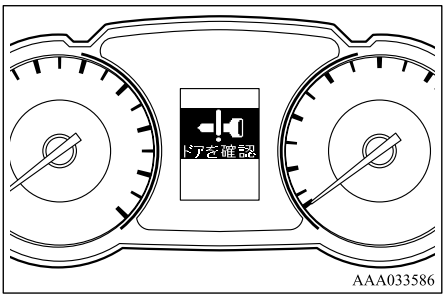
エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) の位置にあるとき，車内にキーレスオペレーションキーを置いたまますべてのドアおよびリヤハッチを閉め，ドアまたはリヤハッチの LOCK スイッチを押して施錠しようとすると，「キーを確認」の表示と約3秒間のブザーで警告し，ドアおよびリヤハッチの施錠ができません。

アドバイス

- 必ずキーレスオペレーションキーを携帯していることを確認してから施錠するようにしてください。
  車内にキーレスオペレーションキーを置いたままでも，周囲の環境または電波状態などにより，施錠されることがあります。

◆ 半ドア防止機構

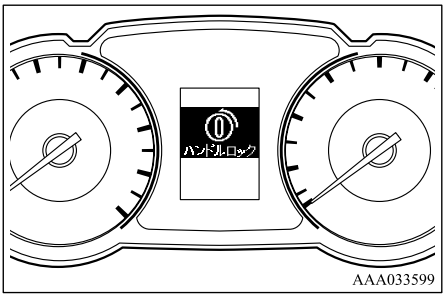
J00410800115



エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) の位置にあるとき，いずれかのドアまたはリヤハッチを完全に閉めずにドアまたはリヤハッチの LOCK スイッチを押して施錠しようとすると，「ドアを確認」の表示と約3秒間のブザーで警告し，ドアおよびリヤハッチの施錠ができません。

◆ エンジンスイッチ切り忘れ防止機構

J00410900103



エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外の位置にあるとき，すべてのドアおよびリヤハッチを閉め，ドアまたはリヤハッチの LOCK スイッチを押して施錠しようとすると，「ハンドルロック」の表示と約3秒間のブザーで警告し，ドアおよびリヤハッチの施錠ができません。

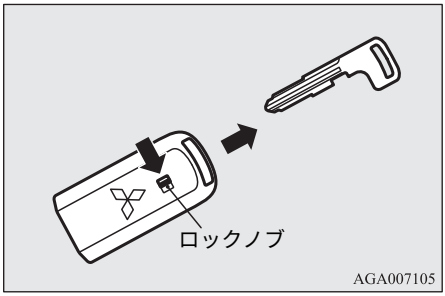
キーレスオペレーション機能を使わずに操作するときは

J00407900356

◆ エマージェンシーキー

エマージェンシーキーはキーレスオペレーションキーに内蔵されています。
キーレスオペレーションキーの電池切れやバッテリー上がりなどによりキーレスオペレーション機能が使用できないとき，ドアの施錠・解錠操作やエンジンの始動操作をすることができます。

ロックノブを矢印の方向に押しながら，キーレスオペレーションキーからエマージェンシーキーを取り外します。



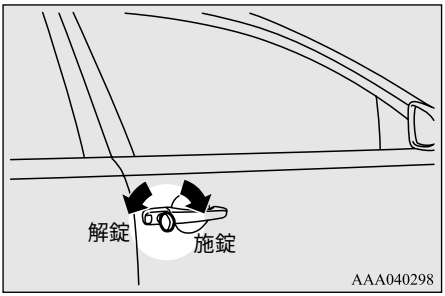
アドバイス

- エマージェンシーキーは緊急を要する場合のみご使用ください。
  キーレスオペレーションキーの電池が切れたときなどはできるだけ早く電池交換をして，キーレスオペレーションキーとして使用するようにしてください。
- エマージェンシーキーを使用した後は，必ずキーレスオペレーションキーに戻しておいてください。

ドアの施錠・解錠

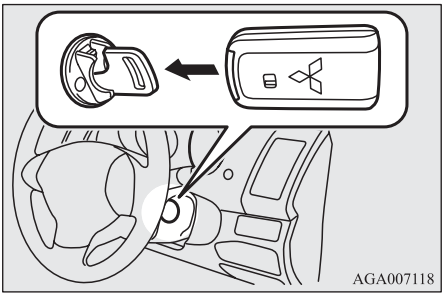
エマージェンシーキーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

「各部の開閉 : ドア」も合わせてお読みください。→P. 4-26



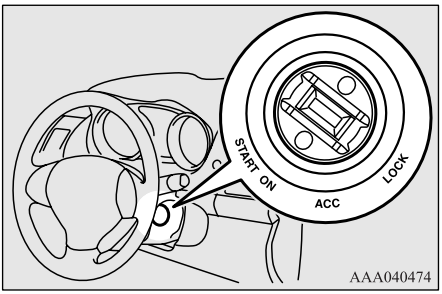
エンジンの始動

車両盗難防止のため，エマージェンシーキーにあらかじめ登録されたキーレスオペレーションキーを取り付けたときだけエンジンをかけることができます。(エンジンイモビライザー機能)



「運転装置 : エンジンのかけ方」も合わせてお読みください。→P. 7-9

エンジンイモビライザー用キーを使ってエンジンをかけるときの操作については「運転装置：エンジンイモビライザー用キーまたはキーレスエントリー用キーを使ってエンジンをかけるとき」をお読みください。→P. 7-9



● エンジンスイッチの位置と働き

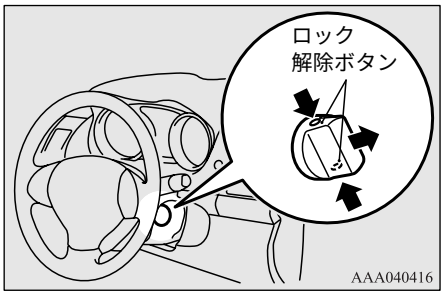
LOCK	ハンドルがロックされる位置 エマージェンシーキーが抜き差しできます
ACC	エンジンを止めたままでもオーディオ，シガレットライターなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置 すべての電気系統が働きます
START	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったらエンジンスイッチから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります

アドバイス

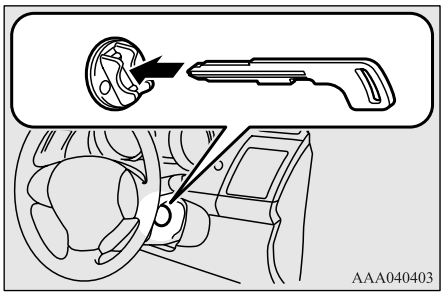
- エンジン停止時はエンジンスイッチをLOCK にしてください。エンジンを止めたままオーディオなどの電気製品を使用したり，エンジンスイッチを長時間ONまたは ACC のままにしておくと，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンスイッチがACCのままで約30分経過すると，ACC の位置で作動する装備の電源を自動的にカットします。
  →「ACC 電源オートカット機能」P. 7-8
- エンジンが回転しているときは，エンジンスイッチをSTARTの位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。

LOCKからACCに回すときは

1. キーレスオペレーションキーからエマージェンシーキーを取り出します。
→「エマージェンシーキー」P. 4-19
2. ロック解除ボタンを押しながらエンジンスイッチのカバーを取り外します。



3. エンジンスイッチにエマージェンシーキーを差し込み，押しながらゆっくり回します。



アドバイス

- エンジンスイッチがLOCKからACCに回らないときはハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回します。

ACCからLOCKに回すときは

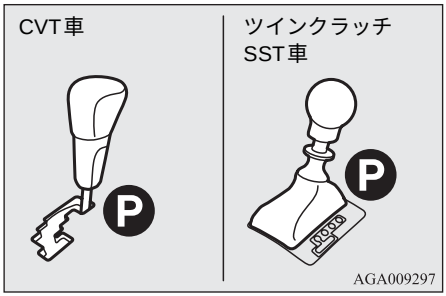
1. LOCKまでゆっくり押しながら回してエマージェンシーキーを抜きます。
CVT 車はセレクターレバーがⓅ以外の位置にあるとき，ツインクラッチ SST 車はシフトレバーがⓅ以外の位置にあるときにエンジンスイッチをLOCK まで回すことはできません。
2. エンジンスイッチのカバーを取り付けます。
3. エマージェンシーキーをキーレスオペレーションキーに戻します。

アドバイス

- エマージェンシーキーを使用しないときは必ずエンジンスイッチのカバーを取り付けておいてください。エンジンスイッチのキー穴にほこりなどが入り故障の原因になるおそれがあります。

エンジンのかけ方

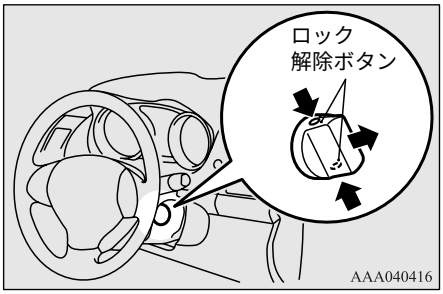
1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P. 5-3
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. CVT　車はセレクターレバーがⓅにあることを，ツインクラッチSST車はシフトレバーがⓅにあることを確認します。



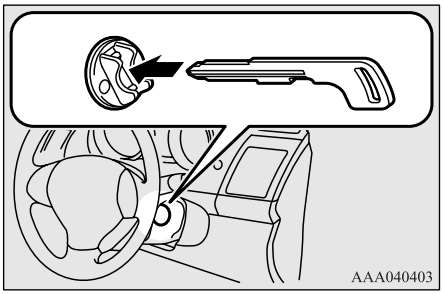
アドバイス

● CVT 車はセレクターレバーがⓅまたはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
ツインクラッチ SST 車はシフトレバーがⓅのとき，またはシフトレバーがⓃでブレーキペダルを踏んでいるとき以外はエンジンがかかりません。
安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。

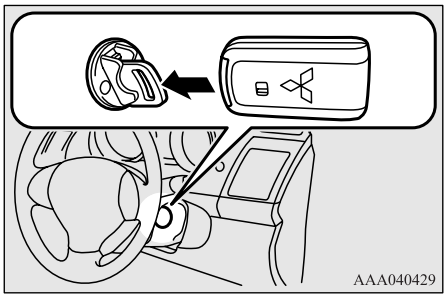
4. ロック解除ボタンを押しながらエンジンスイッチのカバーを取り外します。



5. エンジンスイッチにエマージェンシーキーを差し込みます。



6. エマージェンシーキーにキーレスオペレーションキーを差し込みます。

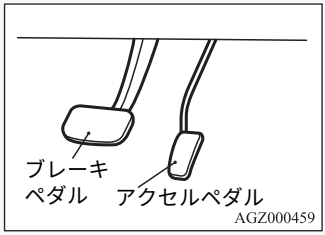


7. ブレーキペダルを右足で踏み，エンジンスイッチを押しながら START に回してエンジンをかけます。

8. エンジンがかかったら，キーレスオペレーションキーをエマージェンシーキーから取り外します。

⚠警告

- エンジンがかかった後は，必ずエマージェンシーキーからキーレスオペレーションキーを取り外してください。
  取り付けたままにしておくと，キーレスオペレーションキーが足元に落ち，ペダル操作を妨げるおそれがあります。
  また，運転席SRSニーエアバッグが膨らむ際，正常に膨らむのを妨げたり，キーレスオペレーションキーが飛ばされて重大な傷害を受けるおそれがあります。
- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。



アドバイス

- エマージェンシーキーにキーホルダーなどを取り付けていると，キーレスオペレーションキーをエマジェンシーキーに差し込めなくなり，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
  エマージェンシーキーを使用してエンジンをかけるときは，キーホルダーなどを取り外してから使用してください。
- エンジンをかけている途中でキーから手をはなしても，エンジン始動のために数秒間スターチングモーターが回り続けます。(除く，ターボ車)
- エンジンがかからないときはつぎの手順に従ってください。
  - アクセルペダルを踏み込んだままエンジンをかけてください。
  - エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。

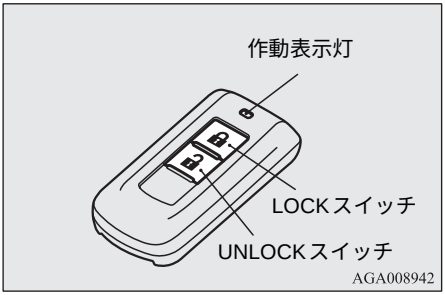
⚠注意

- アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくい場合でも，エンジンがかかった後はブレーキペダルを踏んでください。

◆ キーレスエントリー

J00408900193

キーレスオペレーションキーのスイッチですべてのドアおよびリヤハッチの施錠・解錠，およびドアミラー，パワーウインドウ，サンルーフを操作することができます。



ドアおよびリヤハッチの施錠・解錠

LOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびリヤハッチが施錠し，UNLOCK スイッチを押すとすべてのドアおよびリヤハッチが解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびリヤハッチを開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーのスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
  詳しくは「セキュリティーアラーム」をお読みください。→P. 4-33
- UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点灯はフロントルームランプのスイッチがDOOR位置に，またリヤルームランプ タイプ別装備 のスイッチが中間（●）の位置にあるときに限られます。

施錠時: 非常点滅灯が1回点滅
解錠時: ルームランプが約 15 秒点灯し，非常点滅灯が2回点滅

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみ，または解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を働かなくする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）の点滅回数を変更する。
  - キーレスエントリー操作時にブザーを鳴らす。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ドアミラーの格納・復帰

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチをさらに続けて2回押すとドアミラーが格納されます。UNLOCK スイッチを押して解錠した後，約 30 秒以内に UNLOCK スイッチをさらに続けて 2 回押すとドアミラーは元の位置に戻ります。

パワーウインドウの閉じ方

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチを再度約1秒以上押し続けるとすべてのドアガラスが閉まります。
途中で止めたいときは LOCK または UNLOCKスイッチを押します。

サンルーフの閉じ方

サンルーフ付き車

LOCK スイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチを再度約1秒以上押し続けるとサンルーフが閉まります。途中で止めることはできません。

アドバイス

- キーレスオペレーションキーのスイッチによるつぎの操作を変更することができます。
  - パワーウインドウとサンルーフの「閉じる」操作をできなくする。
  - パワーウインドウの「開ける」機能を追加する。
  - ドアミラーの格納・復帰をドアおよびリヤハッチの施錠・解錠と連動させる。
  - ドアミラー，パワーウインドウおよびサンルーフの操作をできなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。
- キーレスオペレーションキーのスイッチによる操作は車から約 1m 以内で作動します。
  近くにTV塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。
- つぎのようなときはキーレスオペレーションキーは作動しません。
  - エンジンスイッチにエマージェンシーキーが差してあるとき
  - ドア，リヤハッチが開いている，または半ドアのとき
- キーレスオペレーションキーを紛失したときや，新しいキーレスオペレーションキーを作りたいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。最大4個まで作ることができます。
- つぎのときは電池の消耗が考えられます。三菱自動車販売会社で電池を交換してください。
  - 正しい距離でリモコンスイッチを押しても施錠・解錠しないとき
  - 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

ドア

J00400400453

⚠警告

- 車から離れるときは，火災や盗難などを未然に防ぐため，必ずエンジンを止めドアを施錠してください。
  法的にも義務づけられています。
  お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  また車内に貴重品を置いたままにしないでください。
- 走行する前にすべてのドアが確実に閉まっていることを確認してください。
  半ドアのときは，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に半ドア警告が表示されます。
  確実に閉まっていないと，走行中にドアが開いて乗員が車外に放り出されるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは，キー閉じ込め防止のため，運転席ドアのキーまたはロックノブを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。

車外から施錠・解錠するときは

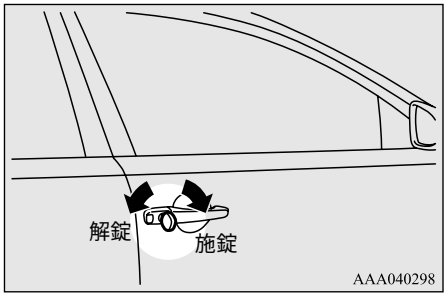
J00404400611

◆ キーを使って施錠・解錠するときは（運転席ドア）

キーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

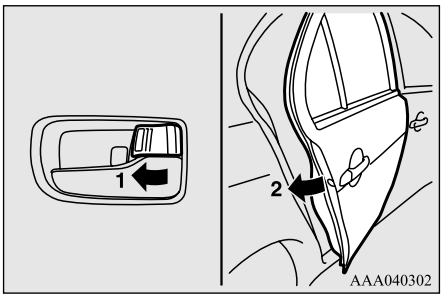
アドバイス

- キーレスオペレーションシステム付き車は，エマージェンシーキーを使って施錠・解錠をすることができます。
  →「エマージェンシーキー」P. 4-19



◆ キーを使わずに施錠するときは（助手席，後席ドア）

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒し，
2. ドアを閉じます。

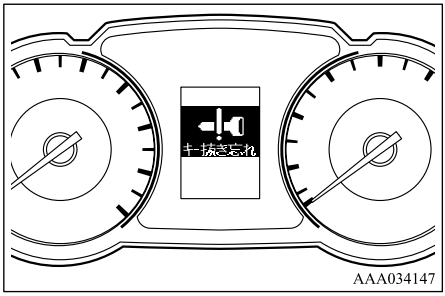


◆ キー抜き忘れ防止機構

J00404500380

キーを使ってエンジンをかけているとき

エンジンスイッチを切り，キーを差したまま運転席ドアを開くとキー抜き忘れ警告ブザーが断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に「キー抜き忘れ」が表示されます。

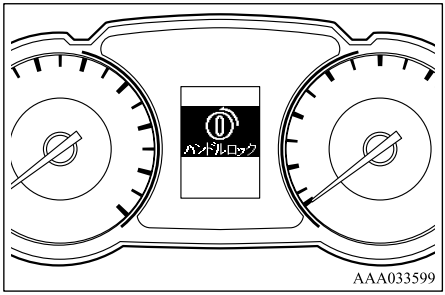


◆ エンジンスイッチ戻し忘れ防止機構

J00408700146

キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているとき

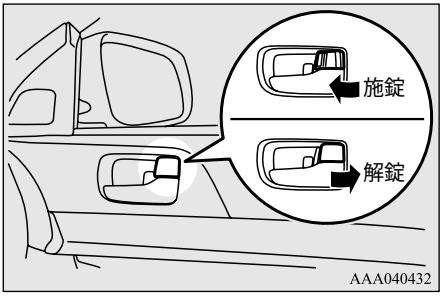
エンジンを止めた後，エンジンスイッチが LOCK (PUSH OFF) 以外の位置にあるとき，運転席ドアを開くとエンジンスイッチ戻し忘れ警告ブザーが断続的に鳴り，エンジンスイッチの戻し忘れを知らせます。
また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に「ハンドルロック」が表示されます。



車内から施錠・解錠するときは

J00404600730

ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ戻すと解錠します。



◆ オーバーライド機構

運転席ドアはロックノブを車両前方に倒したままでも，室内側のドアハンドルを引くとドアを開けることができます。
また，同時にすべてのドアおよびリヤハッチが解錠されます。

センタードアロック

J00400500874

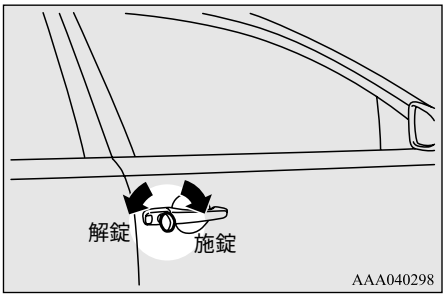
つぎの操作ですべてのドアおよびリヤハッチの施錠・解錠ができます。

アドバイス

- 運転席のドアが開いているときは，キー閉じ込め防止のため，運転席ドアのロックノブまたはキーを使って施錠しようとしても運転席のドアは施錠できません。
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

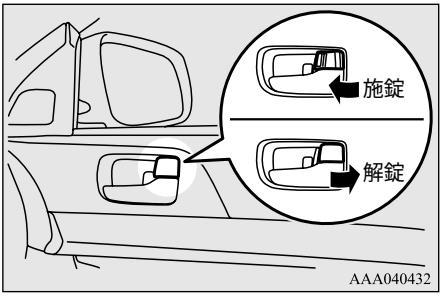
キーを使って施錠・解錠するときは

運転席ドアのキーを車両前方に回すとすべてのドアおよびリヤハッチが施錠し，車両後方に回すとすべてのドアおよびリヤハッチが解錠します。



ロックノブを使って施錠・解錠するときは

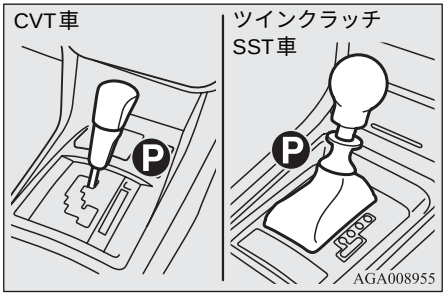
運転席ドア内側のロックノブを車両前方へ倒すとすべてのドアおよびリヤハッチが施錠し，車両後方へ倒すとすべてのドアおよびリヤハッチが解錠します。



セレクターレバー（CVT車）またはシフトレバー（ツインクラッチ SST 車）を使って解錠するときは

エンジンスイッチが ON のとき，CVT 車はセレクターレバーを Ⓟ に，ツインクラッチSST車はシフトレバーを Ⓟ に入れるとすべてのドアおよびリヤハッチが解錠します。

工場出荷時は「解錠しない」に設定されています。「解錠する」に変更したいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。



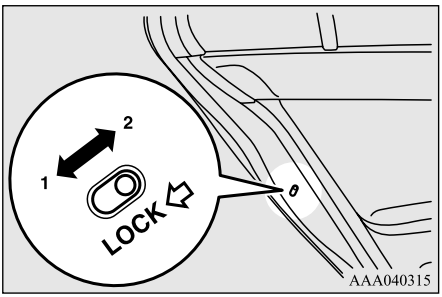
アドバイス

- パワーウインドウのロックスイッチをONにすると，CVT車はセレクターレバーを Ⓟ に，ツインクラッチSST車はシフトレバーを Ⓟ に入れても解錠できないようにすることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

チャイルドプロテクション（後席ドア安全施錠装置）

J00400600312

レバーを施錠側 (1) にしてドアを閉めると，ドアのロックノブの位置に関係なく，車内からはドアが開けられなくなります。
お子さまを乗せるときにご使用ください。



1- 施錠
2- 解錠

ドアを開けるときは車外のドアハンドルで開けます。

アドバイス

- 万一の場合など車内からドアを開けたいときは，ドアのロックノブを解錠状態にしてドアガラスを下げ，窓から手を出して車外のドアハンドルを引いてください。

リヤハッチ

J00414100015

⚠警告

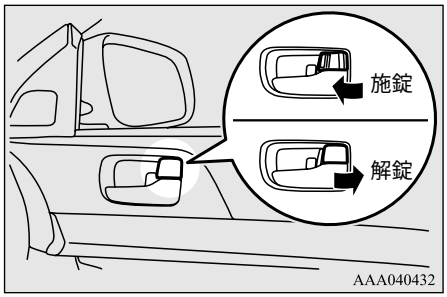
- ラゲッジコンパートメントは人が乗る構造になっておりません。お子さまを乗せたり，遊ばせたりしないでください。万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行前に必ずリヤハッチが確実に閉じていることを確認してください。
  開けたまま走行すると，車内に排気ガスが侵入し，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- リヤハッチを開閉するときは，まわりに人がいないことを確認し，頭をぶつけたり，手や首などをはさまないように注意してください。

⚠注意

- ラゲッジコンパートメントの荷物を出し入れするときは，排気管の後方に立たないでください。
  排気熱によりやけどをするおそれがあります。

施錠・解錠するときは

運転席ドア内側のロックノブを車両前方へ倒すとリヤハッチおよびすべてのドアが施錠し，車両後方へ倒すとリヤハッチおよびすべてのドアが解錠します。

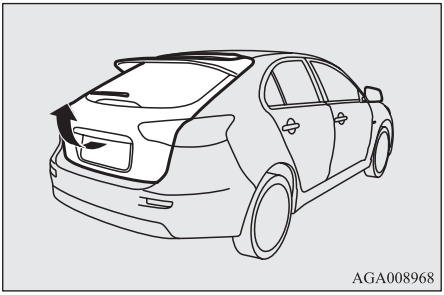


アドバイス

- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いてセンタードアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

車外から開けるときは

解錠後，ハンドルを引きながら持ち上げます。



⚠注意

- リヤハッチを開けるときは，まわりに人がいないことを確認してください。

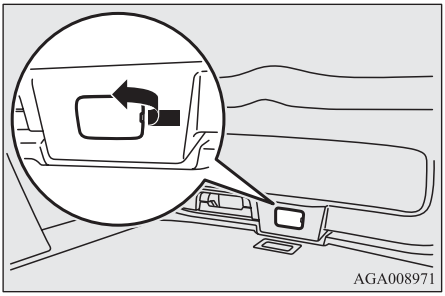
アドバイス

- ハンドルを引いた後すぐに開けないと，リヤハッチは持ち上がりません。
  その場合はもう一度ハンドルを引きながらリヤハッチを持ち上げます。
- バッテリーが上がったり，または外しているときは，リヤハッチを開けることはできません。

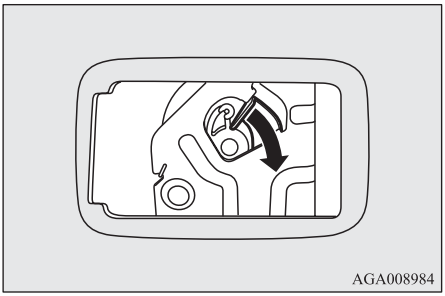
車内から開けるときは

車内からもリヤハッチを開けることができます。
バッテリー上がりなどで車外から開けられなくなったときにご使用ください。

1. 車内からインサイドリリースレバーのカバーを外します。



2. インサイドリリースレバーを矢印の方向に下げます。



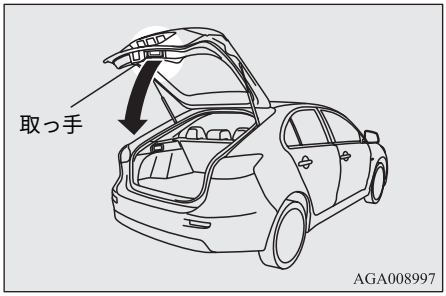
3. リヤハッチを押しながら開けます。

⚠注意

- 通常はインサイドリリースレバーのカバーは閉じておいてください。カバーが開いたままだと荷物などがレバーに当たり，リヤハッチが開いて思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

リヤハッチの取っ手に手をかけてリヤハッチを途中まで引き下げた後，取っ手から手を離してリヤハッチを軽く押しつけます。

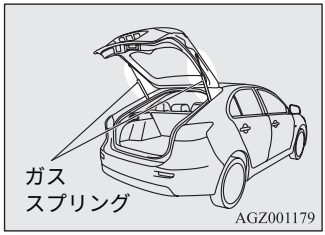


⚠注意

- リヤハッチの取っ手に手をかけたまま直接リヤハッチを閉じないでください。手や腕をはさみ，けがをするおそれがあります。
- リヤハッチを閉じた後は，必ずリヤハッチが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

● リヤハッチを支えるためのガススプリングがつぎの位置についています。



損傷や作動不良を防止するため，つぎのことをお守りください。
- ガススプリングに手をかけてリヤハッチを閉めたり，押したり引いたりしないでください。
- ビニール片，テープなどがガススプリングに付着しないようにしてください。
- ひもなどをガススプリングに巻き付けないでください。
- ガススプリングに物をかけないでください。

セキュリティーアラーム

J00401200780

セキュリティーアラームは，車両内への不正侵入防止のため，キーレスエントリーまたは，キーレスオペレーション機能で解錠せずにドアやリヤハッチを開けたとき，またはエンジンフードを開けたときに警報を作動させ，周囲に異常を知らせるシステムです。キーレスエントリー，またはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）ドアおよびリヤハッチを施錠したときは，このシステムは働きません。

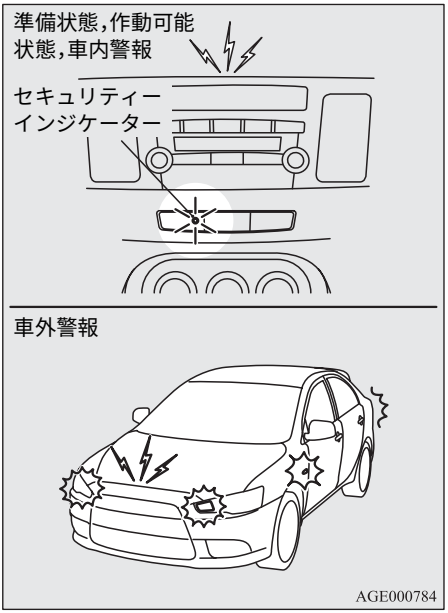
工場出荷時は,セキュリティーアラームが「作動しない」に設定されています。設定を変更するときは「システム作動の設定変更のしかた」の手順にしたがって操作してください。→P. 4-35
また,三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)付き車は,画面の操作で設定を変更することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

● 三菱自動車純正部品以外の部品を装着すると，セキュリティーアラームに影響をおよぼすおそれがあります。

システムの基本状態

セキュリティーアラームには準備状態，作動可能状態，警報作動，作動解除の4つの状態があります。
それぞれの状態に応じて，ブザー，セキュリティーインジケーター，非常点滅灯またはホーンがつぎの通り作動します。



◆ 準備状態:約20秒間

（ブザーが断続的に鳴り，セキュリティーインジケーターが点滅する）

キーレスエントリーの LOCK スイッチを押す，またはキーレスオペレーション機能ですべてのドアおよびリヤハッチを施錠した後，システム作動可能状態になるまでの準備時間です。
車内に荷物を忘れたり，ドアガラスを閉め忘れたのに気がついて，一時的にキーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能を使わずにドアを開けたときに警報しないよう，この状態を設定しています。

◆ 作動可能状態

（ブザーは停止し，セキュリティーインジケーターがゆっくりと点滅し続ける）

システム準備状態が過ぎると，システム作動可能状態になります。
このとき，キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）解錠し，いずれかのドア，リヤハッチまたはエンジンフードを開けると警報が作動し，周囲に異常を知らせます。

◆ 警報作動

車内警報の後，車外警報が作動します。

車内警報（約10秒間）:
ブザーが鳴り，車内に異常を知らせます。
車外警報（約30秒間）:
非常点滅灯が点滅し，ホーンが鳴り，周囲に異常を知らせます。

→「警報作動」P. 4-40

◆ 作動解除

システム準備状態，システム作動可能状態のときにシステムの作動を解除することができます。
また，警報が作動しているときも警報作動を解除することができます。
→「システム作動の解除のしかた」P. 4-39
→「警報作動の解除のしかた」P. 4-41

アドバイス

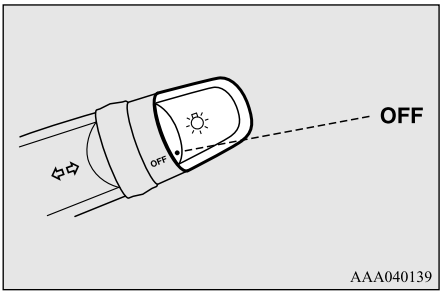
- 他の人にお車を貸されるときや，セキュリティーアラームの作動について知らない人が運転されるときは，セキュリティーアラームについて十分ご説明いただくか，セキュリティーアラームを「作動しない」に設定してください。セキュリティーアラームについて知らない人が誤って解錠すると，警報が作動し，周囲への迷惑となります。

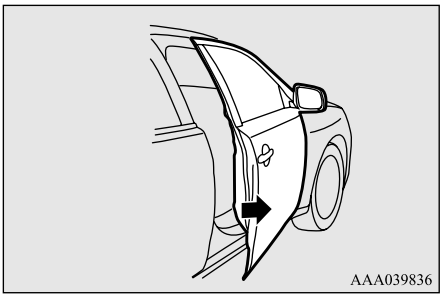
システム作動の設定変更のしかた

J00402700841

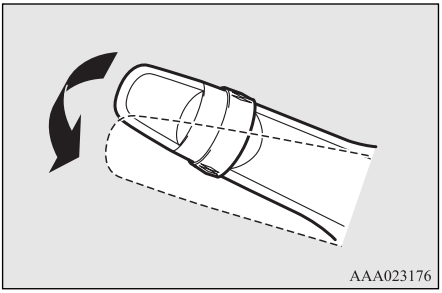
警報作動の設定状態を選択することができます。つぎの手順にしたがって設定を変更してください。

1. エンジンスイッチを LOCK にします。さらに，キーを使ってエンジンをかけているときは，エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. ライトスイッチをOFF位置にして，運転席ドアを開いたままにします。





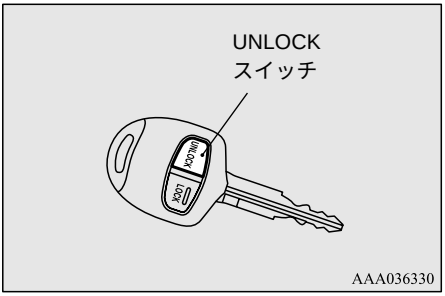
3. フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたまま保持します。
（エンジンスイッチが LOCK にあるため，ウォッシャー液は出ません。）



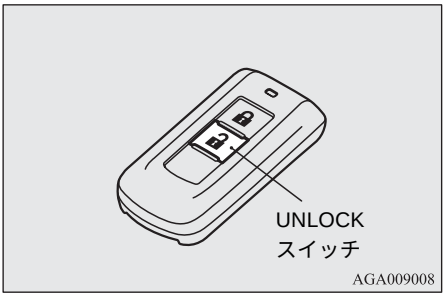
4. 約 10 秒経過するとブザーが鳴りますが，フロントワイパー・ウォッシャースイッチは手前に引いたまま保持してください。
（フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離すと，設定変更モードが無効になります。
やり直すときは手順3.からもう一度操作してください。）

5. ブザーが鳴り止んだら，フロントワイパー・ウォッシャースイッチを手前に引いたままキーレスエントリーの UNLOCK スイッチを押してセキュリティーアラームの設定状態を選択します。
設定状態は UNLOCK スイッチを押すごとに切り換わり，ブザーの回数によって確認できます。

除く，キーレスオペレーションシステム付き車



キーレスオペレーションシステム付き車



ブザーの回数	セキュリティーアラームの設定状態
1回	警報作動しない
2回	ホーンと非常点滅灯で警報作動する

6. つぎのいずれかの操作でシステム設定変更モードが終了します。
   - フロントワイパー・ウォッシャースイッチを離す
   - 運転席ドアを閉じる
   - エンジンスイッチにキーを差す
   - ライトスイッチを OFF 位置以外にする
   - 設定を変更しないまま約30秒経過する
   - エンジンスイッチを LOCK (PUSH ON)位置に押す
     (キーレスオペレーションシステム付き車)

アドバイス

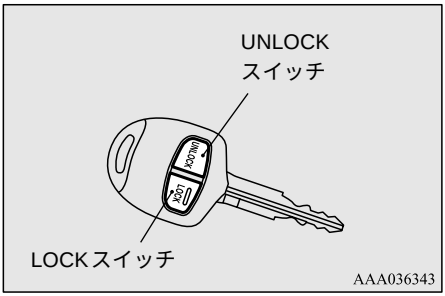
- セキュリティーアラームの設定変更がわかりにくいときは三菱自動車販売会社にご相談ください。
- セキュリティーアラームを「作動する」に設定した場合も，万一のため，車を離れるときは車内に貴重品を置いたままにしないでください。

システム作動のセットのしかた

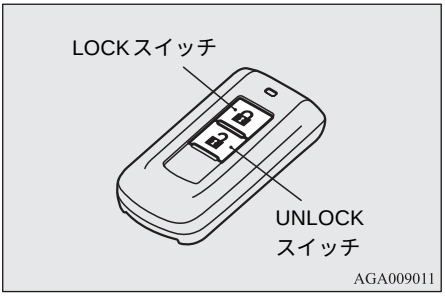
J00402800712

あらかじめセキュリティーアラームを「作動する」に設定した後，つぎの手順でシステム作動可能状態にセットします。

除く，キーレスオペレーションシステム付き車

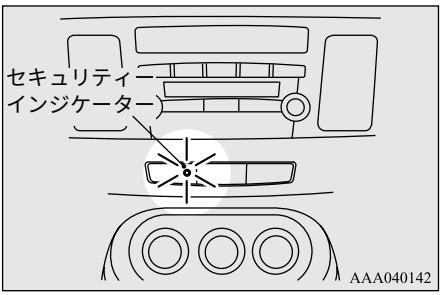


キーレスオペレーションシステム付き車



1. エンジンスイッチをLOCKにします。さらに，キーを使ってエンジンをかけているときは，エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. 車両から出てすべてのドア，リヤハッチおよびエンジンフードを閉じます。

3. キーレスエントリーのLOCKスイッチを押す，またはキーレスオペレーション機能ですべてのドアおよびリヤハッチを施錠します。
   キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能による施錠操作で，システム準備状態になります。このとき確認のためのブザーが断続的に鳴り，オーディオパネル内のセキュリティーインジケーターが点滅します。



アドバイス

- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）すべてのドアおよびリヤハッチを施錠したときは，システム準備状態になりません。
- エンジンフードが開いているときは，セキュリティーインジケーターが点灯し，システム作動可能状態になりません。
  エンジンフードを閉めるとシステム準備状態になり，約20秒後にシステム作動可能状態になります。

4. 約20秒後，ブザーが止まり，セキュリティーインジケーターの点滅速度が遅くなり始めたらシステム作動可能状態です。システム作動可能状態中は，セキュリティーインジケーターは点滅し続けます。

アドバイス

- 車内に人が乗っている状態，またはドアガラスが開いた状態でもセキュリティーアラームは作動します。警報の思わぬ作動を防ぐため，車内に人が乗っている状態ではシステム作動可能状態にしないでください。
- システム作動可能状態中は，キーレスエントリーまたはキーレスオペレーション機能以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）解錠してドアまたはリヤハッチを開けてもルームランプは点灯しません。

システム作動の解除のしかた

J00402900478

システム準備状態またはシステム作動可能状態のときに，つぎの方法でシステム作動を解除することができます。

- キーレスエントリーの UNLOCK スイッチを押す
- エンジンスイッチをONまたはACCにする
- システム準備状態のとき，いずれかのドア，リヤハッチを開けるか，エンジンスイッチにキーを差し込む
- キーレスオペレーションキーを携帯し，ドアまたはリヤハッチのハンドル操作で解錠する（キーレスオペレーションシステム付き車）

アドバイス

- システム準備状態のときにエンジンフードを開けるとシステム準備状態が中断し，エンジンフードを閉めるとシステム準備状態に戻ります。
- システム準備状態のときにバッテリー端子を外すと記憶は消去されます。
- キーレスエントリーのリモコンスイッチは8個まで,キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチは 4 個まで登録できます。
  登録済みのリモコンスイッチであれば，セットしたリモコンスイッチと別のリモコンスイッチを使ってもシステムを解除することができます。
  リモコンスイッチの追加登録については三菱自動車販売会社にお問い合わせください。
- キーレスエントリーの作動距離は約 1mです。正しい距離でスイッチを押しても施錠，解錠およびセキュリティーアラームのセット，解除ができないときには電池の消耗が考えられます。三菱自動車販売会社で電池を交換してください。
- UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドアおよびリヤハッチを開けなければ自動的に施錠されます。このときもシステム準備状態になります。
  UNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

警報作動

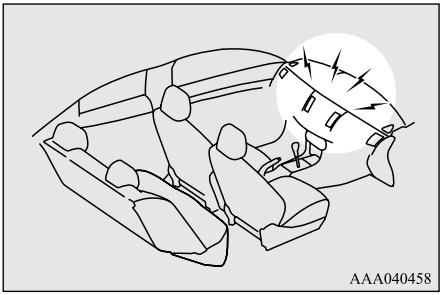
J00403000740

システム作動可能状態のときに，キーレスエントリーの操作またはキーレスオペレーション機能で解錠せずに，いずれかのドア，リヤハッチまたはエンジンフードを開けるとつぎのように警報作動します。

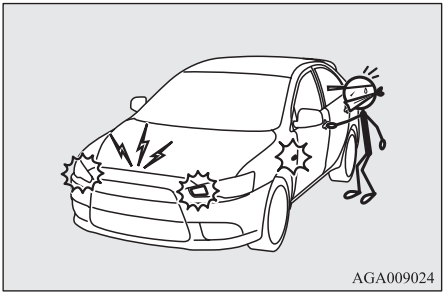
1. 約10秒間ブザーが断続的に鳴ります。（車内警報）

アドバイス

- 作動可能状態中にエンジンフードを開けると車内警報は作動せず，すぐに車外警報が作動します。
- 車内警報の時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。



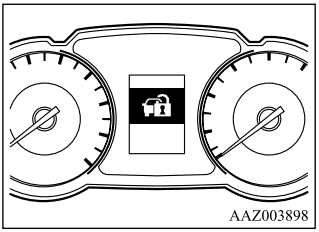
2. 車内警報の後，設定した車外警報が約30秒間作動します。
   非常点滅灯が点滅し，ホーンが断続的に鳴ります。



3. 警報が停止した後もドア，リヤハッチまたはエンジンフードを開くと車外警報が再び作動します。

アドバイス

- 警報作動中はマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に表示されます。



- 警報作動中はルームランプは点灯しません。

警報作動の解除のしかた

J00403100448

つぎの方法で警報作動を止めることができます。

- キーレスエントリーの LOCK または UNLOCK スイッチを押す
  〔LOCKスイッチを押したとき,すべてのドアおよびリヤハッチが閉じていれば施錠し，再びシステム準備状態になります〕
- エンジンスイッチをONまたはACCにする
- キーレスオペレーションキーを携帯し，つぎの操作でドアおよびリヤハッチを施錠または解錠する（キーレスオペレーションシステム付き車）
  - ドアまたはリヤハッチの LOCK スイッチを押して施錠する
  - ドアまたはリヤハッチのハンドル操作で解錠する

アドバイス

- 車内警報中にドアまたはリヤハッチを閉じても警報作動は解除されません。
- エンジンスイッチを ON にしたときブザーが 4 回鳴り，セキュリティーインジケーターが4回点滅したときは,駐車中に警報が作動したことを示しています。盗難にあっていないかお車の中を確認してください。
- バッテリーを外しても警報作動の記憶は消去されません。
  一時的にバッテリーを外して警報作動しないようにしても，バッテリーを再び接続するとすぐに警報し，周囲に異常を知らせます。

パワーウインドウ

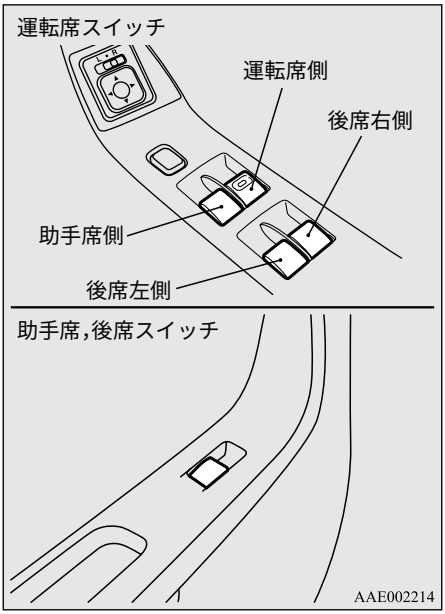
J00401500682

⚠警告

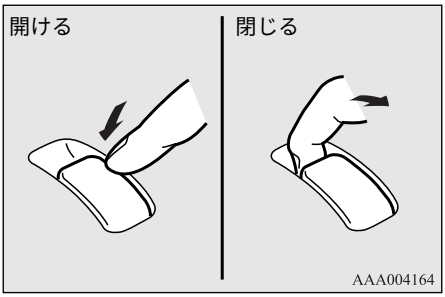
- パワーウインドウを閉じるときは，安全のため同乗者が窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 安全のためパワーウインドウの操作はお子さまではなく大人が行ってください。車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  車内にキーを残したままにしておくと，お子さまがいたずらをして手や首をはさむおそれがあります。

アドバイス

- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチでもパワーウインドウを閉じることができます。
  →「キーレスエントリー」P. 4-4
  →「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」P. 4-24
- キーレスオペレーションシステム付き車は,ドアまたはリヤハッチのLOCKスイッチでもパワーウインドウを閉じることができます。
  →「キーレスオペレーションシステム：キーレスオペレーション機能を使って操作するときは」P. 4-10



エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。



スイッチを強く押したり，強く引き上げると自動的に全開，全閉します。
途中で止めたいときはスイッチを軽く操作します。

アドバイス

- 運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。

タイマー機構

J00405200515

エンジンスイッチをACCもしくはLOCKにした後でも約30秒間はドアガラスを開閉することができます。この時間内に運転席ドアを開けるとさらに約30秒間ドアガラスを開閉できます。ただし，一旦運転席ドアを閉めるとドアガラスの開閉はできなくなります。

アドバイス

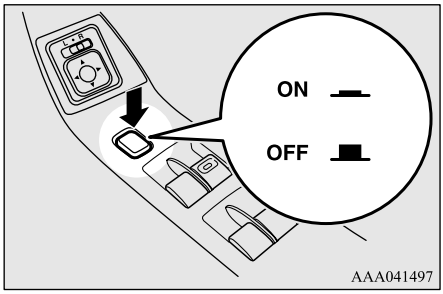
- つぎの機能を変更することができます。
  - タイマー時間を調整する
  - タイマー機能をなくす

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ロックスイッチ

J00404300519

お子さまを乗せるときはロックスイッチをONにしてください。
助手席，後席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
解除するときはもう一度押します。



アドバイス

- ロックスイッチが ON でも運転席スイッチでは全席のドアガラスを開閉することができます。
- ロックスイッチが ON のとき，運転席スイッチでも助手席，後席のドアガラスを開閉できないようにすることができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

セーフティー機構

J00403200104

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にドアガラスが少し下がります。
ドアガラスが下がった後，再度スイッチを引き上げるとドアガラスを閉めることができます。

⚠注意

- ドアガラスを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。

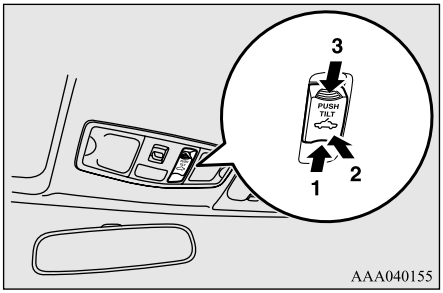
アドバイス

- 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- 3 回以上連続してセーフティー機構が働いたときは，セーフティー機構が解除され，ドアガラスが正常に閉まらなくなります。
  つぎの方法でドアガラスを処置してください。
  ドアガラスが開いているときは，パワーウインドウスイッチを繰り返し引き上げて，ドアガラスを一度全閉します。全閉後，いったんスイッチから手を離し，再度約 1 秒間スイッチを引き上げてください。これにより，元通りドアガラスの開閉操作ができるようになります。

サンルーフ

タイプ別装備

J00401800337



開けるときは

エンジンスイッチがONのとき，スイッチを(1)の方向に押すと自動的に開きます。途中で止めたいときは，スイッチを(2)の方向に押すか，または(3)の方向に押します。

アドバイス

- サンルーフは全開の手前で一時停止します。
  再度スイッチを押すと完全に開きます。

閉めるときは

エンジンスイッチがONのとき，スイッチを(3)の方向に押すと全閉します。
途中で止めたいときは，スイッチを(2)の方向に押すか，または(1)の方向に押します。

アドバイス

- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチでもサンルーフを閉じることができます。
  →「キーレスエントリー」P. 4-4
  →「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」P. 4-24

アドバイス

- キーレスオペレーションシステム付き車は，ドアまたはリヤハッチのLOCKスイッチでもサンルーフを閉じることができます。
  →「キーレスオペレーションシステム：キーレスオペレーション機能を使って操作するときは」P. 4-10

チルトアップするときは（サンルーフの後端を上げる）

エンジンスイッチがONのとき，スイッチを(2)の方向に押すとサンルーフの後端が上がります。（チルトアップ）
スイッチを(3)の方向に押すとサンルーフが閉じます。（チルトダウン）

タイマー機構

J00408600044

エンジンスイッチをACCもしくはLOCKにした後でも約30秒間はサンルーフを開閉することができます。
この時間内に運転席ドアを開けるとさらに約 30 秒間サンルーフを開閉できます。ただし，いったん運転席ドアを閉めるとサンルーフの開閉はできなくなります。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  • タイマー時間を調整する
  • タイマー機能をなくす
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

セーフティー機構

J00403500253

万一，手や首などをはさんだ場合は安全のため自動的にサンルーフが数 cm 開きます。サンルーフが開いた後スイッチでサンルーフを閉めることができます。
5 回以上連続してセーフティー機構が働いたときは，サンルーフが正常に閉まらなくなります。つぎの方法でサンルーフを処置してください。

1. スイッチを (2) の方向に繰り返し押してサンルーフをチルトアップにします。
2. チルトアップでスイッチを (2) の方向に約3秒以上押し続けます。
3. スイッチを (1) の方向に押して全開にした後，スイッチを (3) の方向に押してサンルーフを全閉にします。

アドバイス

- 環境や走行条件により，手や首などをはさんだときと同じ衝撃が加わると，セーフティー機構が働くことがあります。
- 全開，全閉の操作の途中でサンルーフを止めないでください。
  途中で止めた場合，もう一度“1”からの手順で操作をしてください。

4. これにより，元通りにサンルーフの開閉操作ができるようになります。

⚠警告

- サンルーフを閉じるときは，安全のため同乗者がサンルーフから手や顔を出していないことを確認してください。
- 安全のためサンルーフの操作はお子さまではなく大人が行ってください。
  車を離れるときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
  車内にキーを残したままにしておくと，お子さまがいたずらをして手や首などをはさむおそれがあります。
- 走行中はサンルーフ開口部から手や顔，荷物などを絶対に出さないでください。

⚠注意

- サンルーフを確実に閉めるため，閉め切り直前ではセーフティー機構が働かないようになっています。指などをはさまないように注意してください。

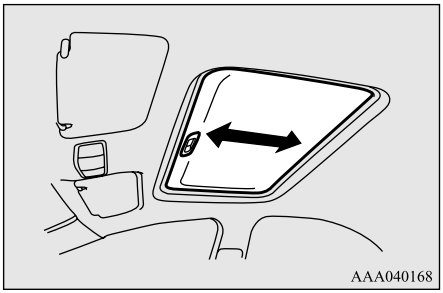
アドバイス

- サンルーフを自動で開けると，全開前にいったん作動を停止します。
  この位置で走行すると全開状態に比べて風切音が小さくなります。
- 降雪時，厳寒時は凍結することがありますので開閉操作は行わないでください。故障の原因となります。
- サンルーフやルーフ開口部の縁に腰をかけたり荷物を乗せるなどの大きな力を加えないでください。サンルーフが破損するおそれがあります。
- サンルーフが全開または全閉した後はスイッチを押し続けないでください。
- サンルーフスイッチを押してもサンルーフが動かないときは，すぐにスイッチから手を離しサンルーフに何かはさまれていないか確かめてください。何もはさまれていないのにサンルーフが動かないときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- スキーキャリアまたはルーフキャリアを装着しているとき，チルトアップすると種類によってはキャリアと当たる場合がありますので気をつけて操作してください。
- 車から離れるときや洗車時にはサンルーフが完全に閉じていることを確認してください。
- サンルーフ開口部周囲のウェザーストリップ（黒いゴム）にワックスが付くとサンルーフとの密着が悪くなります。ワックスがけを行うときは気をつけてください。
- 雨が降った後や洗車後に開けるときは，車内に水が入るおそれがありますのでサンルーフの水を拭き取ってください。
- エンジンをかけずに何度もサンルーフを開閉するとバッテリーが上がることがあります。なるべくエンジンがかかっているときに操作してください。

サンシェードを開閉するときは

J00403600153

手動で開閉することができます。



⚠注意

- 開閉するときは，指をはさまれないように注意してください。

アドバイス

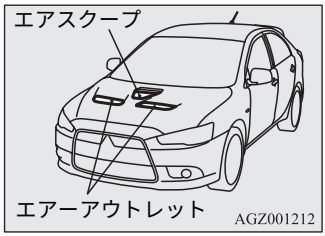
- サンシェードはサンルーフを開けるとき連動して開きます。
- サンシェードは必ずチルトダウンしてから閉めてください。
- サンルーフが開いているときに無理にサンシェードを閉めないでください。
  破損するおそれがあります。

エンジンフード（ボンネット）

J00402100731

⚠注意

● ターボ車は，やけどのおそれがあるため，エンジン回転中や走行直後にエンジンフードのエアーアウトレットやエアスクープに触らないでください。



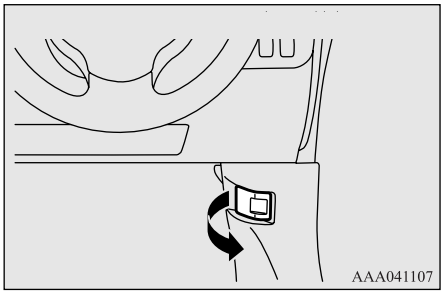
開けるときは

1. ワイパーアームが立っているときはワイパーアームを倒します。

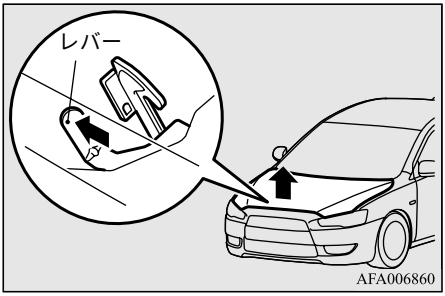
アドバイス

● ワイパーアームが立った状態でエンジンフードを開けるとエンジンフードに傷がつくおそれがあります。

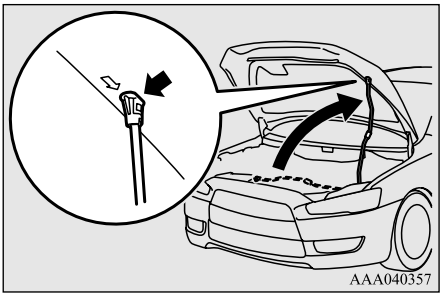
2. 計器盤右下にあるレバーを引くとエンジンフードが少し浮き上がります。



3. エンジンフードのすき間に手を入れ，前端中央部のレバーを左へ押しながらエンジンフードを持ち上げます。



4. 支持棒をエンジンフードの穴に差し込みエンジンフードを確実に固定します。

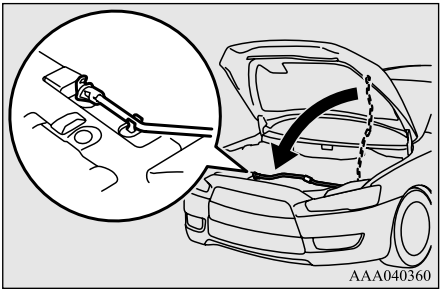


⚠注意

● 風の強いときにエンジンフードを開けていると，風にあおられて支持棒が外れることがあります。特に風の強いときはご注意ください。
● 支持棒は必ず所定の穴に差し込んでください。所定以外の箇所に掛けると支持棒が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

1. エンジンフードを支えながら支持棒を穴から外してクリップに固定します。



2. エンジンフードを少し持ち上げた位置（約30cm）から離します。

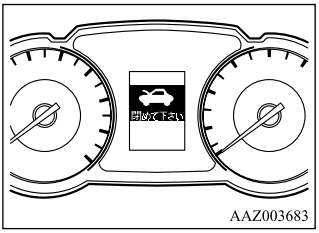
⚠注意

- 手や物をはさまないように注意してください。

3. エンジンフードが完全に閉じていることを確認します。

⚠注意

- 走行前に必ずエンジンフードが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないまま走行するとエンジンフードが開くおそれがあります。
- エンジンフードが開いたまま走行するとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に「閉めて下さい」が表示されます。

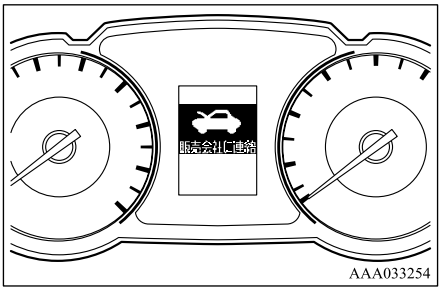


アドバイス

- エンジンフードを手で強く押しつけないでください。力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

エンジンフード警告表示

エンジンフードに異常があるときは「販売会社に連絡」が表示されます。
三菱自動車販売会社にご連絡ください。



フューエルリッド（燃料補給口）

J00402300515

フューエルリッド（燃料補給口）は車両の左側後方にあります。

⚠警告

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- フューエルキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

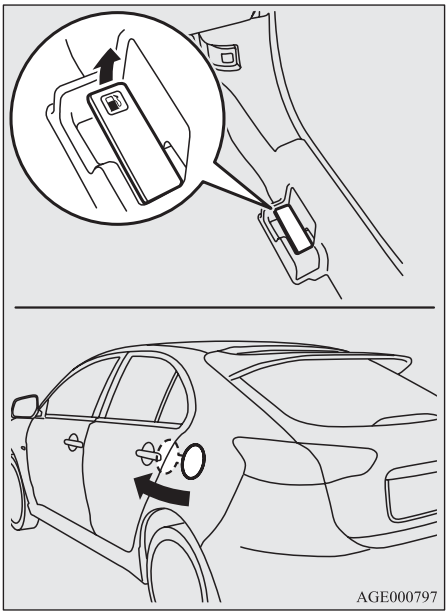
アドバイス

- 燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。
  →「燃料は指定されたものを補給」P. 2-3
  →「メンテナンスデータ:燃料の量と種類」P. 14-2

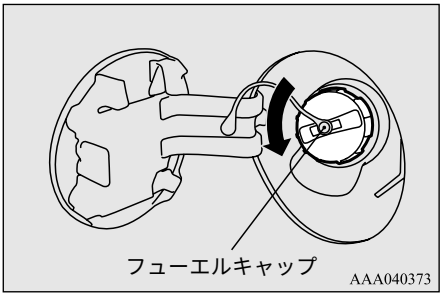
開けるときは

J00405000526

1. 運転席右下のレバーを引き上げてリッド（補給口）を開けます。



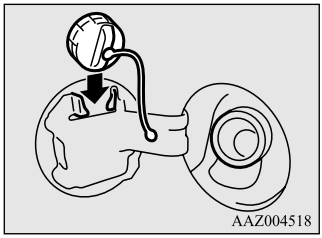
2. フューエルキャップのつまみを持ち，ゆっくり左に回して外します。



4

アドバイス

● フューエルキャップをリッドの裏側に置くことができます。



⚠警告

● 急激にフューエルキャップを回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
● フューエルキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルキャップをゆっくり回してください。

閉めるときは

J00405100149

1. フューエルキャップをカチッカチッと音がするまで右に回して閉めます。

⚠警告

● フューエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料がもれ，火災になるおそれがあります。

2. フューエルリッドを手で軽く押して閉めます。

安全装備

シート
- シート 5- 2
- シート調整 5- 3
- フロントシート 5- 3
- リヤシート 5- 5
- ヘッドレスト 5- 5
- 荷室の作り方 5- 6

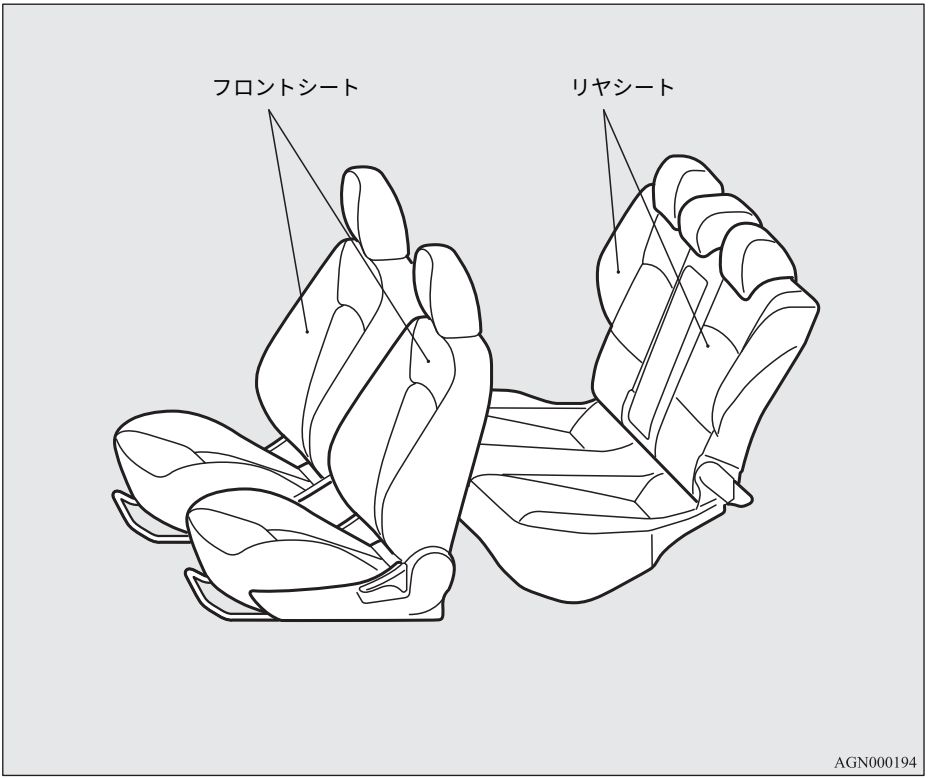
シートベルト
- シートベルト 5- 8
- プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト . . . 5- 12

チャイルドシート
- チャイルドシート 5- 13

SRSエアバック
- SRSエアバッグ 5- 21

シート

J00509900869



フロントシート

- 前後調整P. 5-4
- 背もたれの角度調整P. 5-4
- 上下調整（運転席）P. 5-4

リヤシート

- アームレスト（ひじ掛け）P. 5-5

シート調整

J00500200393

シート各部の調整は走行前に行ってください。

⚠警告

- シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの調整をした後は，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。

フロントシート

J00500300613

正しい運転姿勢がとれるように，つぎの点に注意してシートを調整してください。

⚠警告

- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。
  正しい運転姿勢がとれないため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

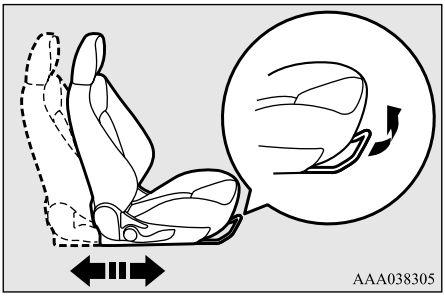
⚠注意

- 後方へシートを移動したり，背もたれを倒すときは乗員に注意してください。

前後調整

J00500400311

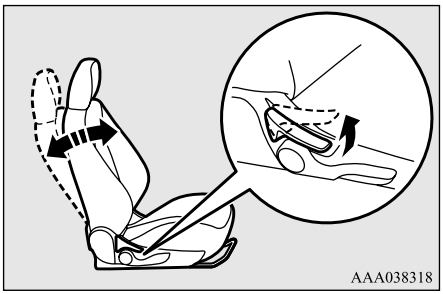
レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。



背もたれの角度調整

J00500500471

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。



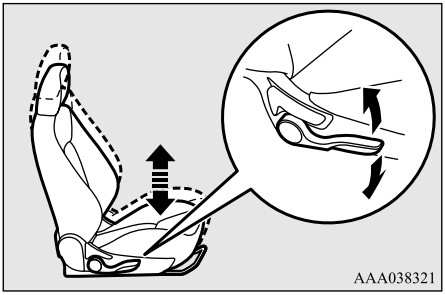
⚠注意

● レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。

上下調整（運転席）

J00500600531

レバーを繰り返し操作して調整します。



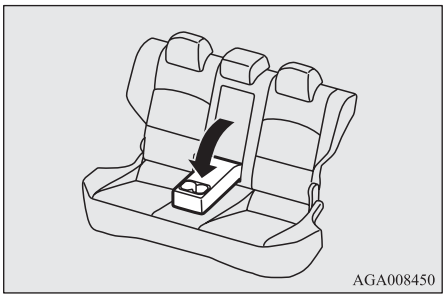
リヤシート

J00501400015

アームレスト（ひじ掛け）

J00501800165

手前に倒して使用します。
元に戻すときは，確実に固定するまで後ろに引き上げます。



アドバイス

- アームレストの上に乗ったり座ったりしないでください。アームレストが破損するおそれがあります。
- アームレストを倒すとカップホルダー（後席用）があります。
  →「カップホルダー」P. 8-12

ヘッドレスト

J00503400468

⚠警告

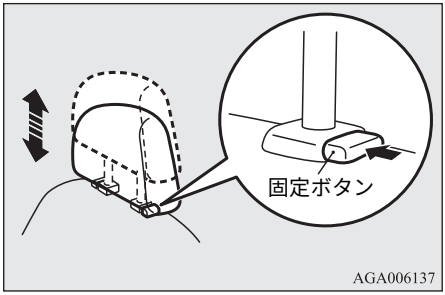
- ヘッドレストの固定できる高さを超えて使用しないでください。
  万一のとき安全確保に役立ちません。
- ヘッドレストを取り外したままで走行しないでください。走行前に必ず取り付けてください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

上下調整

J00532400066

ヘッドレストの中央部ができるだけ目の高さになるように調整します。
目の高さに届かない場合（特に背の高い人など）は，固定できる範囲で一番高い位置に調整してください。

上げるときはそのまま引き上げ，下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。



取り外すときは

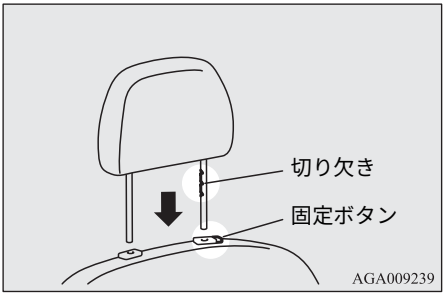
J00508900123

固定ボタンを押したまま，いっぱいに引き上げて取り外します。

取り付けるときは

J00509000277

切り欠きのあるヘッドレストステーが，固定ボタン側になるように取り付け，固定ボタンを押しながら差し込みます



⚠注意

- ヘッドレストを取り付けた後，固定ボタンがロックされていることを確認してください。

- シートによりヘッドレストの形状や大きさが異なります。取り付け位置や前後の向きを確認して間違えないように取り付けてください。

荷室の作り方

J00503500368

⚠警告

- シートの背もたれを倒したり，または元に戻したときは，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないと，重大な事故につながるおそれがあります。
- 走行中に荷室に人が乗ったり，お子さまを遊ばせないでください。
  急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また荷物は確実に固定してください。
  後方が確認できなくなったり，急ブレーキをかけたときなどに荷物が前方に飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを倒したり，または元に戻すときは，必ず大人が行ってください。
  お子さまが操作すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- シートを操作するときは，手足をはさまないように注意してください。けがをするおそれがあります。

アドバイス

- フロントシートの背もたれが後方に倒れているときは，通常の位置に戻してください。

リヤシートの背もたれの前倒し

J00511900071

リヤシートのロック解除ボタンまたは荷室のレバーにより，リヤシートの背もたれを倒すことができます。

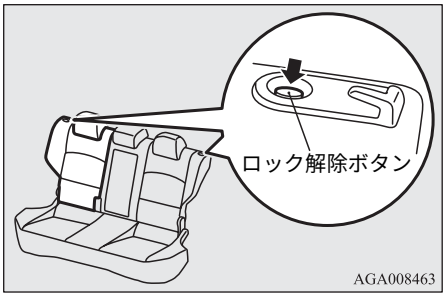
アドバイス

- 背もたれは片側ずつ操作できます。

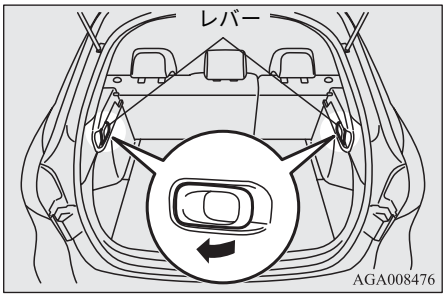
◆ 倒すときは

1. リヤシートのロック解除ボタン，または荷室のレバーを操作します。

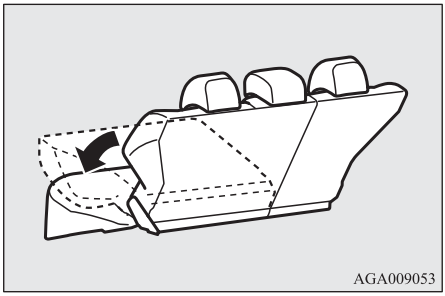
リヤシートのロック解除ボタン操作



荷室のレバー操作



2. 背もたれが前方に倒れます。



⚠警告

- 後方からシートの前倒しをするときは，リヤシートに人が乗っていないことを必ず確認してから大人が操作してください。背もたれが急に倒れ，背もたれとシートクッションにはさまれて，重大な傷害を受けるおそれがあります。
  後方からはリヤシートの状況が見えにくいため，特に小さなお子さまには注意してください。

⚠注意

- 排気管はエンジンを止めてもしばらくの間は高温になっていますので，さわらないように注意してください。

◆ 戻すときは

J00513200036

背もたれを確実にロックするまで起こします。
元に戻した後は，背もたれが確実に固定されていることおよびシートベルトが背もたれの前側を通っていることを確認します。

シートベルト

J00505100632

シートベルトは万一の場合，運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法，注意を守り，運転する前に必ず着用してください。

⚠警告

- 肩部ベルトは脇の下を通さないで，肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ベルトは1人用です。2人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず，車外に投げ出されたりして，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして，シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。→ P. 5-3
- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり，衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- 妊娠中の女性や疾患のある方も，万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし，局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので，医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。
  妊娠中の方は，腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し，腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり，金具部などが正常に動かなくなったときは，シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一，事故にあって，シートベルトに強い衝撃を受けた場合は，外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も三菱自動車販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- バックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り付け，取り外しをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。
- ベルトが汚れた場合は，中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白，染色は絶対にしないでください。
  シートベルトの性能が落ち，十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

3点式シートベルト

J00505200082

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

◆ 着用するときは

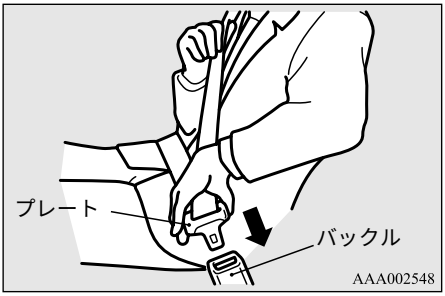
J00507800138

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス

- シートベルトがロックしたまま引き出せないときは，一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ，再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。

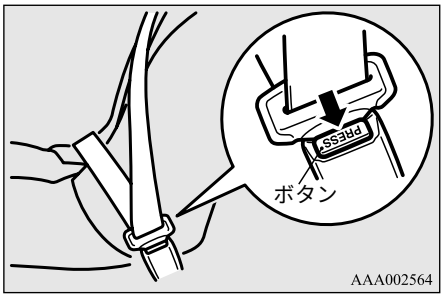


3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

◆外すときは

J00507900100

プレートを持ってバックルのボタンを押します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。



⚠警告

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  特にチャイルドシート固定機構付シートベルトの場合，ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，誤ってチャイルドシート固定機構が作動し，ベルトが引き出せずに窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，誤ってチャイルドシート固定機構を作動させてしまい，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

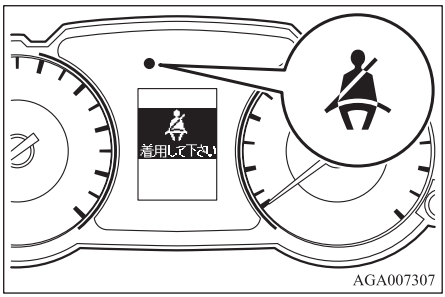
アドバイス

- チャイルドシート固定機構付シートベルトは，シートベルトを着用した状態で上体を大きく動かしたときに，シートベルトが引き出せなくなることがあります。これはチャイルドシート固定機構が作動しているためです。
  このときは，シートベルトをすべて巻き取らせてチャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。
  →「チャイルドシート固定機構付シートベルトでの取り付け方」P. 5-18

◆ シートベルト警告

J00509700489

運転席のシートベルトを着用しないままエンジンスイッチをONにすると，警告灯が点灯し，約6秒間ブザーが鳴ってシートベルトの着用を促します。
そのままシートベルトを着用せずに走行したとき，エンジンスイッチをONにしてから約 1 分が経過していると警告灯が点灯・点滅を繰り返し，ブザーが断続的に鳴ります。また，同時にマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも「着用して下さい」が表示されます。
警告灯／警告表示とブザーの警告は約90秒で止まります。
その後，シートベルトを着用しないまま停車・発進を繰り返すと，発進するたびに警告灯／警告表示とブザーによってシートベルトの着用を促します。また，走行中にシートベルトを外しても同じようにシートベルトの着用を促します。
シートベルトを着用すれば警告は止まります。

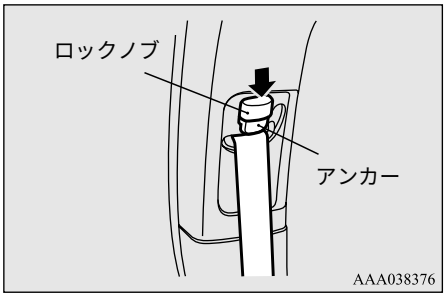


◆ ベルトが首，顔に当たるときは（アジャスタブルシートベルトアンカー）

J00508000313

フロントシート

肩部ベルトの高さを調整することができます。
ベルトが首，顔に当たったり，肩から外れて腕にかかってしまうときに調整してください。
上げるときはアンカーをそのまま押し上げ，下げるときはロックノブを押したままアンカーを下げます。
調整後はアンカーが固定されていることを確認します。



⚠警告

- アンカーを調整するときは，肩部ベルトが首に当たらず，肩の中央に十分かかるように調整してください。また，調整後はアンカーが確実に固定されていることを確認してください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮できず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト

J00505700696

プリテンショナー付シートベルトは，運転席および助手席に装備されています。

プリテンショナー機構

J00512800019

プリテンショナー機構は，エンジンスイッチが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに，シートベルトを瞬時に引き込み，シートベルトの効果をいっそう高める装置です。

⚠警告

- プリテンショナー付シートベルトの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - シートを正しい位置に調整してください。
    →「フロントシート」P. 5-3
  - シートベルトを正しく着用してください。
    →「シートベルト」P. 5-8
- プリテンショナー付シートベルトやフロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付けをする場合はプリテンショナー機構に影響をおよぼすおそれがありますので，三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

アドバイス

- プリテンショナー付シートベルトはシートベルトを装着していなくても，前方からの強い衝撃を受けると作動します。
- プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。
  三菱自動車販売会社で運転席，助手席側を同時に交換してください。

フォースリミッター機構

J00510100021

衝突時に，シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し，乗員への衝撃をやわらげる装置です。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告

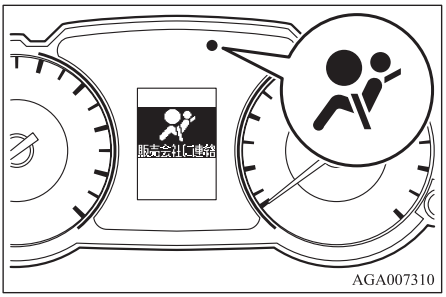
J00510000248

システムに異常があると警告灯が点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも「販売会社に連絡」が表示されます。

正常なとき警告灯はエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。

また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，警告灯は点灯したままとなります。

警告灯／警告表示は SRS エアバッグ警告とプリテンショナー機構警告を兼用しています。



⚠警告

- 警告灯および警告表示がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
  衝突したときなどにSRSエアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - エンジンスイッチをONにしても警告灯が点灯しない，または警告灯が点灯したまま
  - 走行中に警告灯が点灯する
  - 走行中に警告表示される

チャイルドシート

J00506000755

⚠警告

- シートベルトを着けたとき肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

⚠注意

- 後方へシートを移動したり背もたれを倒すときは，チャイルドシートに座ったお子さまに十分注意してください。
  お子さまがシートとチャイルドシートの間にはさまれるおそれがあります。

チャイルドシートには乳児用（ベビーシート），幼児用（チャイルドシート），学童用（ジュニアシート）の3種類があります。チャイルドシートはお子さまの体格によりお使いになれる種類が異なります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

ISO[*1] FIX対応チャイルドシート

J00506100424

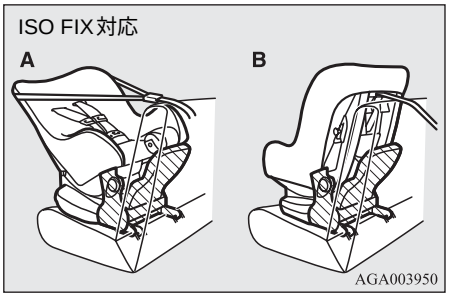
チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーが装備された座席専用のチャイルドシート[*2]です。専用バーおよびアンカーを使用してチャイルドシートを固定します。車両のシートベルトでチャイルドシートを固定する必要はありません。

[*1] ISOは International Standardization Organization（国際標準化機構）の略語です。

[*2] お客様のお車用として認可を受けたチャイルドシートのみ使用できます。

⚠警告

- お客様のお車用として認可を受けていないチャイルドシート（三菱自動車純正指定以外のものなど）を使用すると，チャイルドシートが適切に固定されずお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずお客様のお車専用のチャイルドシートを使用してください。



A- 乳児用として使うとき（後ろ向き取り付け）
B- 幼児用として使うとき（前向き取り付け）

ベース部（斜線部分）は，シートと別体となります。

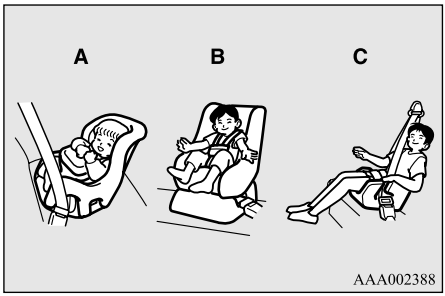
＜使用の目安＞

	体重 (kg)	身長 (cm)	参考年齢
乳児用として使うとき	9未満	70未満	新生児~9ヶ月
幼児用として使うとき	9~18未満	70~100	9ヶ月~4才

除く，ISO FIX対応チャイルドシート

J00506200353

車両のシートベルトを使用して固定するチャイルドシートです。シートの形状，サイズによっては固定できない場合があります。



A- 乳児用（ベビーシート）
B- 幼児用（チャイルドシート）
C- 学童用（ジュニアシート）

＜選択の目安＞

	体重 (kg)	身長 (cm)	参考年齢
乳児用（ベビーシート）	10未満	75以下	新生児~12ヶ月
幼児用（チャイルドシート）	18未満	105以下	4才以下
学童用（ジュニアシート）	15~36	100~135	4才~10才

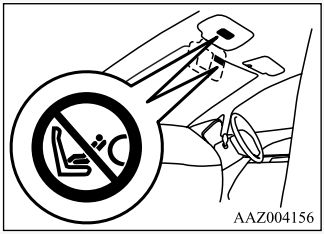
アドバイス

- 上記の表は体重・身長・年齢の目安を示しています。各製品により使用条件が異なりますので，必ず確認してください。

⚠警告

● 助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

● 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。



⚠警告

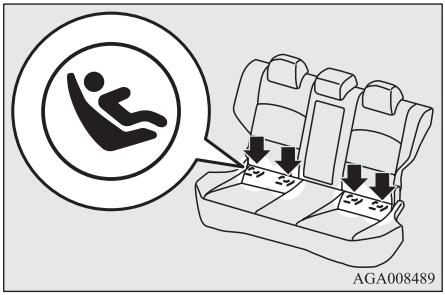
● やむを得ず助手席に前向き装着のチャイルドシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バーおよびテザーアンカーでの取り付け方

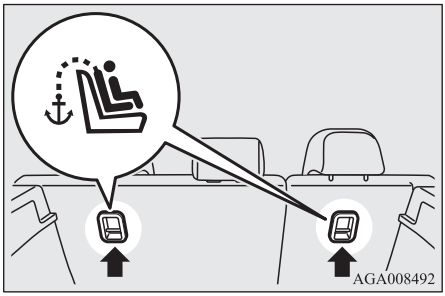
J00506300556

固定専用バーはリヤシートクッションのスリットの奥に，テザーアンカーはリヤシートの背もたれに，それぞれ装備されています。

固定専用バー



テザーアンカー



⚠警告

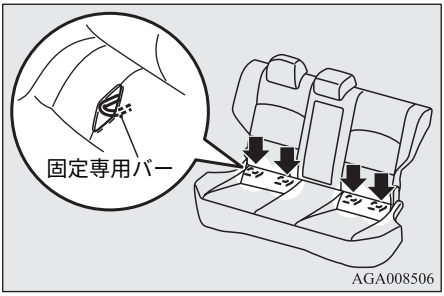
- 固定専用バーおよびテザーアンカーはチャイルドシートを固定するために装備されています。その他の装備品の固定には使用しないでください。

◆ 取り付けるときは

⚠警告

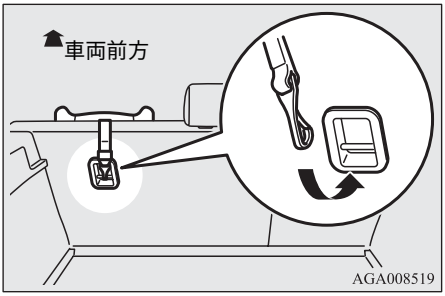
- チャイルドシートを取り付けるときは，固定専用バーおよびテザーアンカー周辺に異物がないこと，シートベルトなどのかみ込みがないことを確認してください。異物があるとチャイルドシートが固定されず，衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

1. チャイルドシートを取り付けたい側のヘッドレストを取り外します。
→「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-5
2. リヤシートクッションのスリットを手で少し広げて，固定専用バーの位置を確認します。



3. リヤシートの背もたれの裏側にあるテザーアンカーの位置を確認します。

4. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り付けます。



5. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されたことを確認します。

◆ 取り外すときは

チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートを取り外します。

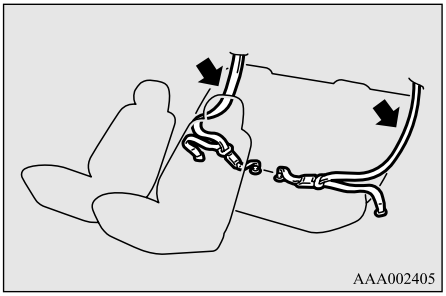
チャイルドシート固定機構付シートベルトでの取り付け方

J00506400515

リヤシート外側のシートベルトにはチャイルドシート固定機構がついています。シートベルトを全部引き出すとチャイルドシート固定機構が作動します。ベルトを巻き戻す途中で手を止めると引き出し方向にベルトが動かない状態となって，チャイルドシートを固定することができます。

チャイルドシートを取り付けるときはつぎの手順で確実に取り付けてください。

◆ 取り付け可能位置

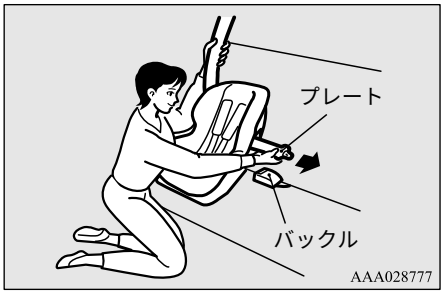


◆ 取り付けるときは

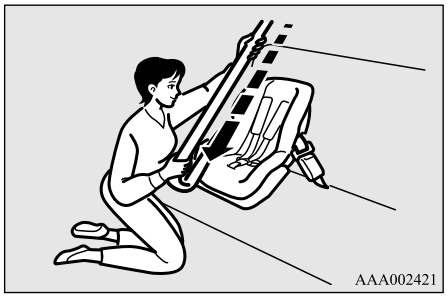
アドバイス

● 以下に説明する取り付け方は，一般的なチャイルドシートの取り付け方を例に記載しています。取り付けるときは必ずチャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。

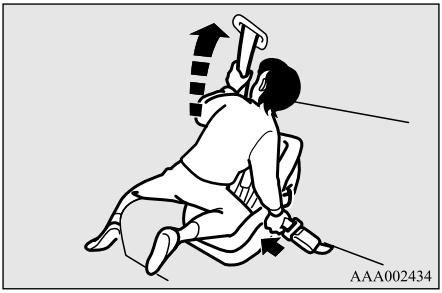
1. チャイルドシートを取り付けたい位置に置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがってチャイルドシートのベルトガイドにシートベルトを通してから，プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。



3. 肩部ベルトをゆっくりと最後まで引き出すとチャイルドシート固定機構が作動します。



4. ベルトを巻き取らせます。このとき，ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。ベルトが引き出し方向に動く場合は，再度ベルトを最後まで引き出してください。
5. チャイルドシートにひざを置き，体重をかけてシートに押しつけながら，バックル側のベルトを引き上げてシートベルト全体のたるみがなくなるまで肩部ベルトを巻き取らせます。



6. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されたことを確認します。

◆ 取り外すときは

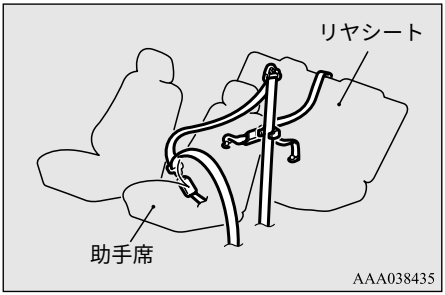
1. プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。
2. シートベルトを最後まで巻き取らせチャイルドシート固定機構を解除します。

チャイルドシート固定機構付シートベルト以外のシートベルトでの取り付け方

J00506500545

チャイルドシート固定機構付シートベルトで取り付けることをおすすめします。やむを得ずチャイルドシート固定機構付シートベルト以外で取り付けるときはつぎの手順で確実に取り付けてください。

◆ 取り付け可能位置

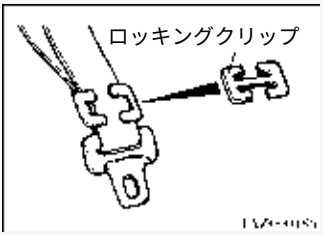


◆ 取り付けるとき

1. チャイルドシートを取り付けたい位置に置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書にしたがって，チャイルドシートをシートベルトで固定します。
3. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認してください。

⚠警告

- シートベルトの種類によってチャイルドシートの取り付け方法が異なります。各シートベルトに合わせて正しく取り付けてください。
  - チャイルドシート固定機構付シートベルト以外のシートベルトを使うときも，必ずチャイルドシートの取扱説明書にしたがって正しく取り付けてください。
    タイプによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。



◆ 取り外すときは

プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。

SRSエアバッグ

J00506600908

SRSとはSupplemental Restraint Systemの略語で補助拘束装置の意味です。

運転席，助手席SRSエアバッグ

エンジンスイッチがONのとき，運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに膨らみ，シートベルトの働きを補って，運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。
運転席，助手席SRSエアバッグはデュアルステージエアバッグシステムを採用しており，衝撃センサー（車両前方および車両中央床部）で制御しています。

運転席SRSニーエアバッグ

エンジンスイッチがONのとき，運転者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに膨らみ，シートベルトの働きを補って，運転者の脚部を受け止めることで姿勢を制御し，身体全体の保護効果を高める装置です。

SRSサイドエアバッグ

タイプ別装備

エンジンスイッチがONのとき，運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者または助手席同乗者の胸などの上体への衝撃をやわらげる装置です。

SRSカーテンエアバッグ

タイプ別装備

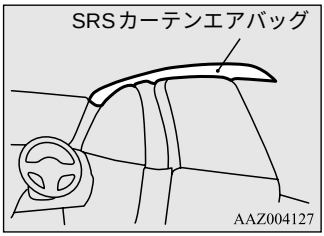
エンジンスイッチがONのとき，運転者および同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側面から受けたときに膨らみ，運転者および同乗者の主に頭部への衝撃をやわらげる装置です。

⚠警告

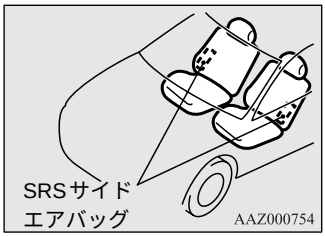
- SRS エアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
  シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり，その際にSRSエアバッグが膨らむとその強い衝撃で命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
  - SRSエアバッグが膨らんだとき，シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
  - SRS エアバッグが作動しないときでも，シートベルトによりけがを軽減することができます。
- シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
  SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車していると SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRS エアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後，高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

⚠注意

● SRS エアバッグが収納されている部分に傷がついていたり，ひび割れがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。



● SRS サイドエアバッグ付き車は，エアバッグが収納されているシート部分に生地のやぶれ，縫いほつれなどがあるときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
衝突したときなどに SRS サイドエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。



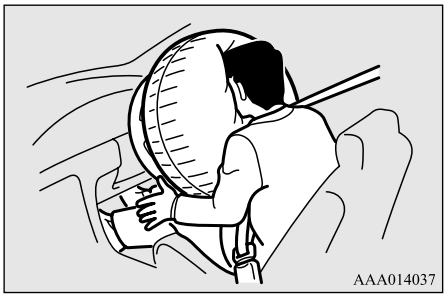
アドバイス

● SRS エアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRS エアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。
● SRS エアバッグが膨らむときかなり大きな音がし，白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。ただし，呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合，一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また，残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは，できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚が弱い人の場合，まれに皮膚を刺激することがあります。
● 膨らんだSRSエアバッグ（運転席，助手席SRSエアバッグおよびSRSサイドエアバッグ）は，すぐにしぼむので視界を妨げません。
● SRS エアバッグは一度膨らむと再使用できません。三菱自動車販売会社でSRSエアバッグ構成部品を交換してください。
● 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより，前面ガラスが破損する場合があります。

運転席SRSエアバッグ

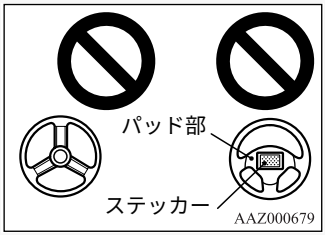
J00506700547

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。
衝撃の大きさにより SRS エアバッグの膨らみ具合は2段階に調整されます。



⚠警告

- ハンドルの交換や，パッド部にステッカーを貼ったり，カバーを付けることはしないでください。SRS エアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

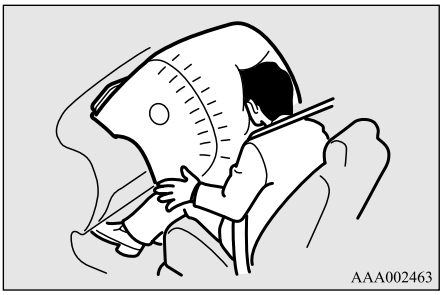


- ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席SRSエアバッグ

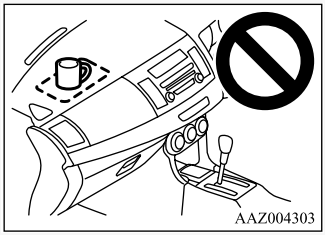
J00506800610

助手席SRSエアバッグはグローブボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動し,膨らみ具合は衝撃の大きさにより2段階に調整されます。



⚠警告

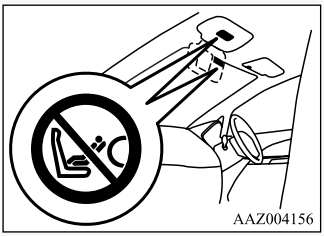
- インストルメントパネルの上に物を置いたり，前面ガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。
また，インストルメントパネルの上にステッカーを貼ったりしないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。



⚠警告

● お子さまを乗せるときには，必ずつぎのことをお守りください。SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまの命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまはリヤシートに座らせて必ずシートベルトを着用させてください。
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには，チャイルドシートをリヤシートに装着してご使用ください。
- 6才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドシートは絶対に取り付けないでください。
  また，幼児用シート（チャイルドシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席SRSエアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

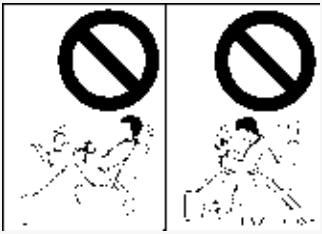
- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。

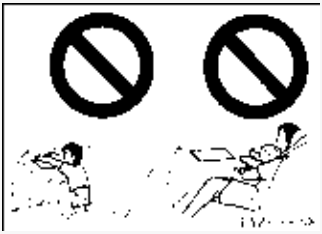


- やむを得ず助手席に前向き装着のチャイルドシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

⚠警告

- 助手席同乗者はシートの前端に座ったり，インストルメントパネルに手や足を乗せたり，顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また，お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり，ひざの上に抱いたりしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。



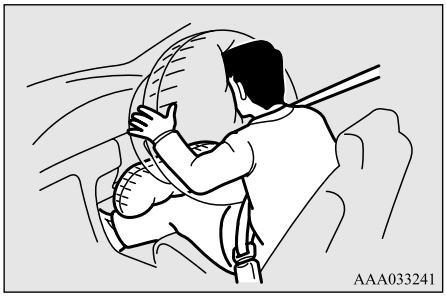


- 助手席同乗者は，かばんなどの荷物をひざの上にかかえるなど，SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

運転席SRSニーエアバッグ

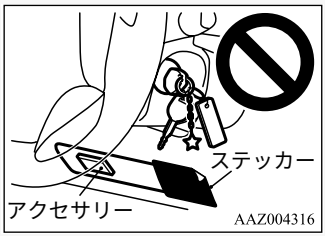
J00512900094

運転席SRSニーエアバッグはハンドル下のインストルメントパネルの中に装備されています。



⚠警告

- ハンドル下のインストルメントパネルにステッカーなどを貼ったり，アクセサリーを取り付けたりしないでください。また，キーに重い物やとがった物，かたい物を取り付けないでください。SRS ニーエアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらのものが飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。



SRSサイドエアバッグ

タイプ別装備

J00507000299

SRS サイドエアバッグは運転席，助手席各シートの背もたれの中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。
また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。

⚠警告

● フロントシート背もたれのSRSサイドエアバッグ収納部に手，足，顔を近づけたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
また，お子さまなどに後席からフロントシートの背もたれを抱えたような姿勢はさせないでください。
SRS サイドエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

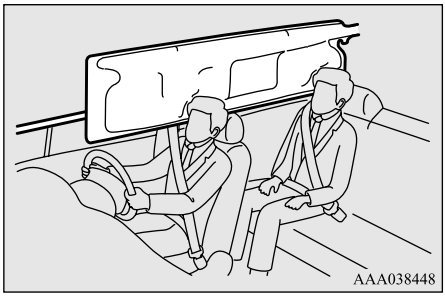
- 三菱自動車純正のSRSサイドエアバッグ専用シートカバー以外は使用しないでください。
  取り付けるときはシートカバーに添付の取扱説明書にしたがい確実に取り付けてください。
  また，シートのSRSサイドエアバッグが収納されている付近にカップホルダーなどのカー用品を取り付けたり，ステッカーなどを貼らないでください。
  SRS サイドエアバッグが膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRSカーテンエアバッグ

タイプ別装備

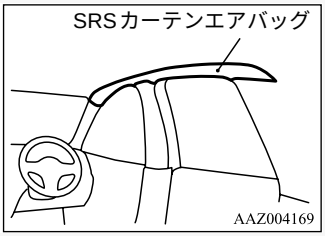
J00507500324

SRS カーテンエアバッグはフロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の中に装備されており，衝撃を受けた側のみ作動します。また，衝撃を受けた側に同乗者がいなくても作動します。



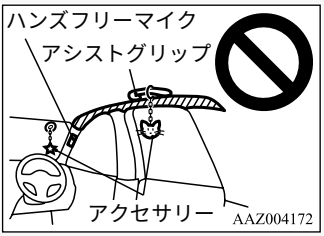
⚠警告

● フロントピラー，リヤピラーおよびルーフサイド部の SRS カーテンエアバッグ収納部に近づいたり，ドアにもたれかかるような姿勢で座らないでください。
SRS カーテンエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには注意してください。



⚠警告

● 前面ガラス，側面ガラス，フロントピラー，リヤピラー，ルーフサイド部およびアシストグリップなどの SRS カーテンエアバッグ展開部周辺にステッカー等を貼りつけたり，アクセサリーやハンズフリーマイクなどを取り付けたりしないでください。
SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げたり，膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。

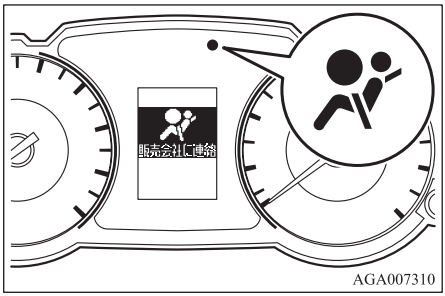


● 車内に荷物を積むときは，側面ガラス付近に積まないでください。SRS エアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

SRS エアバッグ／プリテンショナー機構警告

J00507300713

システムに異常があると警告灯が点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも「販売会社に連絡」が表示されます。
正常なとき警告灯はエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよびプリテンショナー機構が作動すると，警告灯は点灯したままとなります。
警告灯／警告表示は SRS エアバッグ警告とプリテンショナー機構警告を兼用しています。



⚠警告

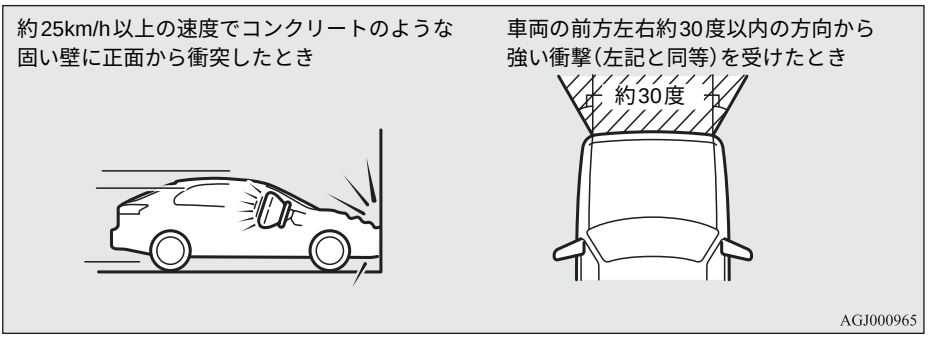
- 警告灯および警告表示がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
  衝突したときなどに SRS エアバッグおよびプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または警告灯が点灯したまま
  - 走行中に警告灯が点灯する
  - 走行中に警告表示される

運転席，助手席SRSエアバッグおよび運転席SRSニーエアバッグの作動条件

J00506900507

◆ 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

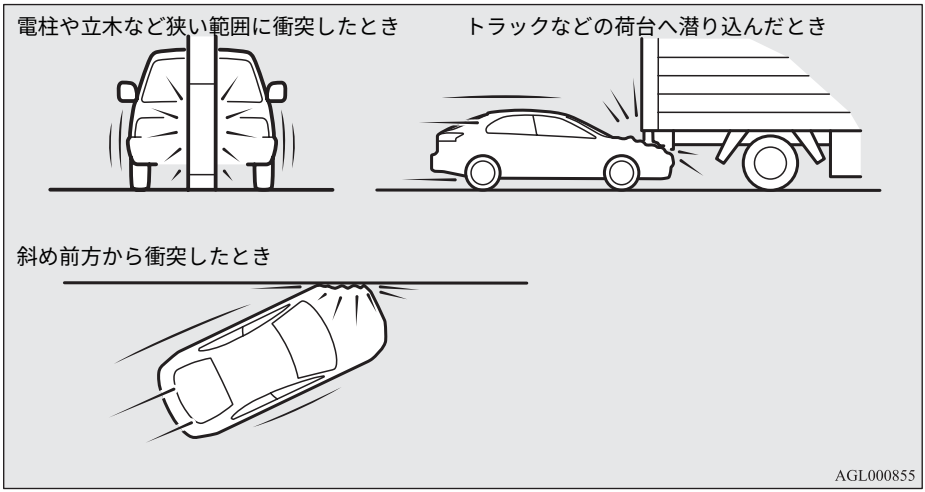


アドバイス

- コンクリートのような固い壁でなく，衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

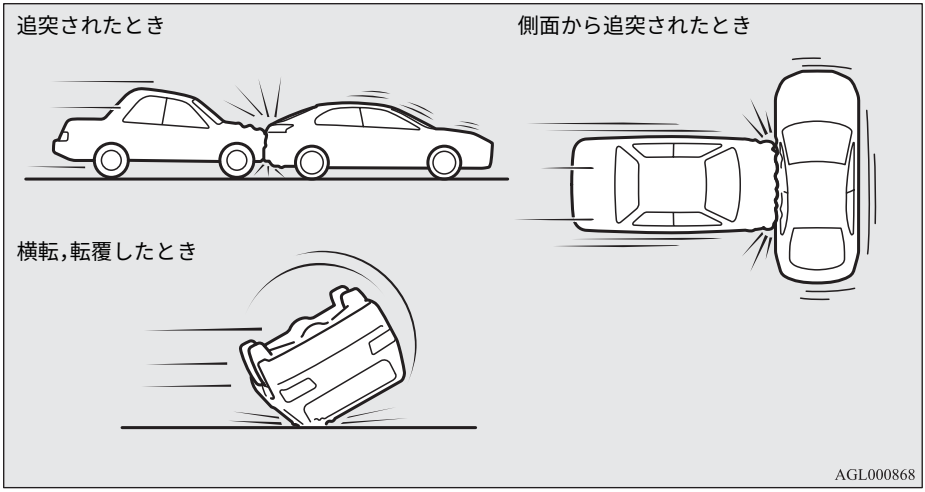
◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両前部が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。



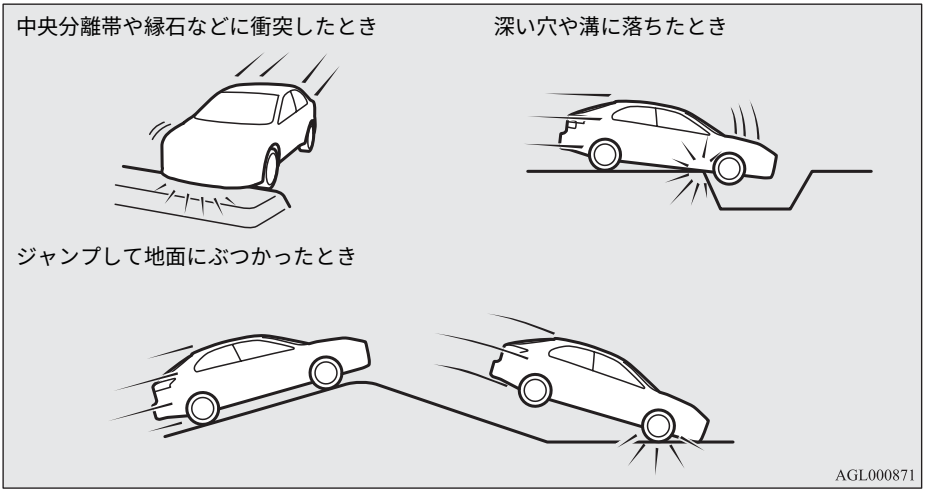
◆ 作動しないとき

SRSエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動したSRSエアバッグは，2回目以降の衝突では再作動しません。



◆ 作動することがあるとき

走行中，車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。



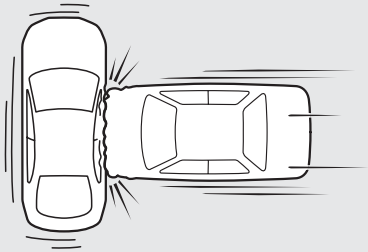
SRSサイドエアバッグ，SRSカーテンエアバッグの作動条件

J00513000047

◆ 作動するとき

乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両側方から受けたときに作動します。

横方向から車体中央に強い衝撃を受けたとき

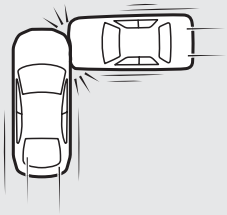


AGJ000978

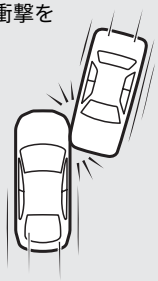
◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両側面が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSカーテンエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSカーテンエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

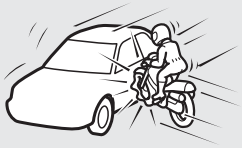
客室部以外の側面に衝撃を受けたとき



斜め側方から衝撃を受けたとき

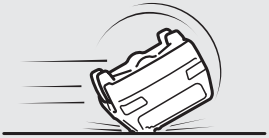


側面にバイクが衝突したとき



電柱などに衝突したとき

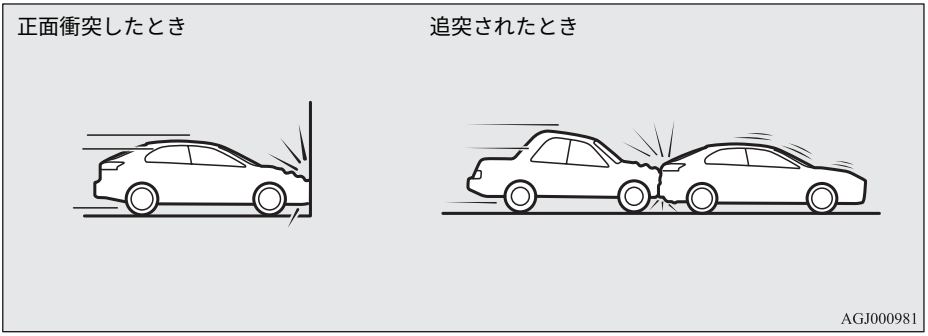
横転や転覆したとき



AGL000884

◆ 作動しないとき

SRSカーテンエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また,一度作動したSRSカーテンエアバッグは,2回目以降の衝突では再作動しません。



取り扱い上の注意

J00507400671

⚠警告

- つぎの修理または部品の取り付けをするときは，SRS エアバッグに影響をおよぼしたり，SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので，三菱自動車販売会社へご相談ください。
  - 運転席，助手席SRSエアバッグ：
    ハンドル周り，インストルメントパネル，フロアコンソール付近の修理，カーオーディオ等の取り付け，および車両前部の修理
  - 運転席SRSニーエアバッグ：
    ハンドル下インストルメントパネル，およびその付近の修理
  - SRSサイドエアバッグ（タイプ別装備）：
    前席シート，センターピラーおよびその付近の修理
    前席シートの表皮の張り替え
  - SRSカーテンエアバッグ（タイプ別装備）：
    フロントピラー，センターピラー，リヤピラー，ルーフサイド部，およびその付近の修理
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり，サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- つぎのSRSエアバッグ展開部付近を強くたたくなど，過度の力を加えないでください。SRSエアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - ステアリングパッド
  - インストルメントパネル上部
  - ハンドル下インストルメントパネル
  - フロントシート側面
  - フロントピラー
  - センターピラー
  - リヤピラー
  - ルーフサイド部

⚠注意

- 廃車するときは三菱自動車販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。
- 電気テスターを使って，エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 無線機の電波などは，SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので，無線機などを取り付けるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

アドバイス

- お車をゆずられるときは SRS エアバッグ装着車であることを説明し，取扱説明書を車につけておいてください。

Event data recorder (EDR) について

J00512600017

本車両は，SRS エアバッグシステムを制御するためのコンピューターを搭載しています。
当該コンピューターは，当システムが正常に作動しているかどうかを常に診断するとともに，衝突のときや衝突に近い状態のときにおいて車両の速度やブレーキペダルの状態などのデータを記録・蓄積する Event data recorder (EDR) システムを備えています。

EDR は，一般的なデータレコーダーとは異なり，会話などの音声や映像は記録しません。
三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は，EDR に記録されたデータを，車両衝突安全性能の向上などを目的として取得・利用することがあります。

なお，三菱自動車および三菱自動車が委託した第三者は，取得したデータをつぎの場合を除き，第三者へ提示することはありません。

- 車両の該当データ記録時の使用者の同意がある場合
- 裁判所命令など，法的強制力のある要請に基づく場合
- 使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

計器盤・スイッチ

計器盤

メーター 6- 2
マルチインフォメーションディスプレイ 6- 4
表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧 6- 40
表示灯 6- 50
警告灯 6- 51
インフォメーション画面表示 6- 52

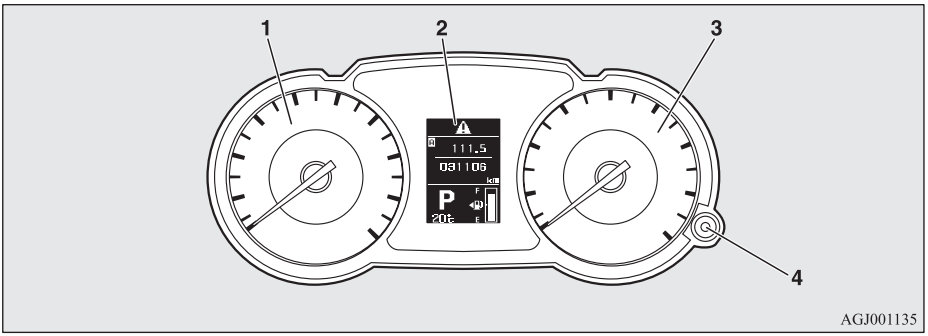
スイッチ

ライトスイッチ 6- 54
ヘッドライトレベリング 6- 58
方向指示レバー 6- 60
アダプティブフロントライティングシステム(AFS) 6- 61
非常点滅灯スイッチ 6- 62
フロントフォグランプスイッチ 6- 63
ワイパー／ウォッシャースイッチ 6- 63
リヤウインドウデフォッガー(曇り取り)スイッチ 6- 69
ホーンスイッチ 6- 69

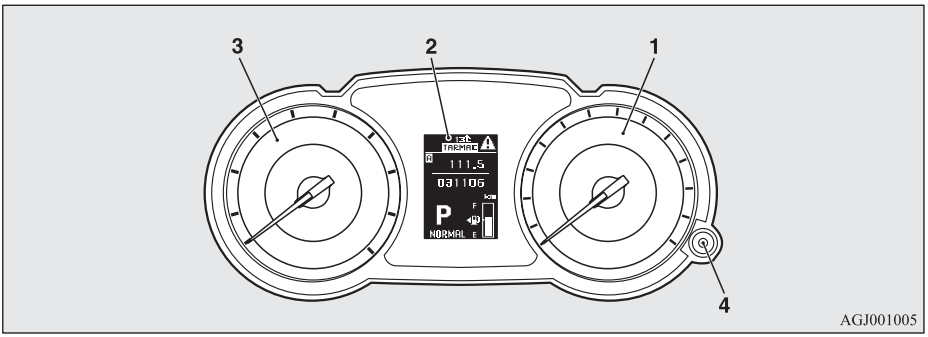
メーター

J00600100726

除く，ツインクラッチSST車



ツインクラッチSST車



1- スピードメーター → P. 6-3
2- マルチインフォメーションディスプレイ → P. 6-4
インフォメーション画面表示一覧 → P. 6-40
3- タコメーター → P. 6-3
4- メーター照度調整ボタン → P. 6-3

スピードメーター

J00600200091

走行速度を示します。

タコメーター

J00600300148

毎分のエンジン回転数を示します。

アドバイス

- 指針がレッドゾーン（赤色表示部）にはいらないようにしてください。エンジンの寿命が短くなり，破損するおそれがあります。

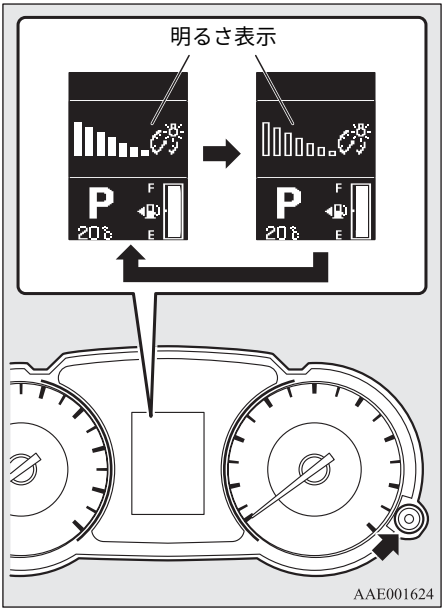
メーター照度調整ボタン

J00606600316

ボタンを押すたびに音が鳴り，メーターの明るさを変えることができます。

アドバイス

- ボタンを約 1 秒以上押し続けると照度の段階がオートスクロールし，手を離すと止まります。
  お好みの照度に調整してください。
- 尾灯の点灯・消灯に応じてそれぞれ8段階ずつ調整することができます。
- オートライト付き車は，ライトスイッチが AUTO 位置にあるときは，車外の明るさに応じてメーターの照明が自動的に調整した明るさに切り換わります。
- エンジンスイッチを切っても，メーターの明るさの状態を記憶しています。

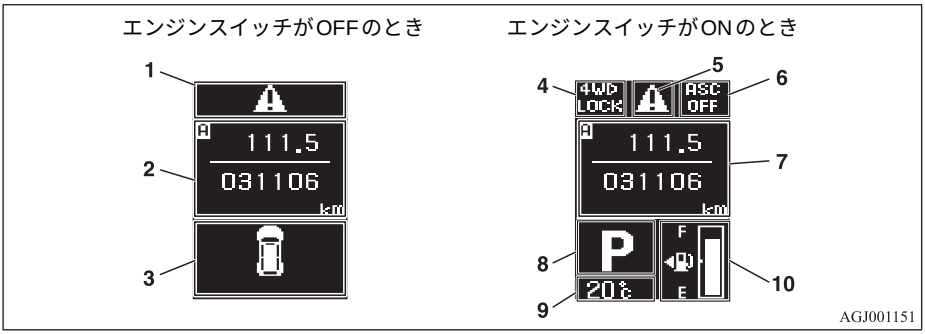


マルチインフォメーションディスプレイ

J00607100190

除く，ツインクラッチSST車

マルチインフォメーションディスプレイは各種警告，オドメーター／トリップメーター，サービスリマインダー，エンジン冷却水温，燃料残量，外気温，セレクターレバー位置，4WD作動状態，平均・瞬間燃費，航続可能距離，平均車速，メーター照度などを表示します。
また，マルチインフォメーションディスプレイに表示される言語，単位などを変更することができます。



1- ⚠マーク表示画面（エンジンスイッチOFFのとき）
→ P. 6-8

2- インフォメーション画面（エンジンスイッチOFFのとき）
→ P. 6-9
割り込み表示画面（エンジンスイッチOFFのとき）
→ P. 6-11

3- 半ドア警告表示画面（エンジンスイッチOFFのとき）
→ P. 6-13

4- ドライブモードインジケーター表示画面 タイプ別装備
→ P. 6-16

5- ⚠マーク表示画面（エンジンスイッチONのとき）
→ P. 6-16

6- ASC OFF表示画面 タイプ別装備
→ P. 6-16

7- インフォメーション画面（エンジンスイッチONのとき）
→ P. 6-17
割り込み表示画面（エンジンスイッチONのとき）
→ P. 6-22

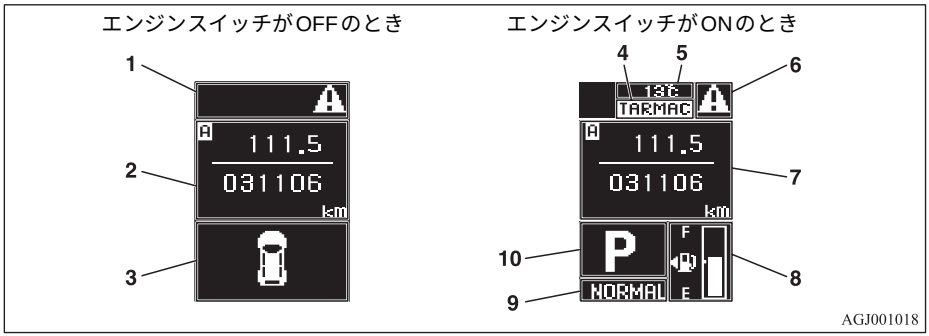
8- セレクターレバー位置表示画面
→ P. 6-23

9- 外気温表示画面
→ P. 6-23

10- 燃料残量表示画面
→ P. 6-24

ツインクラッチSST車

マルチインフォメーションディスプレイは各種警告，オドメーター／トリップメーター，サービスリマインダー，エンジン冷却水温，燃料残量，外気温，ツインクラッチSST制御モード，ACD制御モード，シフトレバー位置，平均・瞬間燃費，航続可能距離，平均車速，ACD作動表示，メーター照度などを表示します。
また，マルチインフォメーションディスプレイに表示される言語，単位などを変更することができます。



1- ⚠マーク表示画面（エンジンスイッチOFFのとき）
→ P. 6-8
2- インフォメーション画面（エンジンスイッチOFFのとき）
→ P. 6-9
割り込み表示画面（エンジンスイッチOFFのとき）
→ P. 6-11
3- 半ドア警告表示画面（エンジンスイッチOFFのとき）
→ P. 6-13
4- ACD制御モード表示画面
→ P. 6-16，7-42
5- 外気温表示画面
→ P. 6-23
6- ⚠マーク表示画面（エンジンスイッチONのとき）
→ P. 6-16
7- インフォメーション画面（エンジンスイッチONのとき）
→ P. 6-17
割り込み表示画面（エンジンスイッチONのとき）
→ P. 6-22
8- 燃料残量表示画面
→ P. 6-24
9- ツインクラッチSST制御モード表示画面
→ P. 6-24，7-32
10- シフトレバー位置表示画面
→ P. 6-23，7-25

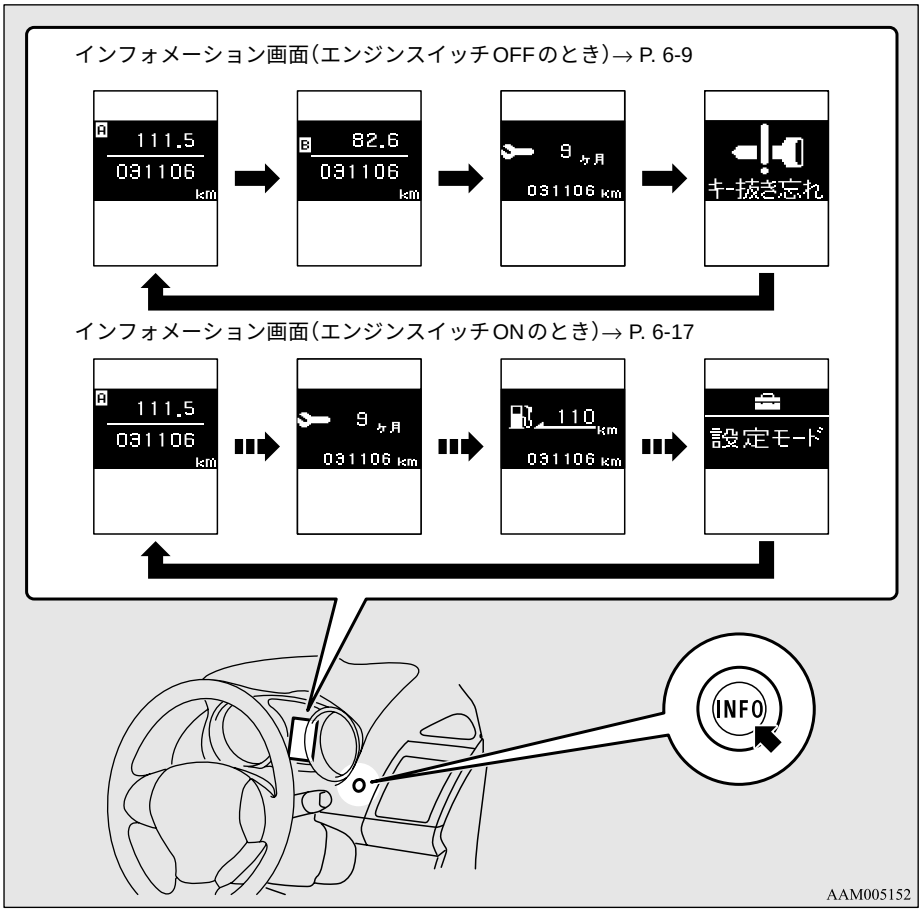
アドバイス

- トリップコンピュータ機能の燃料単位,温度単位や表示言語などの設定を変更することができます。
  「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」→ P. 6-30
- エンジンスイッチがOFFのときとONのときで表示画面が異なります。
  「インフォメーション画面（エンジンスイッチOFFのとき）」
  → P. 6-9
  「警告表示一覧（エンジンスイッチOFFのとき）」
  → P. 6-42
  「インフォメーション画面（エンジンスイッチOFFからONにしたとき）」
  → P. 6-14
  「インフォメーション画面（エンジンスイッチONのとき）」
  → P. 6-17
  「警告表示一覧（エンジンスイッチONのとき）」
  → P. 6-44

マルチインフォメーション メータースイッチ

J00607200133

マルチインフォメーション メータースイッチを操作するたびに音が鳴り，マルチインフォメーションディスプレイの各種警告，オドメーター／トリップメーター，サービスリマインダー，エンジン冷却水温，平均・瞬間燃費，航続可能距離，平均車速，ACD制御モードなどの表示を切り換えることができます。
また，マルチインフォメーションディスプレイに表示される言語，および単位をマルチインフォメーション メータースイッチで操作することにより変更することができます。



⚠マーク表示画面 （エンジンスイッチOFFのとき）

J00609500101

マルチインフォメーション メータースイッチを押して，警告表示画面を警告表示する前の画面に戻したときに⚠マークを表示します。
→「警告表示する前の画面表示に戻すときは」P. 6-12
もしくは，表示されている以外に警告がある場合にも表示します。
警告表示の要因が解消されると，⚠マークは自動的に消えます。

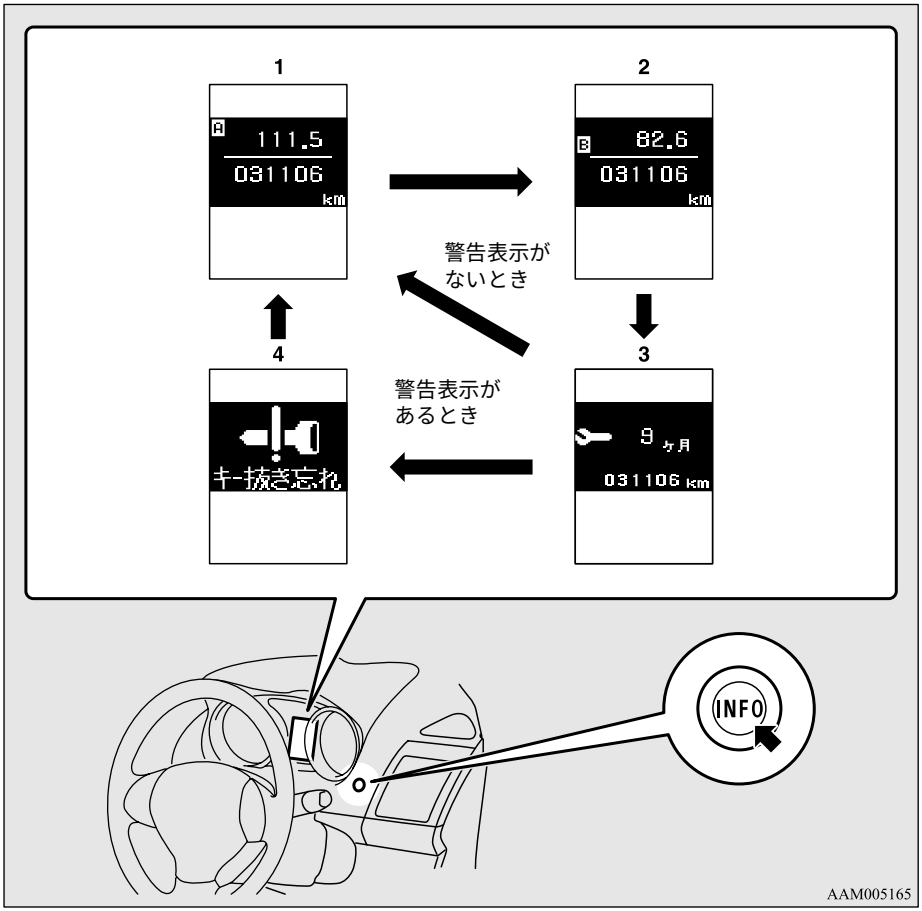
アドバイス

- ⚠マークが表示されているときにインフォメーション画面に警告表示画面を再表示することができます。
  →「インフォメーション画面（エンジンスイッチOFFのとき）」P. 6-9
  →「インフォメーション画面（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-17

インフォメーション画面（エンジンスイッチOFFのとき）

J00607400122

マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押すごとにつぎの順で表示画面が切り換わります。



1- オドメーター／トリップメーター A
2- オドメーター／トリップメーター B
3- サービスリマインダー
4- 警告表示画面の再表示

◆ オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

J00609600069

マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押すたびに表示画面が切り換わります。

オドメーター／トリップメーターA → オドメーター／トリップメーターB → サービスリマインダー →警告表示画面の再表示 →オドメーター／トリップメーターA

オドメーター

走行した総距離を表示します。

トリップメーター

2地点間の走行距離を表示します。

6

＜トリップメーターA，トリップメーターBの使用例＞

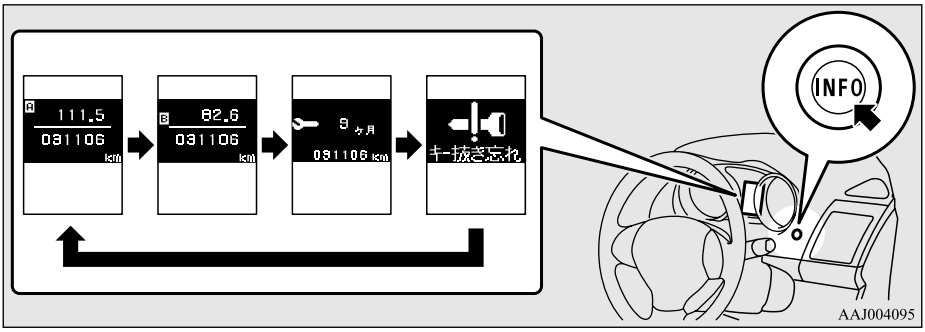
トリップメーターAで自宅を出発してからの距離を測りながら，トリップメーターBで途中の経由地からの距離を測ることができます。

● リセットするときは

表示を 0 に戻すときはマルチインフォメーション メータースイッチを約 2 秒以上押し続けます。この場合，表示されている方だけリセットされます。

＜例＞

トリップメーターAが表示されていれば，トリップメーターAだけリセットされます。



アドバイス

- 警告表示がない場合はオドメーター／トリップメーターA → オドメーター／トリップメーターB → サービスリマインダー → オドメーター／トリップメーターA と切り換わります。
- トリップメーターA，B共に9999.9kmまで計測する事ができます。
  9999.9kmをこえると0.0kmに戻ります。

アドバイス

- バッテリー端子を外すと，トリップメーターの A 表示，B 表示とも記憶が消去され，表示が0.0kmに戻ります。

◆ サービスリマインダー

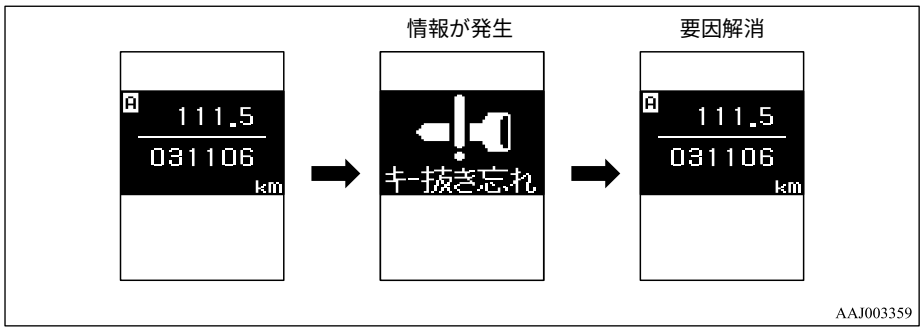
J00609700057

次回定期点検までの距離数と月数を表示します。
→「サービスリマインダーについて」P. 6-26

割り込み表示画面（エンジンスイッチOFFのとき）

J00607600108

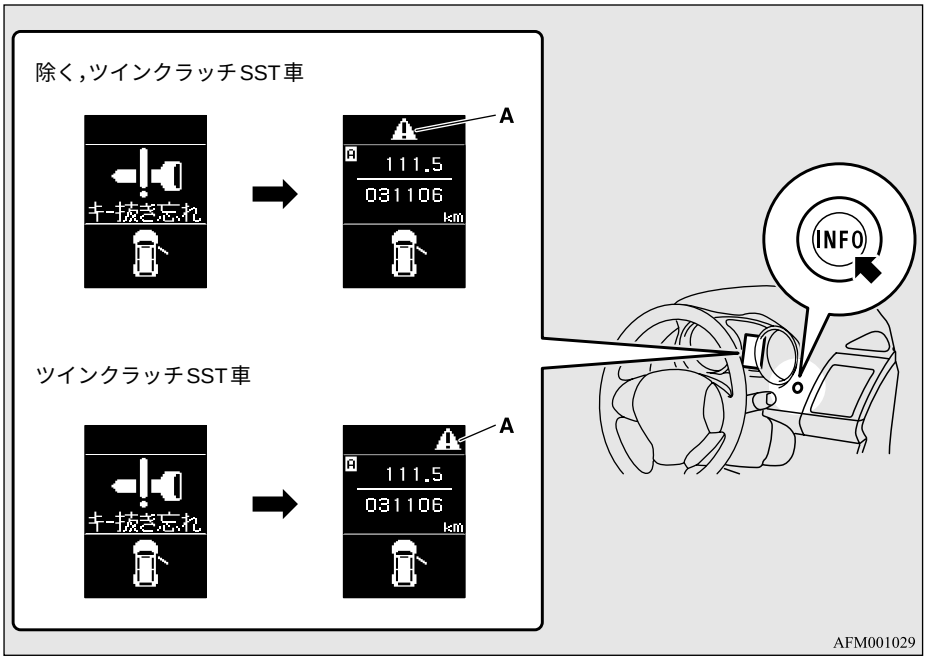
キー抜き忘れなどお知らせしたい情報が発生したとき，ブザーが鳴って警告表示画面に切り換わります。該当ページを参照して必要な処置を行ってください。
警告表示の要因が解消されると，警告表示は自動的に消えます。
→「警告表示一覧（エンジンスイッチOFFのとき）」P. 6-42



◆ 警告表示する前の画面表示に戻すときは

J00614300077

警告表示の要因が解消されなくても警告表示する前の画面表示に戻すことができます。
マルチインフォメーション メータースイッチを押すと警告表示する前の画面に切り換わり⚠マーク(A)を表示します。



アドバイス

- 画面右上に▪または▪マークが表示されている警告表示画面を切り換えることができます。切り換えたいときはつぎの通りマルチインフォメーション メータースイッチを押します。
  ▪:軽く押します。
  ▪:約2秒以上押します。

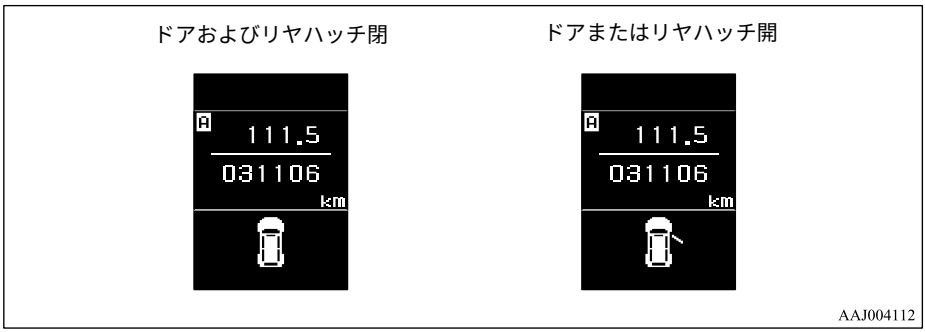
警告表示画面の再表示

⚠マーク (A) が表示されているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを軽く数回押すと，いったん切り換えた警告表示画面を再表示することができます。
→ 「インフォメーション画面（エンジンスイッチOFFのとき）」P. 6-9

半ドア警告表示（エンジンスイッチOFFのとき）

J00607800142

いずれかのドアおよびリヤハッチが完全に閉められていないときに開いているドアまたはリヤハッチを表示します。

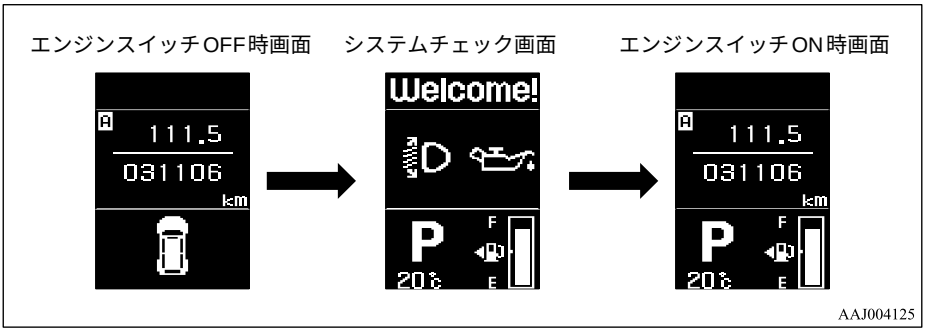


インフォーション画面（エンジンスイッチ OFF から ON にしたとき）

J00607300150

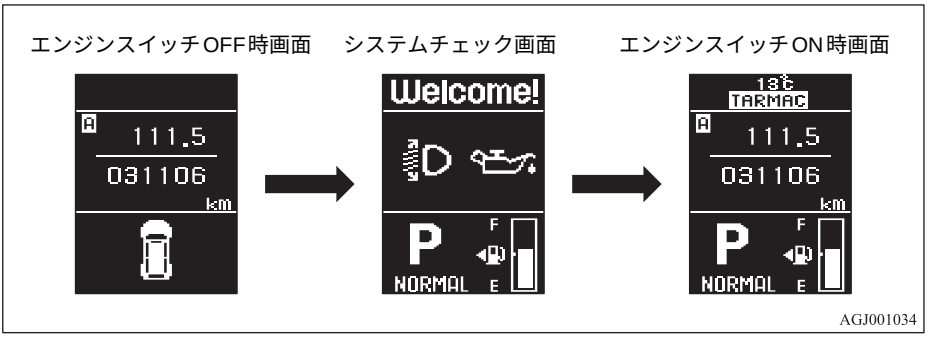
エンジンスイッチをONにすると，つぎの順で表示画面が切り換わります。

除く，ツインクラッチSST車



AAJ004125

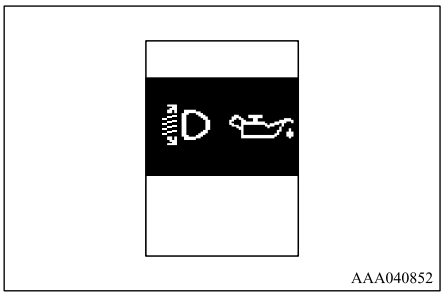
ツインクラッチSST車



AGJ001034

◆ システムチェック画面

エンジンスイッチをONにすると約4秒間システムチェック画面を表示します。異常がなければエンジンスイッチON時画面を表示します。
異常があるときは警告表示画面に切り換わります。
→「警告表示一覧（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-44

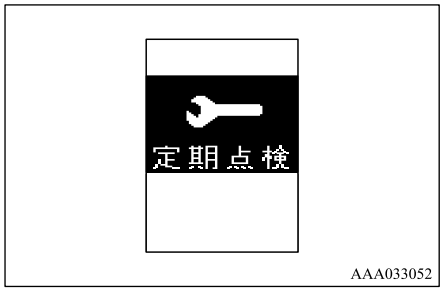


アドバイス

● お客様の装備によりシステムチェック画面表示は異なります。

◆ サービスリマインダー

定期点検時期がきている場合，エンジンスイッチON時画面の後，数秒間「定期点検」が表示されます。
→「サービスリマインダーについて」P. 6-26



ドライブモードインジケーター表示画面

タイプ別装備

J00607900130

4WDの動作状態を表示します。
ドライブモードセレクター（スイッチ）で「4WDロック」モードを選択すると「4WD LOCK」,「4WDオート」モードを選択すると「4WD」と表示します。
「2WD」モードを選択したときは表示されません。
→「ドライブモードセレクター（スイッチ）」P. 7-44

ACD制御モード表示画面（ツインクラッチSST車）

J00618400018

ACDの作動状態を表示します。
→「ACD制御モード」P. 7-41

6

⚠マーク表示画面 （エンジンスイッチONのとき）

J00608000141

マルチインフォメーション メータースイッチを押して警告表示画面を切り換えると表示されます。
もしくは表示されている以外に警告がある場合にも表示します。
警告表示の要因が解消されると,⚠マークは自動的に消えます。

アドバイス

- ⚠マークが表示されているときにインフォメーション画面に警告表示画面を再表示することができます。
  →「インフォメーション画面（エンジンスイッチOFFのとき）」P. 6-9
  →「インフォメーション画面（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-17

ASC OFF表示画面

タイプ別装備

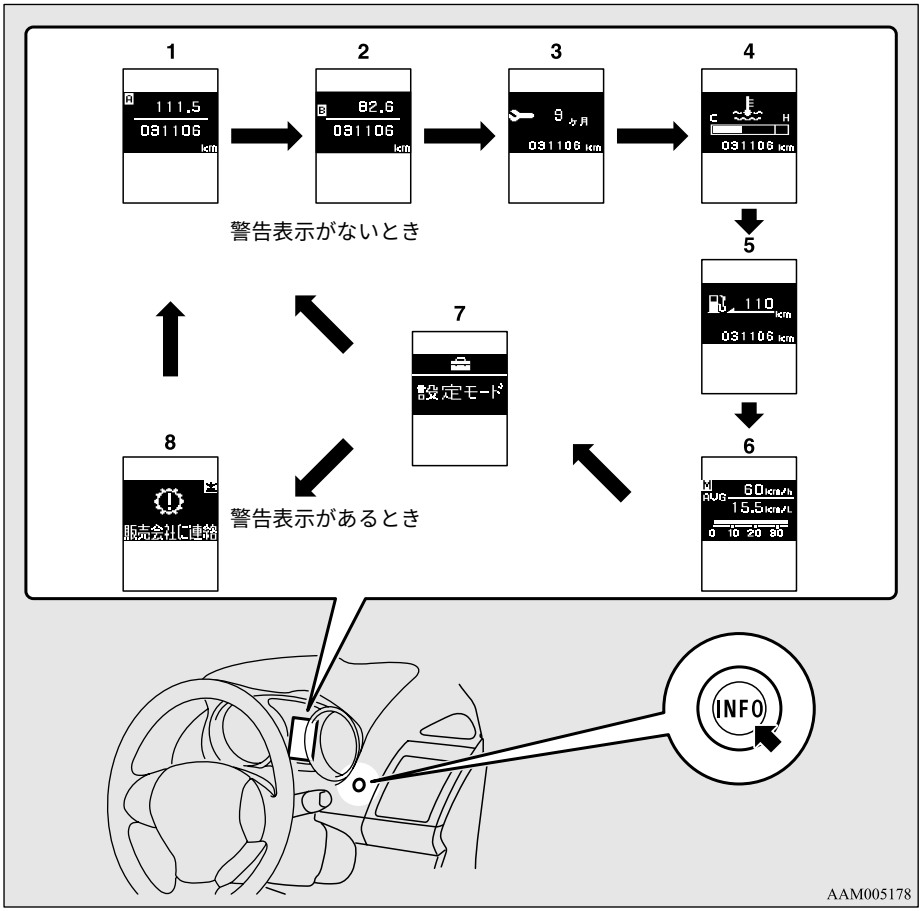
J00608100139

ASC OFFスイッチでアクティブスタビリティコントロール(ASC)をOFFにすると表示されます。
もしくはASCに異常があるときにも表示します。
→「ASCのON/OFF作動切り換え」P. 7-53

インフォメーション画面（エンジンスイッチONのとき）

J00608200169

マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押すごとにつぎの順で表示画面が切り換わります。



1- オドメーター／トリップメーター A
2- オドメーター／トリップメーター B
3- サービスリマインダー
4- エンジン冷却水温表示
5- 航続可能距離表示
6- 平均車速表示・平均燃費表示・瞬間燃費表示
7- 機能設定画面
8- 警告表示画面の再表示

アドバイス

- 機能設定画面は運転中にマルチインフォメーション メータースイッチで操作しても表示されません。必ず安全な場所に車を止めてから操作してください。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-30
- 各システムの異常などお知らせしたい情報が発生したとき，音が鳴って表示画面が切り換わります。
  →「割り込み表示画面（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-22

◆ オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

操作方法はエンジンスイッチがOFFのときと同じです。
詳しくは「オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離）をお読みください。→ P. 6-10

◆ サービスリマインダー

次回定期点検までの距離数と月数を表示します。
→「サービスリマインダーについて」P. 6-26

◆ エンジン冷却水温表示

エンジン冷却水の温度を示します。
冷却水の温度が高くなると自動的にエンジン冷却水温表示画面に切り換わり，が点滅します。
水温表示に注意して走行してください。

⚠注意

- オーバーヒートしたときには警告表示が割り込み表示し，その後冷却水温表示画面に切り換わりが点滅表示します。この場合，バーグラフはレッドゾーンにかかっています。
  ただちに安全な場所に車を止め，処置してください。
  →「オーバーヒートしたときは!」P. 13-22

◆ 航続可能距離表示

おおよその航続可能距離（あと何kmまたは何miles走行できるか）を表示します。航続可能距離が約 50km (30miles) 未満になると“ --- ”を表示します。
早めに燃料を補給してください。

アドバイス

- 航続可能距離は今までの燃費データをもとに表示されますが，走行状態（道路状況，運転のしかたなど）により変化します。
  また，バッテリー端子を外したときは，今までの燃費データが消去されるので，それまでとは異なった値が表示されることがあります。表示はあくまでも参考としてご利用ください。
- 燃料を補給すると航続可能距離が更新されます。
  ただし，給油量が少ないと正しい数値が表示されませんので，給油するときはできるだけ満タンにしてください。
- 非常に急な坂道で停車した場合，まれに航続可能距離の値が変動することがあります。これは坂道でタンク内の燃料が移動したためで，故障ではありません。
- 単位表示をお好みの設定（kmまたはmiles）に変更することができます。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-30

◆ 平均車速表示

リセットしてから現在までの平均車速を表示します。
モード設定にはつぎの2種類の方法があります。
平均車速表示設定の変更方法は「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチ ON のとき）」をお読みください。→ P. 6-30

マニュアルリセットモード

- 平均車速を表示しているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均車速表示をリセットします。
- エンジンスイッチをACCまたはLOCKからONした場合に，リセット設定がマニュアルからオートに自動で切り換わります。
  オートに自動で切り換わりますが，マニュアルモードに切り換えた場合，前回リセットしてからのデータが表示されます。

オートリセットモード

- 平均車速を表示しているときに,マルチインフォメーション メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均車速表示をリセットします。
- エンジンスイッチを約4時間以上ACCまたはLOCKした場合に，平均車速表示を自動でリセットします。

アドバイス

- オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの各モード別に平均車速表示をリセットすることができます。
- 平均車速が測定できないときは“---”を表示します。
- 単位表示をお好みの設定（km/hまたはmph）に変更することができます。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-30
- バッテリーを外すと,オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの平均車速表示の記憶は消去されます。

◆ 平均燃費表示

リセットしてから現在までの平均燃費を表示します。
モード設定にはつぎの2種類の方法があります。
平均燃費表示設定の変更方法は「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」をお読みください。→ P. 6-30

マニュアルリセットモード

- 平均燃費を表示しているときに,マルチインフォメーション メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費表示をリセットします。
- エンジンスイッチをACCまたはLOCKからONした場合に,モード設定がマニュアルからオートに自動で切り換わります。
  オートに自動で切り換わりますが，マニュアルモードに切り換えた場合，前回リセットしてからのデータが表示されます。

オートリセットモード

- 平均燃費を表示しているときに,マルチインフォメーション メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費表示をリセットします。
- エンジンスイッチを約4時間以上ACCまたはLOCKした場合に，平均燃費表示を自動でリセットします。

アドバイス

- オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの各モード別に平均燃費表示をリセットすることができます。
- 平均燃費が測定できないときは “ --- ” を表示します。
- 平均燃費は走行状態（道路状況，運転のしかたなど）により変化します。実際の燃費と表示燃費が異なることがありますので，あくまでも参考としてご利用ください。

アドバイス

- バッテリーを外すと,オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの平均燃費表示の記憶は消去されます。
- 単位表示をお好みの設定{L/100km，mpg (US)，mpg (UK)またはkm/L}に変更することができます。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき)」P. 6-30

◆ 瞬間燃費表示

走行中，バーグラフで瞬間燃費を表示します。

アドバイス

- 瞬間燃費が測定できないときはバーグラフは表示されません。
- 単位表示をお好みの設定{L/100km，mpg (US)，mpg (UK)またはkm/L}に変更することができます。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき)」P. 6-30

◆ 機能設定画面

「表示言語」,「温度単位」,「燃費単位」,「平均燃費・車速リセット方法」をお好みの設定に変更することができます。
詳しくは,「機能設定するときは（エンジンスイッチONのとき)」をお読みください。→ P. 6-30

割り込み表示画面（エンジンスイッチONのとき）

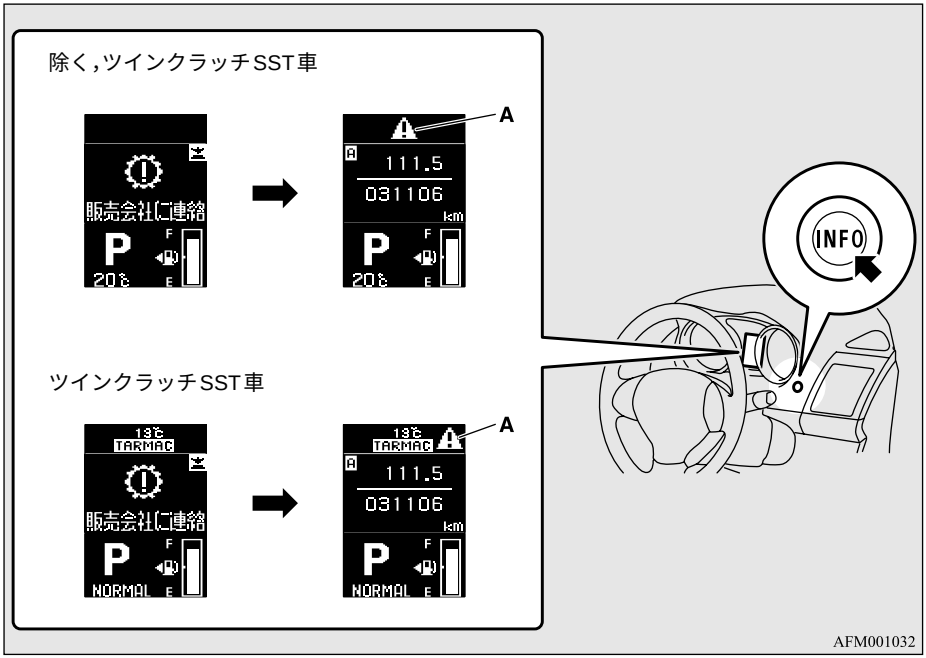
J00608300115

◆ 警告表示

各システムの異常などお知らせしたい情報が発生したとき，音が鳴ってインフォメーション画面が警告表示画面に切り換わります。
警告一覧を参照して必要な処置を行ってください。
→「警告表示一覧（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-44
警告表示の要因が解除されると，警告表示は自動的に消えます。

警告表示する前の画面表示に戻すときは

警告表示の要因が解消されなくても，警告表示する前の画面表示に戻すことができます。
マルチインフォメーション メータースイッチを押すと警告表示する前の画面に切り換わり，⚠マーク(A)を表示します。



AFM001032

アドバイス

- 画面右上に または マークが表示されている警告表示画面を切り換えることができます。切り換えたいときはつぎの通りマルチインフォメーション メータースイッチを押します。
  ：軽く押します。
  ：約2秒以上押します。

◆ 警告表示画面の再表示

マーク (A) が表示されているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを軽く数回押すと，いったん切り換えた警告表示画面を再表示することができます。

◆ その他の割り込み表示

各システムの作動状態をインフォメーション画面に表示します。
詳しくは警告一覧表示の該当ページをお読みください。
→「その他割り込み表示（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-48

セレクターレバー位置表示画面／シフトレバー位置表示画面

J00608400060

セレクターレバー（CVT 車）またはシフトレバー（ツインクラッチSST車）の位置を表示します。
→「セレクターレバーの動かし方」P. 7-13
→「シフトレバーの動かし方」P. 7-25

外気温表示画面

J00608500061

車外温度を表示します。

アドバイス

- 表示単位をお好みの設定（°Cまたは°F）に変更することができます。
  →「機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-30
- 車外温度はおよそ-22°Cから50°C（-30°Fから122°F）まで表示することができます。
- 走行条件などにより，実際の車外温度と異なった表示をすることがあります。

ツインクラッチSST制御モード表示画面（ツインクラッチSST車）

J00616600029

ツインクラッチSST制御モードの作動状態を表示します。
→「ツインクラッチSST制御モード」P. 7-19

燃料残量表示画面

J00608600150

燃料の残量を表示します。
F- 満タンです（2WD車：約59L，4WD車：約55L）
E- 燃料を補給してください。

6

⚠警告

● 燃料を入れるときは必ずエンジンを止めてください。たばこ，ライターなど火気は使用しないでください。

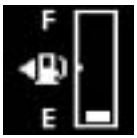
⚠注意

● 燃料切れを起こすと触媒装置に悪影響を与えるおそれがあります。警告表示が出たら早めに燃料を補給してください。

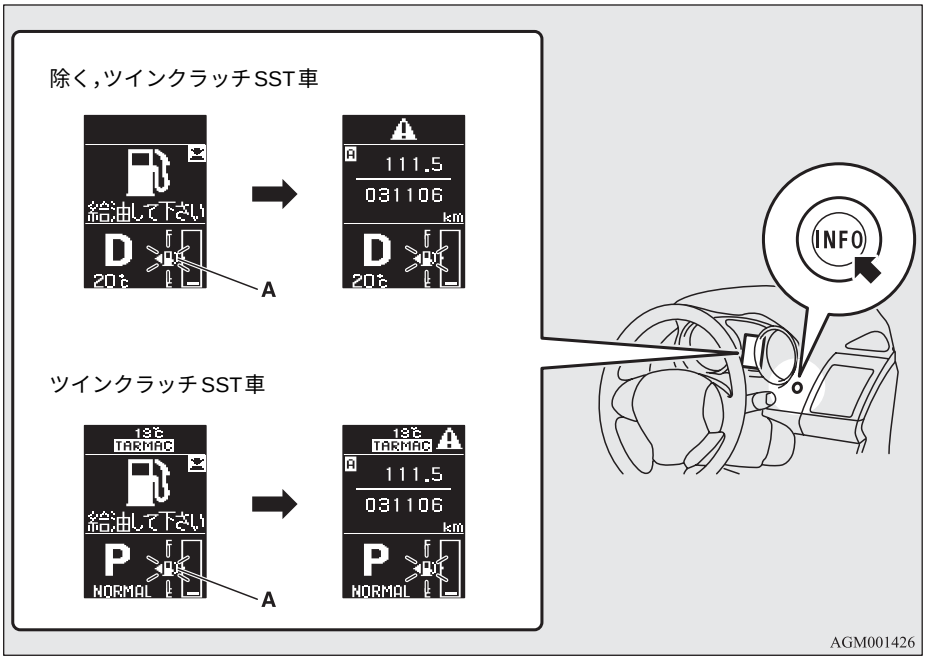
アドバイス

● 燃料補給後，表示が安定するまで少し時間がかかります。
● エンジンスイッチがONのまま燃料を補給すると，正しい燃料残量が表示できません。

◆ 燃料残量警告表示



燃料が約8L以下になると，インフォメーション画面が燃料残量警告表示の割り込み表示に切り換わり，燃料残量表示の⛽マーク(A)がゆっくり（1秒間に約1回）点滅します。インフォメーション画面の燃料残量警告表示は数秒後にもとの画面に戻ります。
さらに燃料が約 5L以下になると，インフォメーション画面が燃料残量警告表示に切り換わり，燃料残量表示の⛽マーク(A)が早く点滅（1秒間に約2 回）します。



警告表示が出たら早めに燃料を補給してください。
→「フューエルリッド（燃料補給口）」P. 4-49
→「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P. 14-2

アドバイス
● 坂道やカーブなどでは，タンク内の燃料が移動するため，正しく表示しないことがあります。

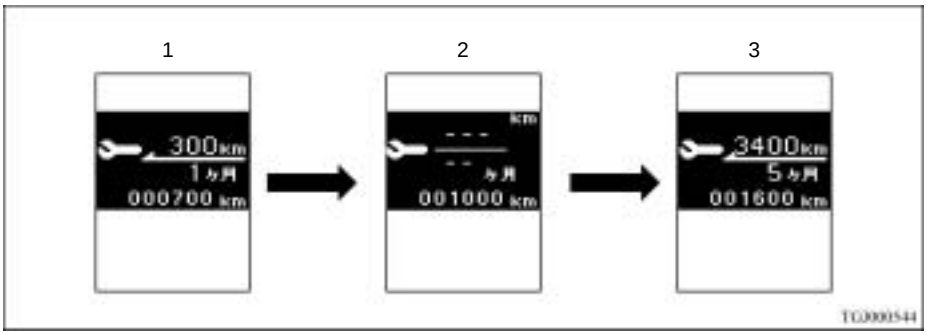
◆ フューエルリッド位置表示

フューエルリッド（燃料補給口）が車体の左側についていることを示しています。
→「フューエルリッド（燃料補給口）」P. 4-49

サービスリマインダーについて

J00609800120

新車1ヶ月点検，新車6ヶ月点検とその後の12ヶ月ごとの定期点検までの時期を表示します。
点検時期が近づいたときは，“---”を表示して知らせます。



1. つぎの定期点検までの時期を表示します。
2. 点検時期が近づいたことを知らせます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

このときエンジンスイッチを OFF から ON にするとインフォメーション画面に「定期点検」が数秒間表示されます。

3. 三菱自動車販売会社で点検を受けると，つぎの定期点検までの時期を表示します。

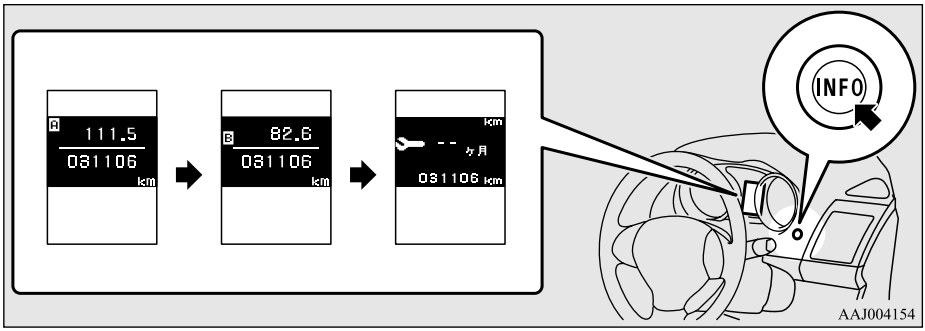
アドバイス

- 距離は100km単位，期間は1ヶ月単位で減少します。
- 新車6ヶ月点検を過ぎると，期間のみを表示します。
- サービスリマインダーの設定を変更することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ リセットするときは

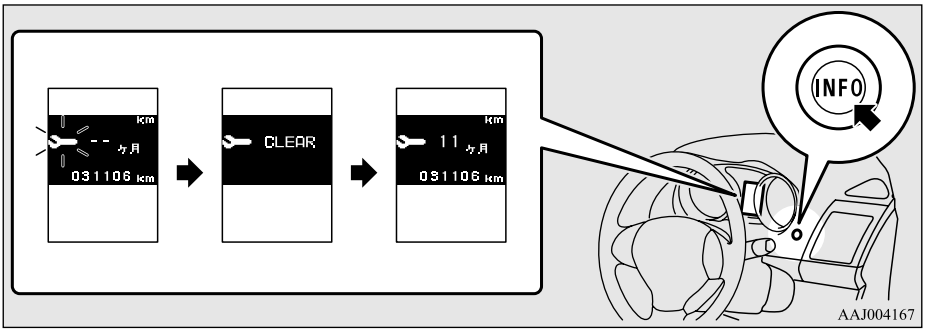
エンジンスイッチがOFFのときに，“---”表示をリセットすることができます。リセットするとつぎの定期点検までの時期を表示し，エンジンスイッチがOFFからONにしたときに表示されていた「定期点検」は表示されなくなります。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く数回押して，インフォメーション画面をサービスリマインダー表示画面に切り換えます。



2. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して🔧を点滅表示させます。（点滅中，約10秒間何も操作しないともとの表示画面に戻ります。）

3. 点滅中にマルチインフォメーション　メータースイッチを軽く押すと “---” が “CLEAR” 表示にかわります。その後，つぎの定期点検までの時期を表示します。



⚠注意

● 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。
事故や故障を未然に防ぐために必ず実施してください。

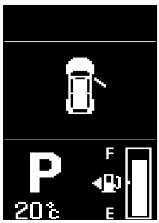
アドバイス

● “---” 表示はエンジンスイッチがONのときはリセットできません。
● “---” 表示後，一定距離および一定期間が経過すると自動的にリセットされてつぎの定期点検までの時期を表示します。
● 誤ってリセットした場合は，三菱自動車販売会社にご相談ください。

半ドア警告表示（エンジンスイッチONのとき）

J00614200106

いずれかのドアおよびリヤハッチが完全に閉められていないときに開いているドアまたはリヤハッチを表示します。
半ドアのまま車速が約 8km/h 以上になると警報表示が点滅すると同時にブザーが 4 回鳴り，半ドアを知らせます。



AAJ003388

⚠注意

● 走行する前に，警告表示が消灯していることを確認してください。

機能設定を変更するときは（エンジンスイッチONのとき）

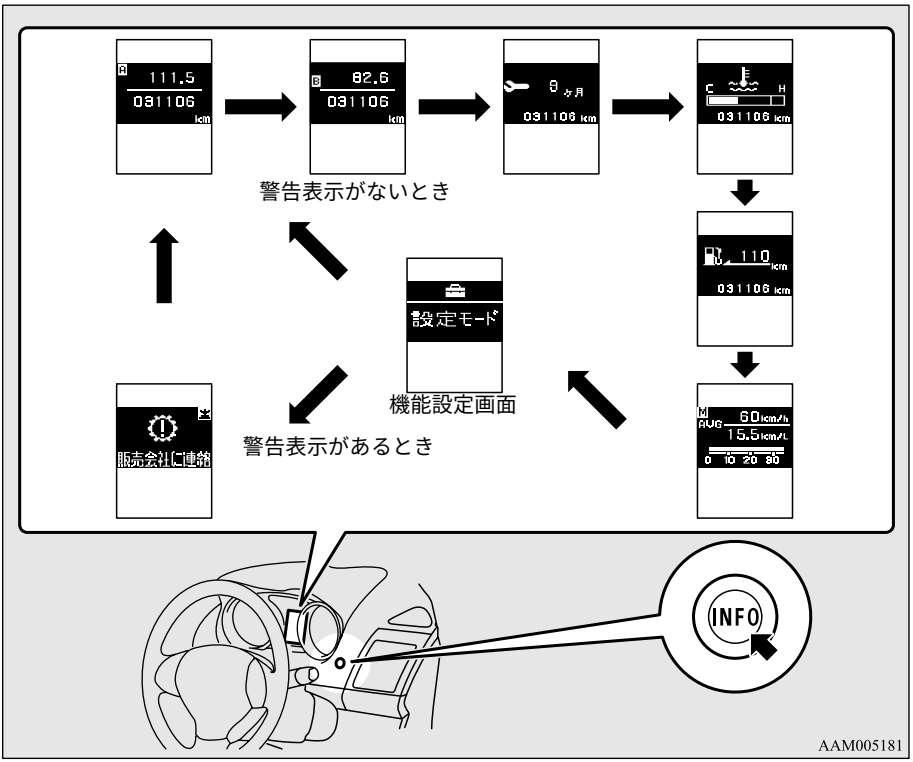
J00608700034

マルチインフォメーションディスプレイの平均燃費・車速リセットモード，燃費単位，温度単位，表示言語，ブザー音，「休憩して下さい」表示が出るまでの時間をお好みの設定に変更することができます。
また，すべての設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

◆ 各機能の設定変更

J00610500127

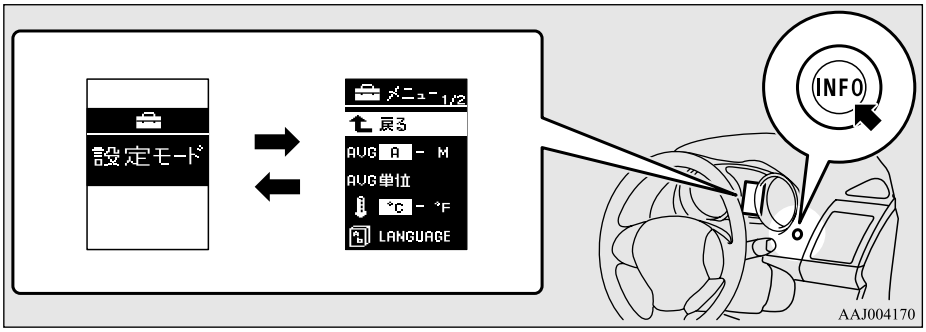
1. 安全な場所に停車します。
   駐車ブレーキを確実にかけ，CVT車はセレクターレバー，ツインクラッチSST車はシフトレバーを㋟に入れます。
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く数回押してインフォメーション画面を機能設定画面に切り換えます。
   →「インフォメーション画面（エンジンスイッチONのとき）」P. 6-17



アドバイス

● 安全のため停車してから操作してください。
走行中にマルチインフォメーション メータースイッチを押しても機能設定画面は表示されません。

3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。



アドバイス

● メニュー画面を機能設定画面に戻すときは再度マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押します。
● メニュー画面を表示した後，何も操作をしないで約 15 秒以上放置すると機能設定画面に戻ります。

4. メニュー画面で変更したい項目を選択し，お好みの設定に変更します。
詳しい操作方法についてはつぎの項をお読みください。

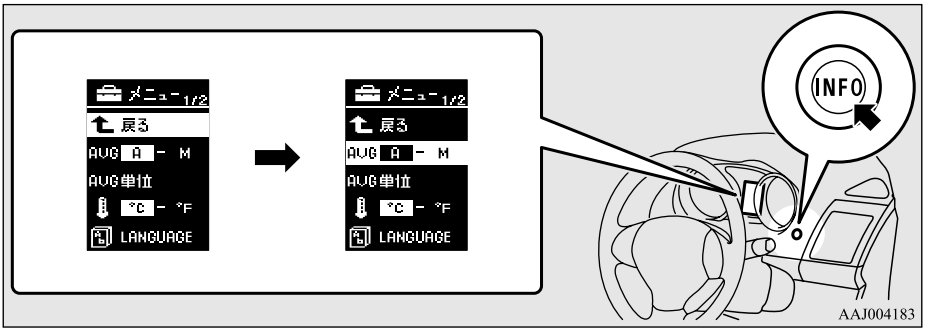
→「平均燃費・平均車速のリセットモードの変更」P. 6-32
→「燃費表示単位の変更」P. 6-33
→「温度単位の変更」P. 6-35
→「表示言語の変更」P. 6-36
→「操作音の設定」P. 6-37
→ {「休憩して下さい」表示が出るまでの時間の変更} P. 6-38
→「出荷時の設定に戻す」P. 6-39

◆ 平均燃費・平均車速のリセットモードの変更

J00610600157

平均燃費・平均車速表示のモード条件を「オートリセット」または「マニュアルリセット」に切り換えることができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「各機能の設定変更」P. 6-30
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「AVG（平均燃費・平均車速設定）」を選択します。



3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押すごとに，A（オートリセットモード）→M（マニュアルリセットモード）→A（オートリセットモード）と切り換わります。
   選択したモード条件に設定が変更されます。

マニュアルリセットモード

- 平均燃費および平均車速を表示しているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費および平均車速表示をリセットします。
- エンジンスイッチをACCまたはLOCKからONした場合に，リセット設定がマニュアルからオートに自動で切り換わります。
  オートに自動で切り換わりますが，マニュアルモードに切り換えた場合，前回リセットしてからのデータが表示されます。

オートリセットモード

- 平均燃費および平均車速を表示しているときに，マルチインフォメーション メータースイッチを長押しすると，そのときに表示している平均燃費表示および平均車速表示をリセットします。
- エンジンスイッチを約4時間以上ACCまたはLOCKした場合に，平均燃費表示および平均車速表示を自動でリセットします。

アドバイス

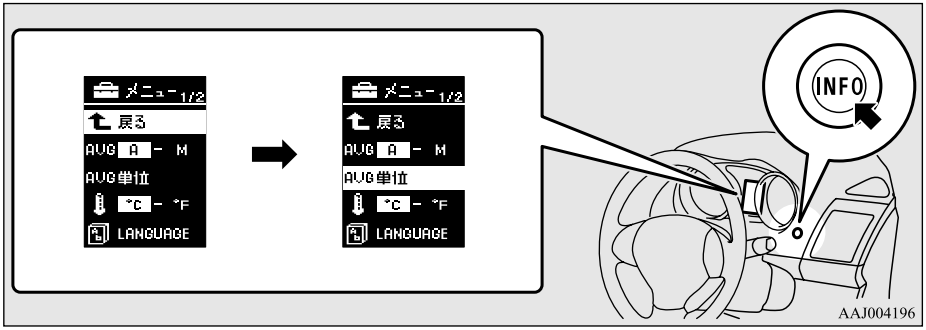
- オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの各モード別に平均車速表示，平均燃費表示をリセットすることができます。
- バッテリーを外すと，オートリセットモードおよびマニュアルリセットモードの平均車速表示，平均燃費表示の記憶は消去されます。

◆ 燃費表示単位の変更

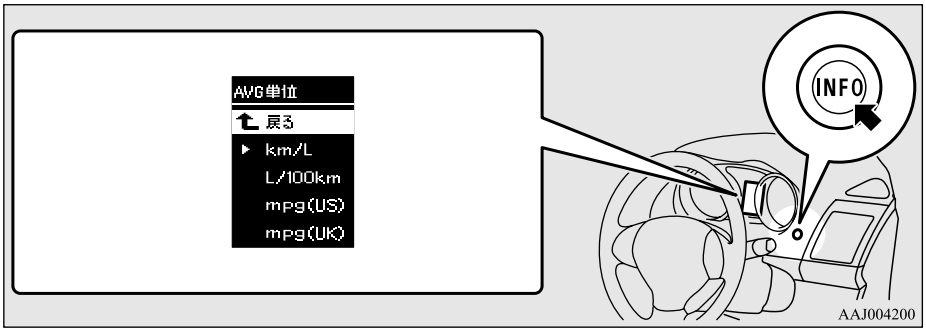
J00610700161

燃費の表示単位を切り換えることができます。選択した燃費単位に合わせて，距離，速度，量の単位も合わせて切り換わります。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「各機能の設定変更」P. 6-30
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「AVG 単位（燃料表示単位設定）」を選択します。



3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して，「AVG 単位（燃料表示単位設定）」を表示します。
4. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押すごとに，km/L →L/100km →mpg (US) →mpg (UK) →戻る →km/L と切り換わり希望の表示を選択します。



5. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押すと，選択した単位に設定が変更されます。

アドバイス

- 航続可能距離，平均燃費，平均車速，瞬間燃費の表示単位は切り換わりますが指針（スピードメーター），オドメーター（積算距離計），トリップメーター（区間距離計）の単位は切り換わりません。
- バッテリーを外すと単位設定の記憶は消去され，自動的にkm/L«・À««Õ««ÝB

選択した燃費単位に合わせて，つぎの組み合わせで距離・速度の単位も切り換わります。

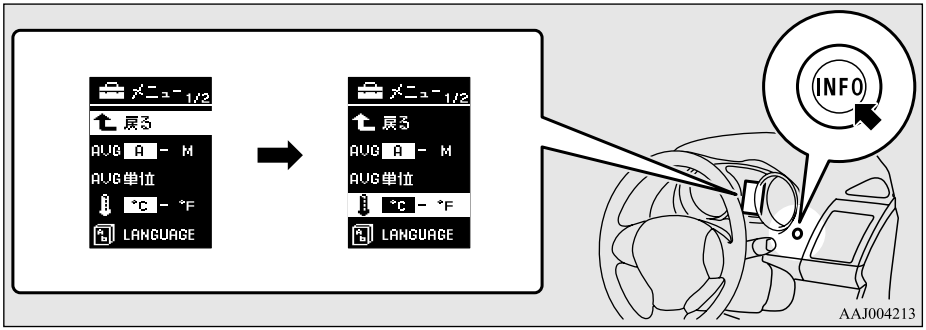
燃費	距離（航続可能距離）	速度（平均速度）
km/L	km	km/h
L/100km	km	km/h
mpg (US)	mile (s)	mph
mpg (UK)	mile (s)	mph

◆ 温度単位の変更

J00610800090

温度の表示単位を切り換えることができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「各機能の設定変更」P. 6-30
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「 (温度単位設定)」を選択します。



3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押すごとに，°C→°F→ °Cと切り換わります。
   選択した温度単位に設定が変更されます。

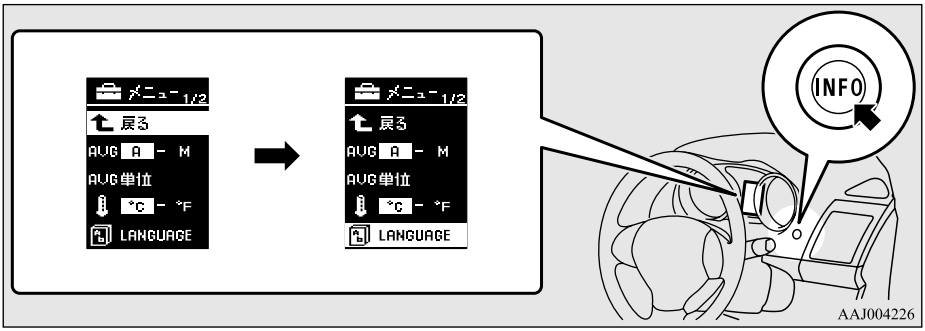
アドバイス
● バッテリーを外すと単位設定の記憶は消去され，自動的に°Cに設定されます。

◆ 表示言語の変更

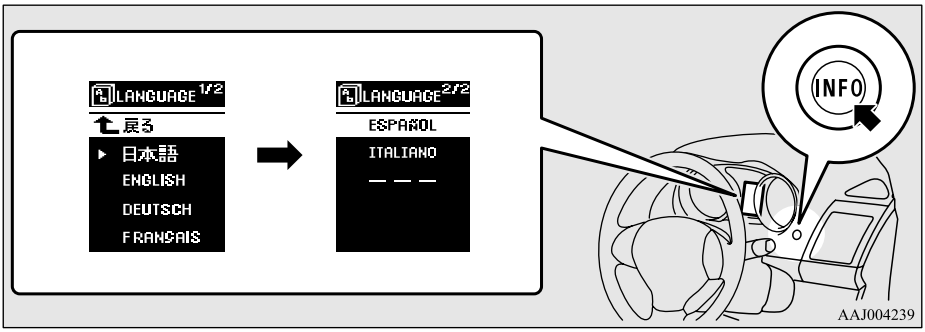
J00610900088

マルチインフォメーションディスプレイに表示する言語を切り換えることができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「各機能の設定変更」P. 6-30
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「LANGUAGE（言語設定）」を選択します。



3. マルチインフォメーション　メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押して，「LANGUAGE（言語設定）」を表示します。
4. マルチインフォメーション　メータースイッチを軽く押すごとに，日本語→英語→ドイツ語 → フランス語 → スペイン語 → イタリア語 → “ --- ”（警告メッセージ非表示）→戻る→日本語と切り換わります。



5. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押すと，選択した言語に設定が変更されます。

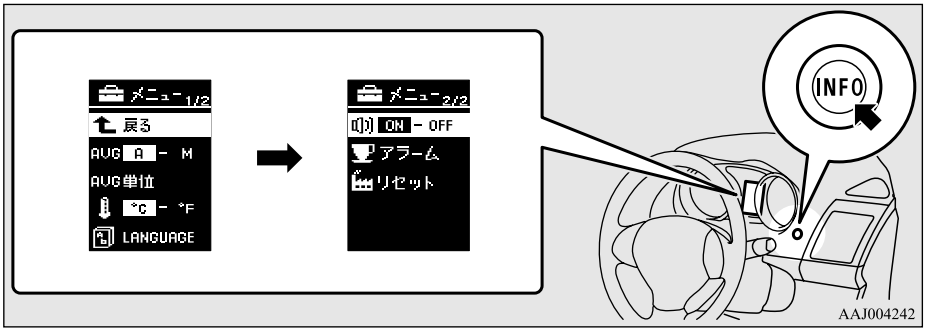
アドバイス
● バッテリーを外すと言語設定の記憶は消去され，自動的に日本語に設定されます。 ● 言語設定で“ --- ”を選択すると警告表示や割り込み表示のときに警告メッセージを表示しません。

◆ 操作音の設定

J00611000060

マルチインフォメーション メータースイッチの操作音を鳴らなくすることができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「各機能の設定変更」P. 6-30
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「(操作音の設定)」を選択します。（メニュー 2/2にあります）



3. マルチインフォメーション　メータースイッチを長く（約 2 秒以上）押すたびに，ON（操作音あり）→OFF（操作音なし）→ON（操作音あり）と切り換わります。選択した条件に設定が変更されます。

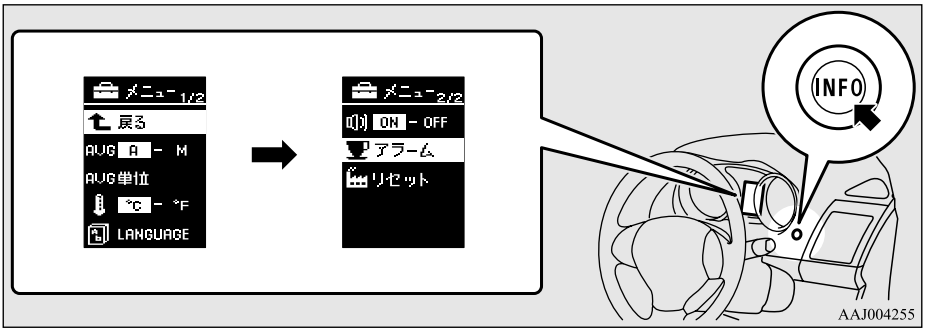
アドバイス
● バッテリーを外すと操作音設定の記憶は消去され，自動的にON（操作音あり）に設定されます。 ● 操作音の設定はマルチインフォメーション メータースイッチの操作音を消すだけのもので警告表示等の音を消すことはできません。

◆「休憩して下さい」表示が出るまでの時間の変更

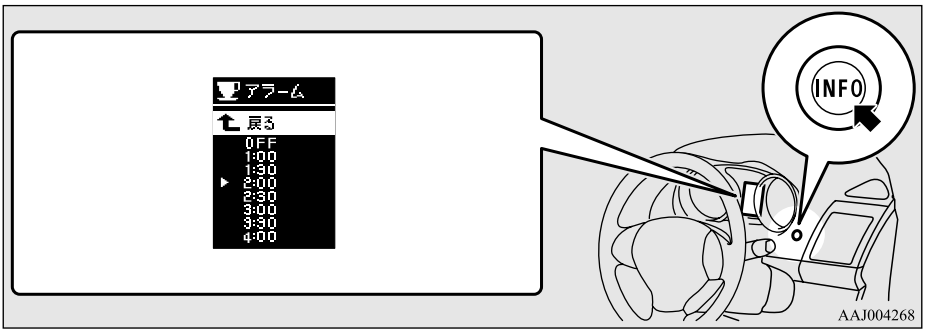
J00611100090

表示が出るまでの時間を変更することができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「各機能の設定変更」P. 6-30
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「アラーム（休憩時間の設定）」を選択します。（メニュー 2/2にあります）



3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して「アラーム（休憩時間の設定）」を表示します。



4. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して，表示が出るまでの時間を選択します。
5. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押すと，選択した時間に設定が変更されます。

アドバイス

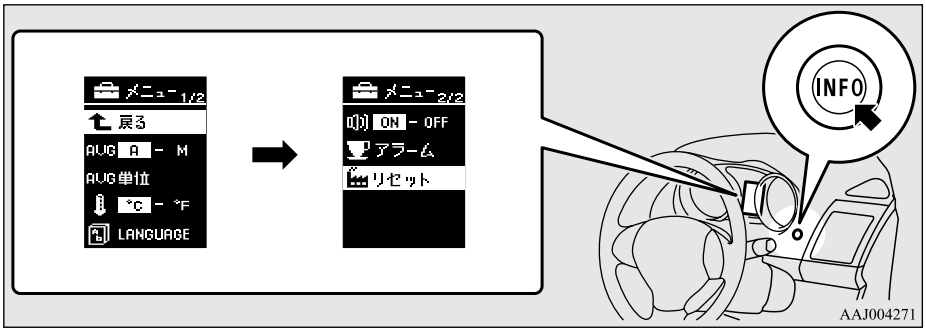
- バッテリーを外すと単位設定の記憶は消去され，自動的にOFFに設定されます。
- エンジンを止めると運転時間はリセットされます。

◆ 出荷時の設定に戻す

J00611200088

各種機能設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約2秒以上）押して設定モード画面をメニュー画面に切り換えます。
   →「各機能の設定変更」P. 6-30
2. マルチインフォメーション メータースイッチを軽く押して「リセット（工場出荷時の設定に戻す）」を選択します。（メニュー 2/2にあります）



3. マルチインフォメーション メータースイッチを長く（約5秒以上）押すと，ブザーが鳴りすべての機能設定が工場出荷時の設定に戻ります。

アドバイス

● 工場出荷時の設定はつぎのとおりです
- 平均燃費・平均車速のリセットモード：A（AUTOリセット）
- 燃費表示単位:：km/L
- 温度単位：°C（摂氏）
- 表示言語：日本語
- 操作音：ON（操作音あり）
- 「休憩して下さい」表示：OFF

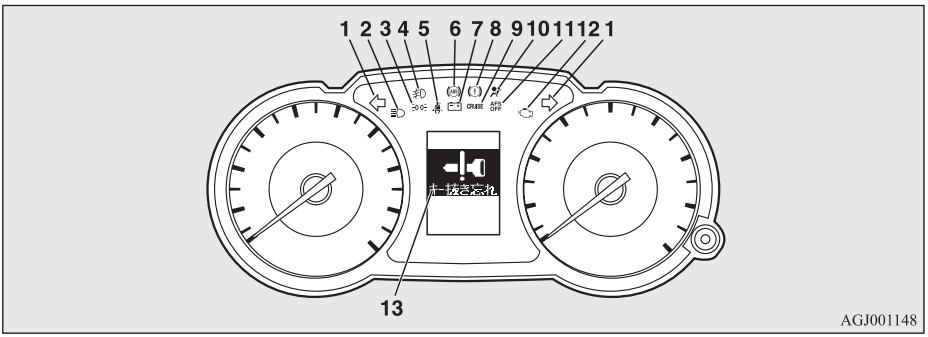
表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧

J00601500411

表示灯・警告灯

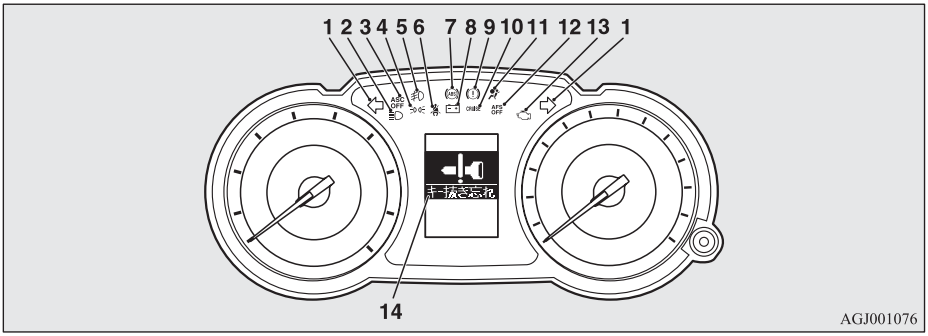
J00609900163

除く，ツインクラッチSST車



1- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯 → P. 6-50
2- ヘッドライト上向き表示灯 → P. 6-50
3- 車幅灯表示灯 → P. 6-50
4- フロントフォグランプ表示灯 タイプ別装備 → P. 6-50
5- シートベルト警告灯 → P. 5-11
6- ABS警告灯 → P. 7-50
7- 充電警告灯 → P. 6-51
8- ブレーキ警告灯 → P. 6-51
9- クルーズコントロール表示灯 タイプ別装備 → P. 7-57
10- SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯 → P. 5-29
11- アダプティブフロントライティングシステム(AFS) OFF表示灯 タイプ別装備 → P. 6-50，6-62
12- エンジン警告灯 → P. 6-51
13- インフォメーション画面表示一覧 → P. 6-42

ツインクラッチSST車



1- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯→ P. 6-50
2- ヘッドライト上向き表示灯→ P. 6-50
3- アクティブスタビリティコントロール(ASC)OFF表示灯→ P. 6-16
4- 車幅灯表示灯→ P. 6-50
5- フロントフォグランプ表示灯→ P. 6-50
6- シートベルト警告灯→ P. 5-11
7- ABS警告灯→ P. 7-50
8- 充電警告灯 → P. 6-51
9- ブレーキ警告灯→ P. 6-51
10- クルーズコントロール表示灯→ P. 7-57
11- SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯→ P. 5-29
12- アダプティブフロントライティングシステム(AFS)OFF表示灯 → P. 6-50，6-62
13- エンジン警告灯→ P. 6-51
14- インフォメーション画面表示一覧→ P. 6-42

インフォメーション画面表示一覧

J00609400096

ランプ類の消し忘れなどお知らせしたい情報が発生したとき，音が鳴ってつぎの画面に切り換わります。該当ページを参照して必要な処置を行ってください。
警告表示の要因が解消されると，警告表示は自動的に消えます。
→警告表示一覧「エンジンスイッチOFFのとき」P. 6-42
→警告表示一覧「エンジンスイッチONのとき」P. 6-44
→その他の割り込み表示「エンジンスイッチONのとき」P. 6-48

アドバイス

● つぎのようなとき，まれに数秒間，警告ブザーとともにインフォメーション画面に警告を表示することがあります。
これは，強い電磁波，ノイズ等を受けたことによって起こるもので，機能上の問題はありません。
・違法無線や電線の火花，レーダー施設等の非常に強い電磁波を受けたとき
・車載電気機器（後付け品含む）の作動時に発生する異常電圧や静電気の放電などがあったとき
ただし，何回も警告表示したときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ 警告表示一覧（エンジンスイッチOFFのとき）

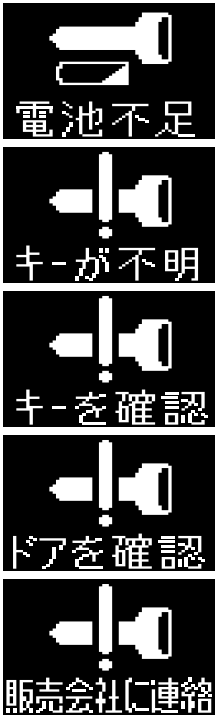
J00610000135

画面	要因	処置(参照先)
	● エンジンスイッチからキーを抜き忘れています。	● キーを抜いてください。「キー抜き忘れ防止機構」 →P. 4-27
	● ライト類を消し忘れています。	「ヘッドライトオートカット機能(自動消灯)」 →P. 6-56
	● セキュリティーアラームが警報作動しています。	「セキュリティーアラーム」 →P. 4-33

画面	要因	処置(参照先)
	● エンジンを止めた後,エンジンスイッチがLOCK (PUSH OFF)以外の位置にあるとき,運転席ドアを開けようとしています。	● エンジンスイッチをLOCK (PUSH OFF)位置にしてください。「エンジンスイッチ戻し忘れ防止機構」→P. 4-27
	● エンジンスイッチがLOCK (PUSH OFF)以外の位置にあるとき,すべてのドアおよびリヤハッチを施錠しようとしています。	● エンジンスイッチをLOCK (PUSH OFF)位置にしてください。「エンジンスイッチ切り忘れ防止機構」→P. 4-18
       	● キーレスオペレーションシステムに何らかの異常が発生しています。	「キーレスオペレーションシステム」→P. 4-6

◆ 警告表示一覧（エンジンスイッチONのとき）

J00610100178

画面	要因	処置(参照先)
	● キーレスオペレーションシステムに何らかの異常が発生しています。	「キーレスオペレーションシステム」→P. 4-6
	● ブレーキ液が不足しています。 ● ブレーキ装置に何らかの異常が発生しています。	● 安全な場所に停止し,最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。 「ブレーキ警告表示」→P. 6-52
	● ABSに何らかの異常が発生しています。	● 急ブレーキや高速走行を避け,車を安全な場所に停車して処置してください。 「ABS警告」→P. 7-50

画面	要因	処置(参照先)
	●いずれかのドアおよびリヤハッチが完全に閉められていません。開いているドアが表示されています。	●ドアおよびリヤハッチを閉めてください。「半ドア警告表示(エンジンスイッチONのとき)」→P. 6-29
	●エンジンフード(ボンネット)が開いています。	●エンジンフード(ボンネット)を閉めてください。「エンジンフード(ボンネット)」→P. 4-47
	●エンジンフード(ボンネット)装置に何らかの異常が発生しています。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。「エンジンフード(ボンネット)」→P. 4-47
	●オーバーヒートしています。	●安全な場所に停車し,処置を行ってください。「オーバーヒートしたときは！」→P. 13-22
	●オートマチックトランスミッション(CVT)オイル,またはツインクラッチSSTオイルの温度が高くなっています。	「警告表示」→P. 7-15，7-27
	●運転席のシートベルトを着用しないままエンジンスイッチをONにしています。	●シートベルトを着用してください。「シートベルト警告灯」→P. 5-11
	●燃料系統に何らかの異常が発生しています。	●三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
	●駐車ブレーキをかけたまま走行しています。	●駐車ブレーキを解除してください。「ブレーキ警告表示」→P. 6-52

画面	要因	処置(参照先)
	● エンジンオイルの循環系統に何らかの異常が発生しています。	● ただちに安全な場所に停車し,三菱自動車販売会社へご連絡ください。「油圧警告表示」 →P. 6-54
	● 充電系統に何らかの異常が発生しています。	● ただちに安全な場所に停車し,三菱自動車販売会社へご連絡ください。「充電警告表示」 →P. 6-53
	● SRSエアバックまたはプリテンショナー機構に何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。「SRSエアバック／プリテンショナー機構警告」 →P. 5-12，5-29
	● ヘッドライトオートレベリングに何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。「ヘッドライトオートレベリング」→P. 6-59
	● アダプティブフロントライティングシステム(AFS)に何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。「アダプティブフロントライティングシステム(AFS)表示」 →P. 6-61
	● アクティブスタビリティコントロール(ASC)に何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。「ASC警告表示」→P. 6-65
	● 電子制御4WD車は電子制御4WD機構に何らかの異常が発生しています。 ● ACDに何らかの異常が発生しています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。「電子制御4WD機構」 →P. 7-43「ACD警告表示」 →P. 7-43

画面	要因	処置(参照先)
	● CVTに何らかの異常が発生しています。 ● ツインクラッチSSTまたはエンジン制御装置に異常が発生し,ツインクラッチSSTの安全装置が働いています。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 「警告表示」 →P. 7-15, 7-27
	● 電子制御4WD機構が高温になっています。	「ドライブモードインジゲーター」→ 7-45
	● 燃料の残量が少なくなっています。	● 早めに燃料を補給してください。 「燃料残量警告表示」 →P. 6-24
	● 車外温度が0 °C (32 °F)以下になっています。	● 路面の凍結に注意して走行してください。 ● 警告表示が出ていなくても路面が凍結している場合がありますので,走行には気をつけてください。
	● タイミングチェーンが摩耗している可能性があります。	● 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ その他の割り込み表示（エンジンスイッチONのとき）

J00610200140

各システムの作動状態をインフォメーション画面に表示します。
詳しくは各システムの該当ページをお読みください。

画面	システムの作動状態	参照先
	● ドライブモードセレクター（スイッチ）で「2WD」モードを選択したとき	「電子制御4WD機構」 →P. 7-43
	● ドライブモードセレクター（スイッチ）で「4WDオート」モードを選択したとき	
	● ドライブモードセレクター（スイッチ）で「4WDロック」モードを選択したとき	
	● アクティブスタビリティコントロール(ASC)が作動したとき	「ASC作動表示/ASC OFF表示」 →P. 7-54

定期点検の時期をお知らせします。

画面	処置
	三菱自動車販売会社で点検を受けてください。 詳しくは「サービスリマインダーについて」をお読みください。→ P. 6-26

休憩時間を設定することができます。

画面	処置
	安全な場所に停車し,エンジンを止めて休憩してください。 長距離走行の途中で休憩をとるための目安としてご使用ください。 運転を開始してから表示がでるまでの時間を設定することができます。 →「機能設定を変更するときは(エンジンスイッチONのとき)」P. 6-30 設定した時間が経過すると,表示とブザーで知らせます。その後休憩しないまま運転を続けると,約5分ごとにブザーが鳴り,休憩をとるように促します。 ● つぎの場合は,運転した時間がリセットされ,もとの表示画面に戻ります。その後,再び設定した時間が経過すると表示とブザーで休憩をとるように促します。 ・3回目のブザーが鳴る ・エンジンスイッチをOFFにする ・マルチインフォメーション メータースイッチを長く(約2秒以上)押し続ける

表示灯

J00601600119

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J00601700295

つぎの場合に点滅します。

- 方向指示レバーを操作し，方向指示灯を作動させたとき。
  →「方向指示レバー」P. 6-60
- 非常点滅灯スイッチを押し，非常点滅灯を作動させたとき。
  →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-62
- 走行中に急ブレーキを踏んで，自動的に非常点滅灯が作動したとき。
  →「緊急制動信号システム」P. 7-49

アドバイス

- 急ブレーキ以外の操作で点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト上向き表示灯

J00601800081

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

車幅灯表示灯

J00602100010

車幅灯を点灯させると表示灯が点灯します。

フロントフォグランプ表示灯

タイプ別装備

J00601900255

フロントフォグランプを点灯させると表示灯が点灯します。

アダプティブフロントライティングシステム（AFS）OFF表示灯

タイプ別装備

J00615800011

AFS を OFF にすると表示灯が点灯します。

警告灯

J00602500115

ブレーキ警告灯

J00602600738

エンジンスイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイにも警告表示します。
エンジンをかけても，つぎのようなときは点灯します。
- 駐車ブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき
- ブレーキ力配分機能に異常があるとき

⚠注意

- つぎの場合はブレーキの効きが悪くなったり，急ブレーキをかけたとき車体姿勢が不安定になるおそれがありますので，急ブレーキや高速走行を避け車を安全な場所に止めて最寄りの三菱自動車販売会社へご連絡ください。
  - 駐車ブレーキをかけても点灯しないときや戻しても消灯しないとき。
  - 走行中ブレーキ警告灯が点灯したまま消灯しないとき。
  - ブレーキ警告灯と ABS 警告灯が同時に点灯したとき。
- ブレーキ警告灯がABS警告灯と同時に点灯したときは，ブレーキ力の配分機能も作動しないため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に止めて最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

⚠注意

- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキをゆっくりかけてください。
    このとき後続車に注意をうながすため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

エンジン警告灯

J00602700566

エンジン制御システム，CVT制御システム，またはツインクラッチ SST 制御システムに異常があると点灯または点滅します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。走行中はアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなることがあります。停車時はアイドリング回転数が高くなり，クリープ現象が強くなることがあるため，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

充電警告灯

J00602800134

充電系統に異常があると点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイにも警告表示します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

● エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

インフォメーション画面表示

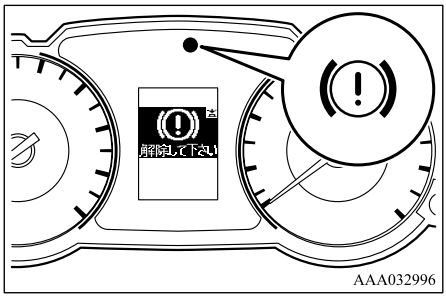
J00608900010

ブレーキ警告表示

J00609000122

◆「解除して下さい」表示のとき

駐車ブレーキをかけたまま走行すると警告表示します。また，メーター内の警告灯は駐車ブレーキをかけているだけで点灯します。

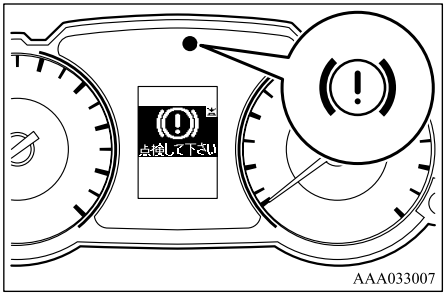


⚠注意

● 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。
警告表示がでたときは駐車ブレーキを解除してください。

◆「点検してください」表示のとき

エンジンスイッチが ON のときにブレーキ液が不足していると警告表示します。またメーター内の警告灯も点灯します。



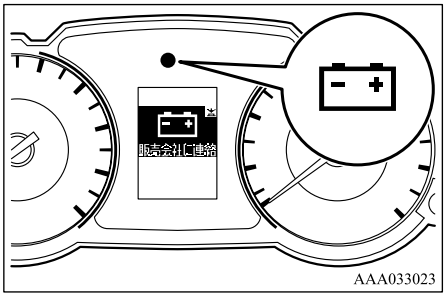
⚠注意

- 走行中，警告表示したまま消灯しないときはブレーキの効きが悪くなるおそれがありますので，車を安全な場所に止めて最寄りの三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- ブレーキ警告表示がブレーキ警告灯，ABS 警告灯と同時に警告表示したときは，ブレーキ力の配分機能も作動しないため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に止めて最寄りの三菱自動車販売会社へご連絡ください。
- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてから駐車ブレーキをゆっくりかけてください。
    このとき後続車に注意を促すため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

充電警告表示

J00609200036

充電系統に異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に「販売会社に連絡」と警告表示します。また，メーター内の警告灯も点灯します。



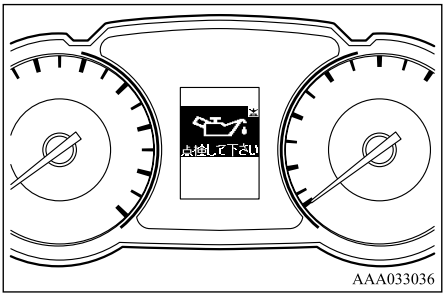
⚠注意

- エンジン回転中に警告表示したときは，ただちに安全な場所に停車し，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

油圧警告表示

J00609300066

エンジン回転中，エンジンオイルの圧力が低下するとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に「点検して下さい」と警告表示します。



⚠注意

- エンジンオイルが不足したまま運転したり，エンジンオイルの量が正規であっても警告表示したままで運転するとエンジンが焼き付き，破損するおそれがあります。
- エンジンの回転中に警告表示したときは，ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め，エンジンオイルの量を点検してください。
  （点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。）
- エンジンオイル量が正常で警告表示したときは，三菱自動車販売会社へご連絡ください。

ライトスイッチ

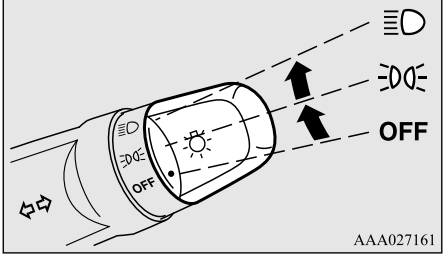
J00604000707

手動で使うときは

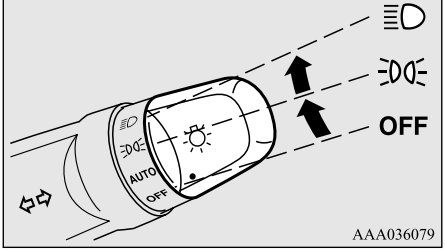
エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。
レバー先端のツマミを回すと下表の○印のランプが点灯します。

ツマミの位置	≣D	≣DOE
ヘッドライト	○	—
車幅灯	○	○
尾灯	○	○
番号灯	○	○
計器類照明灯	○	○

オートライトコントロールなし



オートライトコントロール付き



⚠注意

- 点灯中および消灯直後は，レンズの表面が高温になっているため触らないでください。やけどをするおそれがあります。

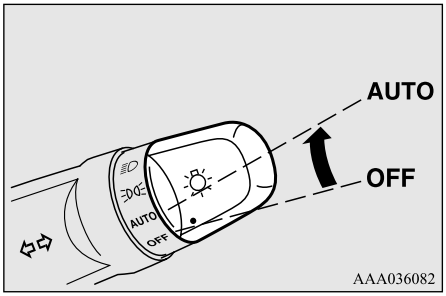
アドバイス

- 雨の日や洗車後などにレンズ内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし，ランプ内に水がたまっているときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

自動で使うときは（オートライトコントロール）

タイプ別装備

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。レバー先端のツマミを AUTO 位置にすると，車外の明るさに応じてヘッドライト，車幅灯，尾灯，番号灯などが自動的に点灯・消灯します。
エンジンスイッチをOFFにすると自動的に消灯します。



アドバイス

- 自動点灯センサーの感度を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。
- フロントフォグランプ付き車は,AUTOの位置でフロントフォグランプが点灯しているとき，エンジンスイッチをOFFにすると，フロントフォグランプも自動消灯します。

アドバイス

- フロントガラスにステッカーやラベルを貼ってセンサーを覆わないでください。センサーが車外の明るさを検知できなくなり，ライトが自動に点灯・消灯しなくなるおそれがあります。

フロントガラスの交換・センサー付近のガラス補修をするときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

- AUTOの位置で点灯・消灯しないときは，手動スイッチを操作し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

ヘッドライト *1 オートカット機能（自動消灯）

J00606000743

*1 ヘッドライトやフォグランプなどの車外照明

- ライトスイッチが≣Dまたは≣DEの位置でも，エンジンスイッチを LOCK にし，運転席ドアを開くと，ランプ類が自動的に消灯します。

[キーを使ってエンジンをかけているとき]

- キーを抜き運転席ドアを開いた場合は，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
- キーを差したまま運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。

[キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているとき]

- エンジンスイッチを LOCK にして運転席ドアを開いた場合は，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
- エンジンスイッチが　LOCK(PUSH OFF)以外で運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に鳴り，エンジンスイッチの戻し忘れを知らせます。

- ライトスイッチが≣Dまたは≣DEの位置でも，エンジンスイッチを LOCKにし，運転席ドアを開かないまま約3分たつとランプ類が自動的に消灯します。

◆ 降車後，照明として利用するときは

降車後も約 3 分間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチを　OFF，エンジンスイッチをLOCKにします。
   さらに，キーを使ってエンジンをかけているときはエンジンスイッチからキーを抜きます。
2. ライトスイッチを≣Dの位置にし，降車します。

アドバイス

- ライトスイッチを≣DE位置にすると降車後照明として利用できません。(自動消灯せず通常通り，ランプ類が点灯し続けます。)
- キーを使ってエンジンをかけているときは，運転席から降車するときキーが抜かれていればライト消し忘れ警告ブザーが鳴り，キーが差さっていればキー抜き忘れ警告ブザーが鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。(マルチインフォメーションディスプレイ内にも警告表示します。)

アドバイス

● キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときは，運転席から降車するときエンジンスイッチが LOCK 位置ではライト消し忘れ警告ブザーが鳴り，LOCK 位置以外ではエンジンスイッチ戻し忘れ警告ブザーが鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。（マルチインフォメーションディスプレイ内にも警告表示します。）

3. 約 3 分後にランプ類が自動消灯します。

アドバイス

● つぎの機能を変更することができます。
- ライトスイッチが位置でも降車後照明として利用できるようにする。
- ランプ類のオートカット機能を働かなくする。

詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ライト消し忘れブザー

J00606100252

キーを使ってエンジンをかけているとき

ライトスイッチがまたはの位置のままでキーを抜き，運転席のドアを開くと，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。

キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているとき

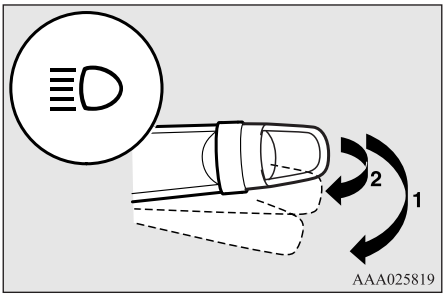
ライトスイッチがまたはの位置のままでエンジンスイッチを LOCK にして運転席のドアを開くと，ブザーが鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。

どちらのときも，ヘッドライトオートカット機能が働く，ライトスイッチを OFF にする，またはドアを閉じればブザーは止まります。

上下切り換え

J00606200295

レバーを(1)まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き，下向きと交互に切り換わります。
レバーを(2)まで軽く引くと，引いている間ヘッドライトが上向きになり，メーター内の表示灯も点灯します。



アドバイス

- ライトスイッチがOFF位置でも，レバーを(2)まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。
- ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても，次回ライトスイッチを≡Dの位置にすると必ず下向きで始まります。

ヘッドライトレベリング

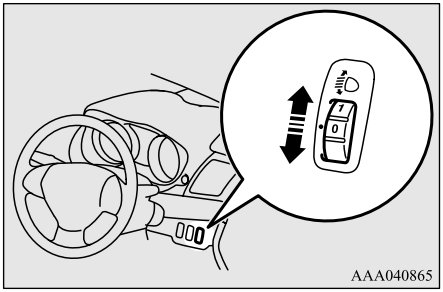
J00604100388

ヘッドライトレベリングダイヤル

タイプ別装備

J00610300066

ヘッドライトの照らす方向（光軸）は，乗員の人数や荷物の重さなどによって変化します。人や荷物をのせて，ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は，ダイヤルを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。ダイヤルの数字が大きくなるほど下向きになります。



乗員の人数や荷物の重さに応じて下記の表を目安にダイヤル位置を調整してください。
人や荷物をおろした後は，必ずダイヤルを“０”の位置に戻してください。

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

乗員やラゲッジコンパートメントの積載状態		ダイヤル位置
	運転席乗車時	0
	運転席＋助手席乗車時	0
	全席乗車時	1
	全席乗車時＋ラゲッジコンパートメント最大積載時	2
	運転席乗車時＋ラゲッジコンパートメント最大積載時	3

アドバイス

- 車検等で光軸調整をするときは，ダイヤルを“０”の位置（光軸が一番上向きの位置）にしてから行ってください。

ヘッドライトオートレベリング

タイプ別装備

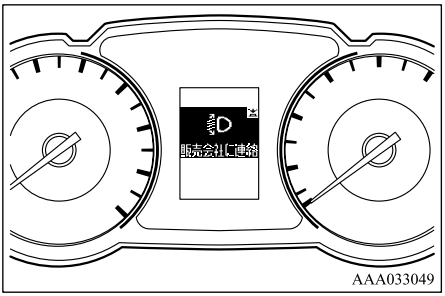
J00610400126

乗員の人数や荷物の重さなどによる車両姿勢の変化に応じて，ヘッドライトの照らす方向（光軸）を自動的に調整する装置です。
エンジンスイッチが ON のときにヘッドライトが点灯すると，停車時にヘッドライトの光軸を自動的に調整します。

◆ ヘッドライトレベリング警告表示

J00616300013

ヘッドライトオートレベリングに何らかの異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に「販売会社に連絡」と警告表示します。



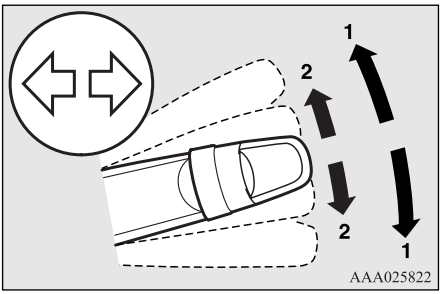
⚠注意

- 警告表示したときは装置の故障が考えられますので，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

方向指示レバー

J00604200695

エンジンスイッチが ON のときにレバーを (1) まで操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。
車線変更などのときは，レバーを (2) まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。また，レバーを (2) まで軽く操作し，すぐ離すと3回,方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。



1- 方向指示
2- 車線変更

アドバイス

- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- つぎの機能を変更することができます。
  - エンジンスイッチがONまたはACCのときにレバーを操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯を点滅させる。
  - 車線変更時，方向指示灯の3回点滅機能を働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

アドバイス

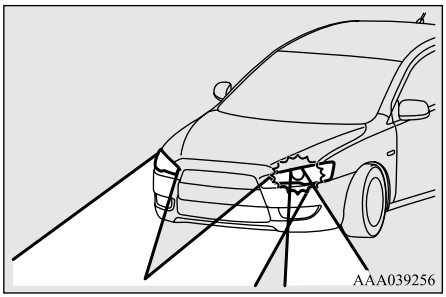
- 3 回点滅機能のレバー操作時間を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

アダプティブフロントライティングシステム(AFS)

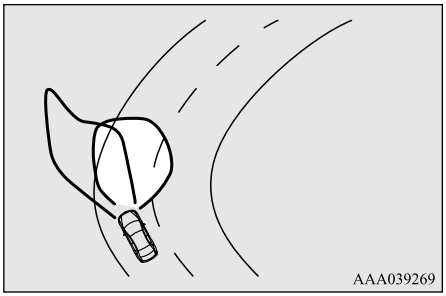
タイプ別装備

J00616000052

アダプティブフロントライティングシステム(AFS)とは，ライトスイッチが≣Dまたは AUTO（ライト点灯時）の位置のとき，ハンドルの操作に応じて，ベンディングライトが自動的に点灯し，進行方向のランプが照らす範囲を拡大します。夜間での進行方向の確認をしやすくします。



カーブなどでハンドルを切ると，進行方向内側の路面を照らします。



⚠注意

- ベンディングライトは約 15 分点灯させておくと消し忘れを防止するため自動的に消灯します。再び点灯させるにはハンドルを戻してください。

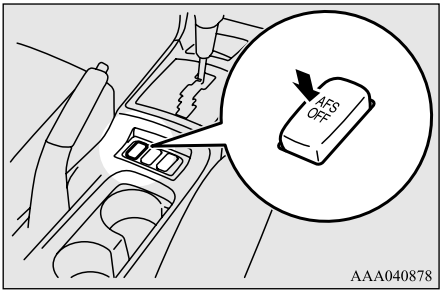
アドバイス

- ベンディングライト点灯に必要なハンドル操作量は車速に応じて変化します。(低速ほどハンドルの操作量が多くなります。)
  ただし，走行前の状態では少しのハンドル操作量で点灯するように設定しています。
- つぎの場合，AFSは作動しません。
  - シフトレバーまたはセレクターレバーがⓇのとき
  - ライトスイッチを≣DまたはOFF の位置にしたとき
  - 車速が100km/h以上のとき
  - AFS OFF スイッチを押して AFS 機能を停止したとき

アダプティブフロントライティングシステム (AFS) OFF スイッチ

J00616100040

AFS を OFF にしたいときは AFS OFF スイッチを押します。スイッチを押すとメーター内の表示灯が点灯します。もう一度押すと作動状態になります。



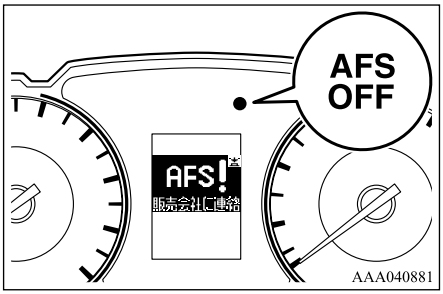
アドバイス

- エンジンスイッチを切ってもAFS OFFスイッチの状態を記憶しています。

アダプティブフロントライティングシステム(AFS)表示

J00616200025

AFS になんらかの異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に「販売会社に連絡」と表示し，メーター内の表示灯が点滅します。



⚠注意

- 「販売会社に連絡」と表示したときは装置の故障が考えられますので，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

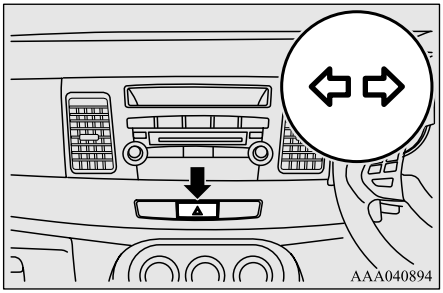
アドバイス

- 運転中に AFS 表示灯が点滅したときは，安全な場所に停車しエンジンスイッチをACCまたはOFFに回してから，エンジンを再始動してください。そのとき表示灯が消えれば正常です。
- 応急用スペアタイヤを装着したときは，AFS が正常に作動しなくなるおそれがありますので，AFS OFFスイッチを押してOFF にしてください。また，できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- 雪の斜面などにヘッドライトが反射して運転の妨げになるときは，AFS OFF スイッチを押してOFFにしてください。

非常点滅灯スイッチ

J00604300540

故障したときなど，やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し，メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。



アドバイス

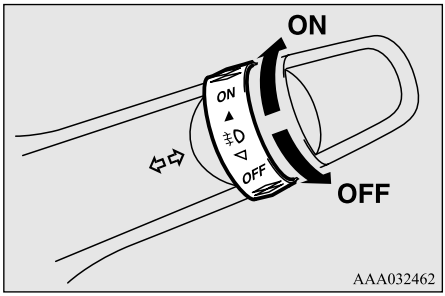
- エンジンがかかっていないときに長時間使用するとバッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- スイッチを押して非常点滅灯を点滅させているときは，緊急制動信号システムは作動しません。
  →「緊急制動信号システム」P. 7-49

フロントフォグランプスイッチ

タイプ別装備

J00604500441

霧の出ているとき，雨や雪などの降る夜間など視界が悪いときに使用します。
ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときにノブを上に回すと，フロントフォグランプが点灯し，メーター内の表示灯も点灯します。消灯するときはノブを下に回します。



アドバイス

- ヘッドライトと尾灯が消灯すると，フロントフォグランプも自動消灯します。
  再度点灯させたいときは，ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときに，もう一度ノブを上に回します。

ワイパー／ウォッシャースイッチ

J00604800721

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

⚠注意

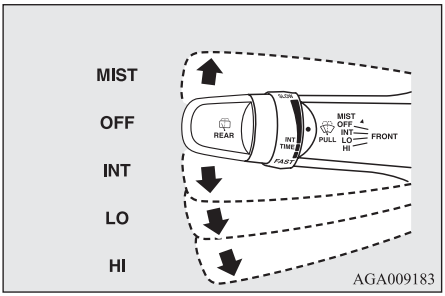
- 寒冷時にウォッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウォッシャー液が凍結し，視界を妨げることがあります。ウォッシャー使用前にヒーターやリヤウインドウデフォッガーを使って，ガラスを暖めてください。

アドバイス

- ガラスがほこりや泥で汚れているときは，洗車するかウォッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。
  汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。
- ウォッシャー液が出ないとき，ウォッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウォッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
  →「ウォッシャー液の点検・補給」P. 11-3
- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーターが故障するおそれがあります。
  凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは，ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。
- ワイパーを作動中，積雪等によりワイパーブレードが途中で止まったときはワイパースイッチをOFFにしてもモーターに電流が流れておりエンジンスイッチをOFFにしないとモーターが焼き付くことがあります。必ず車を安全な場所に止めてエンジンスイッチをOFFにし，ワイパーブレードが作動できるように積雪等を取り除いてください。

フロントワイパースイッチ

◆ 除く，レインセンサー付き車



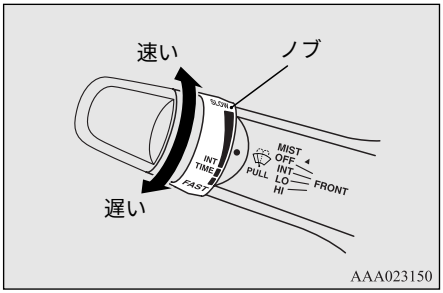
MIST 1回作動（ワイパーミスト機能）
OFF 停止
INT 間けつ作動（車速感応）
車速に応じてワイパーが間けつ作動します。
車速が速くなると間けつ時間が短くなります。
LO 低速作動
HI 高速作動

アドバイス

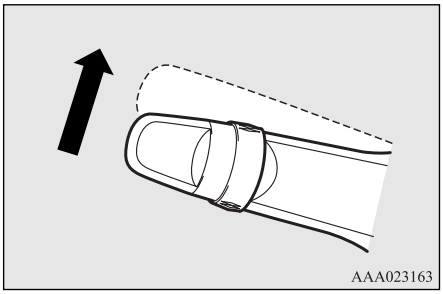
- 車速感応の機能を働かなくすることができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

間けつ時間の調整のしかた

レバーがINT（間けつ作動）位置のときにノブを回すと間けつ時間を調整できます。



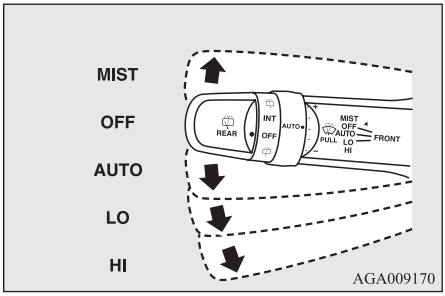
ワイパーミスト機能



レバーを MIST 位置に上げて離すとワイパーが1回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。レバーをMIST位置に上げている間はワイパーが連続作動します。

◆ レインセンサー付き車

エンジンスイッチがON またはACC のときに使用できます。



MIST	1回作動 （ワイパーミスト機能）
OFF	停止
AUTO	自動作動（雨滴感応） 雨の程度に応じて，自動的にワイパーが作動します。
LO	低速作動
HI	高速作動

アドバイス

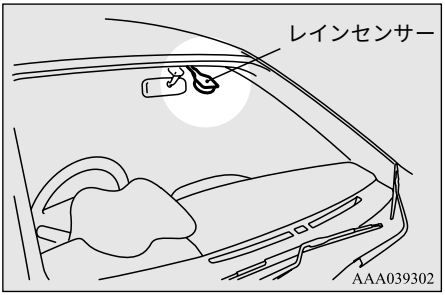
- つぎの機能を変更することができます。
  - 自動作動（雨滴感応）を間欠作動（車速感応）に 変更する。
  - 自動作動（雨滴感応）を間欠作動（除く，車速感応）に変更する。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

レインセンサー

エンジンスイッチが ON のときに使用できます。レバーをAUTO の位置にすると，雨の程度（雪やその他の液体，ほこりなどを含む）をレインセンサーが感知し，ワイパーが自動作動します。
ただし，つぎのような場合，フロントガラスに傷がついたり，ワイパーブレードを傷めるおそれがありますので，レバーをOFFの位置にしてください。

- 晴れた日が続き、フロントガラスが汚れているとき
- 空気が乾燥し、フロントガラスが汚れているとき



⚠注意

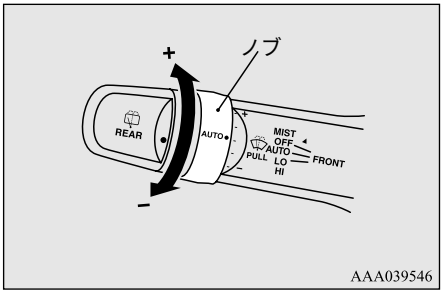
- エンジンスイッチが ON の位置で，レバーが AUTO の位置のとき，つぎのような場合，ワイパーが自動作動することがあります。
  手や指をはさむと，けがをしたり，ワイパーを損傷するおそれがありますのでエンジンスイッチを OFF にするか，レバーを OFF にして，レインセンサーを停止するよう注意してください。
  - フロントガラス掃除の際，レインセンサーの上部をフロントガラス越しに触れたとき。
  - フロントガラス掃除の際，レインセンサーの上部をフロントガラス越しに拭いたとき。
  - 自動洗車機を使用するとき。
  - フロントガラスに衝撃を与えたとき。
  - レインセンサーに衝撃を与えたとき。

アドバイス

- ワイパーのゴム部分を保護するため，エンジン始動後，車両を止めた状態で，外気温が低いとき（約 0°C 以下のとき）はワイパーは作動しません。
- フロントガラスにステッカーやラベルを貼ってセンサーを覆わないでください。また，フロントガラスにコーティングをしないでください。センサーが雨を検知できなくなり，ワイパーが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- つぎのような場合は，レインセンサーの故障が考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  - 雨の程度が変化しているにもかかわらず，ワ イパーが一定間隔作動しているとき。
  - 雨が降っているにもかかわらず，ワイパーが 動 かないとき。
- レインセンサー上部のウインドウガラスに雨，ほこり，泥，虫，樹液，油，塩などが付着したり，ウインドウガラスが凍結しているときは，ワイパーが自動的に作動することがあります。
  （強い電磁波等の原因によっても誤作動することもあります。）ワイパーでフロントガラスの付着物を取り除けないときは，ワイパーが自動的に停止します。ワイパーを作動させたいときは，レバーをLOまたはHIの位置にしてください。
- フロントガラスの交換・センサー付近のガラス補修をするときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

雨滴感応の調整のしかた

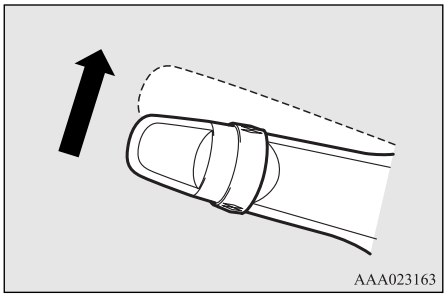
レバーがAUTO の位置のときに，ノブを回すとレインセンサーの感度を調整できます。



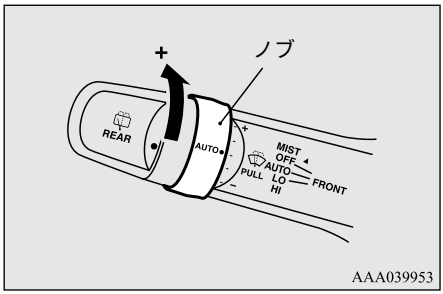
+ 高感度（雨に反応しやすい）
- 低感度（雨に反応しにくい）

ワイパーミスト機能

つぎのようにレバーまたは，ノブを操作するとワイパーが 1 回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。



エンジンスイッチがON またはACC のときにレバーを MIST 位置に上げて離すとワイパーが1 回だけ作動します。
レバーを MIST 位置に上げている間はワイパーが連続作動します。

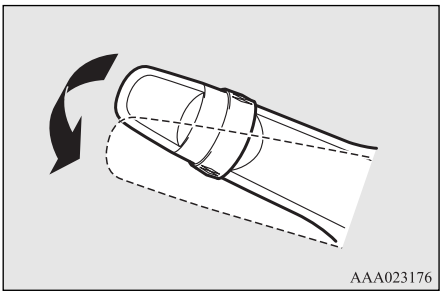


エンジンスイッチが ON のとき，レバーを AUTO の位置にして，ノブを + 側に回すとワイパーが1 回作動します。

フロントウォッシャースイッチ

J00604900429

レバーを手前に引いている間ウォッシャー液が噴射します。
ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウォッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。



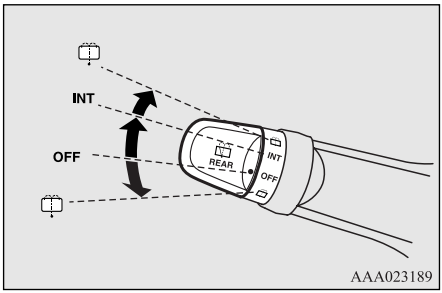
アドバイス

- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバーを手前に引いた状態でエンジンスイッチを ON または ACC にするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。
- ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させないようにすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

リヤワイパー／ウォッシャースイッチ

J00605000661

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。



レバー先端のツマミを回すとつぎの通り作動します。

INT 間けつ作動（約8秒）おき
OFF 停止
この位置に回している間，ウォッシャー液を噴射。同時にワイパーが数回作動。

アドバイス

- 後方の視界を確保するため，INTの位置で間けつ作動中に，シフトレバーまたはセレクターレバーをⓇに入れるとワイパーが自動的に数回作動し，その後間けつ作動に戻ります。
- ワイパーを作動させずにウォッシャー液を噴射するときは，レバー先端のツマミをの位置に回した状態でエンジンスイッチをONまたはACCにするとワイパーは連動せず，ウォッシャー液のみが噴射します。

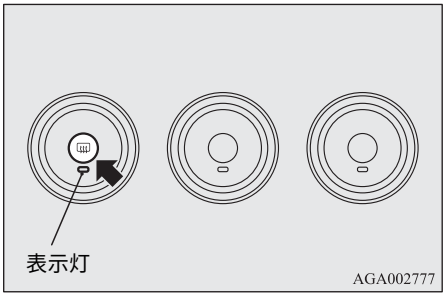
アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。
  - ワイパーの間けつ作動時間を調整する。この調整をした場合，間けつ作動だけでなく 1 秒以内にレバー先端のツマミをINT（間けつ作動）の位置に 2 回繰り返して回すと，ワイパーを連続作動に切り換えることができます。（連続作動モード）
  - ワイパーの間けつ作動を連続作動にする。
  - ウォッシャー液を噴射しても常時ワイパーを連動させない。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム（MMCS）付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ

J00605500507

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に，ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。
エンジンがかかっているときにスイッチを押すと作動し，表示灯が点灯します。
もう一度押すとスイッチが切れます。
スイッチを押すたびに音が鳴ります。



ヒーテッドドアミラー付き車は，デフォッガースイッチを押すと同時にドアミラーの曇りも取ることができます。
→「ヒーテッドドアミラー」P. 7-6

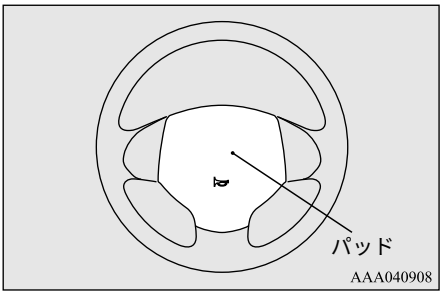
アドバイス

- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたらスイッチを切ってください。
  万一，スイッチを切り忘れても約20分後に自動的に切れます。
- リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。
- リヤガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。

ホーンスイッチ

J00605600449

ハンドルのパッドを押すとホーン（警音器）が鳴ります。



MEMO

運転装置

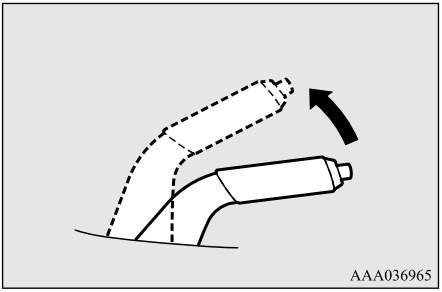
駐車ブレーキ 7- 2
チルトステアリング 7- 3
ルームミラー 7- 3
ドアミラー 7- 4
エンジンスイッチ 7- 7
エンジンのかけ方・止め方 7- 8
ターボ車の取り扱い 7- 12
CVT 7- 12
CVT車の運転のしかた 7- 21
ツインクラッチSST 7- 24
ツインクラッチSST車の運転のしかた 7- 36
ACD 7- 41
電子制御4WD機構 7- 43
4WD車の上手な運転 7- 46
4WD車取り扱い上の注意 7- 47
緊急制動信号システム 7- 49
アンチロックブレーキシステム(ABS) 7- 49
アクティブスタビリティコントロール(ASC) 7- 52
クルーズコントロール（自動定速走行装置） 7- 56
リヤビューカメラ 7- 62

駐車ブレーキ

J00700100769

かけるときは

ボタンを押さずに駐車ブレーキレバーをいっぱいまで引きます。



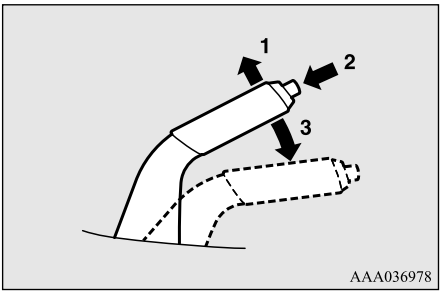
⚠注意

- 坂道に駐車するときは駐車ブレーキを確実にかけ，CVT 車はセレクターレバーを🅿に，ツインクラッチSST車はシフトレバーを🅿に入れてください。
- 駐車ブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてから駐車ブレーキレバーを引いてください。
  車が動いているうちに駐車ブレーキレバーを引くと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
  また，駐車ブレーキの故障の原因になります。

解除するときは

1. レバーを少し引き上げ
2. ボタンを押したまま
3. 完全に戻します。

解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。

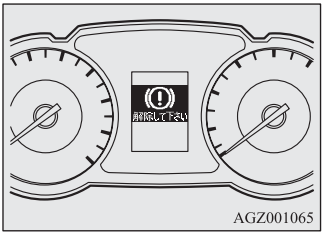


⚠注意

- 駐車ブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し,ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

アドバイス

- 駐車ブレーキが完全に解除されていない状態で運転すると，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に「解除して下さい」が表示されます。



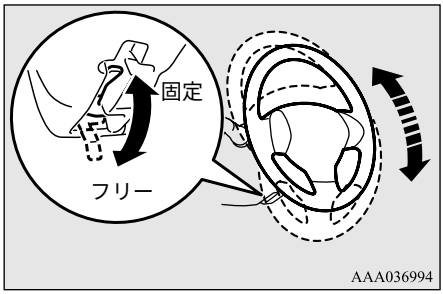
チルトステアリング

J00700200409

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ハンドルを手で支えてレバーを押し下げ，ハンドルを上下に動かして調整します。
レバーをいっぱいまで引き上げると固定できます。
調整後はハンドルを上下に動かして固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとハンドル位置が突然変わり，思わぬ事故につながるおそれがあります。



ルームミラー

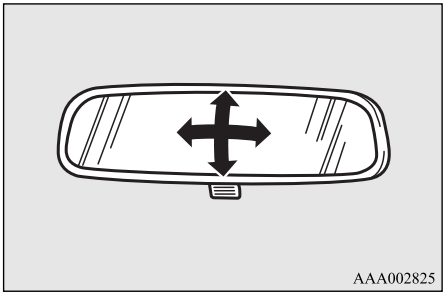
J00700300400

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

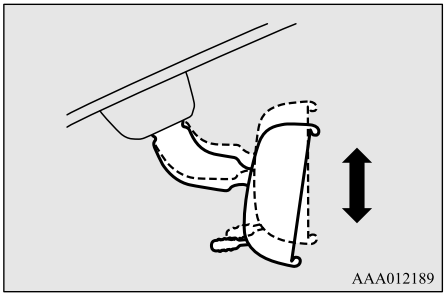
ミラーの角度調整

ミラーの本体を上下左右に動かして調整します。



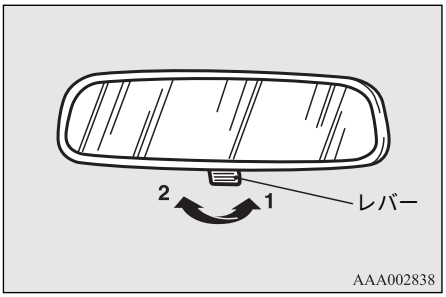
ミラーの上下位置調整

ミラーの本体を上下方向に動かして調整します。



防眩切り換え

レバーを動かしてミラーの位置を切り換えることができます。



1- 通常はレバーを前方に押した状態で使用します。
2- 後続車のライトがまぶしいときはレバーを手前に引きます。

ドアミラー

J00700500880

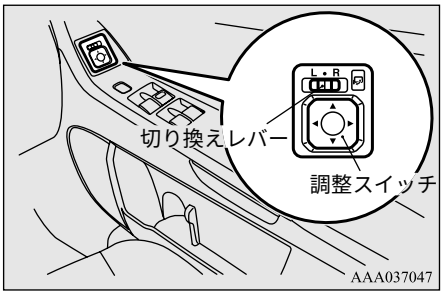
ミラーの角度調整

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。
- ドアミラーは凸面鏡を採用しています。
  凸面鏡は平面鏡に比べ，物が遠くに見え，実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

エンジンスイッチがONまたはACCのときに操作できます。

1. 切り換えレバーを調整したい方向に動かします。
   L：左側ミラーの調整
   R：右側ミラーの調整
2. 調整スイッチを押して角度を調整します。



アドバイス

- 調整が終わったら切り換えレバーは中央の位置に戻してください。

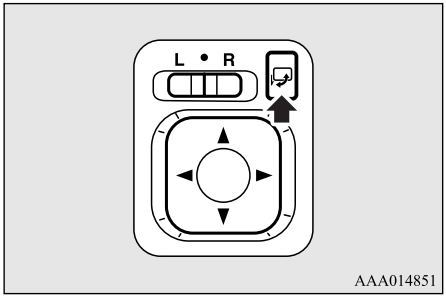
ドアミラーの格納・復帰

⚠注意

● ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 格納スイッチによるミラーの格納・復帰

エンジンスイッチがONまたはACCのとき，格納スイッチを押すとミラーが格納されます。もう一度押すと元の位置に戻ります。
エンジンスイッチを切った後でも，約30秒間はミラーを格納・復帰することができます。



⚠注意

● ミラーは手で倒すことも戻すこともできますが，格納スイッチの操作で倒したミラーは手で戻さず，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
格納スイッチで倒したミラーを手で戻すとミラーの固定が不完全になり，走行中の振動および風の影響などでミラーが動き，後方の確認ができなくなります。

アドバイス

● ミラーが動いているときは手などをはさまないように注意してください。
● キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチでもミラーの格納，復帰操作ができます。
→「キーレスエントリー」P. 4-4
→「キーレスオペレーションシステム：キーレスエントリー」P. 4-24
● キーレスオペレーションシステム付き車は，ドアまたはリヤハッチのスイッチでもミラーの格納操作ができます。
→「キーレスオペレーションシステム：キーレスオペレーション機能を使って操作するときは」P. 4-10
● 手でミラーを動かしたり，人や物に当たってミラーが動いたあとは，格納スイッチでミラーを元の位置に戻せないことがあります。
このようなときは，一度格納スイッチを押してミラーを格納状態にしたあと，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
● 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

◆ ミラーの自動復帰

ミラーを格納した状態でエンジンスイッチを ON にした後，走行スピードが約 30km/h になると，安全のためミラーが自動的に復帰します。

アドバイス

- エンジン始動後に，格納スイッチを押して一度ミラーを格納したり，手動で格納した場合は，自動復帰しません。
  この場合は，格納スイッチを押してミラーを復帰してください。エンジンスイッチを LOCK にすれば自動復帰の状態に戻ります。
- つぎのとおり機能を変更することができます。
  - 運転席ドアを閉め，エンジンスイッチを ON にすると自動復帰，エンジンスイッチを OFF にした後，運転席ドアを開くと自動格納する。
  - [キーレスエントリー付き車]
    キーレスエントリーのリモコンスイッチですべてのドアおよびリヤハッチを施錠，解錠すると自動格納，自動復帰する。
  - [キーレスオペレーションシステム付き車]
    キーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチまたはキーレスオペレーション機能を使ってすべてのドアおよびリヤハッチを施錠，解錠すると自動格納，自動復帰する。
  - 自動復帰の機能を働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

ヒーテッドドアミラー

タイプ別装備

J00706800234

エンジン回転中にリヤウインドウデフォッガースイッチを押すと，ドアミラー内部のヒーターが作動し，ミラーの曇りを取ることができます。
ヒーターは約 20 分後に自動的に切れます。
→「リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ」P. 6-69

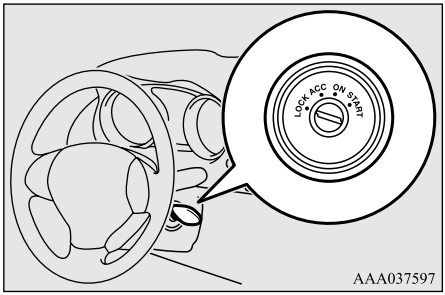
エンジンスイッチ

J00700800825

キーレスオペレーションシステム付き車

キーレスオペレーションシステム付き車のエンジンスイッチについては「キーレスオペレーションシステム：エンジンスイッチの位置と働き」をお読みください。→P. 4-13，4-19

除く，キーレスオペレーションシステム付き車



各位置の働き

LOCK	ハンドルがロックされる位置 キーが抜き差しできます
ACC	エンジンを止めたままでもオーディオ，シガレットライターなどが使用できる位置
ON	エンジン回転中の位置 すべての電気系統が働きます
START	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったら，キーから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります

アドバイス

- エンジン停止時はエンジンスイッチをLOCK にしてください。エンジンスイッチをONまたはACCのままラジオなどの電気製品を長時間使用すると，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンが回転しているときは，エンジンスイッチをSTARTの位置に回さないでください。スターチングモーターが破損することがあります。
- エンジンスイッチがLOCKからACCに回らないときはハンドルを軽く左右に動かしながらエンジンスイッチを回してください。

ACC電源オートカット機能

J00713800050

エンジンスイッチがACCのままで約30分経過すると，オーディオなどACCの位置で作動する装備の電源を自動的にカットする機能です。
ACCの位置からエンジンスイッチを操作すると，再び電源が入ります。

アドバイス

- つぎの通り機能を変更することができます。
  - 電源カットするまでの時間を約60分間に変更する。
  - 電源カットの機能を働かなくする。

  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

キーを抜くときは

J00706200485

LOCKまで回して抜きます。
セレクターレバーがⓅでないとキーを抜くことはできません。

エンジンのかけ方・止め方

J00717100051

⚠警告

- 車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 排気音が変わったり，車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は排気系や燃料系の異常が考えられますので，必ず三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯または点滅したときは，高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
  →「エンジン警告灯」P. 6-51

アドバイス

- バッテリー上がりやスターチングモーターの故障を防ぐため，STARTにして10秒以上スターチングモーターを回さないでください。10秒以上たってもエンジンがかからなかったときは，いったんキーをLOCKに戻し，2～3秒待ってから再度エンジンをかけてください。エンジンやスターチングモーターが止まらないうちに始動の操作をくり返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンが冷えているときや，再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり，高速運転は避けてください。
- エンジンルームから，エンジン始動直後に特有の音が聞こえることがあります。エンジンが暖まれば音は止まります。
- ツインクラッチSST車は，エンジン始動直後にシフトレバーをⓃに入れてアクセルペダルを踏み込んだ場合，エンジン回転の上昇が制限されることがあります。

エンジンのかけ方

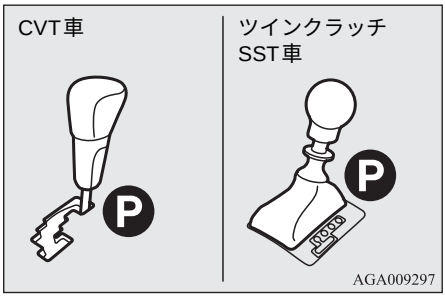
J00717200052

キーレスオペレーション機能またはエマージェンシーキーを使ってエンジンをかけるとき

キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけるときの操作については「キーレスオペレーションシステム：エンジンの始動」をお読みください。
→P. 4-13
エマージェンシーキーを使ってエンジンをかけるときの操作については「キーレスオペレーションシステム：エンジンの始動」をお読みください。
→P. 4-19

エンジンイモビライザー用キーまたはキーレスエントリー用キーを使ってエンジンをかけるとき

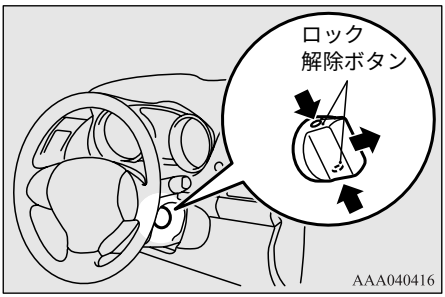
1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P. 5-3
2. 駐車ブレーキがかかっていることを確認します。
3. CVT車はセレクターレバーがⓅに，ツインクラッチ SST 車はシフトレバーがⓅにあることを確認します。



アドバイス

- CVT車はセレクターレバーがⓅ，またはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
  ツインクラッチ SST 車はシフトレバーがⓅのとき，またはシフトレバーがⓃでブレーキペダルを踏んでいるとき以外はエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。

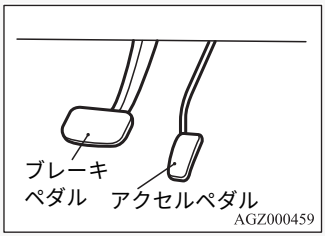
4. キーレスオペレーションシステム付き車は，ロック解除ボタンを押しながらエンジンスイッチのカバーを取り外します。



5. ブレーキペダルを右足で踏みます。
6. キーレスオペレーションシステム付き車は，エンジンスイッチにキーを差し込み，押しながら START に回してエンジンをかけます。
   除く，キーレスオペレーションシステム付き車は，エンジンスイッチにキーを差し込み，START に回してエンジンをかけます。

⚠警告

- アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。



アドバイス

- エンジンをかけている途中でキーから手を離しても，エンジン始動のために数秒間スターチングモーターが回り続けます。（除く，ターボ車）
- エンジンがかからないときはつぎの手順に従ってください。
  - アクセルペダルを踏み込んだままエンジンをかけてください。
  - エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。

⚠注意

- アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくい場合でも，エンジンがかかった後はブレーキペダルを踏んでください。

エンジンの止め方

J00717300040

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. CVT車はセレクターレバーを(P)に，ツインクラッチ SST 車はシフトレバーを(P)に入れてから，エンジンスイッチをLOCKまで回してエンジンを止めます。

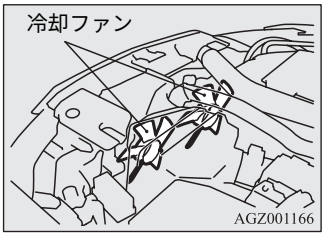
アドバイス

- ツインクラッチ SST 車は，エンジンスイッチを LOCK にしてからエンジンが止まり車両の電源が切れるまでに,約1秒かかります。

  約1秒かかる理由は…
  エンジンスイッチを LOCK にしてからエンジンが止まるまでの間にツインクラッチ SST 内部のギヤの結合を解除し，つぎのエンジンの始動をスムーズに行うためです。
  ツインクラッチ SST は内部に備えた 2 個のクラッチを交互につなぎ換えることでスムーズな変速を行っています。
  また，つながっていないクラッチ側のギヤを結合した状態にすることで素早い変速を行います。
  このようにギヤが結合したままの状態でエンジンが止まると，つぎのエンジン始動時に抵抗となるため，エンジン停止までの約1秒間にギヤの結合を解除します。
- ツインクラッチ SST 車は，エンジン停止までの約 1 秒間にシフトレバーなどの操作をしないでください。

アドバイス

- ツインクラッチ SST 車は，エンジンを止めてもエンジンルーム内の温度が高ければ，冷却ファンがしばらくの間は作動し続けます。
  そのため，エンジンを止めてからも冷却ファンの作動音が聞こえることがありますが異常ではありません。
  一定時間作動した後，冷却ファンは自動的に停止します。



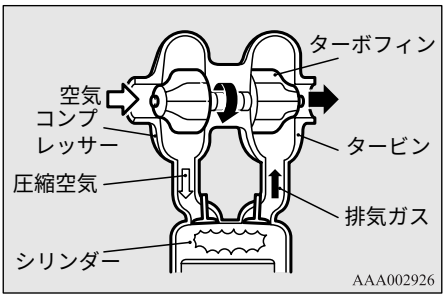
ターボ車の取り扱い

J00701200161

⚠注意

- エンジンをかけた直後は，空ぶかしや急加速などでエンジンを高回転させないでください。
- 高速走行または登坂走行をした後は，低速走行やアイドリング運転でターボが冷えるのを待ってからエンジンを止めてください。

ターボとは...



正式にはターボチャージャーといい，シリンダー内へ大量の空気を過給してより大きなパワーを引きだします。ターボフィンは超高速で回転し，高温下で使われ，潤滑はエンジンオイル，冷却はエンジンオイルと冷却水で行っています。エンジンオイルは定められた時期に交換しないとターボ軸受部の固着，異音の発生などの原因となります。

CVT

J00701400307

INVECS-III CVT

INVECS: Intelligent & Innovative Vehicle Electronic Control System

CVT: Continuously Variable Transmission

INVECS-III は，全運転域での最適制御と学習制御により路面や走行状況を判断して，適切な変速比を選択します。
CVT は走行状態に応じて，全運転域で常に最適な変速比を無段階に自動選択するトランスミッションです。変速ショックのないスムーズな走りと優れた燃費を実現します。

◆ 上り坂では

アクセルペダルをもどしても不必要なシフトアップを防止し，加速する場合のもたつきをなくしてスムーズな加速が得られます。

◆ 下り坂では

状況に応じて自動的にシフトダウンを行ってエンジンブレーキをかけ，運転者のブレーキを踏む回数を低減します。

⚠注意

- 走行開始直後でオートマチックトランスミッション (CVT) オイルの温度が低いときは，自動的にシフトダウンしない場合があります。その場合は必要に応じてブレーキを踏んだり，手動でシフトダウンしてください。
  常に道路状況に合った安全な運転を心がけてください。

◆ スポーティ走行では

急加速，急減速をくりかえすスポーティな走行を行うと，通常走行に比べてシフトアップしにくくなります。これにより大きな駆動力で走行することができます。

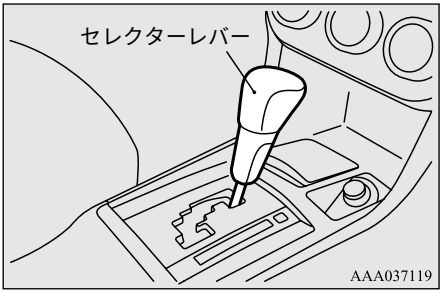
◆ スポーツモード

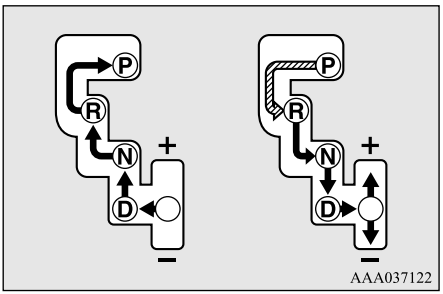
「スポーツモード」では，マニュアルトランスミッション感覚でスポーティな運転を楽しむことができます。
→「スポーツモード」P. 7-18

「安全なドライブのために：CVT車・ツインクラッチSST車の取り扱い」も合わせてお読みください。
→P. 2-16

セレクターレバーの動かし方

J00701500340





ブレーキペダルを踏んだまま，セレクターレバーをゲートに沿って操作します。

セレクターレバーをゲートに沿って操作します。

⚠警告

- セレクターレバーをⓃ→Ⓓまたは Ⓝ→Ⓡに操作するときは，安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

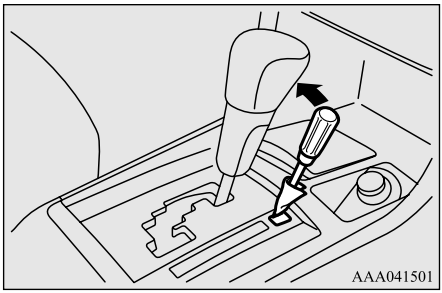
アドバイス

- レバーの操作は誤操作防止のため，各位置ごとにいったん止めて確実に行ってください。操作後は必ずマルチインフォメーションディスプレイ内の表示でポジションを確認してください。
- ブレーキペダルを踏んでいないと，シフトロック装置が働いてⓅから他の位置に操作できません。また，エンジンスイッチが LOCK または ACC 位置のときはブレーキペダルを踏んでもⓅから他の位置に操作できません。
- の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると，セレクターレバーが動かなくなることがあります。
- ⒹからⓇ，ⓇからⒹおよびⓅに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちにⓅやⓇに入れるとトランスミッションの故障の原因になります。

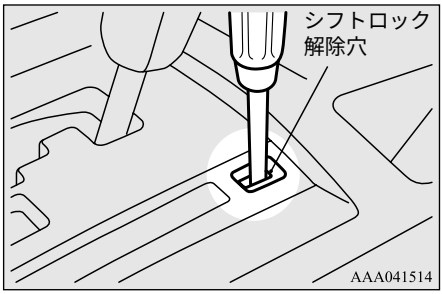
◆ セレクターレバーをⓅから操作できないときは

万一，エンジンスイッチがONの位置でブレーキペダルを踏んだ状態でも，Ⓟから他の位置に操作できないときは，バッテリー上がりやシフトロック装置の故障が考えられます。ただちに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
また，お車を移動させる必要がある場合はつぎの手順でセレクターレバーを操作してください。

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをカバーの切り欠き部に差し込み，こじて外します。



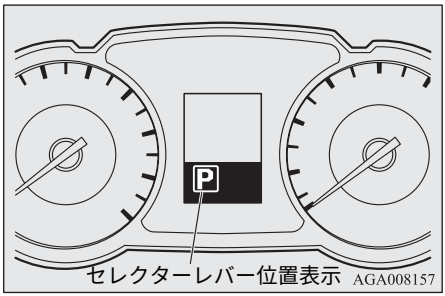
2. シフトロック解除穴にマイナスドライバーなどを差し込み，押しながらセレクターレバーを操作します。



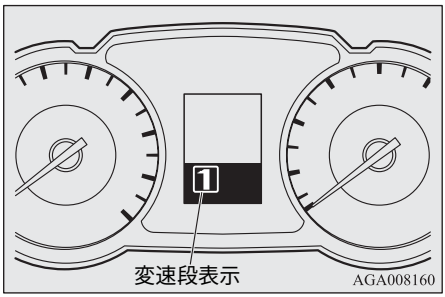
セレクターレバー位置表示

J00701600383

セレクターレバーの位置をマルチインフォメーションディスプレイに表示します。
また，スポーツモードで走行中は，スポーツモードで選択した変速段を表示します。



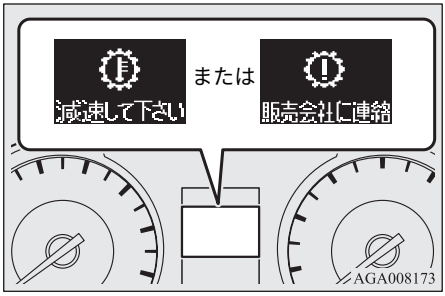
スポーツモード走行中の表示



警告表示

J00712200132

マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示と「減速して下さい」が表示されたとき，または警告表示と「販売会社に連絡」が表示されたときは，つぎの方法で処置してください。



◆ 警告表示しているとき

オートマチックトランスミッション(CVT)オイルの温度が高くなっています。高くなったオートマチックトランスミッション (CVT) オイルの温度を下げるためにエンジン制御が働き，エンジン回転数と車速が下がることがあります。
このようなときは，つぎのいずれかの方法で処置してください。

- 車速を下げて走行します。
- 車を安全な場所に止めてセレクターレバーをPに入れ，エンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。

しばらくしたら警告表示が消えるか確認します。
表示が消えればもとのように走行できます。
警告表示したままのときや，たびたび警告表示するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ 警告表示しているとき

CVT に何らかの異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

セレクターレバーの位置・働き（メインゲート）

J00701700267

P	（パーキング） 駐車およびエンジンをかけるとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅにしてください。 ⓅでのみエンジンスイッチをLOCKまで回すことができます。
R	（リバース） 後退させるとき	Ⓡにするとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

● ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

N	（ニュートラル） 中立	動力が伝達されません。 この位置でもエンジンをかけることができますが安全のためⓅで行ってください。
D	（ドライブ） 通常走行	発進から高速走行まで無段階に自動変速されます。 道路状況に合わせて自動的にエンジンブレーキもかけます。

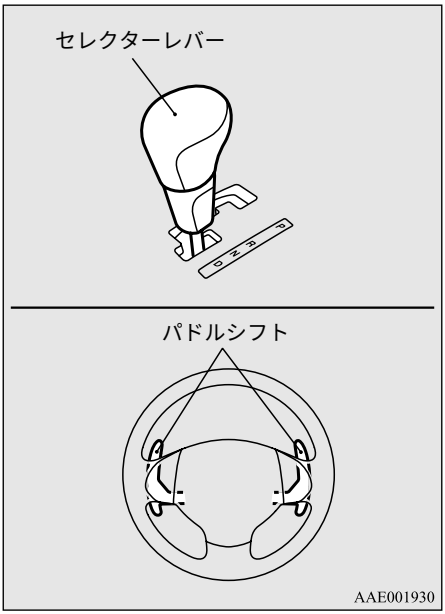
アドバイス

● マニュアルゲートの使い方は「スポーツモード」の項をご覧ください。→P. 7-18

スポーツモード

J00701800297

スポーツモードでは，セレクターレバーまたはパドルシフトを操作するだけで，素早くシフトチェンジすることができます。



マニュアルトランスミッションと違って，アクセルペダルを踏み込んだままシフトチェンジをすることができます。
カーブの手前の軽快なシフトダウンによる減速と素早いコーナーの立ち上がりなど，スポーティなドライブを楽しむことができます。

⚠注意

- スポーツモードで走行中は，道路状況に合わせて，エンジン回転がレッドゾーンに入らないよう適切にシフトチェンジしてください。
- 急激なエンジンブレーキや急加速はスリップの原因となります。道路状況，スピードに合ったシフトダウンを心がけてください。
- 左右のパドルシフトを同時に操作すると，シフトチェンジしないことがあります。

アドバイス

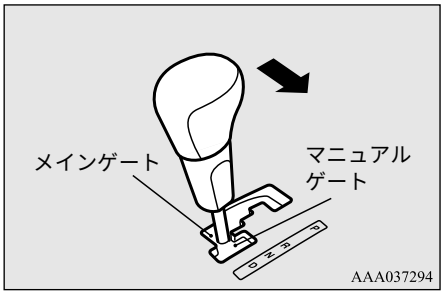
- 1速から6速の前進しか選択できません。後退，駐車するときはセレクターレバーを，Ⓡ，Ⓟに入れてください。
- スポーツモードで走行中に車速が下がると自動的にシフトダウンし，停車前に1速に入ります。
- セレクターレバーまたはパドルシフトを連続して操作すると変速段が連続して切り換わります。
- 走行性能を確保するため，車速によってはセレクターレバーまたはパドルシフトを操作してもシフトアップしない場合があります。また，エンジンの過回転を防止するため，車速によってはセレクターレバーまたはパドルシフトを操作してもブザーが鳴ってシフトダウンしない場合があります。

◆ セレクターレバーを使って操作するとき

J00715800038

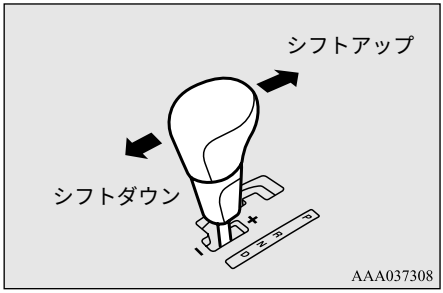
スポーツモードを選択するときは

停車中または走行中にセレクターレバーをメインゲートのⒹからマニュアルゲートに入れることで，スポーツモードが選択されます。



シフトアップ，シフトダウンするときは

セレクターレバーを車両前方に押すごとに1段ずつシフトアップします。
また，セレクターレバーを車両後方に引くごとに1段ずつシフトダウンします。

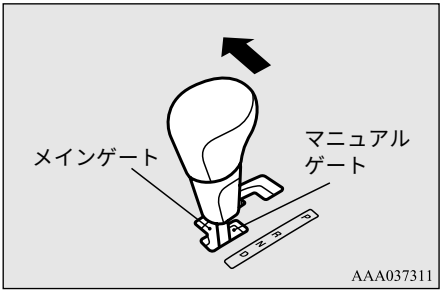


アドバイス

- セレクターレバーの操作でスポーツモードを選択した後は，パドルシフトの操作でもシフトアップまたはシフトダウンすることができます。

Ⓓ走行に戻すときは

セレクターレバーをマニュアルゲートからメインゲートに入れるとⒹ走行に戻ります。

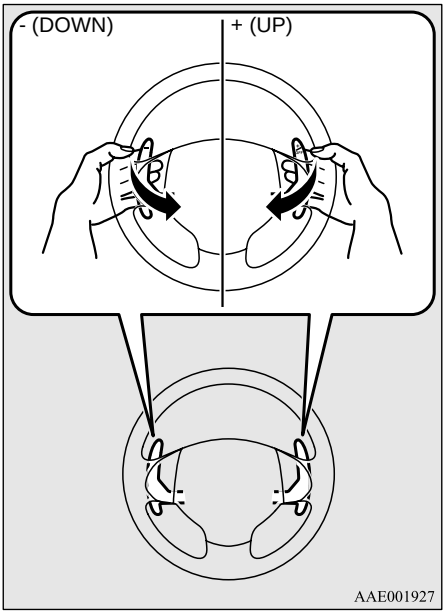


◆ パドルシフトを使って操作するとき

J00715900042

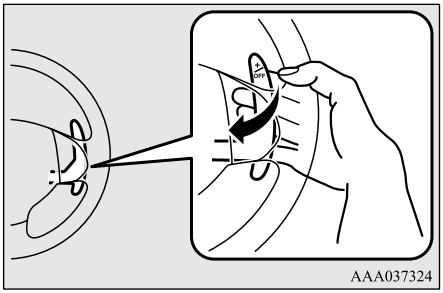
スポーツモードを選択するときは

セレクターレバーを❹に入れて停車しているときまたは走行中に，パドルシフトを手前に引くことで，スポーツモードが選択されます。



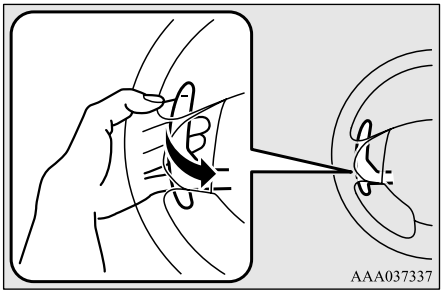
シフトアップするときは

パドルシフトの＋ (UP) 側を引くごとに1段ずつシフトアップします。



シフトダウンするときは

パドルシフトのー (DOWN) 側を引くごとに1段ずつシフトダウンします。

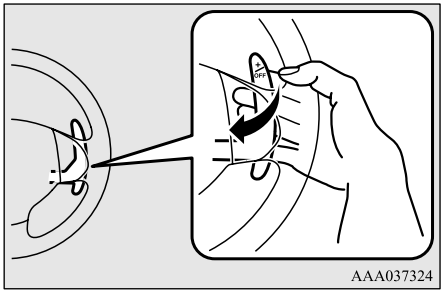


アドバイス

- パドルシフトの操作でスポーツモードを選択した後は，セレクターレバーの操作でもシフトアップまたはシフトダウンすることができます。

Ⓓ走行に戻すときは

パドルシフトの＋ (UP)側を約2秒以上手前に引くと，Ⓓ走行に戻ります。



アドバイス

- セレクターレバーをⒹの位置に入れてパドルシフトの操作でスポーツモードを選択しているときは，停車すると自動的にⒹ走行へ戻ります。
- パドルシフトの操作でスポーツモードを選択しているとき，セレクターレバーをメインゲートからマニュアルゲートに入れ，その後再度メインゲートに入れると，スポーツモードが解除されⒹ走行に戻ります。

CVT車の運転のしかた

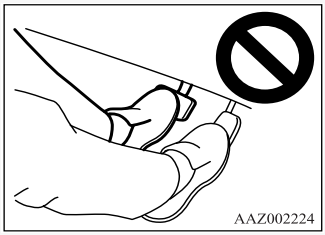
J00702901045

発 進

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。



⚠注意

- セレクターレバーをⓅ，Ⓝ以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。
  特にエアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリープ現象が強くなりますので，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象」P. 2-16

2. セレクターレバーを前進はⒹ，後退はⓇに入れます。

⚠警告

- セレクターレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

3. セレクターレバーの位置を確認します。

4. 周囲の安全を確認し，駐車ブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

◆ 急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認してから，駐車ブレーキを解除して発進します。

走行

⚠警告

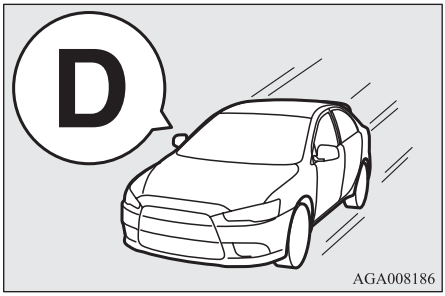
- 走行中はセレクターレバーをⓃに入れないでください。誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

⚠注意

- セレクターレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。
  坂道などで，前進の位置（Ⓓまたはスポーツモード）にしたまま惰性で後退したり，後退の位置Ⓡにしたまま惰性で前進しないでください。
  エンストしてブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 通常走行

セレクターレバーをⒹで走行します。
発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。
屈曲路，下り坂でも，全運転域での最適制御と学習制御により走行状況を判断し，適切なエンジンブレーキを自動的にかけます。

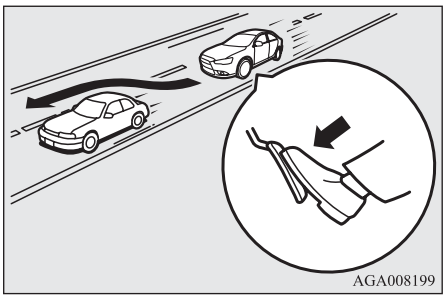


アドバイス

- セレクターレバーをマニュアルゲートに入れるかパドルシフトを操作すると，スポーツモードが選択され，マニュアルトランスミッションのような走行が楽しめます。
→「スポーツモード」P. 7-18

◆ 急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。
自動的に変速比が切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。



停車

1. セレクターレバーはⒹのままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

⚠注意

- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠注意

- 急な上り坂ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。トランスミッションの故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクターレバーをⓃに入れます。

⚠注意

- 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一，セレクターレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていると思わぬ急発進の原因になります。

4. 再発進するときは，セレクターレバーがⒹ位置にあることを確認してから発進してください。

駐 車

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. セレクターレバーを(P)に入れます。

⚠注意

- (P)では車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクターレバーが(P)に入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちに(P)に入れると，急停止してけがをするおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- 坂道で駐車ブレーキをかける前にセレクターレバーを(P)に入れると，発進時のセレクターレバー操作が重くなることがあります。

4. エンジンスイッチをLOCKまで回してエンジンを止めます。

⚠注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止めてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクターレバーが(P)以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

ツインクラッチSST

J00713900048

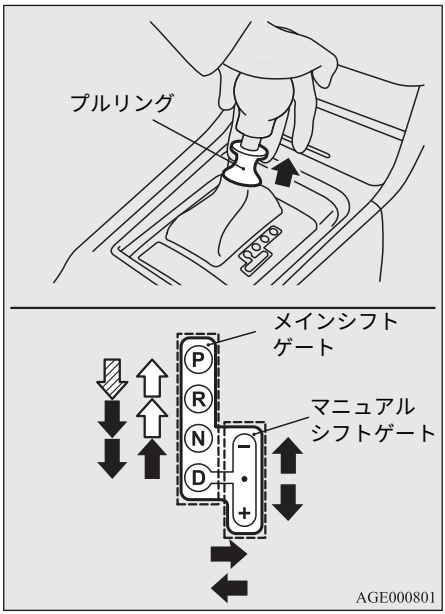
SST: Sport Shift Transmission

ツインクラッチSSTはエンジンとトランスミッションを統合的に制御することにより，オートマチックトランスミッションのような滑らかな変速およびマニュアルトランスミッションに近い燃費性能と加速性能を同時に実現したトランスミッションです。
また，2種類の制御モードの中から走行条件などに合ったモードを選択することができます。
マニュアルシフトの操作と合わせてさまざまな走行状況に対応できます。
→「ツインクラッチSST制御モード」P. 7-31
→「マニュアルシフト」P. 7-33

「安全なドライブのために：CVT車・ツインクラッチSST車の取り扱い」も合わせてお読みください。
→P. 2-16

シフトレバーの動かし方

J00714000046



⇩ ブレーキペダルを踏んだまま，プルリングを引き上げて操作します。

⬇ プルリングを引き上げずに操作します。

⇩ プルリングを引き上げながら操作します。

⚠警告

- ⬇の操作は必ずプルリングを引き上げずに行ってください。いつもプルリングを引き上げながら操作すると誤ってⓅ,Ⓡに入れてしまい,思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シフトレバーをⓃ→ⒹまたはⓃ→Ⓡに操作するときは，安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

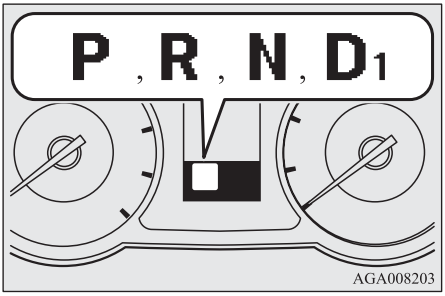
アドバイス

- ブレーキペダルを踏んでいないと，シフトロック装置が働いてⓅから他の位置に操作できません。また，エンジンスイッチが LOCK または ACC 位置のときはブレーキペダルを踏んでもⓅから他の位置に操作できません。
- ⇩の操作は先にブレーキペダルを踏んでからプルリングを引き上げてください。ブレーキペダルを踏む前にプルリング操作すると，シフトレバーが動かなくなることがあります。
- ⒹからⓇ,ⓇからⒹおよびⓅに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてからシフトレバーを操作してください。
  車が動いているうちにシフトレバーを操作するとトランスミッションの故障の原因になります。
- ツインクラッチ SST オイルの温度が低いときにシフトレバーを操作すると，操作してから選択したギヤに切り換わるまでの時間が長くなることがあります。

シフトレバー位置表示

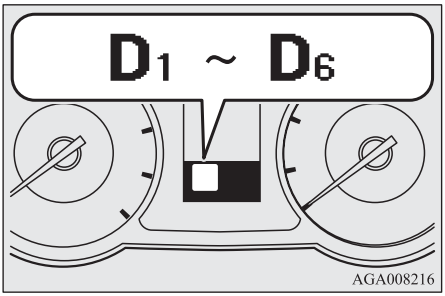
J00714100034

シフトレバーの位置をマルチインフォメーションディスプレイ内に表示します。

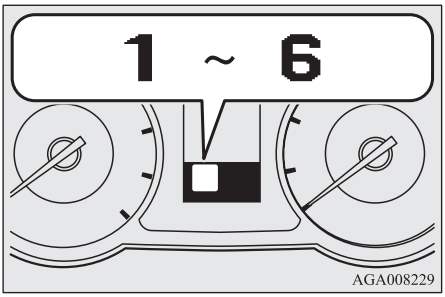


また，シフトレバーをⒹに入れて走行しているときまたはマニュアルシフトを選択したときは，変速段を表示します。

Ⓓ走行中の表示



マニュアルシフトで走行中の表示



◆ シフトレバー位置表示が点滅およびブザーが短い間隔で鳴ったときは

J00721400013

シフトレバーをⓇに入れてもトランスミッション内部のギヤが結合せず，発進できないことがあります。
このような場合は，マルチインフォメーションディスプレイ内のシフトレバー位置表示の点滅と通常より短い間隔のブザーで，ギヤが結合していないことを運転者に知らせます。
発進できない場合は，つぎの方法で処置してください。

1. ブレーキペダルを右足で踏んで，シフトレバーをⓃに入れます。
2. 再度シフトレバーをⓇに入れて，シフトレバー位置表示の点滅が止まりブザーが通常の間隔で鳴るか確認します。

この操作を数回繰り返してシフトレバー位置表示の点滅が止まり，また，ブザーが通常の間隔で鳴り，発進できれば，異常ではありません。

⚠警告

- シフトレバー位置表示が点滅し，ブザーが通常より短い間隔で鳴っているときは，ブレーキペダルを右足で踏んだままにして，絶対にアクセルペダルを踏み込まないでください。アクセルペダルを踏み込んだ状態でギヤが結合すると車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

◆ シフトレバー位置表示が消えたときは

J00721500014

ツインクラッチSSTに何らかの異常が発生していると考えられます。
このような場合は安全装置が働き発進できなくなりますので，つぎの方法で処置してください。

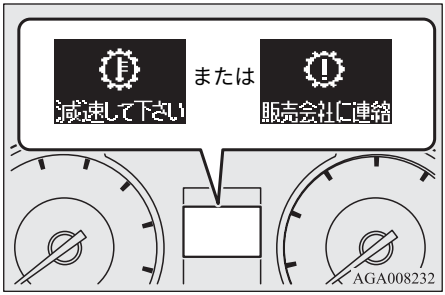
1. 安全な場所に車を止め，エンジンを止めます。
2. 再度エンジンをかけます。

この後，シフトレバー位置表示が表示され発進できれば異常ではありません。
シフトレバー位置表示が表示されず発進できないとき，またはたびたび同じ現象が起こるときは，お近くの三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

警告表示

J00714200035

マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示と「減速して下さい」が表示されたとき，または警告表示と「販売会社に連絡」が表示されたときは，つぎの方法で処置してください。



◆ ⓘ警告表示しているとき

J00721600015

ツインクラッチSSTオイルの温度が高くなっています。
つぎのいずれかの方法で処置してください。

- 車速を下げて走行します。
- 車を安全な場所に止めてシフトレバーをⓅに入れ，エンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。

しばらくしたらⓘ警告表示が消えるか確認します。
表示が消えればもとのように走行できます。
警告表示したままのときや，たびたび警告表示するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意

- ⓘ警告表示しているときは，走行中にアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなるなど，通常通りの走行ができなくなることがあります。
  周囲の安全に十分注意して走行してください。

アドバイス

- 坂道走行やスポーティな走行を連続して行った場合などに，車体が振動することがあります。
  これはツインクラッチSSTオイルの温度上昇を知らせるための振動で故障ではありません。
  このような場合は，ⓘ警告が表示されたときと同じ方法で処置してください。振動が止まればもとのように走行できます。

ⓘ警告を表示したまま走行を続けると

ⓘ警告表示と「減速して下さい」が表示された後も走行を続け，ツインクラッチSST オイルの温度がさらに上昇した場合は，トランスミッションの保護制御が働き，シフトレバーをⓃに入れたときと同じ状態になることがあります。
（このとき一時的に走行できなくなります。）
このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. ブレーキペダルを踏んで安全な場所に車を止めます。
2. シフトレバーをⓅに入れてエンジンをかけたままエンジンフードを開けて冷やします。
3. しばらくしてから，ⓘ警告表示が消えるか確認し，ⓘ警告表示が消えた後，エンジンを停止します。
4. 再度エンジンをかければ，もとのように走行できます。

警告表示したままのときや，たびたび警告表示するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ ⓘ警告表示しているとき

J00721700016

ツインクラッチSSTまたはエンジン制御装置に異常が発生し，ツインクラッチSSTの安全装置が働いていると考えられます。
このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，エンジンを止めます。
2. 再度エンジンをかけます。

ⓘ警告表示が消えれば問題ありません。
警告表示したままのときや，たびたび警告表示するときは，お近くの三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意
● ⓘ警告表示しているときは，走行中にアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなるなど，通常通りの走行ができなくなることがあります。 周囲の安全に十分注意して走行してください。

シフトレバーの位置・働き（メインシフトゲート）

J00714300010

P	（パーキング） 駐車およびエンジンをかけるとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ず駐車ブレーキをかけてⓅにしてください。 ⓅでのみエンジンスイッチをLOCKまで回すことができます。
R	（リバース） 後退させるとき	Ⓡにするとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

- ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

N	（ニュートラル） 中立	動力が伝達されません。 この位置でもブレーキペダルを踏めばエンジンをかけることができますが安全のためⓅで行ってください。
D	（ドライブ） 通常走行	発進から高速走行まで自動的に変速されます。 道路状況に合わせて自動的にエンジンブレーキもかけます。

アドバイス

- マニュアルシフトゲートの使い方は「マニュアルシフト」の項をご覧ください。→P. 7-33

ツインクラッチ SST 制御モード

J00714400053

走行条件などに合わせて，つぎの中から制御モードを選択することができます。

ツインクラッチSST制御モード	働 き
NORMAL（エンジン始動時の制御モード）	一般道路，高速道路などを通常走行するときの制御モードです。乗りごこちがよく経済的な走行をするため，低いエンジン回転でスムーズに変速します。
SPORT	山道や登降坂路，高速道路の長い下り坂でエンジンブレーキが必要なときなどの制御モードです。「NORMAL」モードに比べて高いエンジン回転で素早く変速します。また，アクセルペダルの操作に反応した素早い加速やブレーキをかけたときの素早い減速などが可能です。

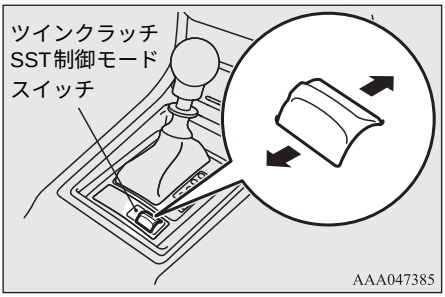
アドバイス

- クローズドサーキットなどで高回転高負荷の走行を連続して行うと，ツインクラッチSST オイルの温度が上昇する傾向があります。
  この場合，一定温度まで上昇すると，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示と「減速して下さい」を表示して，ツインクラッチSST オイルの温度上昇を運転者に知らせます。
  警告が表示されたら，必ず「警告表示」の項に従って処置してください。
  →P. 7-27
- ツインクラッチ SST 制御モードは，Ⓓ走行およびマニュアルシフトのいずれのときでも選択することができます。
- 積雪路などすべりやすい路面では，低いエンジン回転でスムーズに変速する「NORMAL」モードの使用をおすすめします。

◆ ツインクラッチSST制御モードスイッチ

J00714500041

エンジンスイッチが ON のときスイッチの操作で制御モードが切り換わります。



エンジンをかけると制御モードは自動的に「NORMAL」モードになります。切り換えるときはつぎの方法で切り換えます。

NORMAL → SPORT

停車中または走行中にツインクラッチ SST 制御モードスイッチを車両前方へ押します。

SPORT → NORMAL

停車中または走行中にツインクラッチ SST 制御モードスイッチを車両後方へ押します。

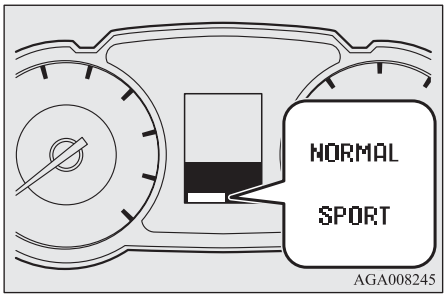
アドバイス

- 「SPORT」モードを選択したあとも制御モードスイッチを押し続けると，誤操作防止機能が働いて自動的に「NORMAL」モードになります。
  再度「SPORT」モードを選択したいときは，エンジンスイッチを ACC または LOCK に戻してエンジンをかけ直し，制御モードスイッチを押してください。

◆ ツインクラッチSST制御モード表示

J00714600039

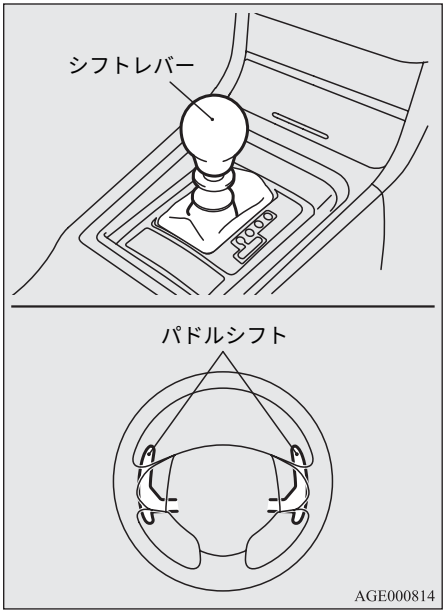
エンジンスイッチが ON のとき選択している制御モードをマルチインフォメーションディスプレイ内に表示します。



マニュアルシフト

J00714700030

シフトレバーまたはパドルシフトによるマニュアル操作で，シフトチェンジすることができます。



マニュアルトランスミションと違って，アクセルペダルを踏み込んだままシフトチェンジをすることができます。
カーブの手前の軽快なシフトダウンによる減速と素早いコーナーの立ち上がりなど，スポーティなドライブを楽しむことができます。

⚠注意

- マニュアルシフトで走行中は，道路状況に合わせて，エンジン回転がレッドゾーンに入らないよう適切にシフトチェンジしてください。
- 急激なエンジンブレーキや急加速はスリップの原因となります。道路状況，スピードに合ったシフトダウンを心がけてください。
- 左右のパドルシフトを同時に操作すると，シフトチェンジしないことがあります。

アドバイス

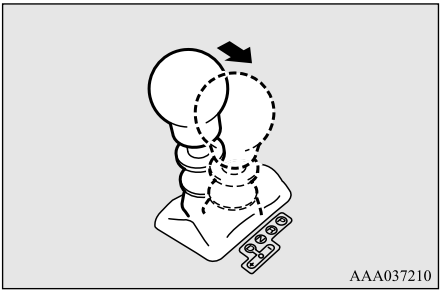
- 1速から6速の前進しか選択できません。後退，駐車するときはシフトレバーを Ⓡ，Ⓟに入れてください。
- マニュアルシフトで走行中に車速が下がると自動的にシフトダウンし，停車前に1速に入ります。
- シフトレバーまたはパドルシフトを連続して操作すると変速段が連続して切り換わります。
- 走行性能を確保するため，車速によってはシフトレバーまたはパドルシフトを操作してもシフトアップしない場合があります。また，エンジンの過回転を防止するため，車速によってはシフトレバーまたはパドルシフトを操作してもブザーが鳴ってシフトダウンしない場合があります。
- スポーティな走行を連続して行いツインクラッチ SST オイルの温度が上昇すると，シフトレバーまたはパドルシフトを操作してからシフトチェンジするまでの時間が長くなることがあります。

◆ シフトレバーを使って操作するとき

J00714800015

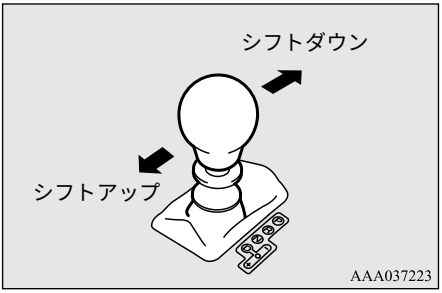
マニュアルシフトを選択するときは

停車中または走行中にシフトレバーを Ⓓから運転席側に動かすことで，マニュアルシフトが選択されます。



シフトアップ，シフトダウンするときは

シフトレバーを車両後方に引くごとに 1 段ずつシフトアップします。
また，シフトレバーを車両前方に押すごとに1段ずつシフトダウンします。

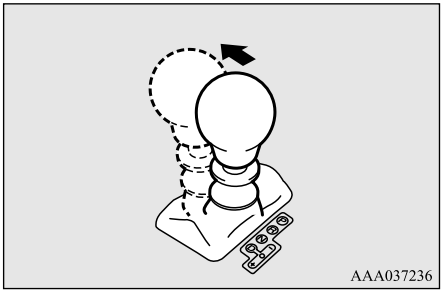


アドバイス

- シフトレバーの操作でマニュアルシフトを選択した後は，パドルシフトの操作でもシフトアップまたはシフトダウンすることができます。

Ⓓ走行に戻すときは

シフトレバーを助手席側に動かすとⒹ走行に戻ります。



アドバイス

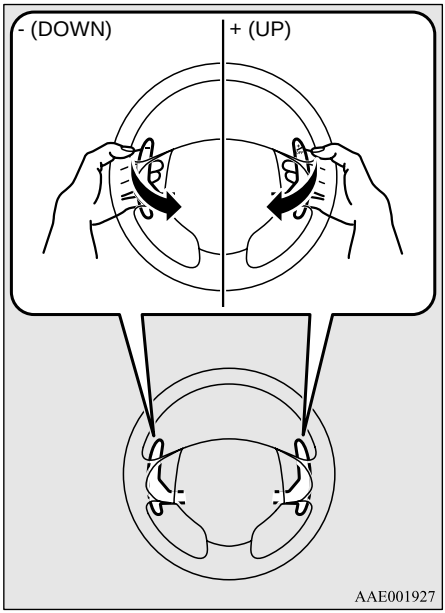
- マニュアルシフトからⒹ走行に戻したときの走行スピードや走行状況によっては，マニュアルシフトで選択していた変速段から自動的にシフトアップまたはシフトダウンすることがあります。

◆ パドルシフトを使って操作するとき

J00714900032

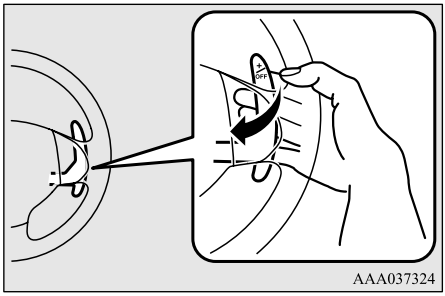
マニュアルシフトを選択するときは

シフトレバーをⒹに入れて停車しているときまたは走行中に，パドルシフトを手前に引くことで，マニュアルシフトが選択されます。



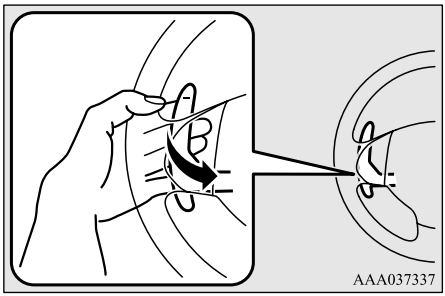
シフトアップするときは

パドルシフトの＋ (UP) 側を引くごとに 1 段ずつシフトアップします。



シフトダウンするときは

パドルシフトのー (DOWN) 側を引くごとに1段ずつシフトダウンします。

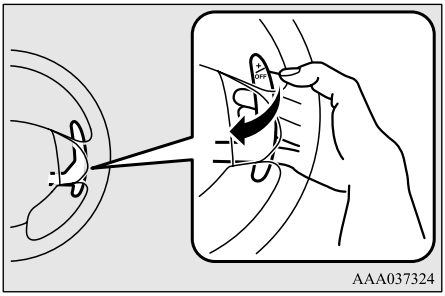


アドバイス

- パドルシフトの操作でマニュアルシフトを選択した後は，シフトレバーの操作でもシフトアップまたはシフトダウンすることができます。

Ⓓ走行に戻すときは

シフトレバーをⒹに入れているときに，パドルシフトの＋(UP)側を約2秒以上手前に引くと，Ⓓ走行に戻ります。



アドバイス

- シフトレバーをⒹの位置に入れてパドルシフトの操作でマニュアルシフトを選択しているときは，停車前に自動的にⒹ走行へ戻ります。
- マニュアルシフトからⒹ走行に戻したときの走行スピードや走行状況によっては，マニュアルシフトで選択していた変速段から自動的にシフトアップまたはシフトダウンすることがあります。
- パドルシフトの操作でマニュアルシフトを選択しているとき，シフトレバーをⒹから運転席側に動かし，その後助手席側に戻すと，マニュアルシフトが解除されⒹ走行に戻ります。

ツインクラッチSST車の運転のしかた

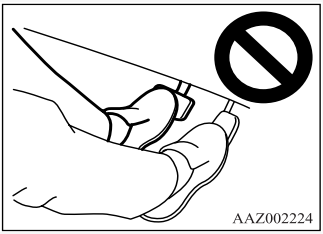
J00715000030

発進

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。



⚠注意

- シフトレバーをⓅ，Ⓝ以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。
→「クリープ現象」P. 2-16

2. シフトレバーを前進はⒹ,後退はⓇに入れます。

⚠警告

- シフトレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

3. シフトレバーの位置を確認します。

4. 周囲の安全を確認し，駐車ブレーキを解除します。
5. マルチインフォメーションディスプレイ内のシフトレバー位置表示がⒹ₁またはⓇに切り換わっていることを確認します。
6. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

アドバイス

- シフトレバーを操作した後，すぐに発進しないでください。選択したギヤに切り換わるまでに時間がかかることがあります。

◆ 急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないよう駐車ブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認してから，駐車ブレーキを解除して発進します。

走行

⚠警告

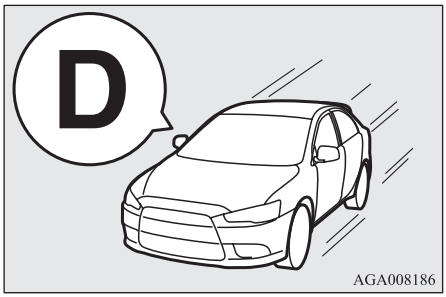
● 走行中はシフトレバーをⓃに入れないでください。誤ってⓅ,Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

⚠注意

● シフトレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。
坂道などで，前進の位置（Ⓓまたはマニュアルシフト）にしたまま惰性で後退したり，後退の位置Ⓡにしたまま惰性で前進しないでください。
トランスミッションの故障の原因になります。
● 上り坂でクリープ現象を使って低速走行しないでください。
つぎの現象により，トランスミッションの故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ツインクラッチ SST オイルの温度が上昇し，トランスミッションの故障の原因になります。
- クリープ現象を使った低速走行を続けると，車体の振動またはマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示と「減速して下さい」を表示して，ツインクラッチ SST オイルの温度上昇を運転者に知らせます。
その後，ツインクラッチSSTオイルの温度がさらに上昇した場合は，トランスミッションの保護制御が働きます。
この場合，シフトレバーをⓃに入れたときと同じ状態になるため不意に車が後退し思わぬ事故の原因になります。
警告が表示された場合またはトランスミッションの保護制御が働いた場合の処置については「警告表示」をお読みください。→P. 7-27

◆ 通常走行

シフトレバーをⒹで走行します。
発進すると走行スピードや走行状況に応じて自動的に変速されます。

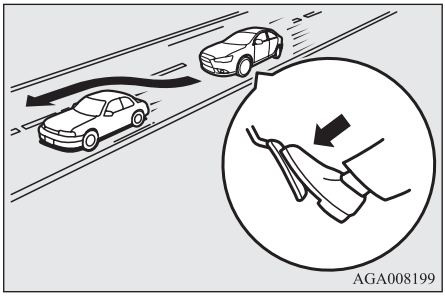


アドバイス

● エンジンが冷えているときは，暖まっているときに比べてシフトアップする車速が高くなります。
これはエンジンを早く暖めるための制御で故障ではありません。しばらく走行すればもとに戻ります。
● シフトレバーをⒹから運転席側に動かすかパドルシフトを操作すると，マニュアルシフトが選択され，マニュアルトランスミッションのような走行が楽しめます。
→「マニュアルシフト」P. 7-33

◆ 急加速したいとき

シフトレバーを Ⓓ に入れて走行中にアクセルペダルを深く踏み込みます。
自動的に低速ギヤに切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。



停車

1. シフトレバーは Ⓓ のままブレーキペダルをしっかりと踏みます。
2. 必要に応じて駐車ブレーキをかけます。

⚠注意

- 急な上り坂ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりと駐車ブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。
  つぎの現象により，トランスミッションの故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - ツインクラッチ SST オイルの温度が上昇し，トランスミッションの故障の原因になります。
  - ブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保ち続けると，車体の振動またはマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示と「減速して下さい」を表示して，ツインクラッチ SST オイルの温度上昇を運転者に知らせます。
    その後，ツインクラッチSSTオイルの温度がさらに上昇した場合は，トランスミッションの保護制御が働きます。
    この場合，シフトレバーを Ⓝ に入れたときと同じ状態になるため不意に車が後退し思わぬ事故の原因になります。
    警告が表示された場合またはトランスミッションの保護制御が働いた場合の処置については「警告表示」をお読みください。→P. 7-27

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはシフトレバーをⓃに入れます。

⚠注意

- 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一，シフトレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていると思わぬ急発進の原因になります。

4. 再発進するときは，シフトレバーがⒹ位置にあることを確認してから発進してください。

駐車

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだまま駐車ブレーキを確実にかけます。
3. シフトレバーをⓅに入れます。

⚠注意

- Ⓟでは車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずシフトレバーがⓅに入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- 坂道で駐車ブレーキをかける前にシフトレバーをⓅに入れると，発進時のシフトレバー操作が重くなることがあります。

4. エンジンスイッチをLOCKまで回してエンジンを止めます。

⚠注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止めてください。
  エンジンをかけたままにしておくと，万一，シフトレバーがⓅ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

ACD

タイプ別装備

J00716300030

ACD: Active Center Differential system

ACDは，センターデフの差動制限力を制御し，センターデフの駆動力配分をコントロールすることで，加速性能と直進安定性を向上させるシステムです。

⚠注意

- ACDを過信しないでください。ACDが作動した状態でも車両の安全確保には限界があり，無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。
  常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 4輪とも同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄，および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄，摩耗度合いの異なるタイヤを使用するとACDが正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- 走行中に駐車ブレーキレバーを引くと，強制的にセンターデフはフリーの状態になります。ただし，後輪がロックしやすくなり，車体姿勢が不安定になるおそれがありますので，通常の走行では使用を避けてください。

ACD制御モード

J00716400015

走行条件に合わせて，つぎの中から制御モードを選択することができます。

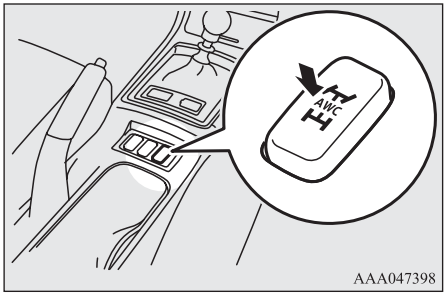
ACD制御モード	働き
TARMAC（ターマック）	通常はこの制御モードを使用します。舗装された道路で使用してください。
GRAVEL（グラベル）	ぬれた路面や砂利道など，やや滑りやすい路面を走行するときに使用します。
SNOW（スノー）	雪道など滑りやすい路面を走行するときに使用します。

◆ ACD制御モードスイッチ

J00716500032

エンジンスイッチがON のとき，AWCスイッチの操作で制御モードが切り換わります。

スイッチを押すたびに，「TARMAC」→「GRAVEL」→「SNOW」→「TARMAC」の順で制御モードが切り換わります。



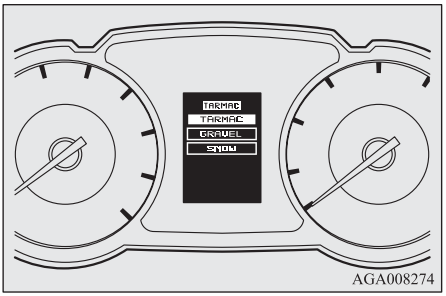
アドバイス

- 制御モードは走行中でも切り換えることができます。
- エンジンを停止しても選択した制御モードを記憶しています。ただし，バッテリー端子を外すと制御モードの記憶は消去され，「TARMAC」モードに設定されます。

◆ ACD制御モード表示

J00716600033

選択している制御モードをマルチインフォメーションディスプレイ内に表示します。
また，制御モードを切り換えるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に，選択した制御モードが割り込み表示されます。
インフォメーション画面の制御モードの表示は数秒後にもとの画面に戻ります。



表示例：「TARMAC」モードを選択したとき

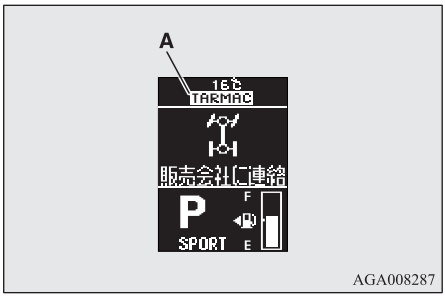
⚠注意

- スポーティな走行を連続して行った場合など，ACD 制御モード表示が点滅することがあります。
  このとき，ACD 装置を保護するためにACD 制御を一時停止しますが，通常走行に問題はありません。
  しばらく走行した後，ACD 制御モード表示が点灯状態に戻ればACD制御は再び作動します。

ACD警告表示

J00716700034

システムに異常があるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に⚠警告表示と「販売会社に連絡」が表示されます。
また，同時にA部のACD制御モード表示が消灯します。



AGA008287

このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，エンジンを停止します。
2. 再度エンジンをかけ,⚠警告表示と「販売会社に連絡」の表示が消えるか確認します。

表示が消えれば異常ありません。消えないときや，たびたび表示するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- 車外の気温が低下して AWC 制御フルードの粘度が高くなると，警告が表示されることがあります。
  この場合，ACD 制御を一時停止しますが通常走行に問題はありません。
  しばらく走行して AWC 制御フルードが暖まるか車外の気温が高くなった後に再度エンジンをかけ，警告表示が消えればACD制御は再び作動します。

電子制御4WD機構

タイプ別装備

J00711900060

電子制御4WD機構は，スイッチの操作により走行状況に合わせて 3 種類のドライブモードを選択できる 4WD システムです。

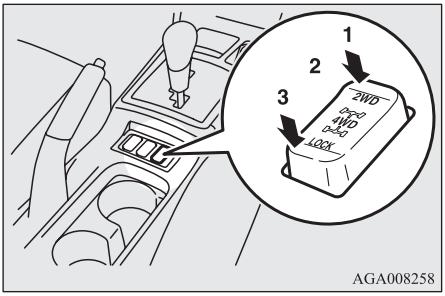
つぎのドライブモードが選択できます。

ドライブモード	働き
2WD	乾いた一般道路や高速道路を経済的に走行するときの位置です。 前輪駆動で走行します。
4WDオート	基本位置です。 走行状況に合わせて,4輪すべての駆動力の配分を自動的にコントロールします。
4WDロック	雪道または砂地など,タイヤがスリップしやすいときに使用する位置です。 大きな駆動力を後輪にも伝えるため,脱出を容易にするとともに全域で力強い走行ができます。

ドライブモードセレクター（スイッチ）

J00712000114

エンジンスイッチが ON のときスイッチを押すとドライブモードが切り換わります。



1- 2WD
2- 4WDオート
3- 4WDロック

ドライブモードを切り換えるとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に，割り込み表示でドライブモードが表示されます。
インフォメーション画面のドライブモードの表示は数秒後にもとの画面に戻ります。

ドライブモード	表示
2WD	
4WDオート	
4WDロック	

⚠注意

- 雪道等で前輪を空転させたまま，スイッチを操作しないでください。車両が思わぬ方向に飛び出すおそれがあります。
- 乾いた舗装道路を「4WDロック」モードで走行すると燃料の消費量が多くなったり，騒音を発生することがあります。
- 「2WD」モードで前輪を空転させたまま走行しないでください。
  駆動系部品が発熱して破損するおそれがあります。

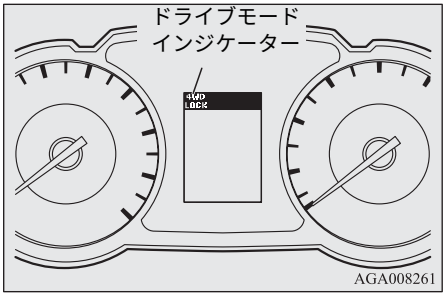
アドバイス

- 走行中でも停車中でもドライブモードを切り換えることができます。

ドライブモードインジケーター

J00712100102

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，エンジンをかけると数秒後にドライブモードを表示します。

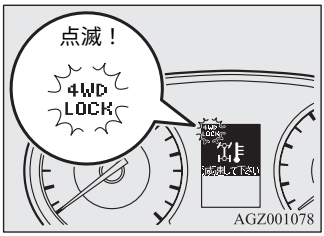


各ドライブモードでのインジケーターの表示状態はつぎの通りです。

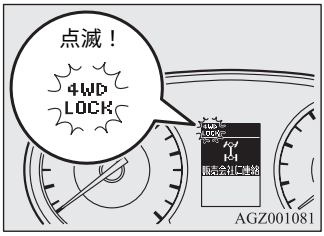
ドライブモード	ドライブモードインジケーター	
	「4WD」表示	「LOCK」表示
2WD	消灯	消灯
4WDオート	点灯	消灯
4WDロック	点灯	点灯

⚠注意

- 選択されているドライブモードの表示が点滅した場合は，駆動系部品を保護するため自動的に前輪駆動になり，スイッチによるドライブモードの切り換えはできなくなります。
  このとき，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に「減速して下さい」が表示されます。



  速度を控えめにし，しばらく走行して表示が消灯すればもとのように走行できます。約5分過ぎても点滅したままのときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 「4WD」表示および「LOCK」表示が交互に点滅し，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に「販売会社に連絡」が表示されたときは，電子制御4WD機構に何らかの異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



⚠注意

- 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄および摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品の保護機能が働いて，ドライブモードが「4WDオート」モードに固定したり，「4WD」表示および「LOCK」表示が交互に点滅することがあります。

4WD車の上手な運転

J00707400208

4WD車といってもどこでも走れるわけではありません。無理な運転はしないでください。
2WD車と同様，ハンドル，ブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

⚠注意

- オンロード専用車です。無理な運転はしないでください。
  - すべりやすい路面では無理な走行をしないでください。一般道路にくらべてエンジンや駆動系部品への負担が大きくなり，思いがけない故障の原因になります。
  - 渡河などの水中走行はしないでください。
  - 極端な急ハンドル，急ブレーキは避けて十分な車間距離をとって走行してください。

4WD車取り扱い上の注意

J00706600766

電子制御4WD車の「4WDロック」モードについて

◆ 乾燥した舗装道路を走行するときは

⚠注意

- 乾いた舗装道路を「4WDロック」モードで走行すると燃料の消費量が多くなったり，騒音を発生することがあります。

◆ 急なカーブを回るときは

「4WD ロック」モード時に急なカーブを低速で旋回した場合，ブレーキをかけた状態と同じような現象が発生することがあります。
これはタイトコーナーブレーキング現象と呼ばれているもので，4輪の軌跡（回転差）が違うために発生する4輪駆動車特有の現象です。
このような現象が発生したときには，ハンドルを直進状態に戻すか「2WD」または「4WDオート」モードに切り換えることによって解消することができます。

⚠注意

- 急旋回したときは，タイトコーナーブレーキング現象を起こし，運転しにくくなりますので，急な旋回は避けてください。

アドバイス

- タイトコーナーブレーキング現象が起きるとタイヤのスリップ音や駆動系のきしみ音などが発生することがあります。

タイヤ，ホイールについて

4WD 車は4輪に駆動力がかかるため，タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤの状態には細心の注意を払ってください。

- 4 輪とも指定のタイヤ，ホイールを装着してください。
  →「タイヤ，ホイールのサイズ」P. 14-9
- タイヤ，ホイールを交換するときは 4 輪とも交換してください。
- タイヤのローテーションは5,000kmごとに行ってください。
  →「タイヤローテーション」P. 11-5
- タイヤの空気圧は定期的に点検してください。
  →「タイヤの空気圧」P. 14-10

⚠注意

- 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄および摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

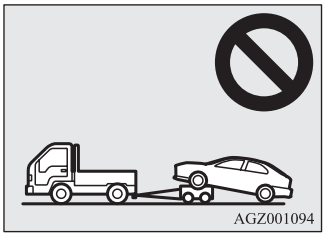
けん引について

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
4WD 車は，必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送するか，4輪接地の状態でけん引してください。
ただし，つぎの場合は三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

⚠注意

- 前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
→「けん引」P. 13-24



- 電子制御 4WD 車はドライブモードを「2WD」モードにしても，前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はできません。

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

ジャッキアップするときは

⚠注意

- ジャッキアップ中はエンジンをかけたり，ジャッキアップした車輪を回転させないでください。
接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

緊急制動信号システム

J00721300012

急ブレーキ時に，非常点滅灯を自動的に速く点滅させることで後続車に注意をうながし，追突の可能性を低減させる装置です。
緊急制動信号システムが作動すると，メーター内の非常点滅表示灯も同時に速く点滅します。

⚠注意

- ABS警告またはASC警告が表示されているときは，緊急制動信号システムが作動しないことがあります。
  →「ABS警告」P. 7-50
  →「ASC警告表示」P. 7-55

アドバイス

- [緊急制動信号システムの作動条件]
  つぎの条件がそろったときに作動します。
  - 車速が約55km/h以上のとき
  - ブレーキペダルが踏み込まれ，車両の減速度やアンチロックブレーキシステム(ABS)の作動状況から，システムが急ブレーキだと判断したとき

  [緊急制動信号システムの作動停止条件]
  つぎのいずれかの条件で作動を停止します。
  - ブレーキペダルから足を離したとき
  - 非常点滅灯スイッチを押したとき
  - 車両減速度やABSの作動状況から，システムが急ブレーキではないと判断したとき

アンチロックブレーキシステム(ABS)

J00703000424

アンチロックブレーキシステム (ABS) とは，急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し，制動力を維持し，かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足回りに付いた雪や泥を取り除いてください。足回りを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 4輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや，種類の異なるタイヤを混用すると，ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。(車載の応急用スペアタイヤは使用できます。)
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので，速度はひかえめにし，車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール，工事用の鉄板，白線の上，段差を乗り越えるときなど，車輪が滑りやすい状況では，車輪のロックを防止するため急制動以外でもABSが作動することがあります。
- ABSが作動すると車体，ハンドル，ブレーキペダルに振動を感じたり，作動音が聞こえます。
  また，ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 走行開始後，エンジンルーム内より作動音がしたり，ブレーキペダルにショックを感じることがありますが，これは ABS 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
- ABSは，発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また，車速が約 5km/h まで下がると作動を停止します。

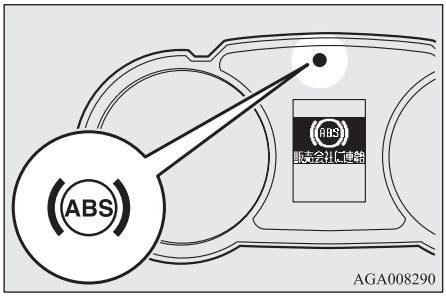
ABS警告

J00704500703

システムに異常があると警告灯が点灯します。また，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面にも「販売会社に連絡」が表示されます。
正常なときはエンジンスイッチを ON にすると警告灯のみ点灯し，数秒後に消灯します。

⚠注意

- 警告灯が点灯したままのとき，または点灯しないときは装置の故障が考えられますので，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。



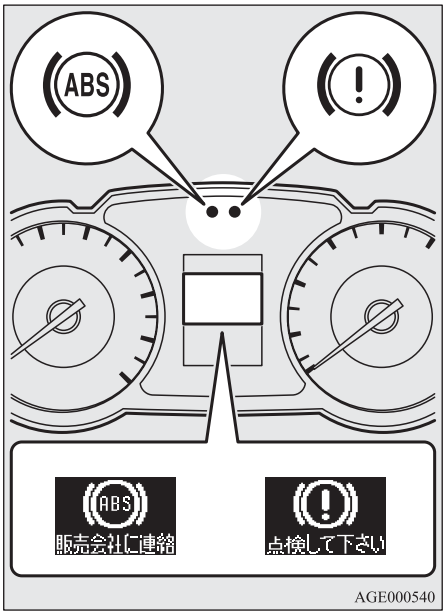
走行中に警告を表示したときは

J00704600498

◆ ABS 警告のみ表示したときは

- 急ブレーキや高速走行を避け安全な場所に車を止めます。
  エンジンを停止し，再度エンジンをかけ，その後しばらく走行して警告表示しなければ異常ありません。
  しばらく走行しても警告表示したままのときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。この場合，ABS は作動せず，普通のブレーキとして作動します。
- バッテリーが電圧不足のときにエンジンをかけると，警告を表示することがありますが ABS の故障ではありません。
  このようなときは，しばらくアイドリング回転でバッテリーを充電してください。
  充電しても警告表示したままのときや，たびたび警告表示するときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ ABS 警告とブレーキ警告を表示したときは



ブレーキ力の配分機能が作動しないことがあるため，急ブレーキをかけたときに車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
急ブレーキや高速走行を避け，車を安全な場所に止めて三菱自動車販売会社へ連絡してください。

アドバイス

- 警告灯は同時に点灯し，マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面には，交互に表示します。

アクティブスタビリティコントロール(ASC)

タイプ別装備

J00710300168

アクティブスタビリティコントロール(ASC) はトラクションコントロール機能とスタビリティコントロール機能を持ち，アンチロックブレーキシステムと統合的に制御を行うことで，車両姿勢を安定させると共に駆動力を確保する装置です。つぎの項も合わせてお読みください。

→「アンチロックブレーキシステム(ABS)」P. 7-49

→「トラクションコントロール機能」P. 7-53

→「スタビリティコントロール機能」P. 7-53

⚠注意

- ASC が作動した状態でも車両の安定確保には限界があり，無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。ASC を過信せず，常に道路状況に合った安全運転を心がけてください。
- 4輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや種類の異なるタイヤを混用すると，ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ASC が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

- つぎのような場合は，エンジンルーム内より作動音がすることがあります。また，ブレーキペダルにショックを感じることがあります。これは ASC 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
  - エンジンスイッチをONにしたとき
  - エンジンをかけてしばらく走行したとき
- ASC が作動すると，車体に振動を感じたり，エンジンルーム内より作動音が聞こえたりします。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。
- ABS 警告灯が点灯しているときは，ASC は作動しません。

トラクションコントロール機能

J00710400097

トラクションコントロール機能は，滑りやすい路面での駆動輪の空転を防止して発進しやすくすると共に，旋回加速時の適切な駆動力・操舵能力を向上させる機能です。

⚠注意

- 雪道や凍結路を走行するときは，冬用タイヤを装着して速度は控えめにし，車間距離を十分とって運転してください。

スタビリティコントロール機能

J00710500160

スタビリティコントロール機能は，急激なハンドル操作や滑りやすい路面のカーブに進入したときなどに生じる車両の横滑りを，各車輪のブレーキとエンジン出力を制御することにより抑制し，車両の安定性を向上させる機能です。

アドバイス

- スタビリティコントロール機能は，車速が約15km/h以上で作動します。

ASCのON/OFF作動切り換え

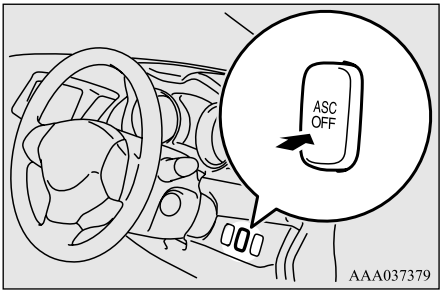
J00710800219

アドバイス

- ぬかるみ，砂地または新雪などからの脱出時に，アクセルペダルを踏み込んでもASC の働きによりエンジン回転が上がらないことがあります。このようなときは，ASC OFF スイッチで ASC を OFF にすると抜け出しやすくなります。

エンジンスイッチを ON にすると自動的にASCはONになります。ASCをOFFにしたいときはASC OFFスイッチを3秒以上押し続けます。

スイッチを押し続けると,約3秒後にASC OFF表示またはASC OFF表示灯が点灯します。もう一度押すとONになります。



⚠注意

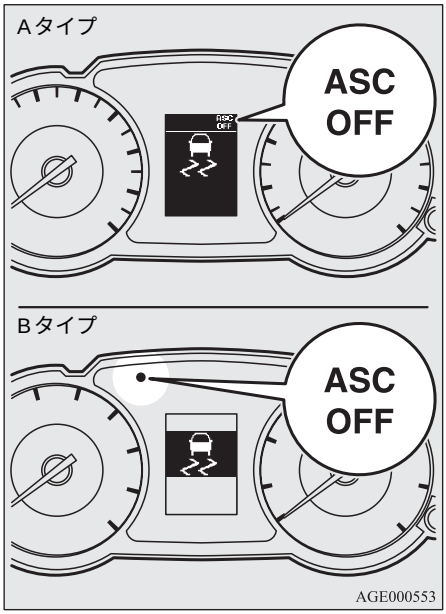
- 安全のため，ASC OFFスイッチの操作は停車しているときに行ってください。
- 通常走行時は必ず ASC を ON にしてください。

アドバイス

- ASC OFF スイッチではスタビリティコントロール機能とトラクションコントロール機能の両方がOFFになります。
- ASC を OFF にしたあとも ASC OFF スイッチを押し続けると，誤操作防止機能が働いてASCはONに戻ります。

ASC作動表示／ASC OFF表示

J00711600083



- ASC作動表示
  ASCが作動するとマルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面が切り換わり表示が点滅します。
- ASC OFF表示 （Aタイプ），ASC OFF表示灯（Bタイプ）
  ASC OFFスイッチでASCをOFFにしているとき点灯します。

アドバイス

- エンジンをかけるとASC OFF表示（Aタイプ）またはASC OFF表示灯（B タイプ）が点灯することがあります。これは，エンジン始動時にバッテリーの電圧が一時的に低下したためで，すぐに消灯すれば故障ではありません。
- スペアタイヤ装着時は，タイヤのグリップ力が低下するため表示が点滅しやすくなります。

⚠注意

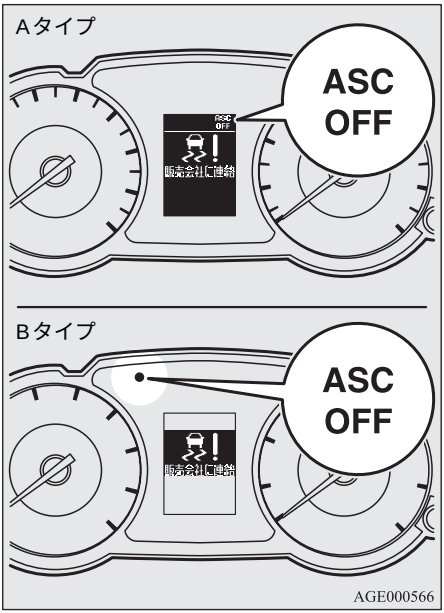
- 表示が点滅したときは路面が滑りやすい状態か，加速しすぎています。アクセルペダルをゆるめて控えめな運転をしてください。
- 滑りやすい路面などでブレーキ制御が連続で作動し，ブレーキ装置の温度が上昇しすぎた場合は，ブレーキ制御によるトラクションコントロール機能の作動を一時停止します。これはブレーキ装置を保護するためで通常走行に問題ありません。（エンジン出力の制御によるトラクションコントロール機能は作動します。）

  この場合はASC OFF表示（A タイプ）またはASC OFF表示灯（Bタイプ）が点滅し，ブレーキ制御によるトラクションコントロール機能が停止していることを運転者に知らせます。車をいったん停車し，点滅が消えればブレーキ制御によるトラクションコントロール機能は再び作動します。

ASC警告表示

J00715700053

システムに異常があると表示とASC OFF表示（A タイプ）またはASC OFF表示灯（B タイプ）が同時に点灯し「販売会社に連絡」が表示されます。



このような場合は，つぎの方法で処置してください。

1. 安全な場所に車を止め，エンジンを停止します。
2. 再度エンジンをかけ，表示，ASC OFF表示（A タイプ）またはASC OFF表示灯（B タイプ）および「販売会社に連絡」の表示が消えるか確認します。

表示が消えれば異常ありません。消えないときや，たびたび表示するときは，通常走行には支障はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

けん引するときは

J00716100012

⚠注意

- エンジンスイッチを ON にして前輪だけを持ち上げたけん引を行うと，ASC が作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。前輪を持ち上げてけん引するときはエンジンスイッチを LOCK またはACCにしてください。
  詳しくは「けん引」をお読みください。
  →P. 13-24

クルーズコントロール（自動定速走行装置）

タイプ別装備

J00704000144

クルーズコントロールはアクセルペダルを踏まずに一定のスピード（約40km/h~100km/h）で定速走行する装置です。

⚠注意

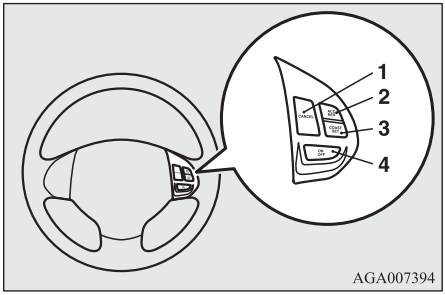
- つぎのような道路では安全のため，使用しないでください。
  - 交通量が多く車間距離が十分取れない道路
  - 急なカーブや見通しの悪い道路
  - 滑りやすい道路（凍結路，積雪路，砂利路，濡れた道路）
  - 長い急な下り坂
- 定速走行しないときは，安全のためクルーズコントロール機能を停止してください。

アドバイス

- 上り坂や下り坂では，状況により一定の速度を保てない場合があります。
- 上り坂では，設定した車速を下回ることがあります。
  このような場合は，アクセルペダルを踏んで希望の車速まで加速してください。
- 下り坂では，設定した車速を上回ることがあります。
  ブレーキペダルを踏んで減速してください。
  この場合，定速走行は終了します。

クルーズコントロールスイッチ

J00705600105



1- CANCELスイッチ
定速走行を終了するときに使用します。
2- ACC RESスイッチ
設定車速を上げたり，定速走行を終了した後，元の設定車速に戻すときに使用します。
3- COAST SETスイッチ
設定車速を下げたり，定速走行する車速をセットするときに使用します。
4- ON OFFスイッチ
クルーズコントロール機能を作動または停止するときに使用します。

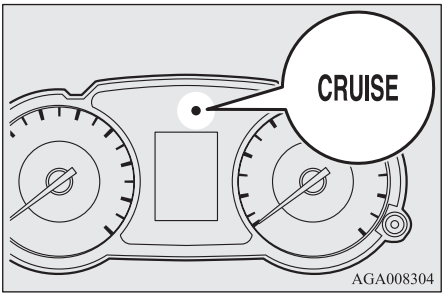
アドバイス

● クルーズコントロールスイッチを操作するときは，個々のスイッチを確実に押してください。
2個以上のスイッチを同時に押すと，定速走行が自動的に終了することがあります。

クルーズコントロール表示灯

J00705700092

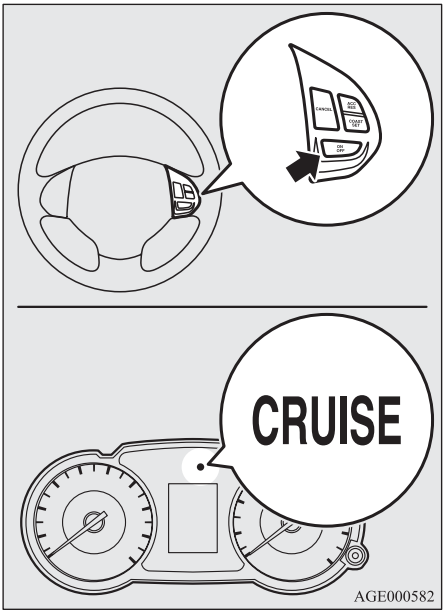
エンジンスイッチがONのときに，ON OFFスイッチを押してクルーズコントロール機能を作動させると点灯します。



希望車速をセットし，定速走行するときは

J00705800107

1. エンジンスイッチがONのときON OFFスイッチを押すとクルーズコントロール機能が作動し，メーター内の表示灯が点灯します。

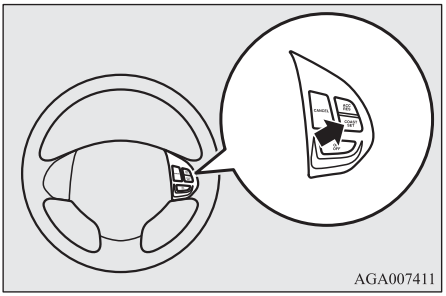


2. ツインクラッチ SST 車は，ツインクラッチSST制御モードが「NORMAL」モードに設定されていることを確認します。

アドバイス

- ツインクラッチ SST 制御モードが「SPORT」モードに設定されていると，定速走行する車速をセットすることができません。

3. 希望する車速まで加速または減速し，COAST SETスイッチを押して手を離すと，定速走行が開始されます。



アドバイス

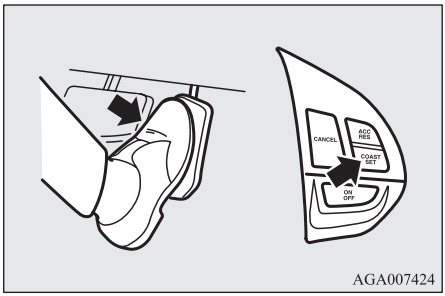
- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。
- エンジンを止めるとクルーズコントロール機能は自動的に停止します。

設定車速を変更するときは

J00705900111

◆ アクセルペダルを使って

希望する車速まで加速し,COAST SETスイッチを押して手を離します。



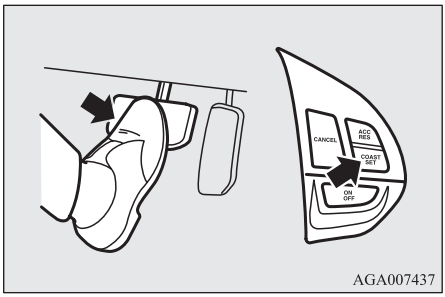
AGA007424

アドバイス

- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。

◆ ブレーキペダルを使って

希望する車速まで減速し,COAST SETスイッチを押して手を離します。



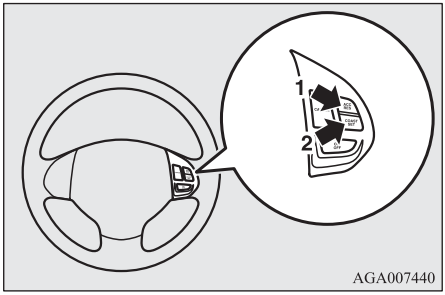
AGA007437

アドバイス

- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。

◆ クルーズコントロールスイッチを使って

ACC RESスイッチまたはCOAST SETスイッチを押し続け，希望する車速になったら手を離します。



AGA007440

1- 加速したいとき
2- 減速したいとき

アドバイス

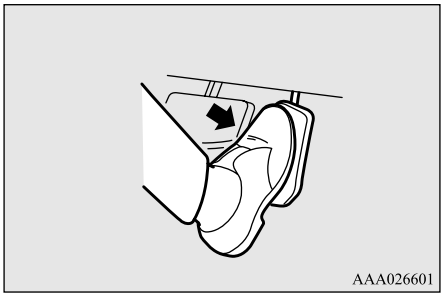
- スイッチから手を離したときの車速がセットされます。
- ACC RESスイッチまたはCOAST SETスイッチを押してすぐに手を離すと，設定車速を約 1.5km/h ずつ微調整することができます。

一時的に加速または減速したいときは

J00712900070

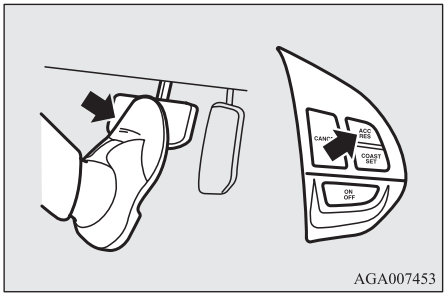
◆ 一時的に加速したいときは

アクセルペダルを踏んで加速します。
アクセルペダルから足を離すと自動的に元の設定車速に戻ります。



◆ 一時的に減速したいときは

ブレーキペダルを踏んで減速します。
元の設定車速に戻すときは，ACC RESスイッチを押します。
→「定速走行終了前の設定車速に戻すときは」P. 7-61

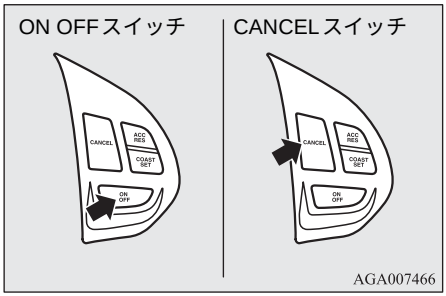


定速走行を終了するときは

J00706000122

つぎのいずれかの操作で定速走行が終了します。

- ON OFFスイッチを押す
- CANCELスイッチを押す
- ブレーキペダルを踏む



また，つぎの場合も自動的に定速走行が終了します。

- セットした速度より車速が約 15km/h 以上下がったとき
- 車速が約40km/h以下になったとき
- ツインクラッチ　SST　制御モードを「SPORT」モードに設定したとき（ツインクラッチSST車）
  →「ツインクラッチ SST 制御モード」P. 7-31
- アクティブスタビリティコントロール(ASC)が作動したとき（ASC付き車）
  →「アクティブスタビリティコントロール(ASC)」P. 7-52

⚠警告

- CVT 車はセレクターレバーを Ⓝ に，ツインクラッチ SST 車はシフトレバーを Ⓝ にすると定速走行を自動的に終了しますが，走行中はセレクターレバーまたはシフトレバーを Ⓝ に入れないでください。エンジンブレーキが効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

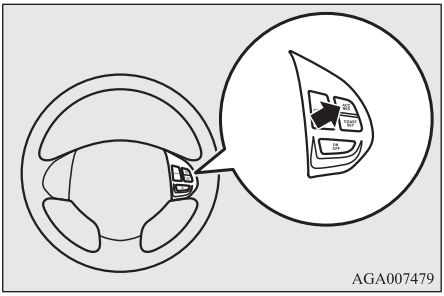
アドバイス

- 上記以外のときに定速走行が自動的に終了した場合は，クルーズコントロールに何らかの異常が発生していると考えられます。
  ON OFF スイッチを押してクルーズコントロール機能を停止し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

定速走行終了前の設定車速に戻すときは

J00706100136

定速走行を終了した後でも車速が約 40km/h 以上であれば，ACC RES スイッチを押すことにより，元の設定車速に戻すことができます。



ただし，つぎの場合はACC RESスイッチを押しても，元の設定車速に戻すことはできません。もう一度車速をセットし直してください。

- エンジンを切ったとき
- ON OFFスイッチを押したとき
- 車速が約40km/h以下になったとき
- クルーズコントロール表示灯が消灯しているとき

リヤビューカメラ

タイプ別装備

J00704200087

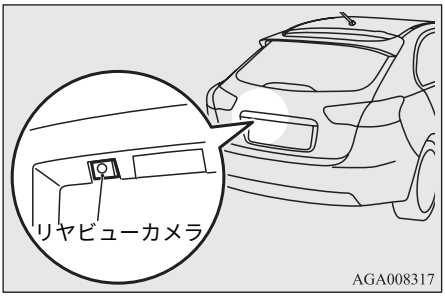
リヤビューカメラは，車両後方の映像を三菱マルチコミュニケーションシステム(MMCS)の画面に表示させる装置です。

⚠注意

- リヤビューカメラは，車両後方の障害物などを確認するための補助装置です。
  映像を表示できる範囲は限られていますので過信せず，リヤビューカメラが付いていない場合と同じように慎重な運転を心がけてください。
- 必ず自分の目で周囲の安全を確認してください。
  リヤビューカメラだけを頼りに運転しないでください。

リヤビューカメラの取り付け位置

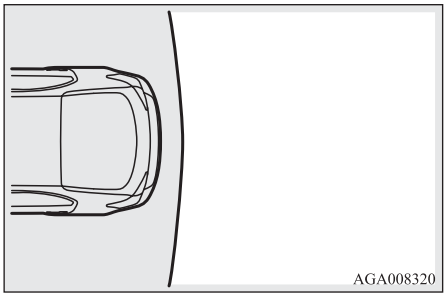
カメラはリヤハッチのハンドル付近に内蔵されています。

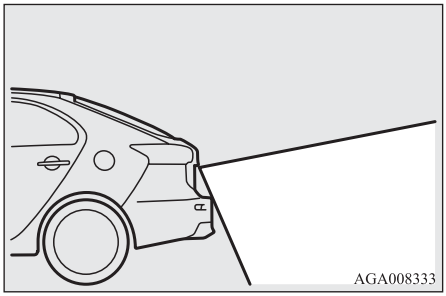


画面に表示できる範囲

リヤビューカメラが映像を表示できる範囲は図の範囲に限られています。また，リヤバンパーの両端や下部などは表示できませんので後退するときは，必ず周囲の安全を確認しながら運転してください。

◆ リヤビューカメラの表示範囲





使い方

J00707200088

エンジンスイッチが ON のときにツインクラッチ SST 車はシフトレバーを，CVT 車はセレクターレバーを Ⓡ に入れると，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) の画面に車両後方の映像が自動的に表示されます。
シフトレバーまたはセレクターレバーを Ⓡ 以外の位置にすると，元の画面に戻ります。

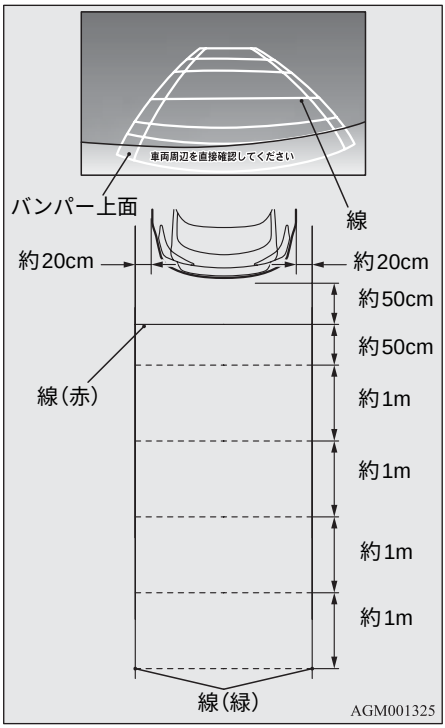
アドバイス

- 後退時のブザーはシフトレバーまたはセレクターレバーが Ⓡ にあることを知らせるもので，障害物があることを警告するブザーではありません。

リヤビュー画面の表示例

リヤビュー画面内の線でつぎのことを表示しています。目安としてお使いください。

- 赤—車両後方約50cm地点
- 緑—車体幅+左右約20cm地点



⚠注意

- リヤビューカメラは特殊レンズを使用しているため，画面の映像は実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

アドバイス

- 乗車人数，積み荷の状態または路面の状態などにより車両が傾いている場合，画面内の線の表示が実際と異なることがあります。
- 画面内の線は水平な路面上を基準としているため，立体物との距離の目安にしないでください。
- リヤビューカメラは特殊なレンズを使用しているため，駐車場などの区画線は，画面内では平行に見えないことがあります。
- つぎのような場合，画面が見づらくなることがありますが異常ではありません。
  - 暗いところ（夜間）
  - 太陽やヘッドライトの光が直接カメラのレンズに入ったとき
    → 高輝度の点が画面に映るとCCDカメラ特有のスミヤ現象 *1 が発生することがあります。

    *1 スミヤ現象とは…
    高輝度の点（バンパーに反射した太陽等）が画面に映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象
- カメラが熱いとき，雨や洗車などでレンズ付近の温度が低くなるとレンズが曇ることがありますが，故障ではありません。
- カメラのレンズが汚れていると，障害物が十分に確認できません。水滴，雪，泥または油汚れなどが付着したときはレンズを傷つけないようにていねいにふき取ってください。
- カメラの故障の原因となりますので，つぎのことをお守りください。
  - 衝撃を与えない
  - ワックスを付着させない
  - 熱湯をかけない
  - 分解しない
- リヤハッチに，三菱自動車純正部品以外のアクセサリーまたは字光式ナンバープレートなどを取り付けないでください。種類によってはリヤビュー画面に映り込み，表示範囲を狭くすることがあります。

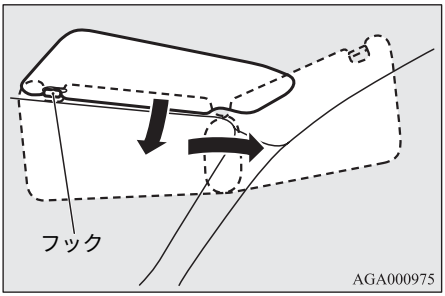
室内装備

サンバイザー 8- 2
灰皿 8- 3
シガレットライター 8- 3
アクセサリーソケット 8- 4
室内灯 8- 5
小物入れ 8- 8
カップホルダー 8- 12
ボトルホルダー 8- 13
リヤシェルフパネル 8- 13
2段高さ調整カーゴフロア 8- 14
アシストグリップ 8- 15

サンバイザー

J00900100295

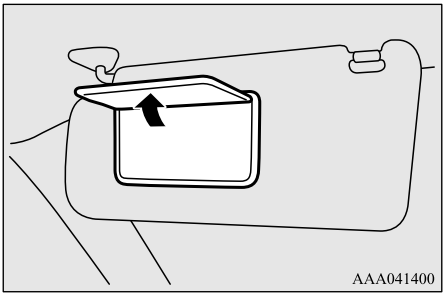
前面だけでなく，フックから外せば側面にも回せます。



バニティーミラー

J00912700126

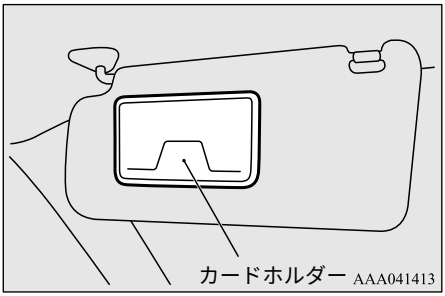
サンバイザーの裏側にあります。



カードホルダー

J00912800130

バニティーミラーのリッドの表側に通行券などをはさむことができます。

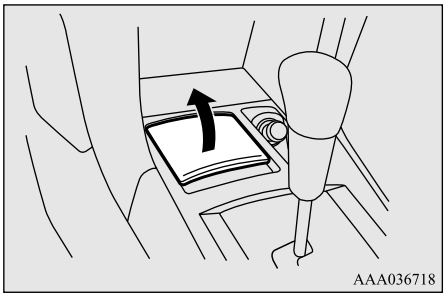


灰皿

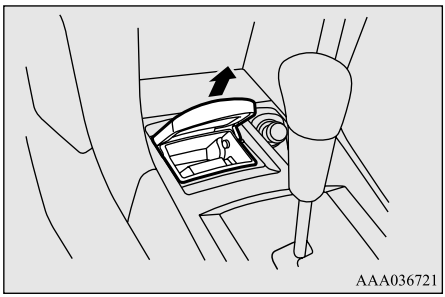
タイプ別装備

J00900300545

使用するときはフタを開けます。



掃除するときは，フタを持って引き上げます。



⚠注意

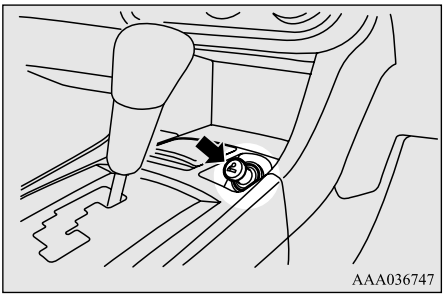
- タバコ・マッチの火は確実に消してから灰皿に入れ，使用後は必ず閉めてください。開けたままにしておくと他の吸いがらに火が燃え移るおそれがあります。
- 灰皿には吸いがらをためすぎたり，紙くずなど燃えやすいものを入れないでください。
  火災の原因となります。

シガレットライター

タイプ別装備

J00900400676

エンジンスイッチがONまたはACCのときにシガレットライターを押し込んで手を離します。
しばらくすると音がして戻ります。



⚠注意

- お子さまにシガレットライターを扱わせないでください。
- シガレットライターが過熱し，火災を招くことがありますのでつぎのことをお守りください。
  - 押さえつけたままにしないでください。
  - シガレットライターを改造したりしないでください。
  - 他車のシガレットライターを使用しないでください。
- 市販の電気製品を使用しないでください。ソケットが損傷する原因になります。
  ソケットが損傷した場合に使用すると，シガレットライターが飛び出したり，押し込まれたまま戻らなくなるおそれがあります。
- シガレットライターを扱うときは，熱している部分や，その近くはさわらずにノブのみをさわってください。
- シガレットライターを押し込んでから30秒以上たっても戻らないときは故障のおそれがありますので手で引き抜き，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

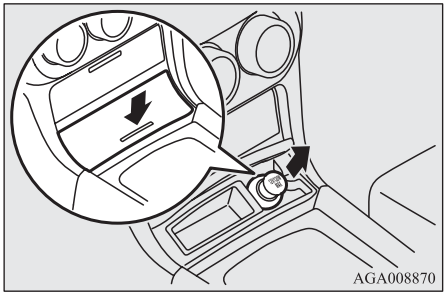
- シガレットライターをソケットから外したまま放置しないでください。
  ソケットにゴミや金属片などの異物が入ると火災やショートの原因となるおそれがあります。
- ソケットを使用するときは，必ず 12V で電気容量が 120W 以下の電気製品を使用してください。
  また，エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。

アクセサリーソケット

タイプ別装備

J00900500547

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。
使用するときは，フタを開けてからノブを引き抜き，プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。
必ず，12Vで電気容量が120W以下の電気製品を使用してください。

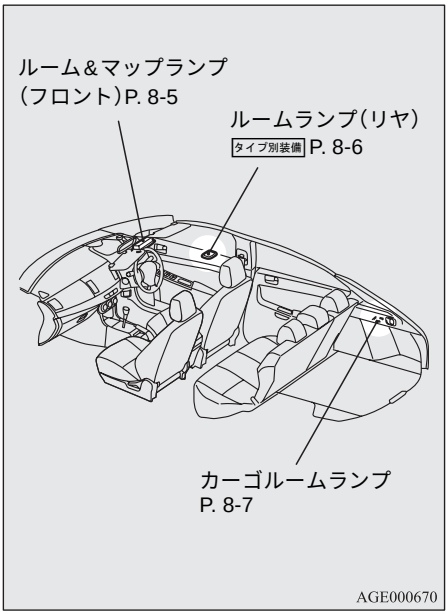


アドバイス

- 市販の電気製品を使用しないでください。バッテリー上がりやアクセサリーソケットが過熱し，火災を招くおそれがあります。
- ノブをソケットから外したまま放置しないでください。
  ソケットにゴミや金属片などの異物が入ると火災やショートの原因となるおそれがあります。
- エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。

室内灯

J00900800481



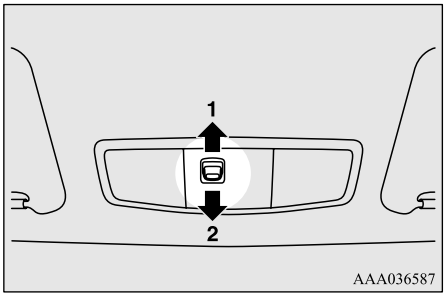
アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長い間ランプを点灯させておくとバッテリーが上がることがあります。
  車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

ルーム&マップランプ(フロント)

J00900901199

◆ ルームランプ



1- (DOOR)
いずれかのドアまたはリヤハッチを開けると点灯，閉じると約 15 秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。

- ドアおよびリヤハッチを閉じてエンジンスイッチをONにしたとき
- ドアおよびリヤハッチを閉じてセンタードアロックの機能を使って施錠したとき
- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチを使って施錠したとき
- キーレスオペレーションシステム付き車は，キーレスオペレーション機能を使って施錠したとき

アドバイス

- キーを使ってエンジンをかけている場合は，ドアおよびリヤハッチが閉まっているときにエンジンスイッチを LOCK にしてキーを抜くと点灯し，約15秒後に消灯します。
- キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときは，ドアおよびリヤハッチが閉まっているときエンジンスイッチをLOCKにすると点灯し，約15秒後に消灯します。

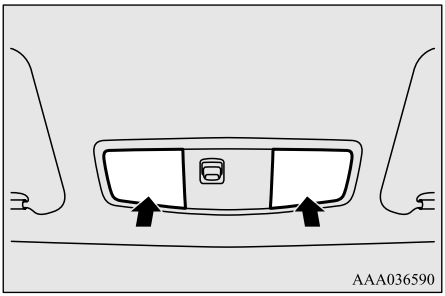
アドバイス

- 消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

2- ドアまたはリヤハッチの開閉に関係なく消灯します。

◆ マップランプ

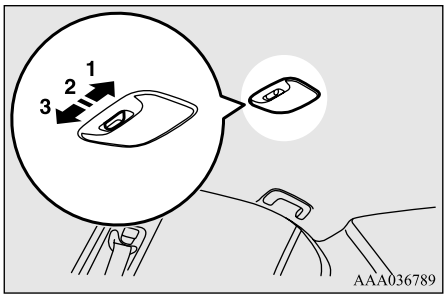
ルームランプのスイッチの位置に関係なくレンズを押すと押した側のランプが点灯し，もう一度押すと消灯します。



ルームランプ（リヤ）

タイプ別装備

J00900901203



1-（ON）
ドアまたはリヤハッチの開閉に関係なく点灯します。

2-（●）
いずれかのドアまたはリヤハッチを開けると点灯，閉じると約 15 秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。

- ドアおよびリヤハッチを閉じてエンジンスイッチをONにしたとき
- ドアおよびリヤハッチを閉じてセンタードアロックの機能を使って施錠したとき
- キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムのリモコンスイッチを使って施錠したとき
- キーレスオペレーションシステム付き車は，キーレスオペレーション機能を使って施錠したとき

アドバイス

- キーを使ってエンジンをかけている場合は，ドアおよびリヤハッチが閉まっているときにエンジンスイッチを LOCK にしてキーを抜くと点灯し，約15秒後に消灯します。
- キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけているときは，ドアおよびリヤハッチが閉まっているときエンジンスイッチをLOCKにすると点灯し，約15秒後に消灯します。

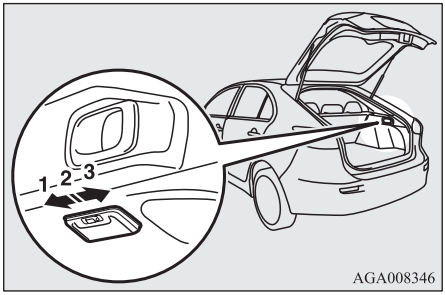
アドバイス

- 消灯までの時間を調整することができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

3- (OFF)
ドアまたはリヤハッチの開閉に関係なく消灯します。

カーゴルームランプ

J00908100031



1- (ON)
リヤハッチの開閉に関係なく点灯します。
2- リヤハッチを開けると点灯,閉じると消灯します。
3- (OFF)
リヤハッチの開閉に関係なく消灯します。

インテリアランプ *1 オートカット機能（自動消灯）

J00901700416

*1 ルーム＆マップランプなどの車内照明

- エンジンスイッチが LOCK の位置で，車内照明を点灯したままにすると，約30分後に照明が自動的に消灯します。
- エンジンスイッチをONまたはACCの位置にしたり，ドアまたはリヤハッチの開閉やキーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステムの操作をすると再び点灯します。

アドバイス

- インテリアランプオートカット機能（自動消灯）を働かなくすることができます。また，自動消灯までの時間を調整することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  また，三菱マルチコミュニケーションシステム (MMCS) 付き車は，画面の操作で調整することができます。詳しくは別冊の取扱説明書をご覧ください。

小物入れ

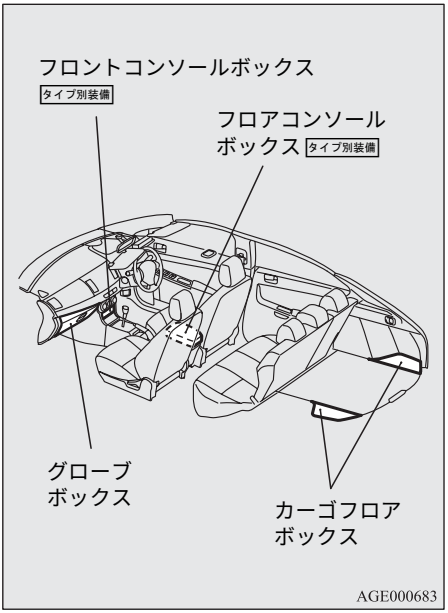
J00906700541

⚠注意

- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。
- 走行中は小物入れのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

アドバイス

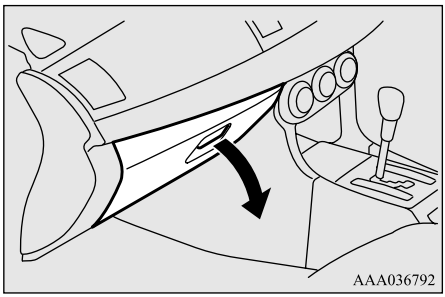
- 車を離れるときは小物入れに貴重品を入れたままにしないでください。



グローブボックス

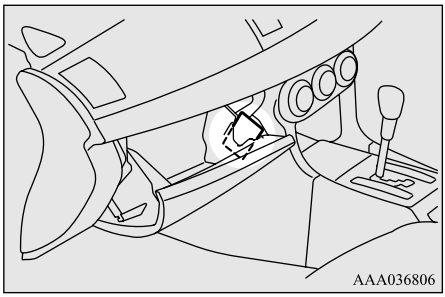
J00907200338

レバーを引くと開きます。



◆ カードホルダー

グローブボックスの内側にカードホルダーがあります。



アドバイス

- 給油カードなどが2枚まで入ります。それ以上入れると破損するおそれがあります。

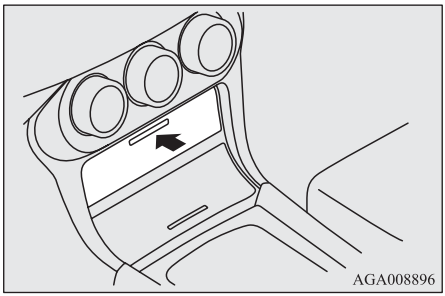
フロントコンソールボックス

タイプ別装備

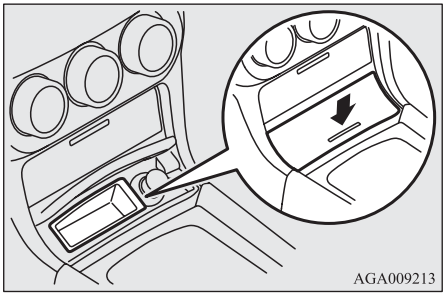
J00911200049

使用するときは，フタを開けます。

◆ 上段ボックス



◆ 下段ボックス



アドバイス

- フロントコンソールボックスを灰皿として使用しないでください。
  火災の原因になったり，ボックスが変形するおそれがあります。

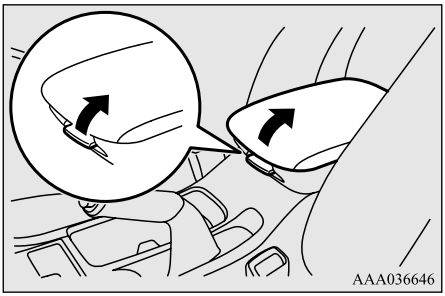
フロアコンソールボックス

タイプ別装備

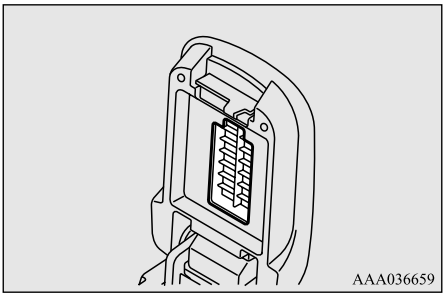
J00908200146

◆Aタイプ

レバーを引きながらフタを開けます。
閉じるときはロックされるまで押します。

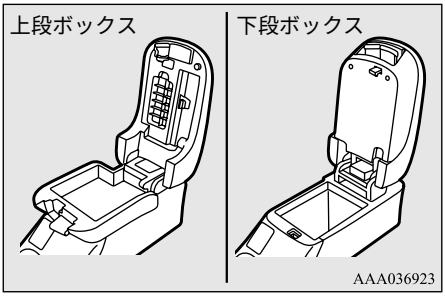


フロアコンソールボックスのフタの内側にポケットティッシュを収納することができます。

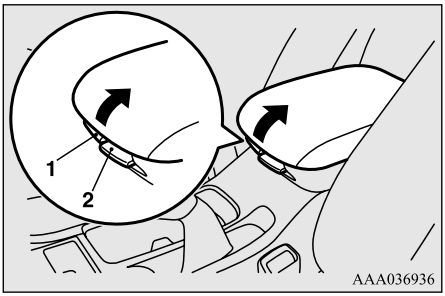


◆Bタイプ

上段ボックスと下段ボックスに分かれています。
上段ボックスのフタはアームレストとしても使用できます。

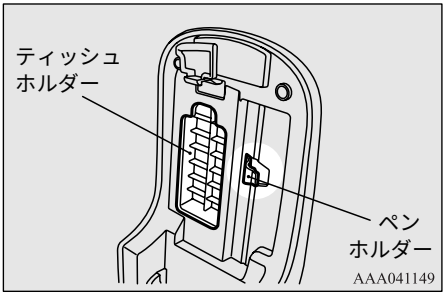


上段ボックスを使用するときはレバー(1)を，下段ボックスを使用するときはレバー(2)を引きながらフタを開けます。
閉じるときはロックされるまで押します。



8

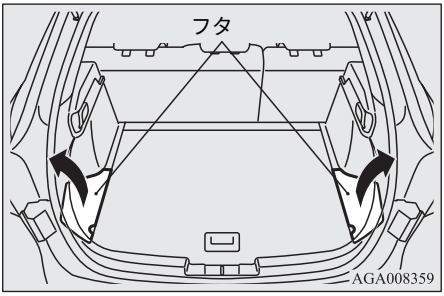
フロアコンソールボックスのフタの内側にポケットティッシュやペンを収納することができます。



カーゴフロアボックス

J00912600082

ラゲッジコンパートメントの両側にカーゴフロアボックスがあります。
使用するときは，フタを開けます。



カップホルダー

J00903800671

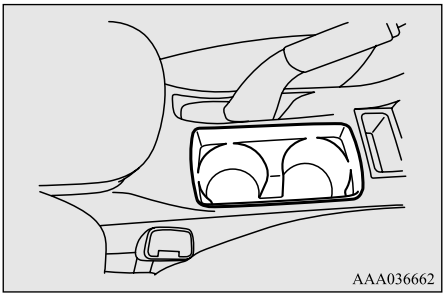
⚠注意

- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

フロントシート用

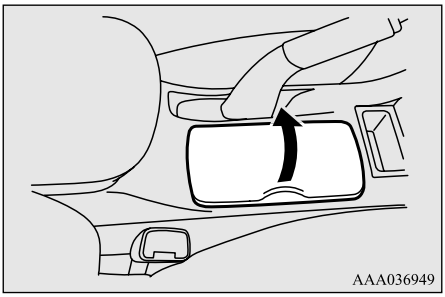
センターコンソールにカップホルダーがあります。

◆Aタイプ



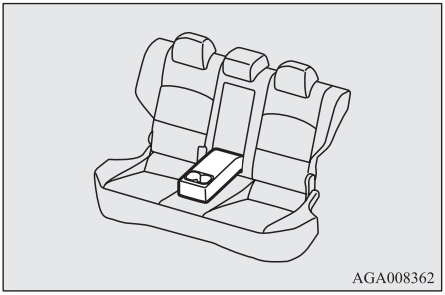
◆Bタイプ

フタを開けて使用します。



リヤシート用

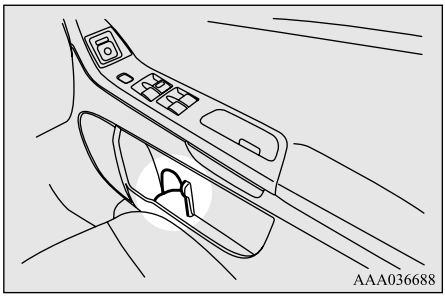
アームレストを倒すとカップホルダーがあります。
→「アームレスト」P. 5-5



ボトルホルダー

J00905900269

ペットボトルなどを入れることができます。



⚠注意

● 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

アドバイス

● ペットボトルなどはフタを確実に閉めて収納してください。
● ペットボトルの大きさ，形状によっては収納できないことがあります。

リヤシェルフパネル

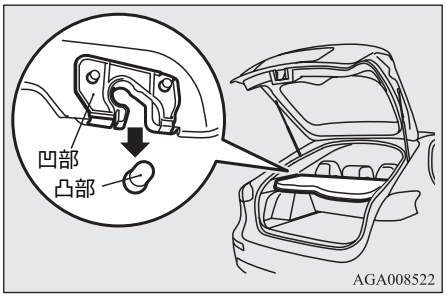
J00904800043

⚠注意

● リヤシェルフパネルの上には荷物などをのせないでください。後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときに荷物が飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。

取り付けるときは

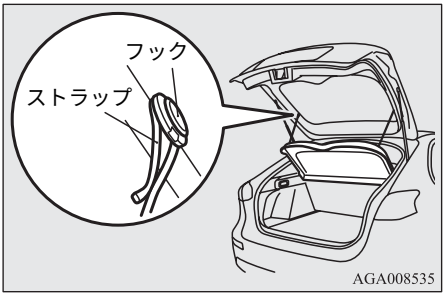
1. リヤシェルフパネルの下側の凹部をリヤハッチの内側にある凸部にはめ込みます。



⚠注意

● リヤシェルフパネルを軽くゆすって凸部に凹部が確実に固定されていることを確認してください。固定されていない状態で使用すると，走行中にリヤシェルフパネルが外れてけがをするおそれがあります。

2. リヤシェルフパネルのストラップをフックにかけます。



取り外すときは

取り外すときは，取り付けるときと逆の手順で行います。

2段高さ調整カーゴフロア

タイプ別装備

J00913800010

ボードを下げて，収納スペースを広くすることができます。

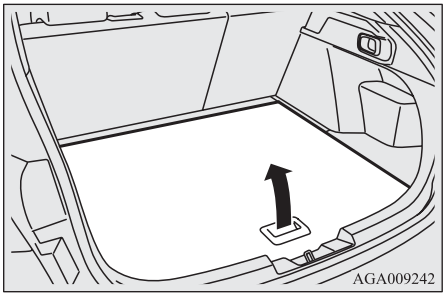
⚠注意

- 排気管はエンジンを止めてもしばらくの間は高温になっていますので，さわらないよう注意してください。
- ボードを操作するときは，排気管の後方に立たないでください。排気熱によりやけどをするおそれがあります。
- ボードを操作するときは，指などをはさまないように注意してください。

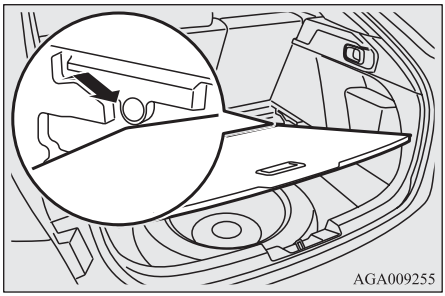
アドバイス

- ボードの上下に荷物がないことを確認してからボードを操作してください。荷物を置いたままの状態でボードを下げると，荷物が破損するおそれがあります。
- 重い荷物などをのせるときは，ボードを下げてご使用ください。
  ボードが変形するおそれがあります。

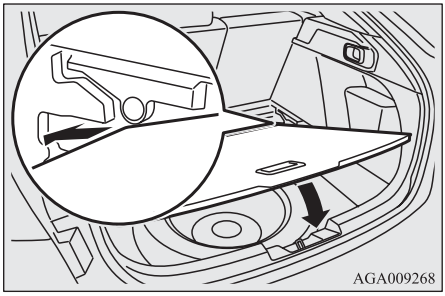
1. ボードの後方を持ち上げます。



2. ボードの前方が下がるまで手前に引きます。



3. 前方が下がった状態でボードを奥に押し込み，ボードを下ろします。

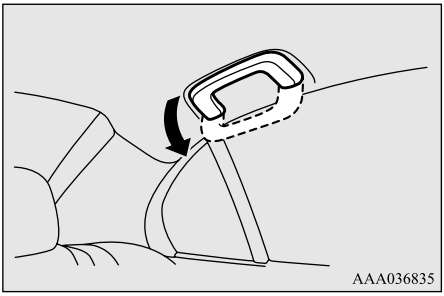


4. ボードが確実に固定されていることを確認します。
5. 戻すときは逆の手順で行います。

アシストグリップ

J00912900274

座ったときに手で身体を支えるためのグリップがあります。



⚠注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしないでください。
  アシストグリップが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

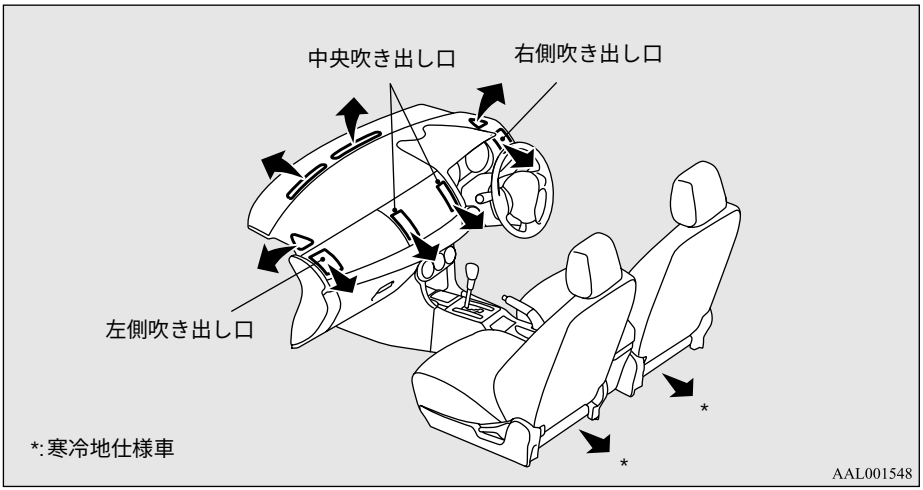
MEMO

エアコン

吹き出し口 9- 2
オートエアコン 9- 5
エアコンの上手な使い方 9- 16
クリーンエアフィルター（脱臭機能付き） 9- 17

吹き出し口

J01000100525

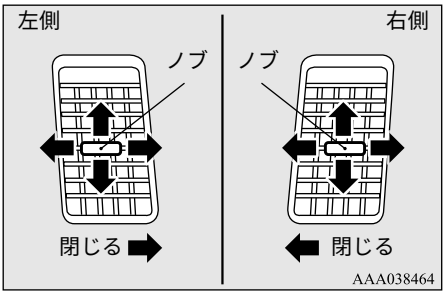


風向き調整

J01000300572

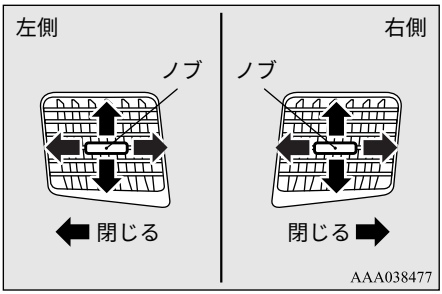
◆ 中央吹き出し口

ノブを動かして調整します。
吹き出し口を閉じるときは，ノブを内側いっぱいまで動かします。



◆ 左右吹き出し口

ノブを動かして調整します。
吹き出し口を閉じるときは，ノブを外側いっぱいまで動かします。



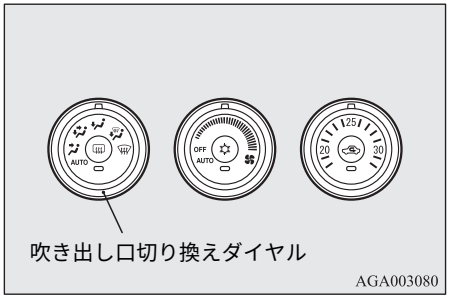
アドバイス

- 冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが，これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので異常ではありません。
- 冷房，除湿効果が悪いときは三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 吹き出し口に飲み物などが入らないようにしてください。エアコンが正常に作動しなくなるおそれがあります。

吹き出し口の切り換え

J01000400733

吹き出し口切り換えダイヤルを操作し，使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。



→「吹き出し口切り換えダイヤル」P. 9-6

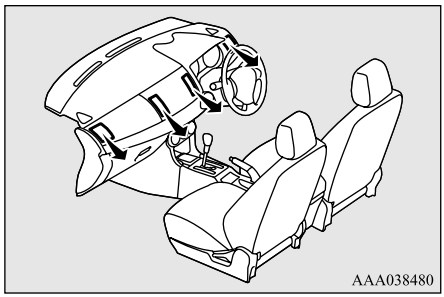
→:風量弱

➔:風量中

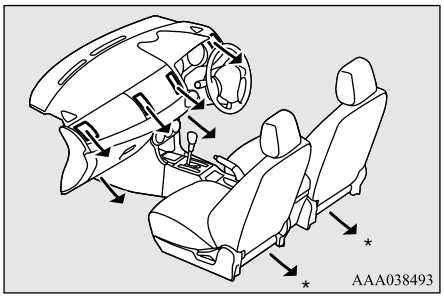
➔:風量強

*:寒冷地仕様車

上半身に送風したいとき



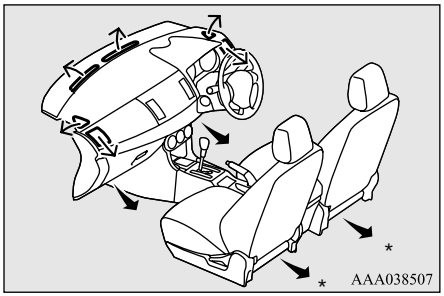
上半身と足元に送風したいとき



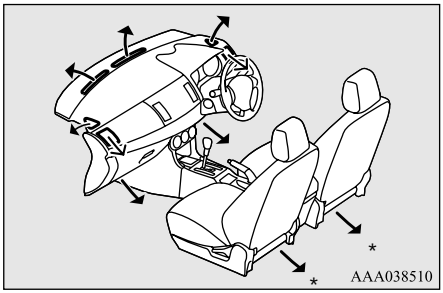
アドバイス

- 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると上半身へ多く，と の間にすると足元へ多く送風されます。

足元に送風したいとき



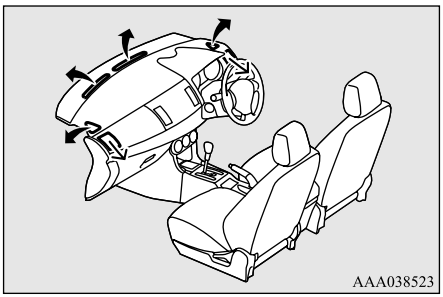
足元とウインドウガラスに送風したいとき



アドバイス

● 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると足元へ多く，と の間にするとウインドウガラスへ多く送風されます。

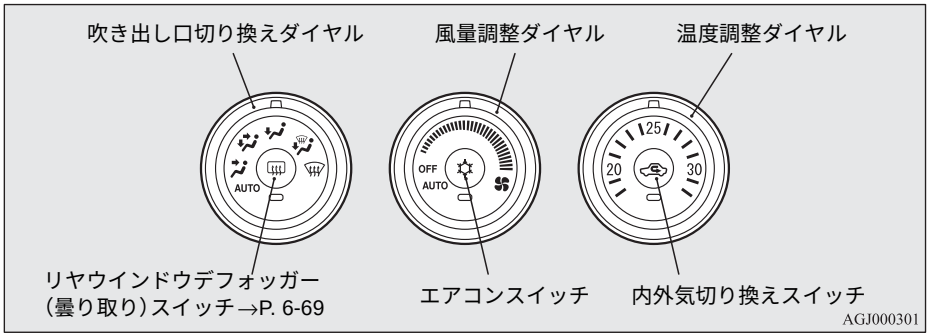
ウインドウガラスに送風したいとき



オートエアコン

J01002400535

エンジンスイッチがONのときに使用できます。



- スイッチの使い方 P. 9-6
- 通常の使い方（自動で使うとき）P. 9-10
- 手動で使うとき P. 9-12
  - ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは P. 9-12
  - 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは P. 9-15

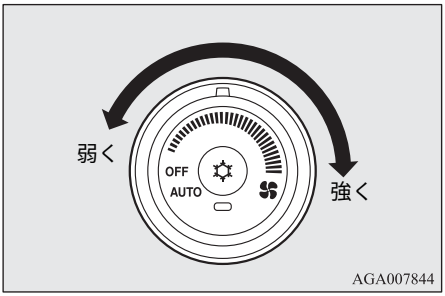
スイッチの使い方

J01002500099

◆ 風量調整ダイヤル

J01002800379

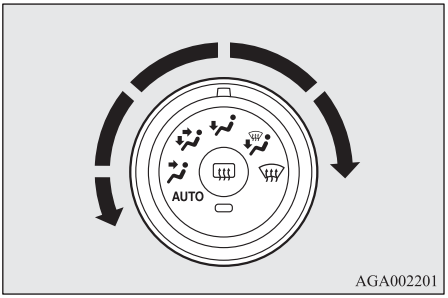
風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。



◆ 吹き出し口切り換えダイヤル

J01003200312

使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。
→「吹き出し口の切り換え」P. 9-3

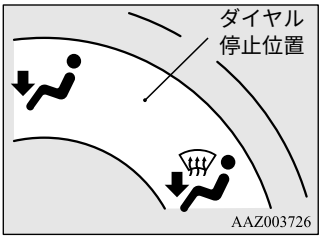


⚠注意

- と の間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えスイッチを押して外気導入にしてください。
→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-7

アドバイス

- 各シンボルの間にはそれぞれダイヤル停止位置があり風量をお好みに調整できます。

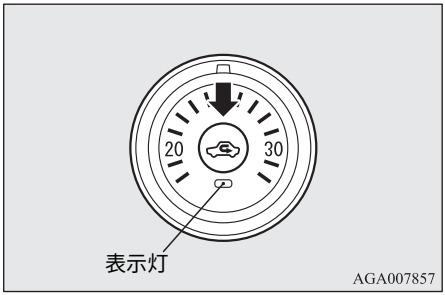


◆ 内外気切り換えスイッチ

J01003400369

スイッチを押すと音が鳴り，外気導入と内気循環が切り換わります。

- 外気導入（表示灯：消灯）
  外気を車内に入れます。
- 内気循環（表示灯：点灯）
  車内の空気を循環させ，外気をしゃ断します。



⚠注意

- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
- 早く冷房したいときは内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

アドバイス

- 手動操作後，再度吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルを AUTO にすると，内外気切り換えスイッチも自動制御されます。

内外気切り換えのカスタマイズ（機能の設定変更）

つぎの機能をお好みにあわせて変更することができます。

- 内外気自動制御許可:
  吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルを AUTO にすると，内外気切り換えスイッチも自動制御されます。
- 内外気自動制御拒否:
  吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルをAUTOにしても内外気切り換えスイッチは自動制御されません。
- 設定変更方法
  内外気切り換えスイッチを約 10 秒以上押し続けます。
  設定が変更されると音が鳴り，表示灯が点滅します。
  - 許可から拒否へ変更した場合
    音が“ピピピッ”と鳴り，表示灯が3回点滅する。
  - 拒否から許可へ変更した場合
    音が“ピピッ”と鳴り，表示灯が3回点滅する。

アドバイス

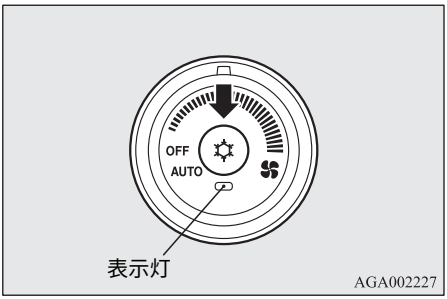
- 工場出荷時は「内外気自動制御許可」に設定されています。
- 吹き出し口切り換えダイヤルを にしているときは，窓の曇りを防止するため，「内外気自動制御拒否」に設定していても自動的に外気導入に切り換わります。

◆ エアコンスイッチ

J01003500520

スイッチを押すと音が鳴り，エアコン（冷房・除湿機能）の作動と停止が切り換わります。

- エアコン作動（表示灯：点灯）
  エアコンが作動し，冷房・除湿機能が働きます。
- エアコン停止（表示灯：消灯）
  エアコンが停止しているため，冷房・除湿機能は働きません。



⚠注意

- エアコン作動中はエンジン回転数が高くなりクリープ現象が強くなりますので，停車中はしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象」P. 2-16

アドバイス

- エアコン作動表示灯が点滅したときは，エアコン装置に何らかの異常が考えられます。一度エアコンスイッチを押してエアコンを切り，再度スイッチを押してエアコンを ON にしてください。しばらくたってもエアコン作動表示灯が点滅しなければ異常ありません。
  再び点滅する場合は三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- 高圧洗車機などを使用して，大量の水がコンデンサに付着した場合は，洗車後エアコン作動表示灯が一時的に点滅することがありますが，異常ではありません。しばらくたってから，一度エアコンスイッチを押してエアコンを切り，再度スイッチを押してエアコンを ON にしてください。水分が蒸発していれば点滅は止まります。

エアコンスイッチのカスタマイズ（機能の設定変更）

つぎの機能をお好みにあわせて変更することができます。

- エアコン自動制御許可:
  吹き出し口切り換えダイヤルまたは風量調整ダイヤルをAUTOにした場合や温度調整ダイヤルを最低温度にした場合，エアコンスイッチの自動制御をします。
- エアコン自動制御拒否:
  エアコンスイッチを操作しない限り，エアコンスイッチの自動制御をしません。
- 設定変更方法
  エアコンスイッチを約 10 秒以上押し続けます。
  設定が変更されると音が鳴り，表示灯が点滅します。
  - 許可から拒否へ変更した場合
    音が“ピピピッ”と鳴り，表示灯が3回点滅する。
  - 拒否から許可へ変更した場合
    音が“ピピッ”と鳴り，表示灯が3回点滅する。

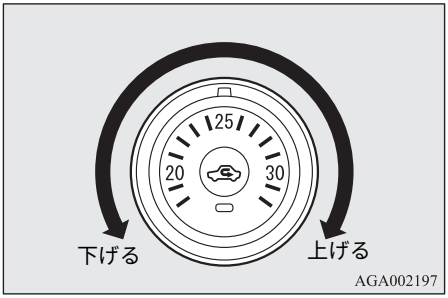
アドバイス

- 工場出荷時は「エアコン自動制御許可」に設定されています。
- 吹き出し口切り換えダイヤルを にしているときは，窓の曇りを防止するため，「エアコン自動制御拒否」に設定していてもエアコンは自動的に作動します。

◆ 温度調整ダイヤル

J01003000466

室内温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。



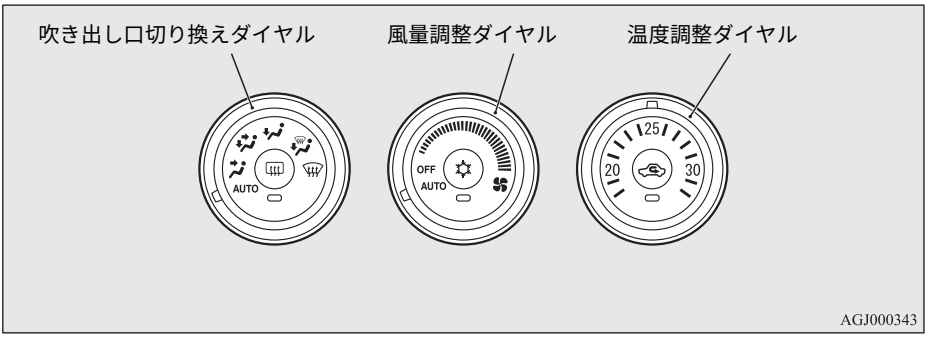
アドバイス

- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。
- 温度を最高または最低に設定すると，内外気およびエアコンがつぎのとおり自動的に切り換わります。
  自動的に切り換わった後に手動操作した場合は，操作した機能が優先されます。
  - 急速暖房（最高温度に設定）
    外気導入，エアコン停止
  - 急速冷房（最低温度に設定）
    内気循環，エアコン作動

  工場出荷時は上記のように設定されています。内外気切り換え／エアコンスイッチのカスタマイズ（機能の設定変更）したときや，操作条件によっては外気およびエアコンの自動切り換えを，お好みにあわせて変更することができます。
  詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
  →「エアコンスイッチ」P. 9-8
  →「内外気切り換えスイッチ」P. 9-7

通常の使い方（自動で使うとき）

J01004000737

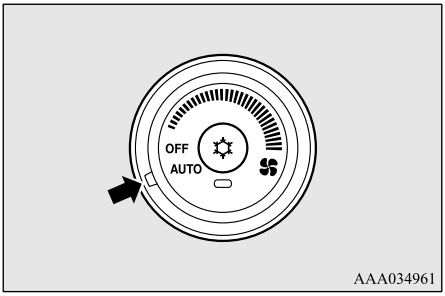


風量，エアコンの ON/OFF および，内外気の切り換えを自動的に調整します。

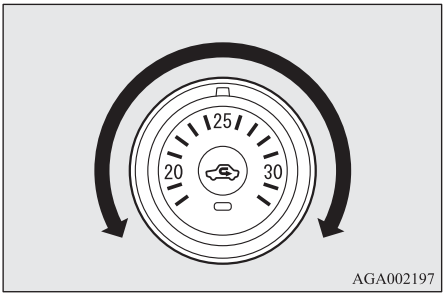
アドバイス

- AUTO 作動中にエアコンスイッチまたは内外気切り換えスイッチを操作すると操作した機能が優先します。操作した機能以外は自動制御されます。

1. 風量調整ダイヤルをAUTOにします。



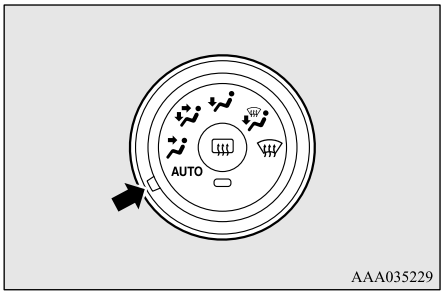
2. 温度調整ダイヤルで希望温度を設定します。設定温度を 18～32 の間で調整できます。



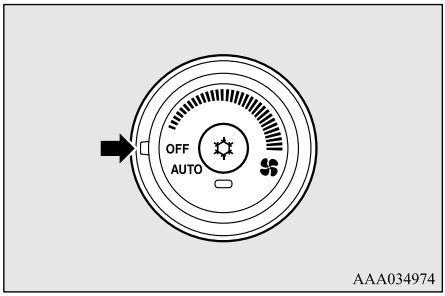
アドバイス

- 25 を基準に，お好みの温度に調整してください。
- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。
- AUTO 作動中に温度調整ダイヤル以外の各ダイヤル／スイッチを操作すると，操作した機能が優先されます。操作した機能以外は自動制御されます。

3. 吹き出し口切り換えダイヤルをAUTOにします。

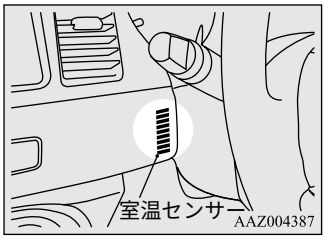


4. 作動を止めたいときは風量調整ダイヤルをOFFにします。



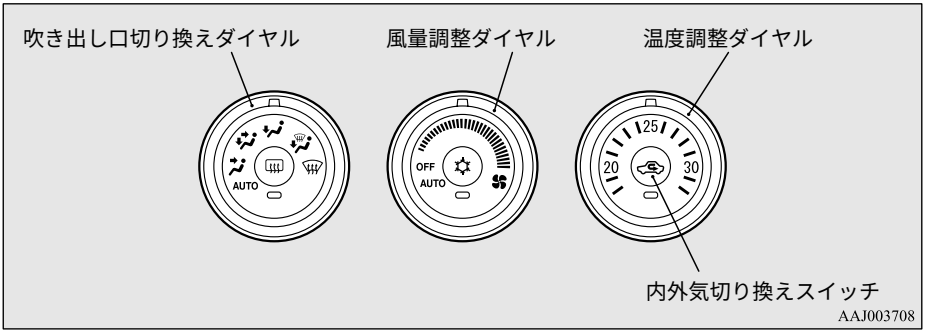
アドバイス

● 室温センサーをふさいだりしないでください。



手動で使うとき

J01004100406



お好みに合わせてダイヤルを操作してください。AUTO（自動）作動中でも，操作した機能が優先されます。操作した機能以外は自動制御されます。
停止するときは風量調整ダイヤルを OFF にします。

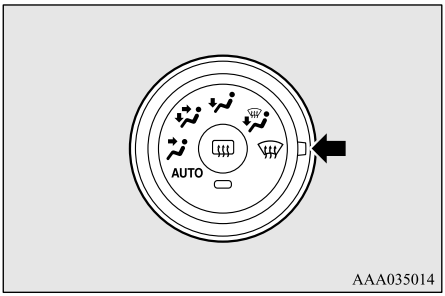
◆ ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

J01004200511

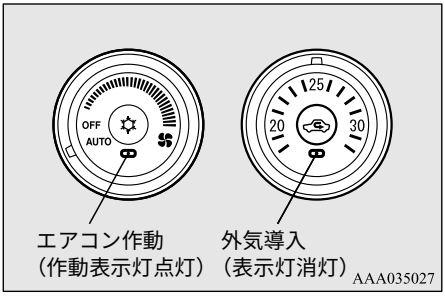
⚠注意

- 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

1. 吹き出し口切り換えダイヤルを（曇り取り）にします。



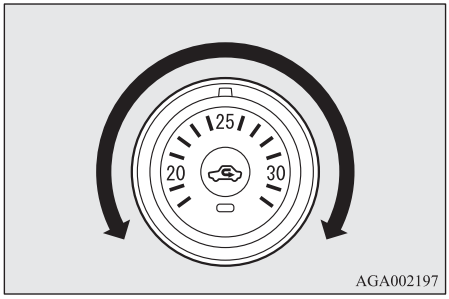
エアコンが自動的に作動し，外気導入（表示灯消灯）に切り換わります。



⚠注意

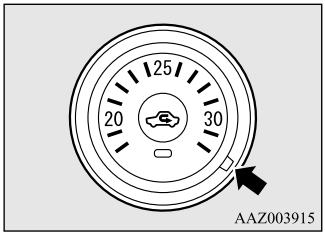
● 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にしてもウインドウガラスの曇り，霜を取ることができますが，自動的にエアコンは作動しません。
また，外気導入にも切り換わりません。
エアコンの作動および外気導入への切り換えは，エアコンスイッチおよび内外気切り換えスイッチを操作して行ってください。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。



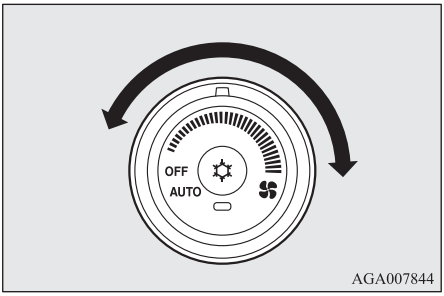
アドバイス

● 早く曇り，霜を取りたいときは温度を最高に設定します。



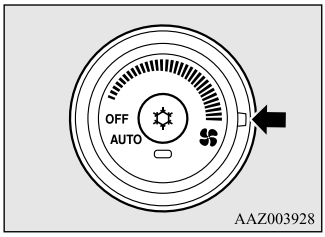
● 吹き出し口切り換えダイヤルを （曇り取り）にしたときは設定温度を最低温度付近にしないでください。
ウインドウガラスの外側に露が付くことがあります。

3. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



アドバイス

● 早く曇り，霜を取りたいときは風量を最大に設定します。



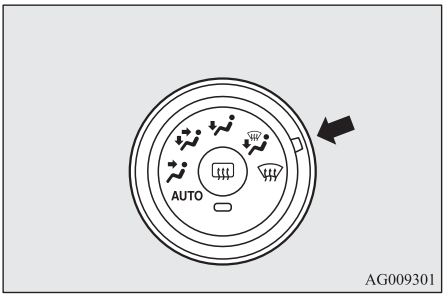
◆ 曇り止めと暖房を同時にしたいときは

J01011100192

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをつぎの位置にします。

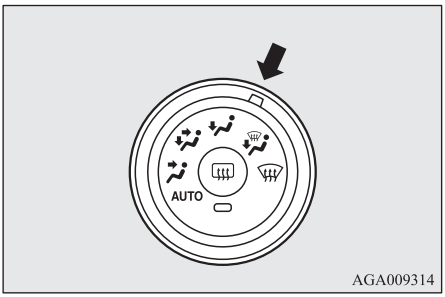
曇り止めを優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルをとの間にします。



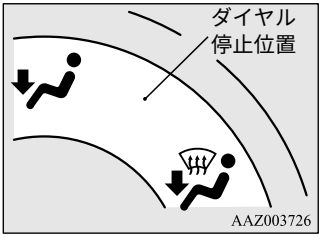
暖房を優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルをとの間にします。

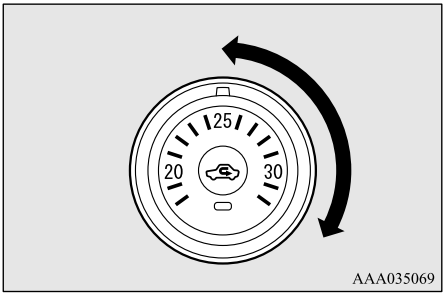


アドバイス

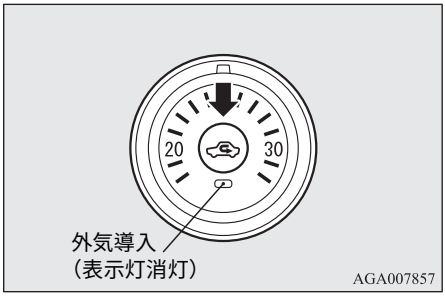
- 各シンボルの間にはそれぞれダイヤル停止位置があり風量をお好みに調整できます。



2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。



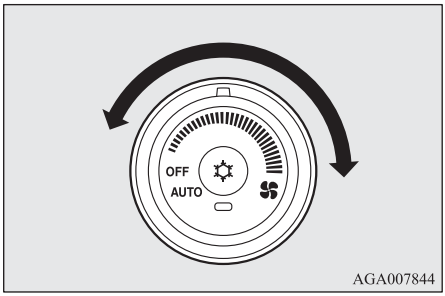
3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。



⚠注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。



アドバイス

- エアコンを使用すると除湿効果があります。

◆ 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

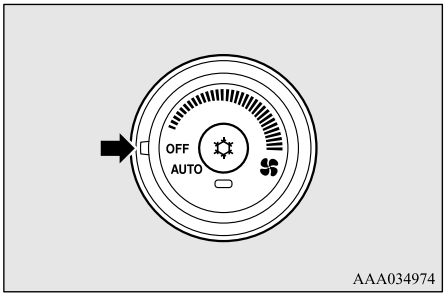
J01004300017

トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。
→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-7

◆ すべての作動を停止したいときは

J01004400177

風量調整ダイヤルをOFFにします。

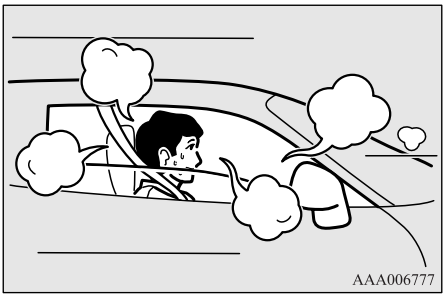


エアコンの上手な使い方

J01009400576

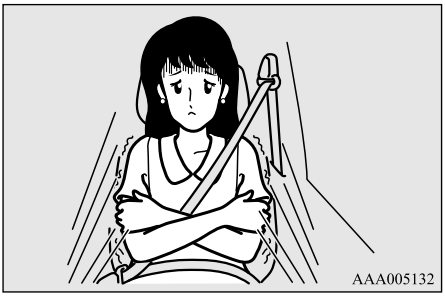
長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。
このようなときはドアガラスを開けて熱風を車外に追い出してください。



冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので，少し涼しいと感じる温度に調整してください。



定期点検を忘れずに

暑い季節になる前に冷媒ガス量の点検を行ってください。冷媒ガスが不足すると冷房効果が悪くなります。

⚠注意

- エアコンの冷媒ガスを充填する場合は，エンジンフード（ボンネット）に貼付のエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合，エアコンコンプレッサが故障し，エンジン停止や始動不能になるおそれがあります。

アドバイス

- エアコンの効きが悪い場合は冷媒ガスが不足またはないことが考えられます。三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

クリーンエアフィルター（脱臭機能付き）

J01009500564

花粉やほこり，たばこおよび排気ガスの臭いなどを取り除くフィルターを内蔵しています。フィルターに花粉やほこりなどが付着すると効果が低下しますので，フィルターは定期的に交換することをおすすめします。
→「クリーンエアフィルターの交換のしかた」P. 11-7

アドバイス

- 使用地域やエアコンの使用頻度によってはフィルターの寿命が短くなります。吹き出し風量が極端に減少したりガラスが曇りやすくなったときは交換時期ですので三菱自動車販売会社にご相談ください。
（交換時期の目安:1年または12,000kmのいずれか早いとき）

MEMO

オーディオ

AM/FM電子同調ラジオ＆CDプレーヤー（MP3再生対応）. 10- 2
ステアリングホイール オーディオリモコンスイッチの使い方 10- 24
エラーコード. 10- 26
オーディオの上手な使い方. 10- 27
アンテナ 10- 29
時計. 10- 30

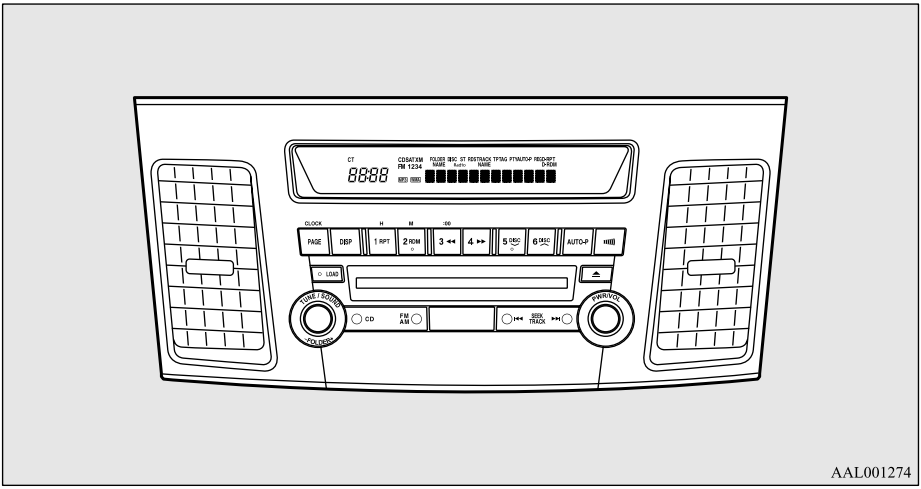
● 三菱マルチコミュニケーションシステム付き車のオーディオの操作については，別冊の取扱説明書をご覧ください。

AM/FM電子同調ラジオ＆CDプレーヤー（MP3再生対応）

タイプ別装備

J01100100571

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。



● 音量・音質調整のしかた P. 10-4
- 音量調整 P. 10-4
- 音質・音量バランス調整 P. 10-5
- ミュージックタイプ調整モード P. 10-7
- サウンドフィールドタイプ調整モード P. 10-9

● ラジオを聞くときは P. 10-11
- 放送局を選局するときは P. 10-11
- 放送局を記憶させるときは P. 10-12
- 交通情報を聞くときは P. 10-13

● CDを聞くときは P. 10-14
- MP3 CDを聞くときは P. 10-14
- フォルダ選択順序とMP3ファイル再生順序（例）P. 10-15
- 早送り，早戻しをするときは P. 10-16
- トラックを選択するときは P. 10-16
- フォルダを選択するときは P. 10-16
- ファイルを選択するときは P. 10-17
- 同じトラックを繰り返し聞くときは P. 10-17
- 同じファイルを繰り返し聞くときは P. 10-17
- 同じフォルダを繰り返し聞くときは P. 10-17
- ランダムな曲順で聞くときは P. 10-18

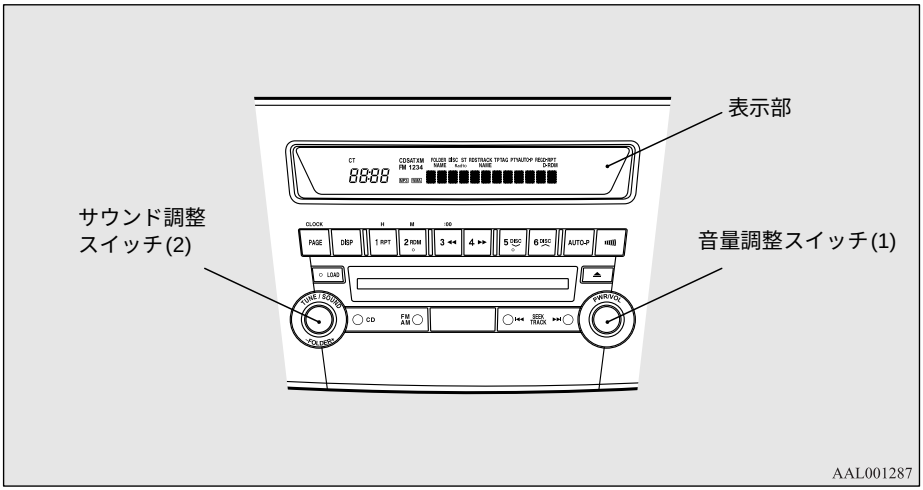
- フォルダをランダムな曲順で聞くときは P. 10-18
- すべてのフォルダをランダムな曲順で聞くときは P. 10-18
- CDを取り出すときは P. 10-19

● 表示を切り換えるときは P. 10-20
- CD テキスト P. 10-20
- MP3 タイトル P. 10-20
- ID3 タグ情報 P. 10-21

● 外部音声入力機能を使うときは タイプ別装備 P. 10-22
- 外部音声入力モードにするときはP. 10-23

音量・音質調整のしかた

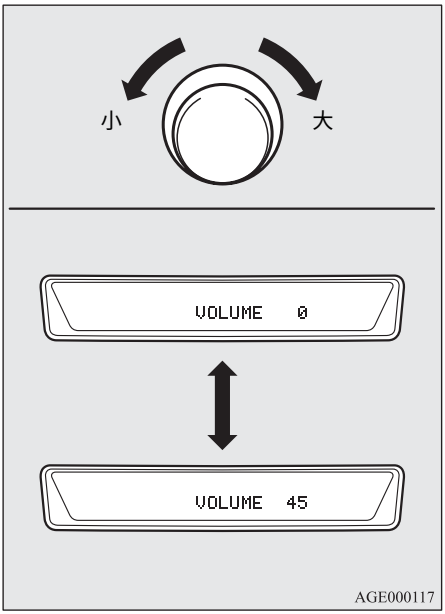
J01100300036



◆ 音量調整

J01102300030

音量調整スイッチ(1)で調整します。
調整状態は表示部に表示されます。



⚠注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 調整終了後，約2秒後に元の表示に戻ります。
  音量調整スイッチ(1)を回して2秒以上放置したり他のボタンを操作すると，元の表示に戻ります。

◆ 音質・音量バランス調整

J01102700340

音質，音量バランスを調整することができます。

1. サウンド調整スイッチ(2)を押して，調整したいモードを選択します。調整モードはスイッチを押すごとに切り換わり，表示部に表示されます。

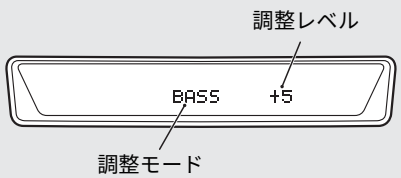
   TYPE→ FIELD→ BASS（低音）→ MID（中音）→ TREBLE（高音）→ FADER（前後音量）→ BALANCE（左右音量）→ 調整モード解除

アドバイス

- サウンド調整スイッチを押しながら回すとお好みの調整モードを選択することができます。調整したいモードが表示されたら，一度サウンド調整スイッチから手を離してください。

2. サウンド調整スイッチ (2) を左右に回してお好みに合わせて調整します。調整状態は表示部に表示されます。

例:BASS調整時



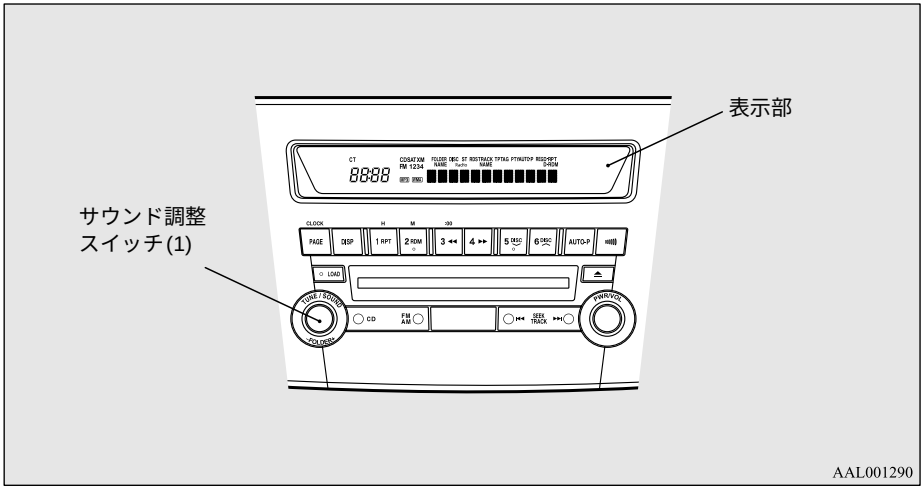
AGA001406

モード	調整	サウンド調整スイッチ操作	
		反時計回りに回す	時計回りに回す
TYPE	→P. 10-7		
FIELD	→P. 10-9		
BASS	-6~+6	弱くなる	強くなる
MID			
TREBLE			
FADER	F11~R11	R（後側）大	F（前側）大
BALANCE	L11~R11	L（左側）大	R（右側）大

アドバイス

- 調整レベルが“0”（センター位置）のときに，音が“ピッ”と鳴ります。
- 調整終了後，約10秒後に元の表示になります。
  サウンド調整スイッチを操作して10秒以上放置したり他のボタンを操作すると，調整モードが解除され，元の表示に戻ります。
- 調整モード中にサウンド調整スイッチをピッという音がするまで押しつづけると，HOLDモードになります。
  HOLDモード中は約10秒経過しても調整モードが解除されません。
  HOLD モードを解除するときは，サウンド調整スイッチをピッという音がするまで押し続けてください。
- 速度が上がっても，停車時とほぼ同等な音量感，音質感で聴けるように自動で補正します。
  この機能は作動させないようにすることができます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

メニュー	内容
BASS （低音調整）	お客様の好みに合わせた低音の音量を調整することができます。
MID （中音調整）	お客様の好みに合わせた中音の音量を調整することができます。
TREBLE （高音調整）	お客様の好みに合わせた高音の音量を調整することができます。
FADER （前後音量バランスの調整）	前側スピーカーと後側スピーカーの音量バランスを調整することができます。
BALANCE （左右音量バランスの調整）	左側スピーカーと右側スピーカーの音量バランスを調整することができます。



◆ ミュージックタイプ調整モード

J01125100048

音楽ソースに合わせてお好みの音響特性を選択することができます。
ミュージックタイプ調整モードは,5種類の音楽ソースに合わせて調整した音響設定の中から，お好みの設定をお楽しみいただく機能です。

1. サウンド調整スイッチ(1)を押して,表示部に “ TYPE ” を表示させます。
2. サウンド調整スイッチ (1) を左右に回して，表示部にお好みのミュージックタイプを表示させます。

   CLASSIC →JAZZ →POP →ROCK →HIP HOP

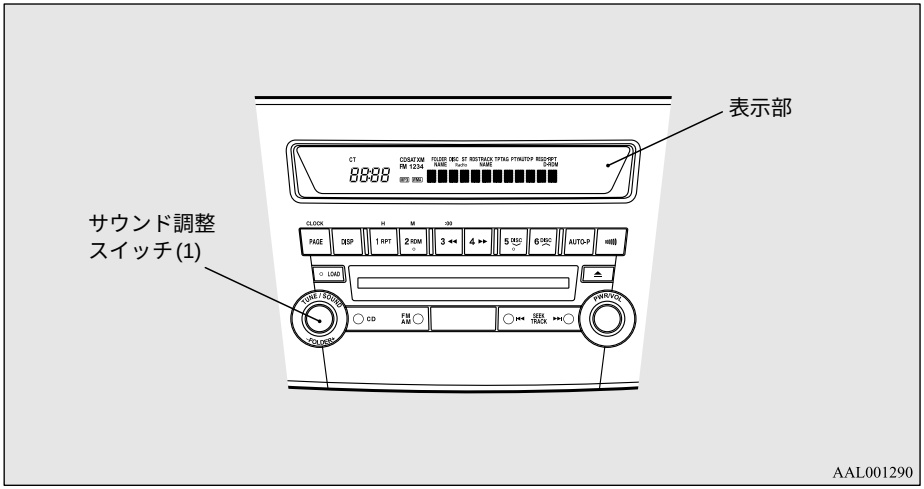
3. サウンド調整スイッチ (1) を押して聞きたいミュージックタイプを選択します。

ミュージックタイプメニュー

メニュー	内容
CLASSIC	全体的な音のバランスをフラットにした音を必要とするクラシックに最適な音響特性です。
JAZZ	低音域,中音域,高音域それぞれにメリハリをつけた,雰囲気のある音を必要とするジャズに最適な音響特性です。
POP	低音域と高音域にメリハリをつけた歯切れのよいボーカルを必要とするポップミュージックに最適な音響特性です。
ROCK	中低音を強調したスピード感のある音を必要とするロックミュージックに最適な音響特性です。
HIP HOP	重低音を強調したパワフルな音を必要とするヒップホップミュージックに最適な音響特性です。

アドバイス

- 調整終了後，約10秒後に元の表示になります。
  サウンド調整スイッチ (1) を操作して 10 秒以上放置したり他のボタンを操作すると，調整モードが解除され，元の表示に戻ります。



◆ サウンドフィールドタイプ調整モード

J01110000052

お好みの音場空間を選択できます。
サウンドフィールドタイプ調整モードは,4種類の音場空間の中からお好みの設定をお楽しみいただく機能です。

1. サウンド調整スイッチ(1)を押して,表示部に “ FIELD ” を表示させます。
2. サウンド調整スイッチ (1) を左右に回して，表示部にお好みのサウンドフィールドタイプを表示させます。

   NORMAL →STAGE →LIVE →HALL

3. サウンド調整スイッチ (1) を押して聞きたいサウンドフィールドタイプを選択します。

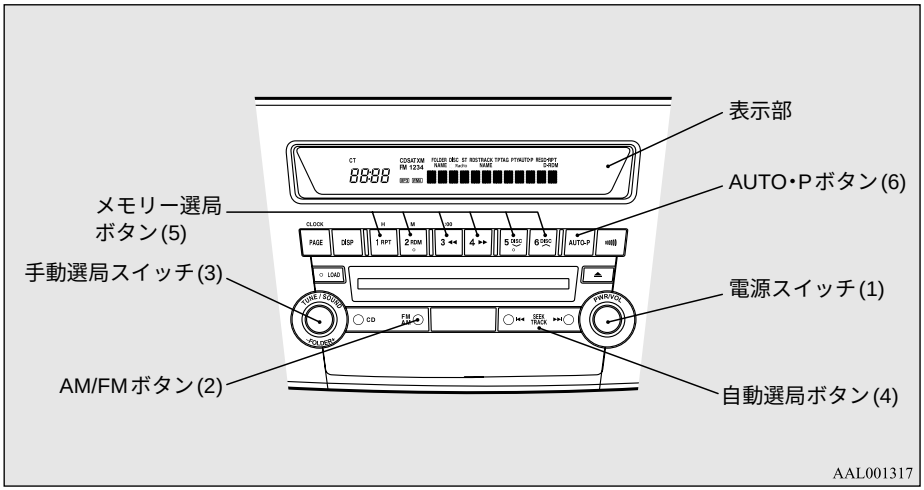
サウンドフィールドタイプメニュー

機能名	内容
NORMAL	ボーカルを前方に残しながら,楽器音がリスナーを包み込むように演出したサウンドイメージをお楽しみいただけます。
STAGE	運転者の目の前にボーカルがいるような,ステージを演出したサウンドイメージをお楽しみいただけます。
LIVE	前後左右からの音に包まれるような,ライブ会場を演出したサウンドイメージをお楽しみいただけます。
HALL	ホール会場独特の残響効果を演出し,あたかもコンサートホールで聞いているようなサウンドイメージをお楽しみいただけます。

アドバイス
● 調整終了後，約10秒後に元の表示になります。 サウンド調整スイッチ (1) を操作して 10 秒以上放置したり他のボタンを操作すると，調整モードが解除され，元の表示に戻ります。

ラジオを聞くときは

J01100500038



1. 電源スイッチ (1) を押して電源を入れます。電源を切りたいときはもう一度スイッチを押します。
2. AM/FMボタン(2)を押します。
   ラジオ以外の状態のときはラジオに切り換わり前回受信していたバンドの放送局をよびだします。ラジオの状態のときはAM/FMが切り換わります。
3. 手動選局スイッチ (3) を回すか，自動選局ボタン (4) を押して聞きたい放送局を選びます。

◆ 放送局を選局するときは

J01103500042

手動で選局するときは

手動選局スイッチ(3)を左右に回します。

- 周波数の高いほうへ選局するときは時計周りに回す
- 周波数の低いほうへ選局するときは反時計周りに回す

自動で選局するときは

自動選局ボタン(4)を押します。

- 周波数の高いほうへ選局するときは ▶▶I側
- 周波数の低いほうへ選局するときは I◀◀側

解除するときは同方向にもう 1 回ボタンを押します。

アドバイス

- 受信電波が弱く自動選局できないときは手動で選局してください。
- FMステレオ放送を受信したときは，表示部に“ ST ”と表示されます。また，すべてのAM放送をモノラルで受信します。
- 自動選局動作中，手動選局スイッチで動作を中断したときは，そのまま手動選局モードに移行されます。

◆ 放送局を記憶させるときは

J01103600362

手動で放送局を記憶させるときは

自動で記憶させた放送局とは別に AM，FM放送局を各6局まで記憶させることができます。

1. AM/FMボタン(2)を押して，AMまたはFM放送を選びます。
2. 手動選局スイッチ (3) を回すか，自動選局ボタン (4) を押して記憶させたい放送局を受信します。
3. メモリー選局ボタン(5) [1~6]のいずれか1つを押し続け，ピッという音がしたらメモリー完了です。表示部には記憶されたボタン番号と周波数が表示されます。
4. 次回からはメモリー選局ボタン (5) を軽く押すと，そのボタンに記憶されている放送局を受信します。

アドバイス

- 選局ボタン1つにつきAM1局，FM1局の2局を記憶することができます。
- バッテリー端子を外したときは記憶が取り消されます。

自動で放送局を記憶させるときは

手動で記憶させた放送局とは別に受信状態の良好なAM，FM放送の上位各6局を周波数の低い順に自動で記憶することができます。
周波数や放送局がわからない地域で記憶するときに有効です。

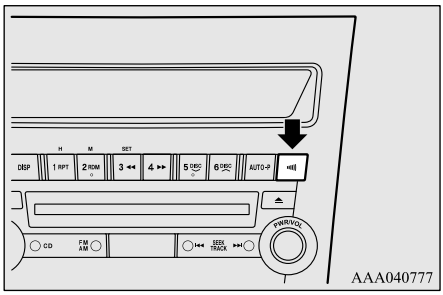
1. AM/FMボタン(2)を押して，AMまたはFM放送を選びます。
2. AUTO・Pボタン(6)をピッという音がするまで押し続けます。
3. 表示部に“ AUTO・P ”と表示され選局が始まります。
4. メモリー選局ボタン(5) [1~6]に自動で記憶され CH 1 に記憶された放送局を受信します。
5. 次回からはAUTO・Pボタン(6)を軽く押して表示部に“ AUTO・P ”と表示させてから，メモリー選局ボタン (5) を軽く押すと，そのボタンに記憶されている放送局を受信します。

アドバイス

- 受信可能な放送局が 6 局より少ない場合はその受信可能局数だけ記憶します。
- バッテリー端子を外したときは記憶が取り消されます。
- 表示部の“ AUTO・P ”表示は AUTO・Pボタン(6)を軽く押すたびに点灯／消灯します。

◆ 交通情報を聞くときは

J01103800058



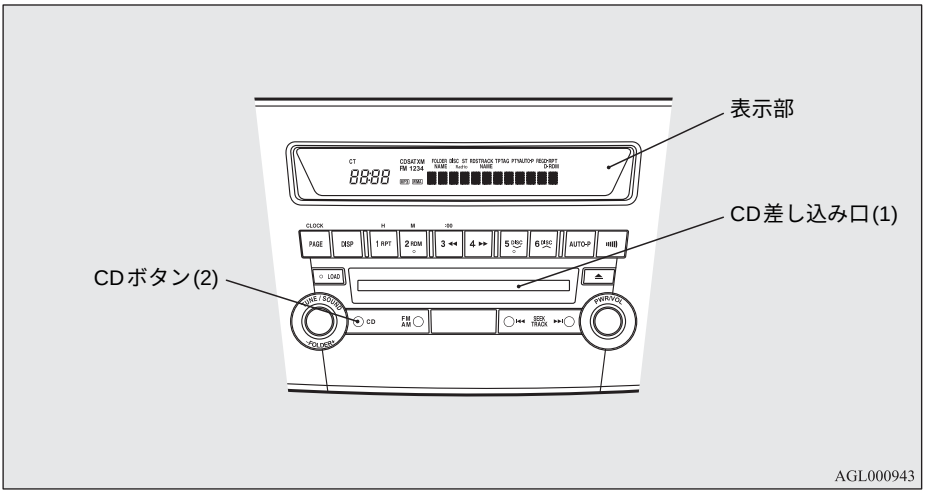
交通情報を行っている地域で交通情報をワンタッチで受信します。
交通情報ボタンを押すと交通情報局(1620kHz)を受信します。
もう一度押すと解除されます。

アドバイス

- 1620kHz の交通情報を受信できないときは自動的に 1629kHz の交通情報局を受信します。
  どちらも受信できないときは約 5 秒後に交通情報ボタンを押す前の状態に戻ります。
- CD を聞いているときでも交通情報ボタンを押すと交通情報を受信することができます。

CDを聞くときは

J01100700216



ディスクのラベル面を上にして CD 差し込み口(1)に入れ，軽く押し込むと再生が始まり，表示部に“ CD ”を表示します。他のモードから CD に切り換えたいときは，CDボタン(2)を押してください。

アドバイス

- CD-ROM，CD-RおよびCD-RWを再生することができます。

◆ MP3 CDを聞くときは

J01125200049

このCDプレーヤーは，CD-ROM，CD-RおよびCD-RWにISO9660 レベル1/ レベル2，JolietおよびRomeoフォーマットで記録されたMP3ファイルを再生することができます。
各ディスクは，1枚のディスク当たり，最高16の階層，100のフォルダおよび255のファイルを持つことができます。
MP3 再生中に，ID3 タグ情報を表示することができます。

→「表示を切り換えるときは」P. 10-20

MP3CDをCD差し込み口に入れ，軽く押し込むと，表示部に“ READING ”と表示され，再生が始まります。

MP3とは…

MPEG-1 Audio Layer3の略称です。
MPEG はビデオ CD などに採用されている映像圧縮規格です。MP3はMPEGの音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式のひとつで，人間の耳に聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を削る処理などにより，音質を保ったまま小さなファイルに圧縮することができます。
約10分の1に圧縮できるので，音楽CD約10 枚分の音楽データを CD-R/RW1 枚に書き込むことができます。（ビットレート128 kbps，サンプリング周波数 44.1 kHzで，容量650 MBのCD-R/RWに書き込んだ場合のおよその数値）

⚠注意

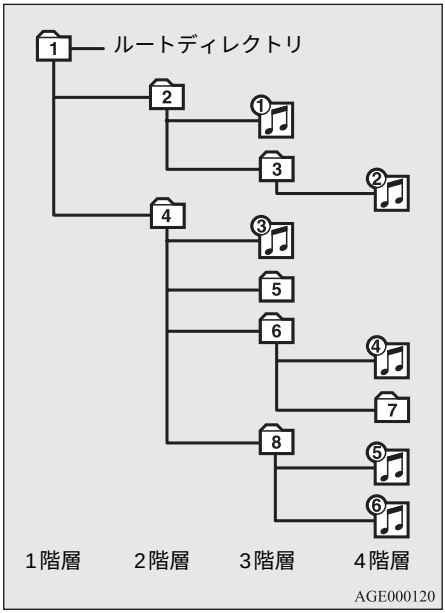
- MP3 ファイル以外の音楽データには，拡張子「.MP3」を付けないでください。スピーカーが破損したり，雑音がでて耳に重大な障害を受けるおそれがあります。

アドバイス

- CD-DA（音楽用CD）およびMP3ファイルが両方とも記憶されたディスクの場合，CD-DA を再生中，CD ボタンをピッという音がするまで押し続けることにより，MP3 ファイルに切り替えることができます。
- CD-DAおよびMP3ファイルの両方を含んでいるディスクでは，CD-DAファイルが優先的に再生されます。
- 再生時の音質は，使用したエンコーダーソフトやビットレートなどの設定によって異なります。詳しくは，エンコーダーソフトの取扱説明書をご参照ください。
- ディスク上のファイル／フォルダ配置によって，再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- MP3 変換ソフト，および書込みソフトは付属されておりません。
- 使用した書込みソフトや CD レコーダー（CD-R/RW ドライバ），またはその組合わせによって正常に再生されなかったり，正しく表示されない場合があります。
- 多くのフォルダやMP3以外のファイルを書き込むと，再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。
- この CD プレーヤーは MP3 ファイルを記録することができません。

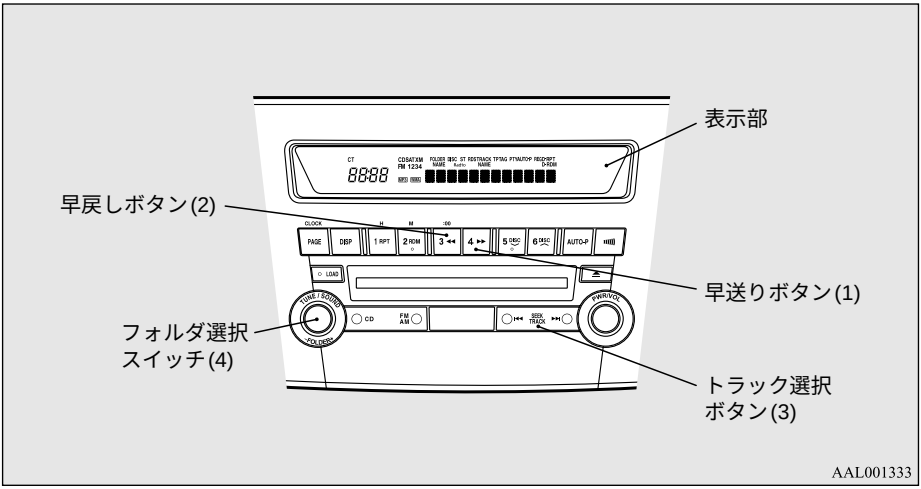
◆フォルダ選択順序とMP3ファイル再生順序（例）

J01125300053



フォルダ選択順序 1 – 8

ファイル選択順序 ① – ⑥



◆ 早送り，早戻しをするときは

J01104700142

再生中，早送りするときは早送りボタン(1)を押します。
再生中，早戻しするときは早戻しボタン(2)を押します。

ボタンを押している間，早送り，早戻しとなります。

◆ トラックを選択するときは

J01125400041

トラック選択ボタン(3)を押して聞きたい曲のトラックナンバーを選択します。

▶▶I トラックナンバーが増加
I◀◀ トラックナンバーが減少

聞いている曲の途中でボタンのI◀◀側を1回押すと，その曲の頭に戻り再生します。

アドバイス

- トラック選択ボタンを押すごとに表示部のトラックナンバーが変わります。

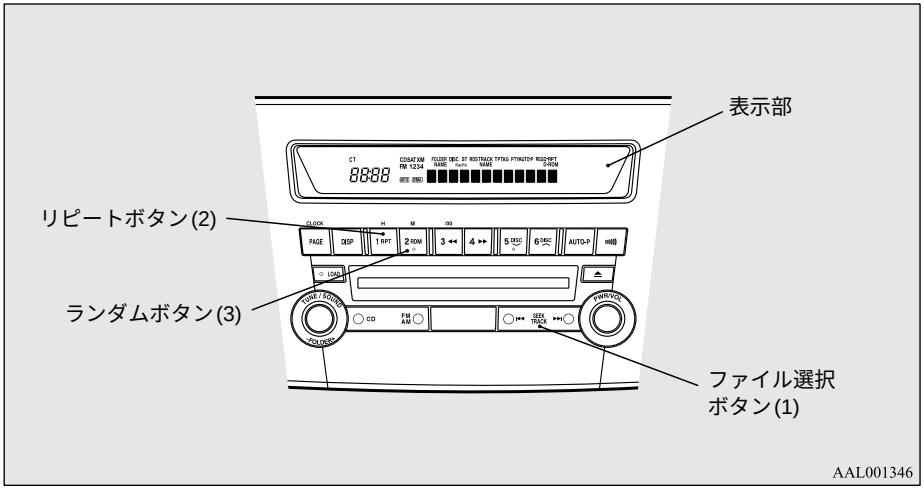
◆ フォルダを選択するときは

J01125500055

MP3

フォルダ選択スイッチ(4)を左右に回します。

- フォルダナンバーの大きいほうへ選択するときは時計周りに回します。
- フォルダナンバーの小さいほうへ選択するときは反時計周りに回します。



◆ ファイルを選択するときは

J01125600014

MP3

ファイル選択ボタン(1)を押して聞きたいファイルナンバーを選択します。

▶▶I ファイルナンバーが増加
I◀◀ ファイルナンバーが減少

ボタンを押している間，ファイルナンバーが増加または減少します。

◆ 同じトラックを繰り返し聞くときは

J01125700044

除く，MP3

再生中，リピートボタン(2)を押して表示部に " RPT " を表示させます。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ 同じファイルを繰り返し聞くときは

J01125800016

MP3

再生中，リピートボタン(2)を押して表示部に " RPT " を表示させます。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ 同じフォルダを繰り返し聞くときは

J01125900017

MP3

再生中，リピートボタン(2)をピッという音がするまで押し続けて，表示部に " D-RPT " を表示させます。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

アドバイス

- CD-DAとMP3ファイルが1つのディスクに混在しているときは，どちらかのフォーマットだけを繰り返し再生します。

◆ ランダムな曲順で聞くときは

J01105200144

除く，MP3

ランダムボタン(3)を押します。表示部に“ RDM ”と表示されます。
再生中のディスクからプレーヤーがランダムに選曲し，再生します。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ フォルダをランダムな曲順で聞くときは

J01126000015

MP3

ランダムボタン(3)を押します。表示部に“ RDM ”と表示されます。
再生中のフォルダからプレーヤーがランダムに選曲し，再生します。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

◆ すべてのフォルダをランダムな曲順で聞くときは

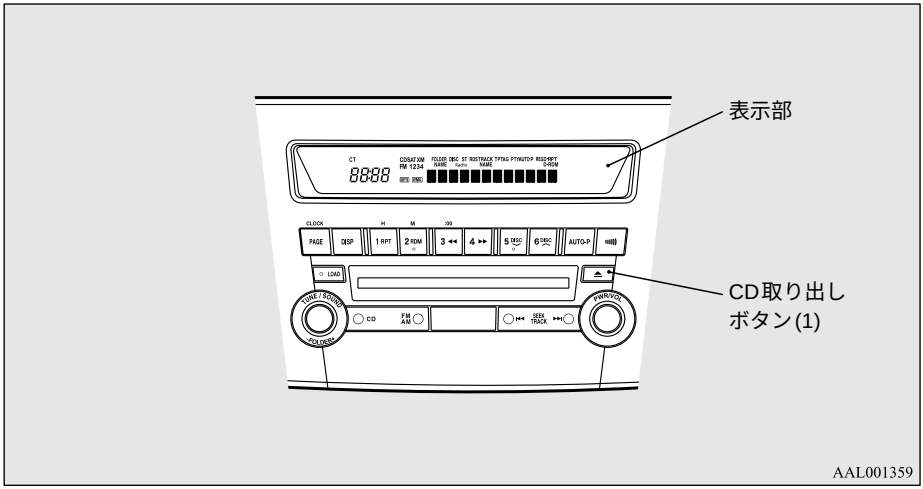
J01126100016

MP3

ランダムボタン(3)をピッという音がするまで押し続けます。表示部に“ D-RDM ”と表示されます。
再生中のディスクのすべてのフォルダからプレーヤーがランダムに選曲し，再生します。
解除するときはもう 1 回ボタンを押します。

アドバイス

- CD-DAとMP3ファイルが1つのディスクに混在しているときは，どちらかのフォーマットだけをランダム再生します。



◆ CDを取り出すときは

J01105700077

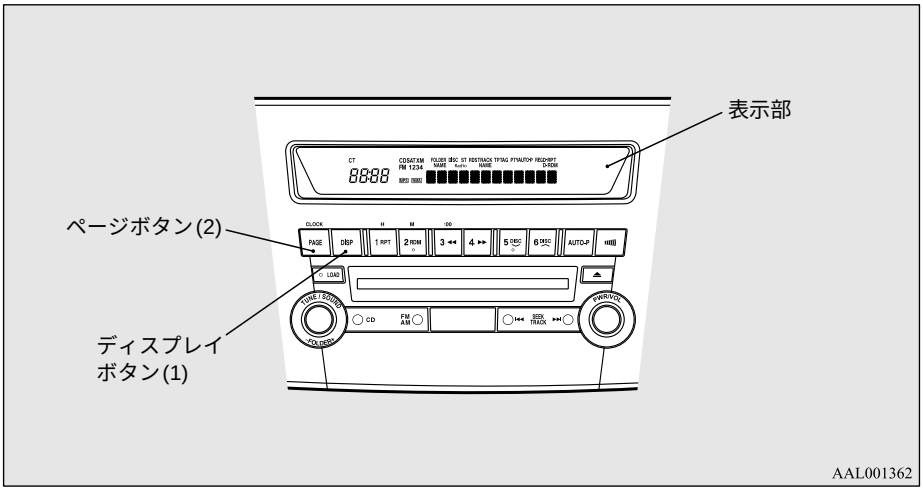
CD取り出しボタン(1)を押すと自動的にCDが出て元のモードに切り換わります。

アドバイス

- 電源が入っていないときでも CD 取り出しボタン(1)を押すと，CDを取り出すことができます。
- CDを取り出した後，差し込み口にCDを残したままにすると，約15秒後にプレーヤー内に引き込まれます。ただし，引き込まれたディスクは再生されません。

表示を切り換えるときは

J01101500107



このプレーヤーは，ID3 タグ情報を含む CD テキストおよび MP3 タイトルを表示することができます。

10

◆ CDテキスト

J01119900025

ディスプレイボタン(1)を押すごとに，表示部がつぎのように切り換わります。

ディスクタイトル → トラックタイトル →通常表示

アドバイス

- タイトル文字が 12 文字よりも多い場合は，ページボタン(2)を押すごとにつぎの12文字を表示します。
- タイトルが入っていないときは，表示部に “ NO TITLE ” が表示されます。
- 表示することができない文字は“ …… ”と表示されます。

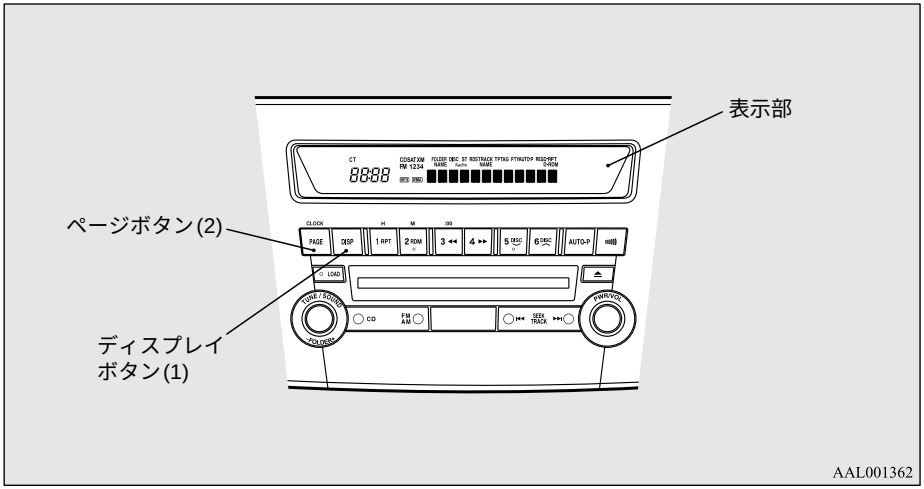
◆ MP3タイトル

J01120000026

MP3

ディスプレイボタン(1)を押すごとに，タイトル表示部がつぎのように切り換わります。

フォルダタイトル → トラックタイトル →通常表示



◆ ID3タグ情報

J01120100069

MP3

ID3 タグ情報が記録された MP3 ファイルは,タイトル表示部にID3タグ情報を表示することができます。

1. ディスプレイボタン (1) をピッという音がするまで押し続けます。表示部に“ TAG ”と表示されます。
2. 軽くボタンを押すごとに，表示部がつぎのように切り換わります。

アルバムタイトル → トラックタイトル →アーティスト名→通常表示

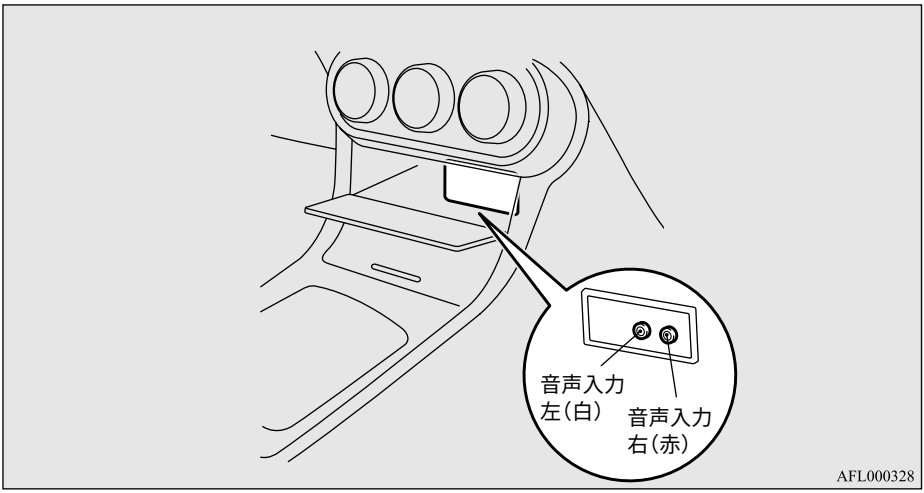
アドバイス

- もう1 回ディスプレイボタン(1)をピッという音がするまで押し続けると,ID3タグ情報からフォルダタイトル表示に戻ります。
- タイトルが入っていないときは，表示部に“ NO TITLE ”が表示されます。
- タイトルが 12 文字よりも多い場合は，ページボタン (2) を押すごとにつぎの 12 文字を表示します。
- フォルダタイトル，トラックタイトルは32文字まで，ID3タグ情報は30文字まで表示できます。
- 表示することができない文字は“ …… ”と表示されます。

外部音声入力機能を使うときは

タイプ別装備

J01127400032



外部入力端子（ピンジャック）の音声入力端子にポータブルオーディオ等の市販のオーディオ機器を接続して，その音声を車両のスピーカーで聞くことができます。

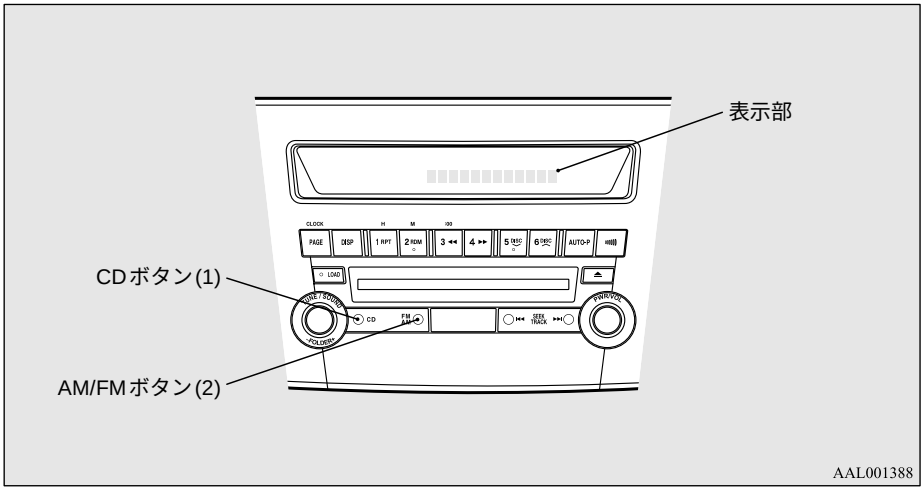
10

アドバイス

- 画像入力端子については別冊の取扱説明書をご覧ください。

◆ 外部音声入力モードにするときは

J01127500033



1. 市販のオーディオケーブルを使用してオーディオ機器を音声入力端子に接続します。
2. CDボタン(1)を2秒以上押します。
   表示部に「AUX」と表示され外部音声入力モードになります。
3. 外部音声入力モードを解除するにはAM/FMボタン(2)またはCDボタン(1)を押して他のモードにします。

⚠注意

- 走行中に接続したオーディオ機器の操作をしないでください。操作に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 本機からは，接続したオーディオ機器の操作はできません。
- オーディオ機器の接続，操作については各機器の取扱説明書を参照してください。
- 接続するオーディオ機器によってはノイズが発生することがあります。

アドバイス

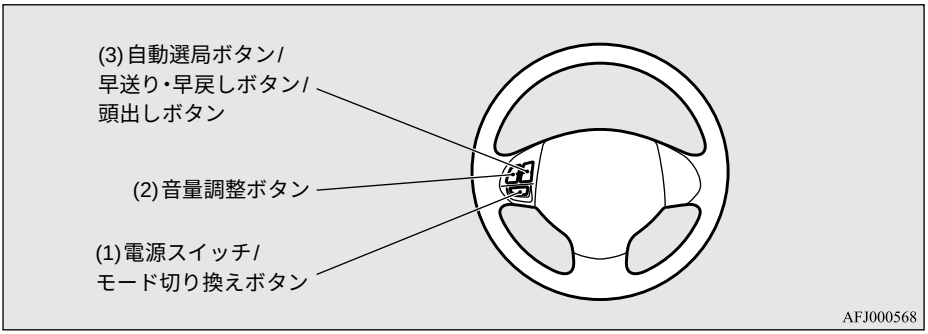
- 接続するオーディオ機器の電源は，機器に付属のバッテリー等を使用してください。車両に装着されているアクセサリーソケットで充電しながら使用すると，スピーカーよりノイズが発生することがあります。
- オーディオ機器を何も接続していないときは，外部音声入力モードを選択しないでください。何もオーディオ機器を接続しないで外部音声入力モード選択状態にしていると，スピーカーよりノイズが発生することがあります。
- 外部音声入力モードのときにオーディオ機器を接続すると，接続の際にスピーカーよりノイズが発生することがあります。外部音声入力モードを解除した状態，または音量を下げてオーディオ機器を接続してください。

ステアリングホイール オーディオリモコンスイッチの使い方

タイプ別装備

J01117900148

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。



ハンドルの左側にあるスイッチで，つぎのオーディオ操作をすることができます。

アドバイス

- ステアリングホイール オーディオリモコンスイッチを操作するときは，複数のスイッチを同時に操作しなでください。
- 三菱自動車純正ナビゲーション付き車のスイッチ操作については，別冊の取扱説明書をご覧ください。

電源を入れるときは

電源スイッチ (1) を押して電源を入れます。電源を入れると，前回操作を終了した時のモードが表示されます。電源を切りたいときは , 電源スイッチ (1) をピッという音がするまで押し続けます。

音量調整

音量調整ボタン (2) で調整します。

\+ 音量が増加
− 音量が減少

ボタンを押している間，音量が増加，減少し続けます。

ラジオを聞くときは

モード切り換えボタン (1) を押して，AMまたはFMモードを選択します。

◆ 放送局を選局するときは

自動選局ボタン (3) を押します。

- 周波数の高いほうへ選局するときは
  ∧ 側
- 周波数の低いほうへ選局するときは
  ∨ 側

CDを聞くときは

J01118000061

モード切り換えボタン (1) を押して，CD モードを選択します。

◆ 早送り，早戻しをするときは

J01126800026

再生中，早送りするときは早送り・早戻しボタン (3) の ∧側を，早戻しするときは，∨側を押し続けます。
ボタンを押している間，早送り，早戻しとなります。

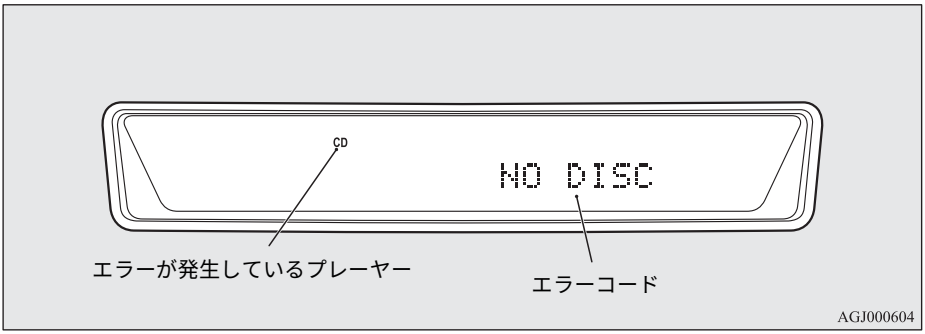
◆ 頭出しをするときは

J01126900027

頭出しするときは頭出しボタン (3) の ∧側を押します。
聞いている曲の途中でボタンの ∨側を 1 回押すと，その曲の頭に戻り再生します。

エラーコード

J01102000398



表示部にエラーコードが表示されたときは，下表に従ってください。

エラーコード	原因	処置
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。
ERROR HOT	プレーヤー内部が高温になっている。(再生が一時中断となる。)	しばらく放置してください。 温度が適温に戻るとエラーコードが消え，自動的に再生されます。
ERROR 01 ERROR 02	主にディスクの異常	ディスクを数枚交換してください。 ● 特定のディスクのみのエラー表示 →ディスクの傷,汚れなどが原因 (異常ディスクの使用を止めてください。) ● 全ディスクでエラー表示 →機器内部の結露,汚れなどが原因 (数時間後も全ディスクでエラー表示する場合は,三菱自動車販売会社で点検を受けてください。)
ERROR 03 ERROR	主に機器側の異常	三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
ERROR DC	オーディオ,または,別体アンプスピーカー出力の異常	オーディオ本体,および別体アンプの異常と思われます。 三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

オーディオの上手な使い方

J01102100432

- エンジンを止めて聞くときは，必ずエンジンスイッチを ACC にしてください。
- エンジンスイッチが ACC のままで約 30 分経過すると，自動で電源が切れ，オーディオが使用できなくなります。
→「ACC 電源オートカット機能」P. 7-8
- 走行中は安全のため車外の音が聞こえる程度にしてください。
- 走行中は電波状態が変動するため，受信状態が不安定になることがあります。
- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがありますが，オーディオの故障ではありません。
このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- 万一の場合（異物が入った，水がかかった，煙が出る，変な匂いがするなど）は，ただちに使用を中止し，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。自分で修理しようとしたり，そのままご使用にならないでください。
- プレミアムサウンドシステム付き車は，助手席の下にオーディオのアンプがあります。
アンプに強い衝撃をあたえないでください。故障，破損の原因になります。

コンパクトディスク（CD）の取り扱い

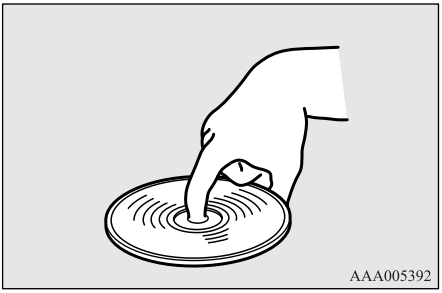
- 寒いときのヒーターを入れた直後など，急に温度が上がると，ディスクやオーディオ内部に露（水滴）が付いて正常に作動しないことがあります。このような場合には，しばらく待ってからご使用ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合，音とびすることがあります。
- 必ずケースに入れて保管してください。また直射日光の当たる場所や高温，多湿の場所などに置かないでください。

CDについて

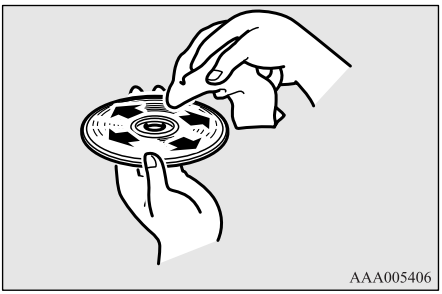
- 下のマークのついた CD 以外は使用できません。
下のマークのついた CD でも，CD-R/RW ディスクは CD ディスクに比べてディスクの反射率が若干低いため，使用できない場合があります。

ハート型，八角形など JIS 規格に合致しない特殊形状のディスクを使用するとプレーヤーの故障原因になります。

● ラベルが貼っていない面に直接触れるとディスクが汚れ，音が悪くなる場合がありますので，必ずディスクの中心の穴と端をはさんでお持ちください。



● 汚れを取るときは，やわらかい布でディスクの内側中心から外側へ直角方向にふきとってください。ベンジン，シンナー，レコードスプレー，帯電防止剤，化学ぞうきんなどは使用しないでください。



● ヒビがはいったり，大きくそったディスクは使用しないでください。プレーヤーの故障原因になります。
● ラベル面や演奏面にボールペンやサインペンなどで文字を書いたり紙やシールなどを貼りつけないでください。

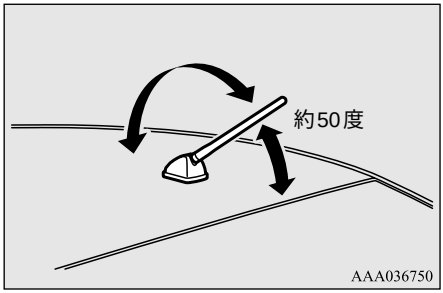
CD-R/RWについて

● CD レコーダで記録された CD ディスク（CD-R/RW ディスク）は，その特性・傷・汚れなどによりご使用になれない場合があります。
● CD-R/RW ディスクは，通常の音楽用 CD より高温および高い湿度にそれほど強くありません。
直射日光や磁気のあるものは避けて保存してください。
● 使用したライティングソフトやドライブ，またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり，正しく表示されない場合があります。
● データを書き込んだディスクは必ずクローズセッションしてください。
クローズセッションしていない場合，このプレーヤーは CD-R/RW ディスクを再生することができません。
● このプレーヤーは CD-DA または MP3 以外にデータ（ビデオ CD など）を含んでいる CD-R/RW ディスクを再生することができません。
● 必ず CD-R/RW ディスク，ライティングソフトおよびドライブに添付の取扱説明書をお読みください。

アンテナ

J01102200576

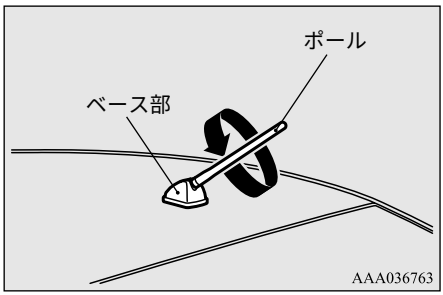
ルーフアンテナ



ラジオを聞くときは，アンテナをカチッと音がする位置（約50度）まで起こしてからお聞きください。

◆ 取り外し方，取り付け方

取り外すときはポールを反時計回りにまわします。



取り付けるときは時計回りにまわしてポールをベース部にねじ込み，しっかりと取り付けてください。

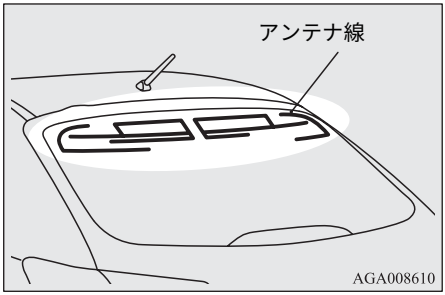
アドバイス

- つぎのようなときは，アンテナを損傷するおそれがあるため必ずアンテナを取り外してください。
  - 自動洗車機を使用するとき
  - ボデーカバーをかけるとき
- 立体駐車場など天井の低い所へ入るときは，アンテナが当たらないように倒してください。

テレビアンテナ

タイプ別装備

テレビ用アンテナ線がリヤガラスにプリントされています。



アドバイス

- リヤガラスを清掃するときは，アンテナ線を傷つけないようにアンテナ線に沿って柔らかい布でふいてください。
- ウインドウガラスに鏡面タイプのフィルムや金属物（市販のアンテナなど）を貼り付けると，受信感度が低下する原因となります。
  また，フィルムを貼り付ける際，カッターなどでアンテナ線を傷つけると受信感度が低下するおそれもあります。

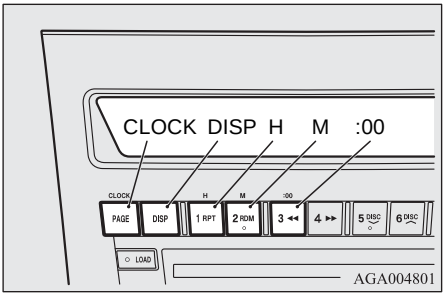
時計

タイプ別装備

J01127200043

エンジンスイッチがONまたはACCのときに時刻を表示します。

時刻の合わせ方



1. CLOCK ボタンを押し続け時計表示を点滅させます。
2. それぞれのボタンを指で押して調整します。

H —“ 時 ” 合わせ
押している間 “ 時 ” を早送りします。

M —“ 分 ” 合わせ
押している間 “ 分 ” を早送りします。

:00 — 時報合わせ
押すと同時につぎのように修正されます。
(例)
10:00~10:29→10:00
10:30~10:59→11:00

3. 時刻を合わせたら，DISP ボタンを押し，時計表示の点滅を解除します。
ただし，時報合わせを行った場合は自動的に点滅は解除されます。

アドバイス

- バッテリー端子を外し，再接続したときは時刻を合わせてください。
- 時計表示には秒単位の表示はありませんが “ 分 ” 合わせおよび時報合わせを調整した場合には0秒から作動を開始します。

簡単な整備・車のお手入れ

簡単な整備

エンジンオイルの補給 11- 2
燃料噴射装置の洗浄 11- 2
ウォッシャー液の点検･補給 11- 3
バッテリー液の補給 11- 3
タイヤメンテナンス 11- 5
クリーンエアフィルターの交換のしかた 11- 7

車のお手入れ

内装品のお手入れ 11- 8
外装品のお手入れ 11- 9

エンジンオイルの補給

J01200100194

エンジンオイルはエンジンの性能や寿命，始動性に大きく影響しますので，必ず指定のオイルおよび粘度のものを使用してください。
エンジンオイル量を点検しオイルが不足している場合は，三菱純正エンジンオイルまたはオイル缶にILSAC認証マークの入ったエンジンオイルを補給してください。
→「エンジンオイル注入キャップ，エンジンオイルレベルゲージ」P. 1-11
→「エンジンオイルの銘柄」P. 14-2

ILSAC認証マーク

AAA005581

アドバイス

- エンジンオイルは通常走行でも，走行状況に応じて消耗します。
  オイル量を点検しオイルが不足している場合は，補給してください。
- エンジンオイルの点検，補給方法，交換時期については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

燃料噴射装置の洗浄

J01200800250

燃料噴射装置の洗浄を行うことにより，本来のエンジン性能を引き出すことができます。
洗浄剤には三菱自動車純正品のインジェクタークリーナーを使用してください。

⚠注意

- 三菱自動車純正品以外の洗浄剤を使用しないでください。燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
- 他の添加剤と同時に使用しないでください。エンジンに悪影響をおよぼすおそれがあります。

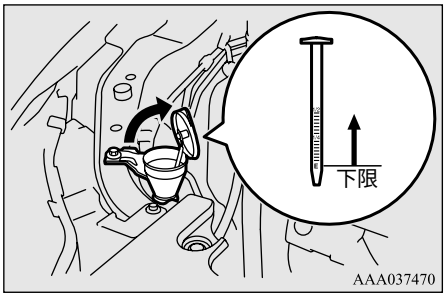
アドバイス

- 新車時の性能を長く維持していただくため，15,000kmまたは1年ごとの使用をおすすめします。

ウォッシャー液の点検・補給

J01200200443

ウォッシャータンクのキャップを開け，レベルゲージで液量を点検します。



ウォッシャー液が不足している場合は，三菱純正ウォッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液1に水2	-10°C程度
寒冷地の冬期	原液1に水1	-20°C程度
極寒冷地の冬期	原液のまま	-50°C程度

⚠注意

- 冬期は，ウォッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

アドバイス

- ウォッシャー液の代わりに石けん水などを使用すると，ノズルのつまり，塗装のしみなどの原因となることがありますので使用しないでください。

バッテリー液の補給

J01202200056

バッテリー液を点検し，液が不足している場合は補給してください。

アドバイス

- 点検および補給方法については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

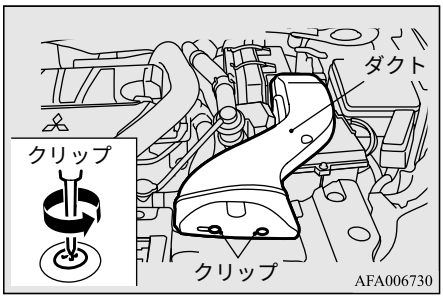
ターボ車はつぎの手順でバッテリー上部にあるダクト，バッテリーアッパーカバーを取り外してから液を補給してください。

⚠警告

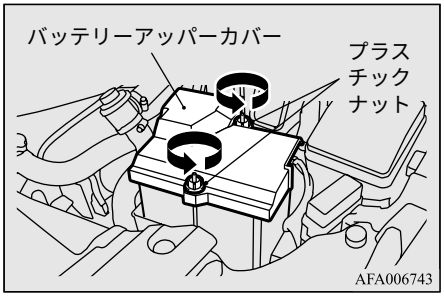
- 作業を行う場合は，必ずエンジンを止めてください。
  衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。

取り外すときは

1. クリップ（2 箇所）を外し，ダクトを取り外します。



2. プラスチックナット（2 箇所）を反時計回りに回して外し，バッテリーアッパーカバーを取り外します。

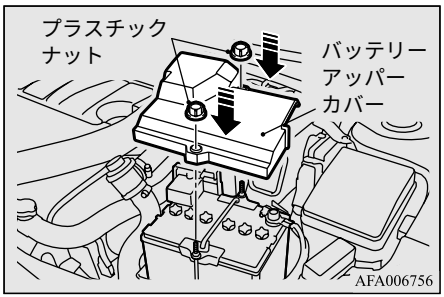


アドバイス

- プラスチックナットを紛失しないように気をつけてください。

取り付けるときは

1. バッテリーカバーを取り付け，プラスチックナット（2 箇所）を図の矢印の方向に押し込み，バッテリーアッパーカバーを固定します。



アドバイス

- プラスチックナットは正しい向きで取り付けてください。
- バッテリーアッパーカバーが確実に固定されていることを確認してください。

2. ダクトを取り付け，クリップ（2箇所）で固定します。

⚠警告

- バッテリーアッパーカバーは必ず取り付けてください。取り付けない場合，バッテリーの液がこぼれて故障の原因になるおそれがあります。

タイヤメンテナンス

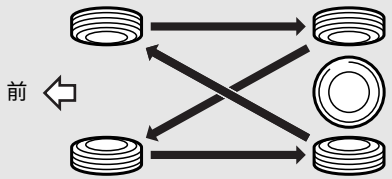
J01202100202

タイヤローテーション

J01202400188

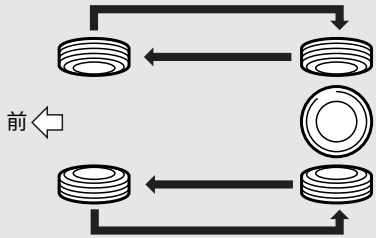
タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため，タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。

回転方向を示す矢印が付いていない場合



AAA005594

回転方向を示す矢印が付いている場合



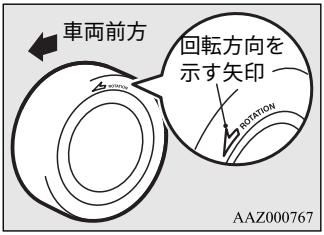
AAA005608

⚠注意

- 応急用スペアタイヤはローテーション作業を行うとき，外したタイヤの代わりに一時的に使用することができますが，ローテーションには加えないでください。

⚠注意

- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは，4輪で前後ローテーションを行ってください。
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。



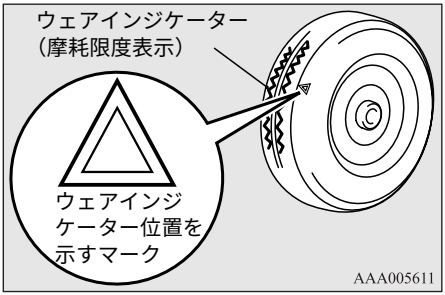
AAZ000767

- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

タイヤの摩耗

J01202500118

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら，スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。



アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は，タイヤメーカーによって異なります。

タイヤ空気圧の点検・調整

J01202600092

タイヤの空気圧は定期的に点検し，必ず規定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P. 14-10

⚠警告

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると，タイヤが偏摩耗したり，車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また，バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。

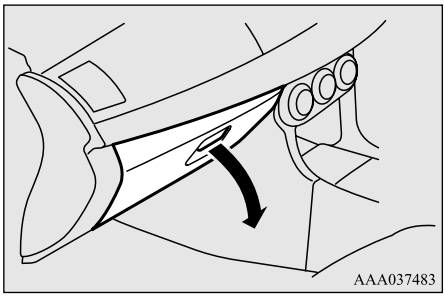
アドバイス

- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

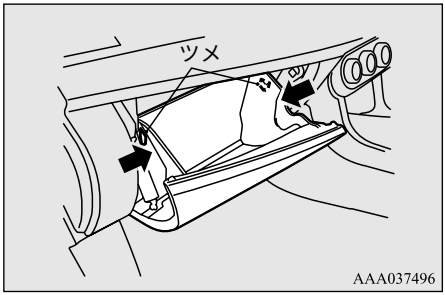
クリーンエアフィルターの交換のしかた

J01202000243

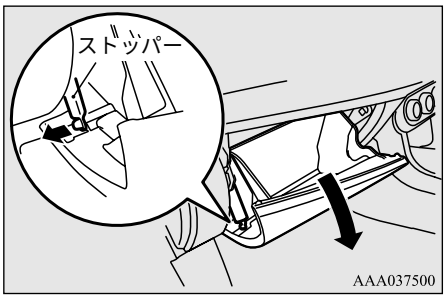
1. エンジンスイッチを LOCK にし，グローブボックスを開けます。



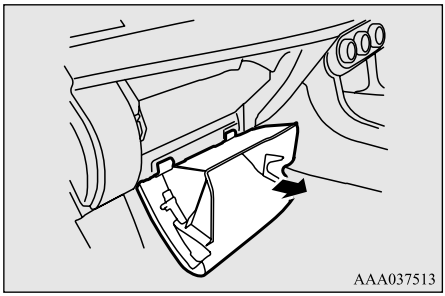
2. 左右にあるツメを内側に押し込み，外します。



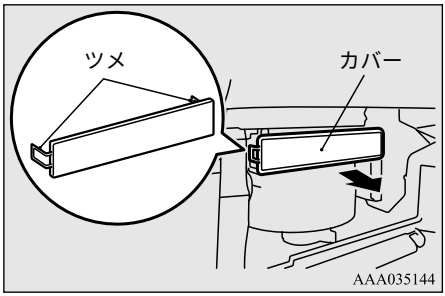
3. グローブボックスを少し閉じます。
グローブボックス内側からストッパーを図の方向に引いて外します。



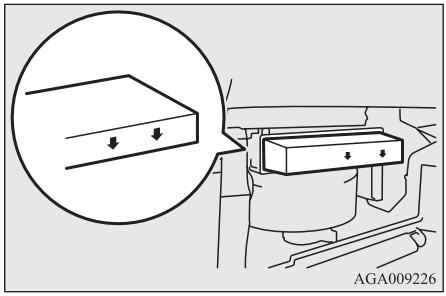
4. グローブボックスを手前に引いて取り外します。



5. グローブボックスの奥にクリーンエアフィルターがあります。
カバー左右にあるツメを外し，手前に引いて外します。



6. クリーンエアフィルターを取り出して新品と交換します。交換するときはフィルターの矢印が下向きになるように取り付けてください。



7. 元に戻すときは，取り外したときと逆の手順で取り付けます。

内装品のお手入れ

J01200600610

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
3. 真水にひたした布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
4. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。
  使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み，視界の妨げになるおそれがあります。
- シートの下など，見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは，手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

アドバイス

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ，割れの原因になります。
  また，各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤は，こぼれないよう容器を確実に固定してください。
  また，インストルメントパネルの上やランプ類，メーターの近くには置かないでください。
  含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色，ひび割れをおこすおそれがあります。

本革

タイプ別装備

J01202700064

1. ガーゼなどの柔らかい布に，ウール用中性洗剤の 5% 水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
2. 真水にひたした布を固くしぼって，洗剤をふき取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分をふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 水をこぼしたり，雨などでぬれたときは，乾いた柔らかい布で早めに水分をふき取ってください。
- ナイロンブラシ，合成繊維類で強くこすると表面を傷つけるおそれがあります。
- 本革の汚れはカビなどの原因となります。油汚れなどは，早めに落としてください。
- 直射日光に長時間さらすと表面が日焼けしたり，硬くなって縮むことがあります。できるだけ日陰に駐車してください。

外装品のお手入れ

J01200701009

お車を美しく保つために，走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。
つぎのような汚れは，そのままにしておきますと，腐食，変色，しみになるおそれがありますので，できるだけ早く洗車してください。

- 海水や道路凍結防止剤など
- 工場のばい煙，油煙，粉じん，鉄粉，化学物質（酸，アルカリ，コールタールなど）など
- 鳥のふん，虫の死がい，樹液，花粉など

⚠注意

- 下回りやホイールを洗うときは，厚手のゴム手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

洗車のしかた

J01202800182

1. 水をかけながら，車体の下周りを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは，水で洗い落とし，必要に応じてワックスで汚れを落とします。
5. セーム皮か柔らかい布で，塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

⚠注意

- 洗車後は，低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
  ぬれたままにしておくとブレーキの効きが悪くなったり，凍結やさびによってブレーキが固着し，走行できなくなることがあります。

アドバイス

- 三菱純正ワックスの使用をおすすめします。
- エンジンルーム内には水をかけないでください。車体の下周りを洗車するときも，エンジンルーム内に水が入らないようにしてください。
  エンジン始動不良などの原因になります。
- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき，塗装の光沢が失われたり，劣化を早めるおそれがありますので，使用はできるだけ控えてください。
  とくに濃彩色車やメタリック車はスリ傷がめだちやすくなります。
- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温，高圧のものがあります。
  車体樹脂部品の熱変形，破損，接着式マーク類のはがれ，室内への水侵入などのおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約50cm以上）
  - ドアガラス周りを洗うときは，洗車ノズルをガラス面に垂直に向け，洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約50cm以上）
- 自動洗車機を使用するときは，部品が破損したり，車両を傷つけるおそれがありますので，ドアミラーを格納してください。また，ルーフアンテナを取り外してください。
  リヤスポイラー付き車は，使用する前に必ず係員にご相談ください。係員のいないコイン洗車機などは，操作要領に従って洗車してください。

ワックスのかけ方

J01202900170

月に 1~2 回または，水をはじかなくなったときにかけます。
ワックスかけは，洗車後の塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
塗装面が熱いときにワックスをかけると，しみの原因になります。

アドバイス

- 三菱純正ワックスの使用をおすすめします。
- コンパウンド（研磨剤）入りのワックスは使用しないでください。
  コンパウンド入りのワックスを使用すると，汚れ落ちはよくなりますが，塗装面やメッキ面を削り取るため光沢が失われる原因になります。
  また，使用した布に色が付着し色落ちするおそれがあります。
  とくに濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- サンルーフ付き車は，サンルーフ開口部周囲のワックスがけを行うときは，ウェザーストリップ（黒いゴム）にワックスを付着させないでください。
  ワックスが付着するとサンルーフとの密着が悪くなります。
  ワックスが付着したときは，柔らかい布できれいにふき取ってください。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると，色ムラなどが起こるおそれがありますので，ワックスをかけないでください。
  ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布できれいにふき取ってください。

アドバイス

- 洗車やワックスがけを行うときは，車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。
  力のかけぐあいや場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

ウインドウガラスのお手入れ

J01203000110

ワイパーのふきが悪くなったときは，ウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナー等）で清掃してください。

アドバイス

- 三菱純正ウインドウガラス洗浄剤の使用をおすすめします。
- ガラスの内側を清掃するときは，電熱線やアンテナ線を傷つけないよう線に沿って柔らかい布でふいてください。

ワイパーのお手入れ

J01201100074

ワイパーゴムに異物が付着していたり，摩耗しているとふきが悪くなりますので，つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは，水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは，早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については，別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

サンルーフのお手入れ

タイプ別装備

J01201200046

ガラスの内側を清掃するときは，柔らかい布で清掃してください。
汚れのひどいときは，つぎの要領で行います。

- スポンジやガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の5%水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
- 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。

アドバイス

- ガラスの内側には，表面処理がしてありますので，固い布や有機溶剤（ベンジン，シンナーなど）を使用すると表面処理がはげるおそれがあります。

樹脂部品のお手入れ

J01201500065

スポンジまたはセーム皮で清掃します。
黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。
ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは，表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りワックスは，樹脂の表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン，軽油，ブレーキ液，エンジンオイル，グリース，塗装用シンナー，硫酸（バッテリー液）を付着させると，変色，シミ，ひび割れの原因になりますので，絶対に避けてください。
  万一，付着したときは，すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取ったあと，多量の水で洗い流してください。

アルミホイールのお手入れ

J01201600082

1. 水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
2. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で洗い落とします。
3. セーム皮か柔らかい布で水分をふき取ります。

アドバイス

- ブラシなどの硬いものは，ホイール表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りのクリーナーや，酸性およびアルカリ性のクリーナーは使用しないでください。
  ホイール塗装表面のはがれ，変色，シミの原因になります。
- スチームクリーナーなどで直接熱湯をかけないでください。
- 海水や道路凍結防止剤などが付着したときは，腐食するおそれがありますので早めに洗い落としてください。

塗装の補修

J01201700054

飛び石や引っかき傷などは，腐食の原因になります。
見つけたら早めにタッチアップペイントで補修してください。

アドバイス

- 三菱純正タッチアップペイントの使用をおすすめします。

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備 12- 2
走行前の点検. 12- 3
雪道,凍結路の走行 12- 4
寒冷地での駐車. 12- 5
タイヤチェーン. 12- 6

冬期前の点検と準備

J01300100762

エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。
→「メンテナンスデータ:オイル類の量と種類」P. 14-3

冷却水

冷却水が凍結するとエンジンを損傷します。不凍液（三菱自動車純正品）の濃度を50%にします。

ウォッシャー液

ウォッシャー液（三菱自動車純正品）の濃度を50%以上にします。
→「ウォッシャー液の点検・補給」P. 11-3

バッテリー

気温が下がるとバッテリーに負担がかかりエンジン始動に支障をきたすことがありますので液量，比重の確認をし，必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

アドバイス

- バッテリー液の補給は「メンテナンスノート」をお読みください。

タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

冬用タイヤに取り替えるときは，4輪とも交換します。
→「タイヤ交換のしかた」P. 13-16
地域によってはタイヤチェーン，冬用タイヤの装着が条例で義務づけられています。地域の条例に従ってください。

燃料タンクの水抜き

タンク内の水分を除去するときは三菱自動車販売会社にご相談ください。

⚠注意

- 市販の水分除去剤を使用しないでください。燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
  また，寒冷時には水分が凍結するおそれがありますので，寒くなる前にご使用ください。

ワイパー

寒冷地用ワイパーは，雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。
寒冷地用ワイパーに交換するときは，必ず三菱自動車純正品をご使用ください。

走行前の点検

J01300200516

日常点検時につぎの点検を追加してください。

ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。また，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

アドバイス

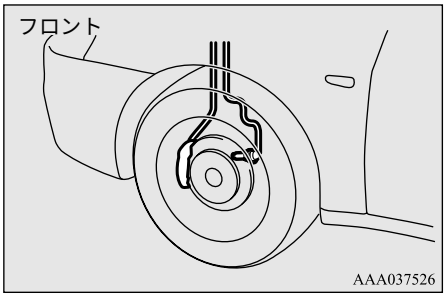
- 冬期はワイパーブレードが凍結しフロントガラスに張り付くことがあります。その場合はヒーターでフロントガラスを暖めてください。
  →「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P. 9-12
  フロントガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーター故障の原因となります。

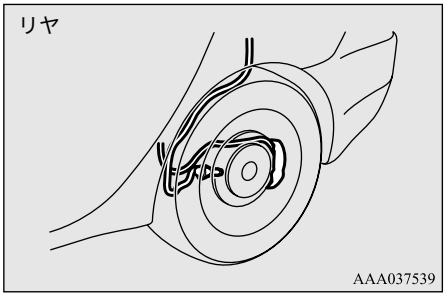
足回りの確認

足回りに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

⚠注意

- 足回りにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して取り除いてください。





ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドア周りのゴムがはがれたり，き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると，キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや，ウインドウガラスの曇りを防止するため，靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル，ハンドルの確認

ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。

雪道，凍結路の走行

J01300300490

暖機運転について

長すぎる暖機運転は，燃料の無駄使いにつながります。環境保護のためにも暖機運転は 1 分程度を目安として最小限にとどめてください。

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度はひかえめにし，タイヤチェーンを前輪に装着，または4輪とも冬用タイヤに交換してください。
- 橋の上，日陰，水たまり，トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作は避けてください。

車間距離は十分に

雪道，凍結路は滑りやすいため，ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

フェンダー内の雪は早めに取り除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー内に着氷しハンドルの切れが悪くなることがあります。氷塊を取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し，ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

駐車後の発進は慎重に

ブレーキ装置への着氷により車輪がロックしていることがあります。車のまわりの安全を十分確認してからゆっくり発進してください。

⚠注意

- 急にアクセルペダルを踏み込まないでください。着氷によるロックが外れたときに急発進し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。さびの原因になりますので早めに洗車してください。特に下回りを念入りに洗車してください。

寒冷地での駐車

J01300400420

駐車ブレーキが凍結するおそれがあります。駐車ブレーキはかけず，CVT 車はセレクターレバーを(P)に，ツインクラッチ SST 車はシフトレバーを(P)に入れ，さらに輪止めをしてください。
また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで車の屋根などがへこむことがあります。

アドバイス

- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと，エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
- ワイパーアームを立てておけば，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りつくのを防ぐことができます。
- 輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

タイヤチェーン

J01300700827

前輪駆動車ですので，タイヤチェーンは前輪に取り付けてください。
4WD車も前輪駆動を主とした四輪駆動なので，タイヤチェーンは前輪に装着してください。

⚠注意

- タイヤチェーンは後輪に取り付けないでください。

タイヤチェーンは必ず三菱自動車純正部品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
三菱自動車純正部品以外のタイヤチェーンを装着すると，ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。
取り付け要領は，タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠注意

- 応急用タイヤにはタイヤチェーンは装着できません。前輪がパンクしたときは後輪を前輪に取り付けてからチェーンを装着してください。
- 路上でタイヤチェーンをかけるときは，交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。また，非常点滅灯や停止表示板で後続車に注意を促し，同乗者は安全な場所に待機させてください。

アドバイス

- アルミホイールにタイヤチェーンを取り付けるとホイールが傷つくおそれがあります。チェーンや金具がホイールにあたらないように装着してください。
- タイヤチェーンを装着したときは30km/h以下で走行してください。
- 雪道，凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので，避けてください。

もしものときの処置

警告灯が点灯または点滅したときは！ 13- 2
こんなことでお困りのときは！ 13- 4
故障したときは！ 13- 9
発炎筒を使うときは！ 13- 10
工具とジャッキ 13- 10
ジャッキアップのしかた 13- 12
スペアタイヤ 13- 15
タイヤ交換のしかた 13- 16
バッテリー上がりのときは！ 13- 20
オーバーヒートしたときは！ 13- 22
けん引 13- 24
ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！ 13- 29
ヒューズが切れたときは！ 13- 29
バルブ（電球）が切れたときは！ 13- 35

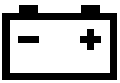
警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400100792

アドバイス

● マルチインフォメーションディスプレイ内の警告表示は「インフォメーション画面表示一覧」の項をご覧ください。→P. 6-42

ただちに安全な場所に停車し，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	充電警告灯	P. 6-51

安全な場所に停車し，まず車を点検してください。点検後も消灯しないときは，最寄りの三菱自動車販売会社へ連絡してください。

	ブレーキ警告灯	P. 6-51

安全な場所に停車し，エンジンを停止してください。
再度エンジンをかけ，その後しばらく走行しても点灯しなければ異常ありません。
消灯しないときやたびたび点灯するときは，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

	ABS警告灯	P. 7-50

すぐに停車する必要はありませんが，できるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

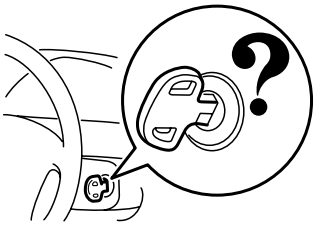
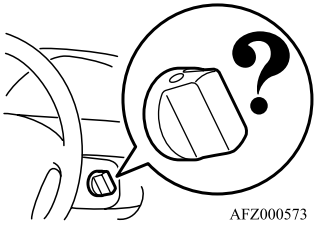
	SRSエアバッグ／プリテンショナー機構警告灯	P. 5-29
	エンジン警告灯（点灯または点滅）	P. 6-51

参照ページをお読みになり処置してください。

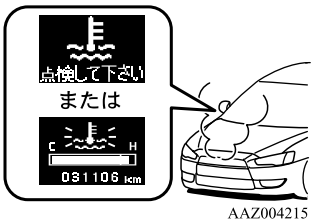
	シートベルト警告灯	P. 5-11

こんなことでお困りのときは！

J01400301166

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P. 2-12
走行中にエンストした。	通常よりブレーキペダルを強く踏み，ハンドルを強く操作してください。 「走行中にエンストしたときは」→ P. 2-15
エンジンスイッチが回らない。 （キーを使ってエンジンをかけるとき） 	［キーを使ってエンジンをかけるとき］ **LOCKからACCに回らない** ハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回してください。 **ACCからLOCKに回らない** ［CVT車］ セレクターレバーがⓅに入っているか確認してください。 ［ツインクラッチSST車］ シフトレバーがⓅに入っているか確認してください。 「キーを抜くときは」→ P. 7-8 「キーレスオペレーションシステム：ACC から LOCK に回すときは」→ P. 4-13
（キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけるとき）  AFZ000573	［キーレスオペレーション機能を使ってエンジンをかけるとき］ **LOCK（PUSH OFF）からACCに回らない** 再度エンジンスイッチを押し，ハンドルを左右に動かしながらエンジンスイッチを回してください。 **ACCからLOCKに回らない** ［CVT車］ セレクターレバーがⓅに入っているか確認してください。 ［ツインクラッチSST車］ シフトレバーがⓅに入っているか確認してください。 「キーレスオペレーションシステム：ACC から LOCK に回すときは」→ P. 4-13

現象	処置
セレクターレバー(CVT車),またはシフトレバー(ツインクラッチ SST 車)がⓅから動かない。	ブレーキペダルを踏んでからセレクターレバー(CVT車),またはシフトレバー(ツインクラッチ SST 車)を操作してください。 エンジンスイッチがONになっているか確認してください。 「セレクターレバーの動かし方」→ P. 7-13 「シフトレバーの動かし方」→ P. 7-25
雨の日,湿気の多い日などに窓が曇る。 	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り,霜を取りたいときは」 → P. 9-12
パンクした。 	1. あわてずに,ハンドルをしっかり持ち,安全な場所に車を停止します。 2. スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換のしかた」→ P. 13-16
エンジンがかからない。 ライトが点灯しない,暗い。 ホーンが鳴らない,音が小さい。	バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリー上がりのときは!」→ P. 13-20

現象	処置
マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示と「点検して下さい」が表示されたあとエンジン冷却水温表示が点滅していたり，エンジンの出力が急に低下する。 エンジンルームから蒸気が出ている。  AAZ004215	オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは!」→ P. 13-22
タイヤがスリップして発進できない。 (ぬかるみ，雪道，凍結路などの発進時)	スリップしているタイヤの前後にある土や雪などを取り除きます。 1. 毛布か布などがあるときは，それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。 2. 電子制御 4WD 車はドライブモードセレクター(スイッチ)を「4WD オート」モードまたは「4WD ロック」モードに設定します。 「ドライブモードセレクター(スイッチ)」→ P. 7-44 3. ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進してください。 ● 何も滑り止めにするものがないときは，前後進をくり返して車の反動を利用して脱出します。

⚠注意

- 車の反動を利用して脱出するときは，車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまったときは，むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み，かえって脱出しにくくなります。また，エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスミッションの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは，専門業者に依頼してください。

現象	処置
CVTが変速しない。 [CVT車]	CVTに異常が発生し,安全装置が働いていると考えられます。お近くの三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
加速が鈍い。 [CVT車]	CVTに異常が発生し,安全装置が働いているか,エンジン制御装置に異常が発生していると考えられます。高速走行を避けてできるだけ早く三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
ツインクラッチSSTが変速しない。 [ツインクラッチSST車] 発進できない。 [ツインクラッチSST車] 加速が鈍い。 クリープ現象が起こらない。 変速時のショックが大きくなった。 変速する車速が高くなった。 レスポンスが遅くなった。 [ツインクラッチSST車]	[警告表示しているとき] ツインクラッチSSTオイルの温度が高くなっています。 「ツインクラッチSST:警告表示」の項をお読みになり処置してください。→ P. 7-27 [エンジン警告灯が点灯または点滅しているとき] エンジン制御装置に異常が発生しています。 「エンジン警告灯」の項をお読みになり処置してください。→ P. 6-51 [シフトレバー位置表示灯が消えているとき] ツインクラッチSSTに異常が発生し,安全装置が働いていると考えられます。 「ツインクラッチSST:シフトレバー位置表示が消えたときは」の項をお読みになり処置してください。→ P. 7-26 [警告表示しているときまたはマルチインフォメーションディスプレイ内に警告が表示されていないとき] ツインクラッチSSTまたはエンジン制御装置に異常が発生し,ツインクラッチSSTの安全装置が働いていると考えられます。 1. 安全な場所に車を止め,エンジンを止めます。 2. 再度エンジンをかけます。 この後,発進することができ,通常通りに変速すれば異常ありません。 発進できなかったり,通常通りに変速しないとき,またはたびたび同じ現象が起こるときは,お近くの三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

⚠注意
● ツインクラッチ SST オイルの温度が高くなると，停車中にアイドリング回転数が高くなったり，クリープ現象が弱くなることがあります。 その後，ツインクラッチSSTオイルの温度がさらに上昇すると警告が表示されます。

故障したときは！

J01400400636

故障して動けなくなったときは，同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動します。
このとき，シフトレバー（セレクターレバー）をⓃに入れてください。

踏切内で動けなくなったときは

踏切内で脱輪やエンストなどで，すぐに車を動かせないときは，すみやかに同乗者を避難させ，踏切の非常ボタンを押します。

⚠注意

- 電車が近づいているときや，緊急を要するときは，発炎筒で合図してください。

アドバイス

- CVT 車，ツインクラッチSST車ともエンジンスイッチをSTARTの位置で保持して緊急避難的に車を動かすことはできません。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため，車を路肩に寄せ，非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板などで故障表示します。

高速道路，自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では，車両後方に停止表示板を置くことが義務づけられています。
人は車内に残らず，路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス

- 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

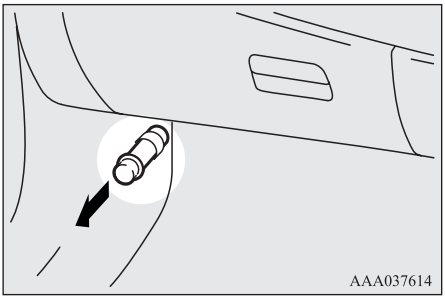
修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

発炎筒を使うときは！

J01400500334

発炎筒は，高速道路や踏切などで故障したときに使用します。
使用したときや期限切れのときは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
発炎筒は，グローブボックスの左下部に備えつけてあります。



⚠警告

- お子さまには，発炎筒をいじらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
  火災をまねくおそれがあります。
- トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

アドバイス

- 使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
  →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-62
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）があります。

工具とジャッキ

J01400600713

⚠注意

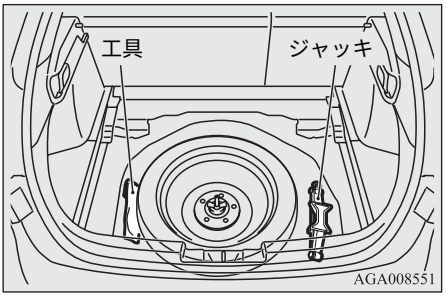
- ジャッキは，タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは，お客様のお車専用です。他の車両に使用したり，他の車両のジャッキをお客様のお車に使用しないでください。車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 工具の種類，ジャッキの使い方は，万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

格納場所

ラゲッジコンパートメント内のボード下に格納されています。

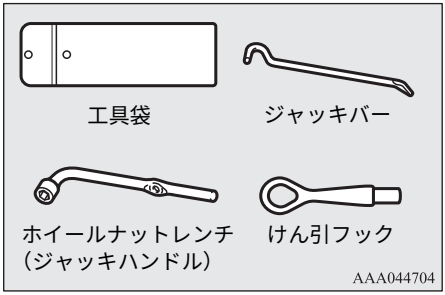


⚠注意

- 工具やジャッキを使用した後は，元の位置に確実に格納してください。
  室内などに放置すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

工具の種類

J01404300473

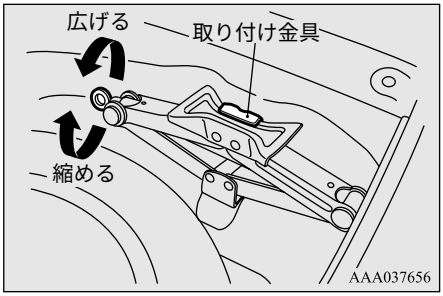


工具，ジャッキの脱着

J01404200616

◆ 取り出すときは

1. ボードを取り外します。
2. ジャッキを縮めて取り付け金具から取り外します。



◆ 格納するときは

1. ジャッキを広げてガタのないように取り付け金具に固定します。
2. ボードを元の位置に戻します。

ジャッキアップのしかた

J01400701199

⚠警告

● ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

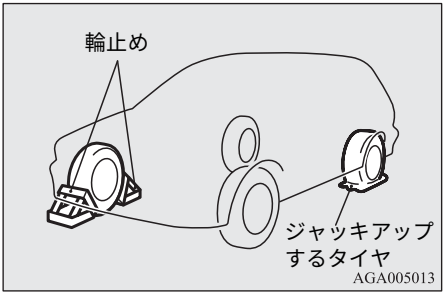
● ジャッキアップするときは安全のため，つぎのことを必ず守ってください。万一の場合，ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジンをかけたままにしない。
- 人や荷物を乗せたままにしない。
- 地面が平坦で固い場所以外では使用しない。
- 凍結した路面では使用しない。
- ジャッキの上や下に物をはさまない。
- ジャッキアップ中に車をゆすらない。
- ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
- ジャッキアップしたまま放置しない。

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけます。
3. CVT 車はセレクターレバーを Ⓟ に，ツインクラッチ SST 車はシフトレバーを Ⓟ に入れて，エンジンを止めます。
4. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。

アドバイス

● 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



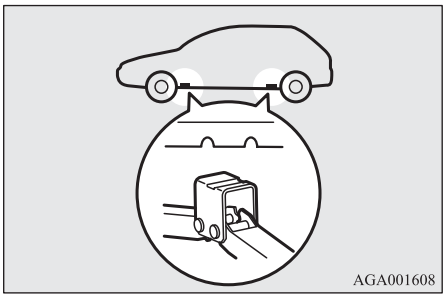
⚠注意

● ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

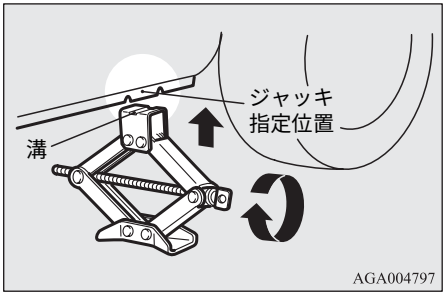
アドバイス

● 輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
● 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

6. 工具とジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P. 13-10
7. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。



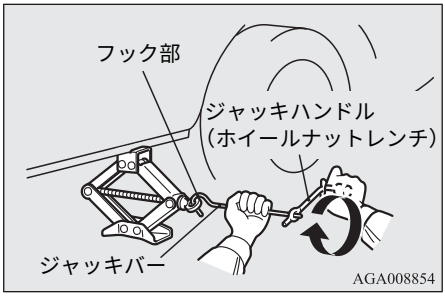
8. ジャッキ頭部の溝がジャッキ指定位置にはまるまで，ジャッキを手で右に回して上げます。



⚠警告

- ジャッキ頭部の溝は，指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると，車体がへこんだり，ジャッキが倒れて，重大な傷害を受けるおそれがあります。

9. ジャッキバーのフック部をジャッキに取り付け，ジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）の穴にジャッキバーを差し込みます。タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）を右に回します。



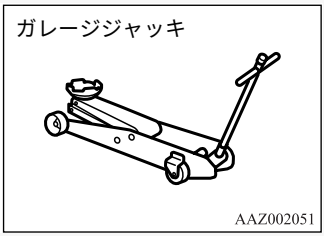
⚠注意

- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。必要以上にジャッキアップすると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

ガレージジャッキを使用するときは

⚠警告

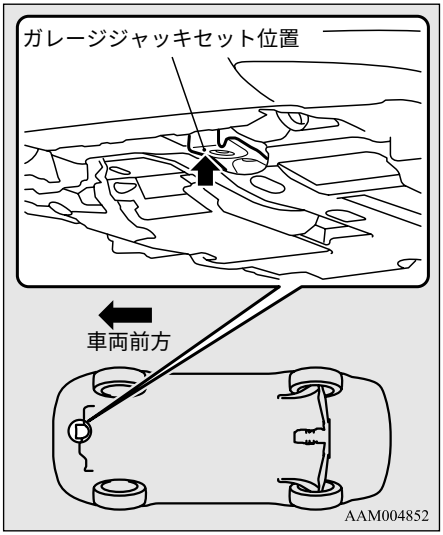
- ガレージジャッキを使用するときは，必ず指定のガレージジャッキセット位置に当ててジャッキアップしてください。指定された位置以外に当ててジャッキアップすると，車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。



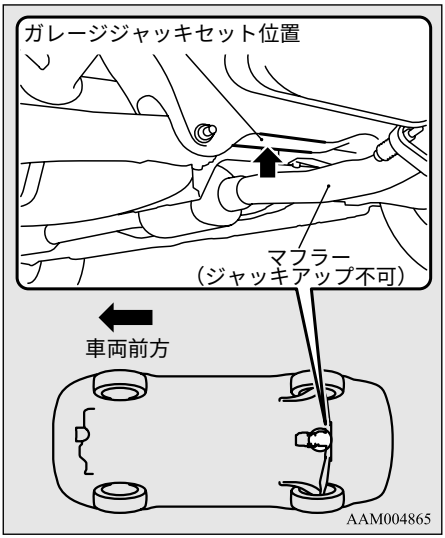
- 4WD車のリヤ側をジャッキアップするときは，リヤディファレンシャルにガレージジャッキを当ててジャッキアップしないでください。リヤディファレンシャルにガレージジャッキを当ててジャッキアップすると，車両を損傷するおそれがあります。

◆ ガレージジャッキセット位置

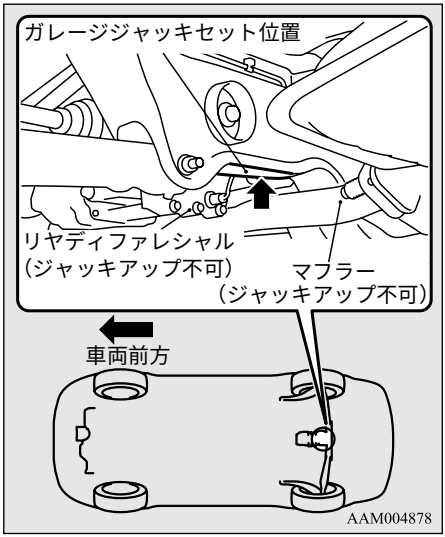
フロント



リヤ（2WD車）



リヤ（4WD車）

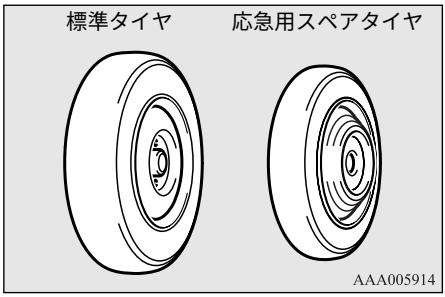


スペアタイヤ

J01400800816

応急用スペアタイヤ

タイヤがパンクしたとき，パンク修理するまでの応急用として，一時的に使用するタイヤです。できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
応急用スペアタイヤは，図のように標準タイヤに比べて，直径がいくぶん小さくなっています。



⚠注意

- 応急用スペアタイヤを装着したときは，100km/h 以下のスピードで走行してください。
- 応急用スペアタイヤは，標準タイヤに比べて直径が小さくなります。標準タイヤ装着時と同じ感覚で運転しないよう注意してください。特に車高が少し低くなりますので，突起物などを乗り越えるときは十分注意してください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは，応急用スペアタイヤを後輪に装着し，外した後輪タイヤを前輪に取り付け，これにタイヤチェーンを装着してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはお客様のお車専用です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり，お客様のお車以外に使用しないでください。

⚠注意

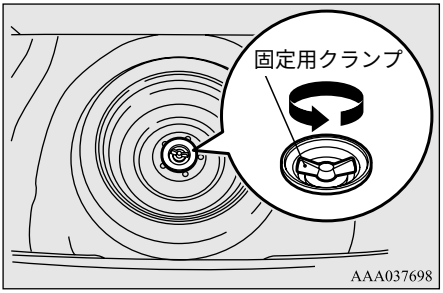
● 空気圧は，定期的に点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。空気圧が不足しているときは，最寄りの三菱自動車販売会社またはガソリンスタンドまで控えめな速度で走行し，指定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P. 14-10

格納場所

応急用スペアタイヤは，ラゲッジコンパートメントに格納されています。

取り出すときは

ボードを取り外します。
固定用クランプを反時計回りに回して外し，タイヤを取り出します。



格納するときは

格納するときは，取り出すときと逆の手順で取り付けます。

アドバイス

● 固定用クランプは応急用スペアタイヤ専用のため，他のタイヤは固定できません。パンクタイヤはラゲッジコンパートメントのボードの下に格納してください。

タイヤ交換のしかた

J01400901276

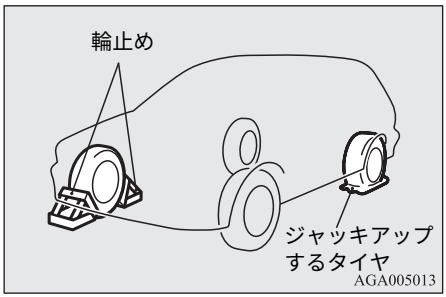
タイヤを取り外すときは

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. 駐車ブレーキを確実にかけます。
3. CVT車はセレクターレバーを🅿に，ツインクラッチ SST 車はシフトレバーを🅿に入れて，エンジンを止めます。
4. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板を車両後方に置きます。

アドバイス

● 停止表示板は標準装備されておりません。三菱自動車販売会社でお買い求めください。

5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。



⚠注意

● ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

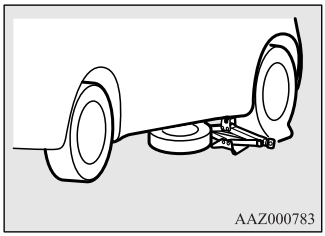
アドバイス

- 輪止めは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

6. スペアタイヤ，工具およびジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P. 13-10
   →「スペアタイヤ」P. 13-15

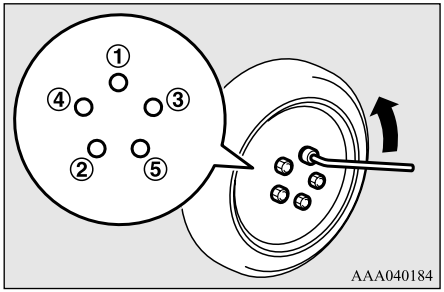
アドバイス

- 取り出したスペアタイヤは，万一ジャッキが外れたときのため，ジャッキ近くの車体の下に置いてください。



7. 交換するタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
   →「ジャッキアップのしかた」P. 13-12

8. ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に，手で回るくらいまで反時計回りに回してゆるめます。



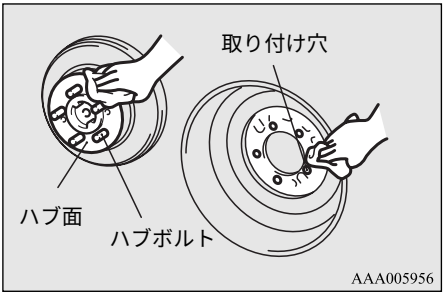
9. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
10. ホイールナットを外し，タイヤを取り外します。

アドバイス

- タイヤを地面に置くときは，ホイール表面を上にして置いてください。
  下にして置くと，ホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤを取り付けるときは

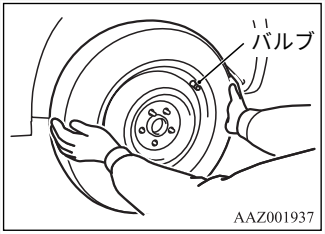
1. ハブ面，ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。



2. タイヤを取り付けます。

⚠警告

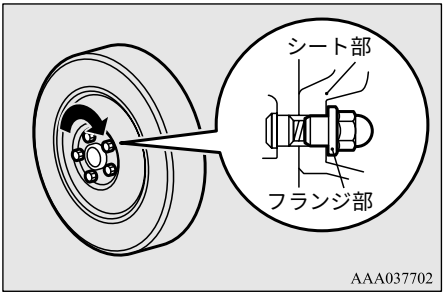
- タイヤを取り付けるときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際，バルブが見えなければ，タイヤが裏向きに取り付けられています。タイヤの裏表を間違えて取り付けると，車両に悪影響をおよぼし，思わぬ事故につながるおそれがあります。



3. 手でホイールナットを時計回りに回して仮締めします。

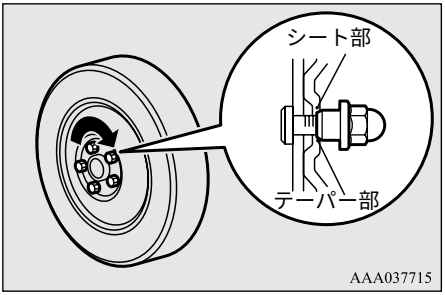
標準タイヤ

標準タイヤは，ホイールナットのフランジ部がホイールに当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。



応急用スペアタイヤ

応急用スペアタイヤは，ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。



⚠警告

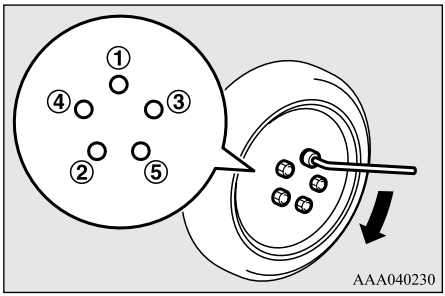
- ハブボルト，ホイールナットには油やグリースを塗らないでください。
  必要以上に締め付けられてボルトが破損したり，ホイールが損傷するおそれがあります。また，ナットがゆるんで走行中にタイヤが外れるなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- ホイールにはフランジナットが装着されていますが，フランジナットは応急用スペアタイヤにも使用できます。
- ホイールを 4 輪ともスチールホイールに変更するときは，テーパーナットを三菱自動車販売会社でお買い求めの上，ご使用ください。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし，ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に2~3回に分けて，徐々に締め付けます。最後の締め付けは，確実に行ってください。

締め付けトルク：88~108N•m {9~11kgf•m}
（車載のホイールナットレンチの先端で350~420N｛35~42kgf｝の力）



⚠注意

- ホイールナットを締め付けるときは，ホイールナットレンチを足で踏んだり，パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. タイヤの空気圧を点検します。
→「タイヤの空気圧」P. 14-10
6. 工具とジャッキを元の位置に戻します。
→「格納場所」P. 13-10
7. 交換したタイヤは，ラゲッジコンパートメントのボードの下に格納します。

⚠注意

- タイヤ交換後，走行中にハンドルや車体に振動がでたときは，三菱自動車販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

アドバイス

- タイヤ交換したときは，約 1,000km 走行後，再度ホイールナットを締め付けて，ゆるみがないことを点検してください。

バッテリー上がりのときは！

J01401001157

つぎのような状態をバッテリー上がりといいます。

- スターターモーターが回らない。または，回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない。または，点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または，鳴ってもいつもより音が小さい。

ブースターケーブル（別売）を使用し，他車のバッテリーを電源として，エンジンをかけることができます。

⚠警告

- 救援車を依頼し，ブースターケーブルを使用してエンジンをかけるときは，取扱説明書にしたがって正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると，引火爆発や車両損傷のおそれがあります。

1. ブースターケーブルが接続でき，かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

⚠注意

- 救援車は必ず12Vで，自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車の駐車ブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーを Ⓝに，CVT車およびオートマチック車はセレクターレバーを Ⓟに，ツインクラッチ SST 車はシフトレバーを Ⓟに入れ，エンジンスイッチをLOCKまで回してエンジンを止めます。

⚠警告

- ブースターケーブルの接続時は，救援車のエンジンも止めてください。ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。
- 冷却ファンはエンジン始動後，冷却水の温度により回転，停止をくり返します。エンジン運転中は，ファンに手を近づけないでください。

4. バッテリー液量を確認します。

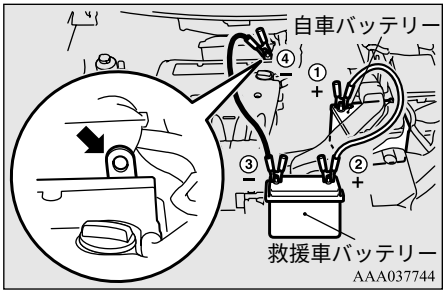
⚠警告

- バッテリー液量が下限（LOWER LEVEL）以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり，発熱や爆発するおそれがあります。

アドバイス

- バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

5. ターボ車は，ダクトおよびバッテリーアッパーカバーを取り外します。
→「バッテリー液の補給」P. 11-3
6. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。
①自車のバッテリーの＋端子
②救援車のバッテリーの＋端子
③救援車のバッテリーの－端子
④図で指示の箇所（アースをとる）



⚠警告
- 接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。
- ④の接続は必ずイラスト矢印の位置にしてください。バッテリーの－端子に直接つなぐと，バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
- ブースターケーブルを接続するときは，＋と－端子を接触させないでください。火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠注意
- ブースターケーブルのクリップは，確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると，ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス
- バッテリーの＋端子は，カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。
- ブースターケーブルは，バッテリーの容量に適したものを使用してください。ケーブル焼損の原因になることがあります。
- ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

7. 接続した後，救援車のエンジンをかけ，エンジン回転数を少し上げます。
8. 自車のエンジンをかけます。

アドバイス
- ターボ車は，ダクトを取り外してあるため，通常よりエンジン吸気音が大きくなります。

9. エンジンがかかったら，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。
10. ターボ車は，ダクトおよびバッテリーアッパーカバーを取り付けます。
→「バッテリー液の補給」P. 11-3
11. 最寄りのガソリンスタンドや三菱自動車販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

⚠警告

- バッテリーを車両に搭載したままでの充電は，引火爆発や車両損傷の原因になることがあります。やむを得ず車両に搭載したままで充電するときは，バッテリーに接続されている車両側の－端子を取り外してください。
- 充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性ガスが発生しており，爆発するおそれがあります。
- 周囲の囲まれた狭い場所でバッテリーを充電するときは，換気を十分に行ってください。
- 充電するときは，すべてのキャップを外してください。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。

⚠注意

- 押しがけやけん引により，エンジンをかけることはしないでください。
  特にCVT車およびツインクラッチSST車は，マニュアル車と構造が異なるため，この方法ではエンジンはかかりません。

アドバイス

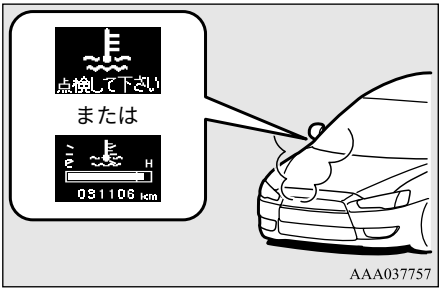
- 充電が不十分のまま車を発進させると，エンジンの回転むらが生じ，ABS 警告灯が点灯することがあります。
  →「走行中に警告を表示したときは」P. 7-51

オーバーヒートしたときは！

J01401101044

つぎのような状態をオーバーヒートといいます。

- マルチインフォメーションディスプレイ内のインフォメーション画面に警告表示と「点検して下さい」が表示されたあとエンジン冷却水温表示が点滅していたり，エンジンの出力が急に低下する。
- エンジンルームから蒸気が出ている。



1. 車を安全な場所に止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

   [蒸気が出ていないとき]
   エンジンをかけたままでエンジンフード（ボンネット）を開け，風通しをよくします。

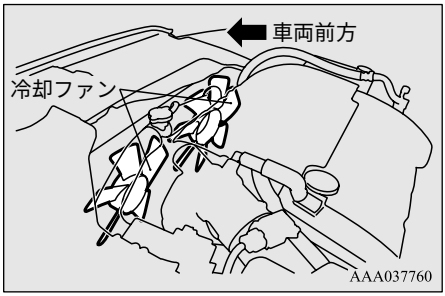
   [蒸気が出ているとき]
   エンジンを止め，蒸気が出なくなったら，風通しをよくするためにエンジンフード（ボンネット）を開け，エンジンをかけます。

⚠警告

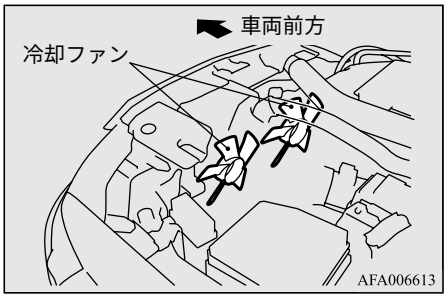
- エンジンルームから蒸気が出ているときは，エンジンフード（ボンネット）を開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。蒸気が出ていないときでも，熱湯が噴き出していたり，高温になっている部分がありますので，エンジンフード（ボンネット）を開けるときは注意してください。

3. 冷却ファンが作動していることを確認してください。

除く，ターボ車



ターボ車



⚠警告

- 冷却ファンに，手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。

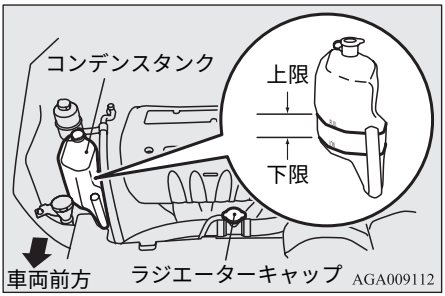
アドバイス

- ファンが作動していないときは，エンジンを止めて自然冷却します。その後，すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

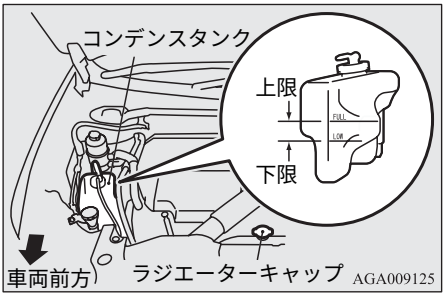
4. マルチインフォメーションディスプレイ内のエンジン冷却水温警告表示のバーグラフが下がってきたら，エンジンを止めます。

5. エンジンが十分冷えてから，冷却水の有無を点検します。

除く，ターボ車



ターボ車



⚠警告

- 通常はラジエーターキャップを外さないでください。
  冷却水には圧力がかかっているため，冷却水の温度が高いときにキャップを外すと，蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

けん引

J01401201061

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
つぎの場合は，三菱自動車販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

また，車輪が溝などに落ちたときは無理にけん引せず，三菱自動車販売会社または専門業者に依頼してください。

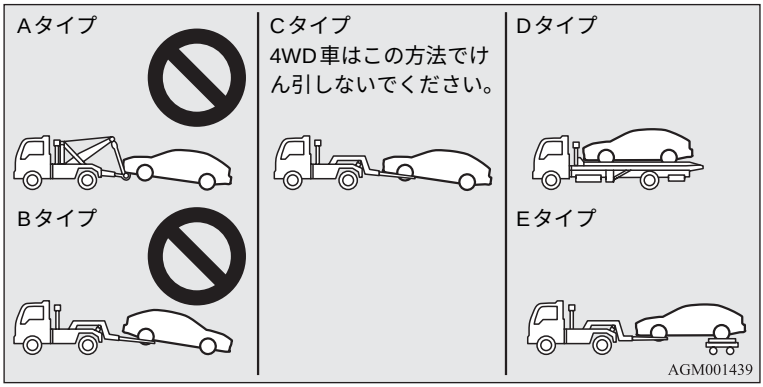
レッカー車に搬送してもらうとき

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て三菱自動車販売会社へ依頼してください。

⚠注意

- 車体つり上げ式のレッカー車でけん引しないでください（Aタイプ）。
  バンパーや車体が破損するおそれがあります。
- CVT の 2WD 車は，必ず駆動輪（前輪）を持ち上げてけん引するか，4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください（C，D，Eタイプ）。
  後輪だけを持ち上げてけん引すると，トランスミッション内部のオイル切れを起こし，トランスミッション故障の原因になります（Bタイプ）。
- 2WD 車でアクティブスタビリティコントロール(ASC) 装着車は，エンジンスイッチをONにして前輪だけを持ち上げたけん引（Cタイプ）を行うと，ASCが作動し思わぬ事故につながるおそれがあります。前輪を持ち上げてけん引するときはエンジンスイッチをLOCKまたはACCにしてください。
- 4WD 車は必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください（D，Eタイプ）。
  前輪または後輪だけを持ち上げたけん引を行うと，駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります（B，Cタイプ）。



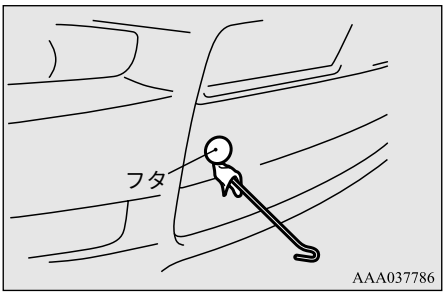
- 電子制御4WD車はドライブモードセレクター（スイッチ）を「2WD」モードにしても，前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はできません。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらう，または他車をけん引するときは，つぎの要領で行ってください。

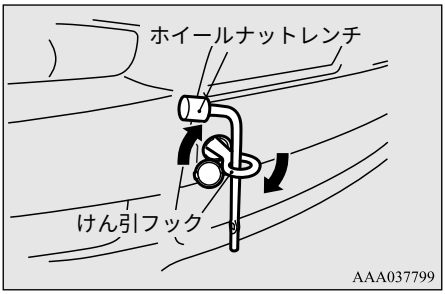
他車にけん引してもらうとき

J01403901091

1. けん引フック，ホイールナットレンチ，ジャッキバーを取り出します。
→「工具とジャッキ」P. 13-10
2. ジャッキバーの先に布をかぶせて，フロントバンパーの運転席側にあるフタを取り外します。



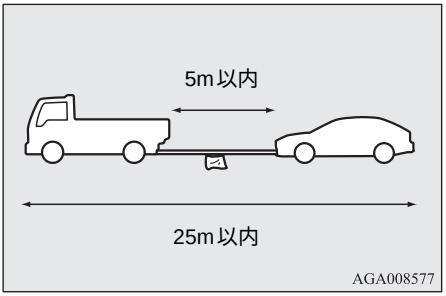
3. けん引フックをホイールナットレンチを使用して確実に取り付けます。



アドバイス

- けん引ロープは，三菱自動車販売会社でお買い求めください。
- けん引フックにロープをかけるときは，車体の破損・変形を防ぐためにつぎのことに気をつけてください。
  - けん引フックは確実に取り付けてください。
  - けん引フック以外のところにロープをかけないでください。
  - けん引時にけん引フックに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。

4. けん引ロープをけん引フックにかけます。
5. けん引ロープには，30cm 平方（タテ30cm×ヨコ30cm）以上の白い布を必ずつけてください。



6. エンジンをかけます。
   エンジンがかからないとき，CVT車はエンジンスイッチをONにします。

⚠警告

- エンジンが止まっているとブレーキの効きが非常に悪くなります。またハンドル操作が非常に重くなります。

⚠注意

- ツインクラッチ SST 車のエンジンがかからない場合は，4輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください。エンジンをかけずにけん引すると，トランスミッション内部のオイル切れを起こし，トランスミッションの故障の原因になります。
  →「レッカー車に搬送してもらうとき」P. 13-24
- エンジンスイッチが LOCK 位置にあると，ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり，事故につながるおそれがあります。

7. ツインクラッチ　SST　車はシフトレバーを(N)に，CVT 車はセレクターレバーを(N)に入れます。
8. 後続車に注意をうながすため，けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
   →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-62

⚠警告

- けん引される車のエアコンは，内気循環に切り換えてください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
- 急ブレーキ，急発進，急旋回など，けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合，その破片が周囲の人などにあたり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
- 長い下り坂ではブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。

⚠注意

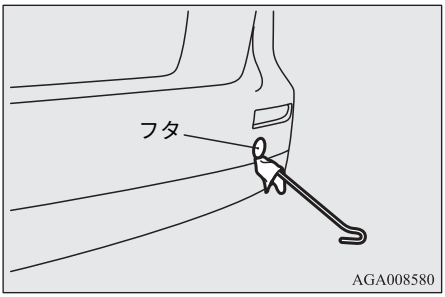
- けん引される車は，けん引車のブレーキランプに注意して，常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
- CVT 車，ツインクラッチSST車ともに，けん引するときの速度は 30km/h 以下，けん引する距離は 40km 以内にしてください。この速度，距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

9. けん引が終わったら，ホイールナットレンチを使用してけん引フックを外し，指定位置に格納します。
   →「工具とジャッキ」P. 13-10
10. バンパーのフタを取り付けるときは，ツメを車体側の切り欠きに合わせて確実に取り付けます。

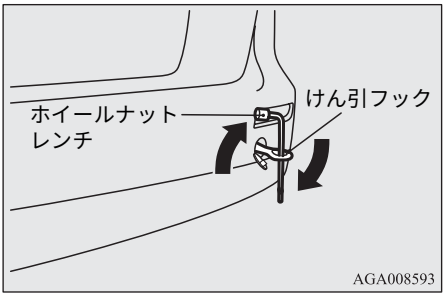
他車のけん引

J01404100426

1. けん引フック，ホイールナットレンチ，ジャッキバーを取り出します。
→「工具とジャッキ」P. 13-10
2. ジャッキバーの先に布をかぶせて，リヤバンパーの運転席側にあるフタを取り外します。



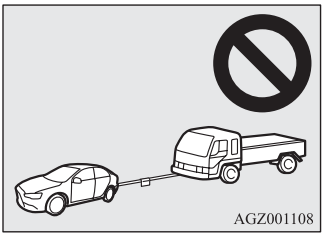
3. けん引フックをホイールナットレンチを使用して確実に取り付けます。



4. けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。その他は「他車にけん引してもらうとき」と同じ要領で行ってください。
5. けん引が終わったら，けん引フックを外し，指定位置に格納します。
→「工具とジャッキ」P. 13-10
6. バンパーのフタを取り付けるときは，ツメを車体側の切り欠きに合わせて確実に取り付けます。

アドバイス

- けん引フック以外にけん引ロープをかけると，車体が破損することがあります。
- 自車より重い車をけん引しないでください。
- 車両重量については車載の「自動車検査証」をご覧ください。



ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！

J01401300137

ディスクブレーキには，ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を発生して警告する装置が設けてあります。

アドバイス

- 金属摩擦音が聞こえたときは，三菱自動車販売会社でブレーキパッドを点検してください。

ヒューズが切れたときは！

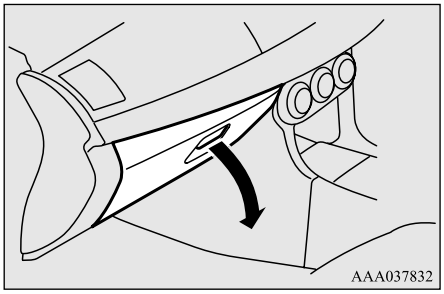
J01401500911

各種のランプが点灯しないときや，電気系統の装備が作動しないときは，ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し，切れているときは交換してください。

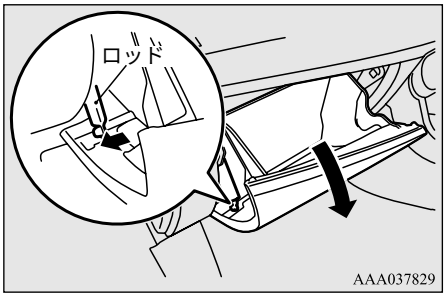
ヒューズボックスの位置

◆ 室内／グローブボックス裏側

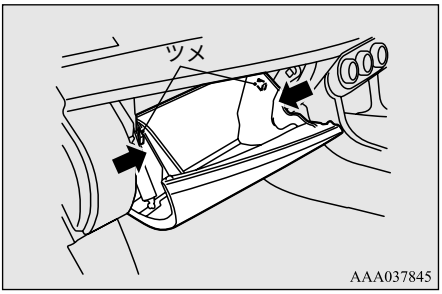
1. エンジンスイッチを LOCK にし，グローブボックスを開けます。



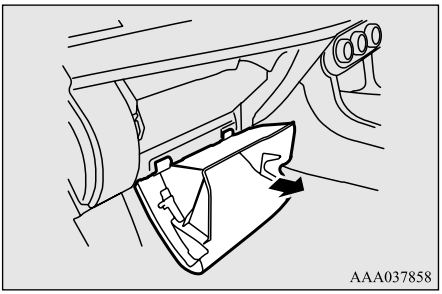
2. グローブボックス左側のロッドを左側に動かして外します。



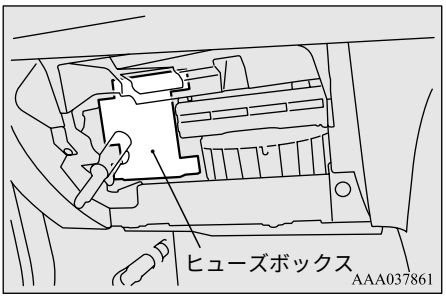
3. 左右にあるツメを内側に押し込み，外します。



4. グローブボックスを手前に引いて取り外します。



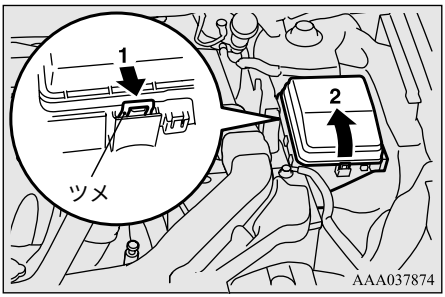
5. グローブボックスの奥にヒューズボックスがあります。



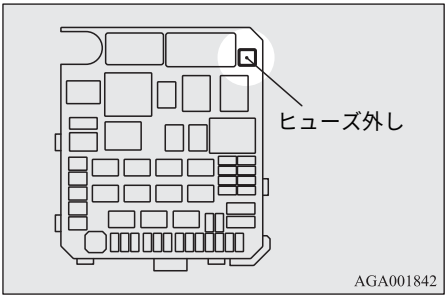
6. グローブボックスを戻すときは，逆の手順で取り付けます。

◆ エンジンルーム内

1. ツメを押してロックを外します。
2. カバーの手前を持ち上げてカバーを取り外します。



ヒューズ外しはヒューズボックス内にあります。



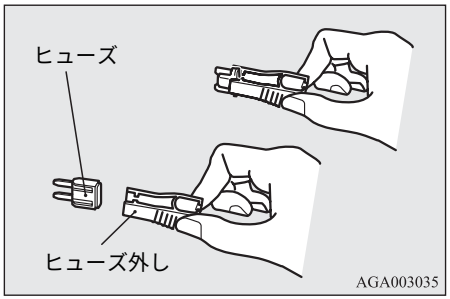
ヒューズの交換

1. エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
   →「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P. 13-32

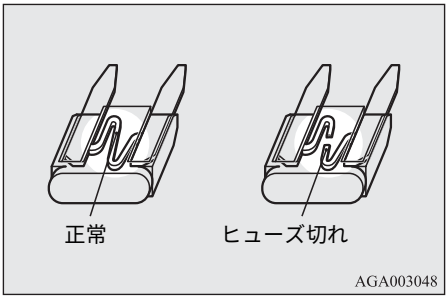
アドバイス

- 各ヒューズの受け持つ装備および容量は，室内はグローブボックスの裏側にエンジンルーム内はヒューズボックスカバーの裏側に記載してあります。

3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しは，エンジンルーム内のヒューズボックス内にあります。



4. ヒューズを点検し，切れているときは予備のヒューズと交換します。



警告

- 取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金，銀紙などを使用すると，電線の過熱により火災のおそれがあります。

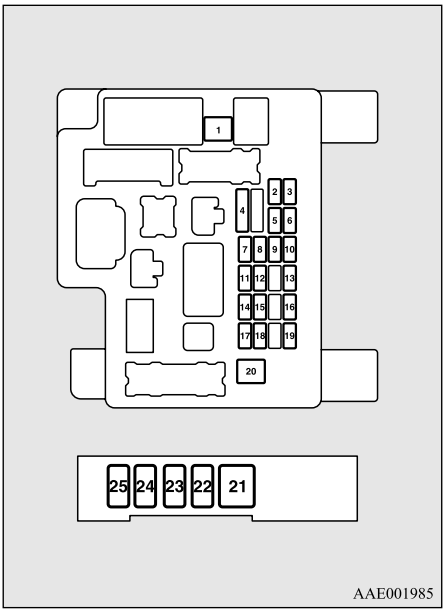
アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは，他の原因が考えられます。すみやかに三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403701044

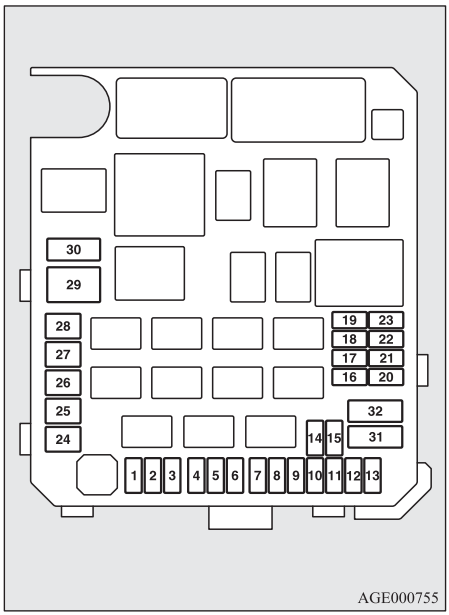
◆ 室内／グローブボックス裏側



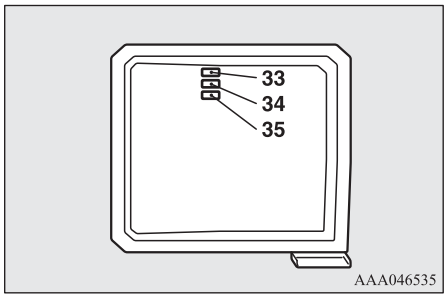
NO.	表示	装備	容量
1		ヒーター	30A
2	STOP	制動灯（ブレーキランプ）	15A
3		リヤフォグランプ	10A
4		フロントワイパー	30A
5		オプション	10A
6		ドアロック	20A
7		ラジオ	15A
8		コントロールユニットリレー	7.5A
9		室内灯（ルームランプ）	15A
10		非常点滅灯	15A
11		リヤワイパー	15A
12		メーター	7.5A
13		シガレットライター／アクセサリーソケット	15A
14		イグニッションスイッチ	10A
15		サンルーフ	20A
16		ドアミラー	10A
17		4WD	10A
18		後退灯（バックアップランプ）	7.5A
19		アクセサリーソケット	15A
20		パワーウインドウ	30A
21		デフォッガー	30A
22		ヒーテッドドアミラー	7.5A
23	AC	ACパワーサプライ	15A
24		パワーシート	25A（20A）
25		シートヒーター	30A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

◆ エンジンルーム内



◆ ヒューズボックスカバー裏側



NO.	表示	装備	容量
1		フロントフォグランプ	15A
2		エンジン	7.5A
3	A/T AMT	オートマチックトランスミッション	20A

NO.	表示	装備	容量
4		ホーン	10A
5		オルタネーター	7.5A
6		ヘッドランプウォッシャー	20A
7		エアコン	10A
8	*/* *1	ETV/オイルクーラーファン(ツインクラッチSST車)	15A
	*2	ETV	
9		セキュリティーホーン	20A
10		ワイパーディアイサー	15A
11	—	—	—
12	P/GATE	エレクトリックテールゲート	30A
13	DRL	デイタイムランニングライト	10A
14		ヘッドライト(上向き)(左)*3	10A
15		ヘッドライト(上向き)(右)*3	10A
16		ヘッドライト(上向き,下向き)(左)*4	20A
17		ヘッドライト(上向き,下向き)(右)*4	20A
18		ヘッドライト(下向き)(左)*3	10A
		ベンディングライト(アダプティブフロントライティングシステム(AFS))(左)*4	

NO.	表示	装備	容量
19		ヘッドライト（下向き）（右）*3	10A
		ベンディングライト（アダプティブフロントライティングシステム(AFS)）（右）*4	
20	*1	ENG/POWER	10A
	*2	I/C SPLAY	
21		イグニッションコイル	10A
22		ENG/POWER	20A
23		フューエルポンプ	15A*1
			20A*2
24		スターター	30A
25	—	—	—
26		ABS	40A
27		ABS	30A
28		エアコンコンデンサーファンモーター	30A
29		ラジエーターファン	40A
30	IOD	IOD	30A
31		オーディオアンプ	30A
32		ディーゼル	30A
33	—	スペアヒューズ	10A
34	—	スペアヒューズ	15A
35	—	スペアヒューズ	20A

*1：除く，ターボ車
*2：ターボ車
*3：除く，ディスチャージヘッドライト付き車
*4：ディスチャージヘッドライト付き車

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

7.5A，25A，30Aのスペアヒューズはありません。ヒューズが切れたときは，つぎのヒューズで代用してください。

7.5A:10Aスペアヒューズ
代用したときはなるべく早く正規容量のヒューズに交換してください。

25A:20Aスペアヒューズ
代用したときはなるべく早く正規容量のヒューズに交換してください。

30A:30Aオーディオアンプヒューズ
代用したときはなるべく早く正規容量のヒューズを補給してください。

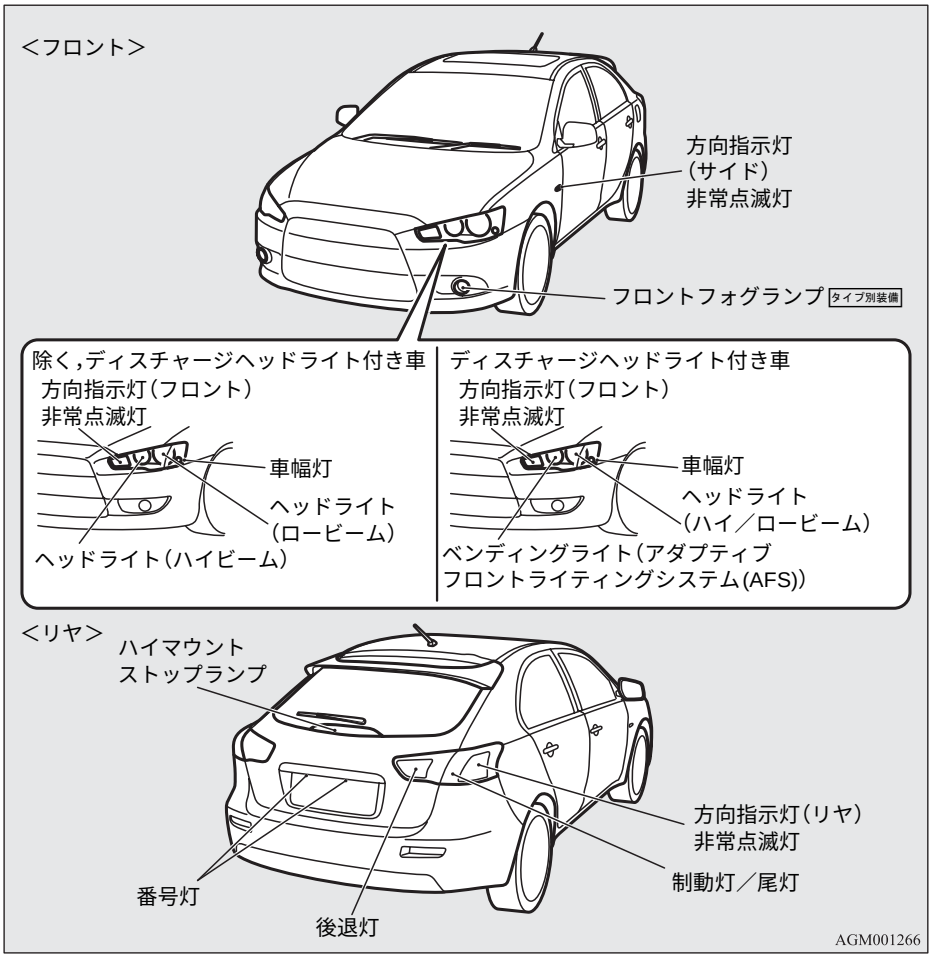
バルブ（電球）が切れたときは！

J01401600781

ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは，バルブ（電球）が切れているときがあります。
バルブ（電球）を点検し，切れているときは交換してください。

バルブ（電球）のワット数

◆ 車外照明



ヘッドライト (除く,ディスチャージ)	ハイビーム[ハロゲン球]	60W (HB3)
	ロービーム[ハロゲン球]	51W (HB4)
ヘッドライト(ディスチャージ)	ベンディングライト (アダプティブフロント ライティングシステム (AFS))[ハロゲン球]	55W (H11)
	ハイ／ロービーム [ディスチャージ球]	35W
車幅灯[ヘッドライト内蔵]		5W (W5W)
フロントフォグランプ タイプ別装備		55W (H11)
制動灯／尾灯		21/5W (W21/5W)
後退灯		16W (W16W)
番号灯		5W (W5W)
方向指示灯 非常点滅灯	フロント	21W (WY21W)
	サイド	5W
	リヤ	21W (WY21W)

● ( )内はバルブ（電球）の型式を示しています。

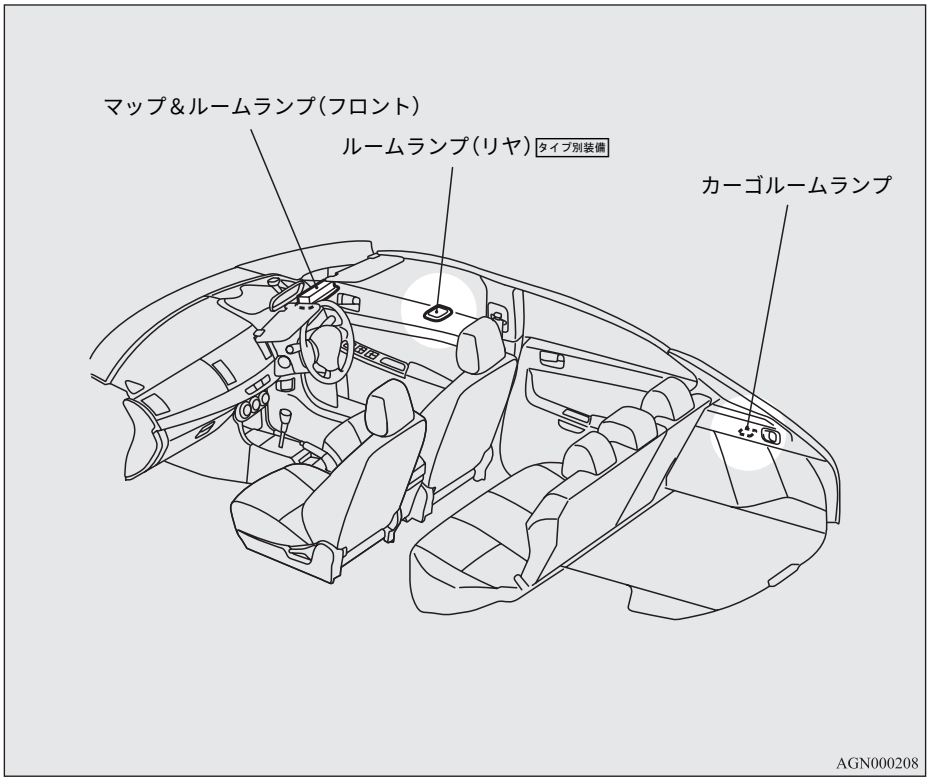
⚠注意

● ディスチャージヘッドライトの修理・バルブ交換の際は必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。
電源回路，バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており，感電するおそれがあります。

アドバイス

● ハイマウントストップランプはバルブ（電球）ではなくLEDを使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。
● 方向指示灯（サイド）はバルブ（電球）のみの修理・交換はできません。
修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ 車内照明



マップ＆ルームランプ(フロント)	8W
ルームランプ(リヤ) タイプ別装備	8W
カーゴルームランプ	8W

バルブ（電球）の交換

J01401700649

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については，三菱自動車販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプのスイッチを OFF にして，エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当するランプのワット数を確認します。
→「バルブ（電球）のワット数」P. 13-35

⚠注意

- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため，やけどをするおそれがあります。
  バルブの表面が十分冷えてから交換してください。

アドバイス

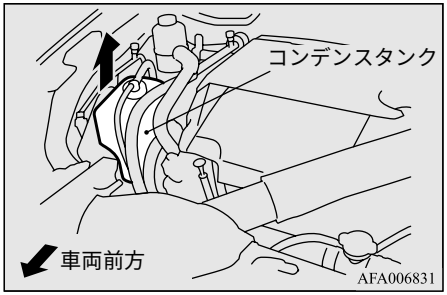
- バルブを交換するときは，同じワット（W）数，同じバルブ色のものを使用してください。
- 新しく交換するバルブの表面に触れないでください。
  油などが付着すると，点灯したときの熱で蒸発して，レンズ内側が曇ることがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の3%水溶液を含ませて，油をふき取ってください。
- ランプ本体やレンズを外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は，ランプが正しく点灯するか確認してください。
- 雨の日や洗車後などに，レンズ内側が曇ることがあります。
  これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。
  ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。
  ただし，ランプ内に水がたまっているときは，三菱自動車販売会社で点検を受けてください。

◆ ヘッドライト（ロービーム）

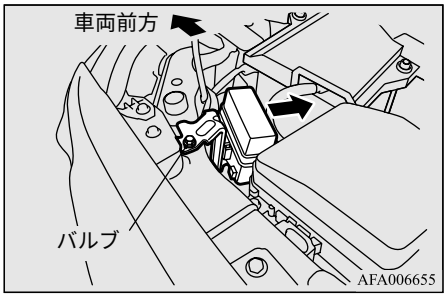
J01401901273

除く，ディスチャージヘッドライト付き車

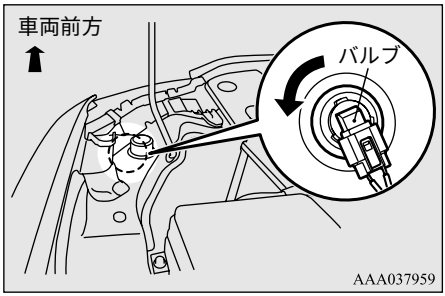
1. ターボ車は，運転席側のバルブを交換するときは，コンデンスタンクを上方に持ち上げて取り外します。



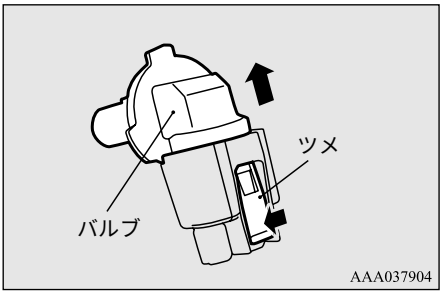
2. ターボ車は，助手席側のバルブを交換するときは，リレーボックスのボルトを外し，リレーボックスを車両後方に移動します。



3. バルブを反時計回りに回して外します。



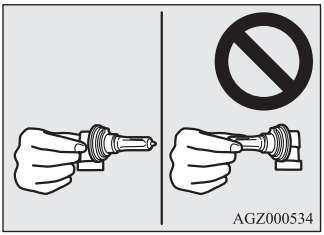
4. ソケットのツメを押しながら，バルブを引き抜きます。



5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3%水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

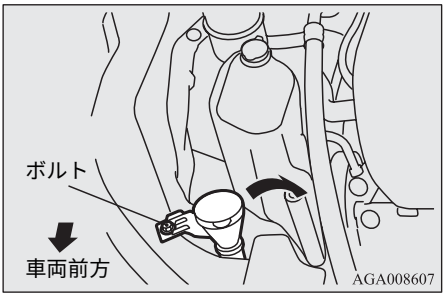


◆ ヘッドライト（ハイビーム）

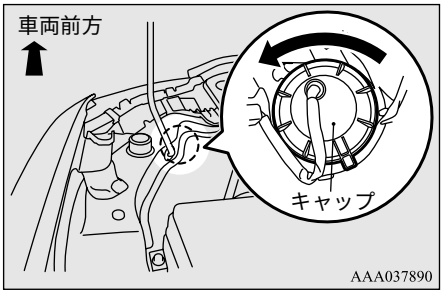
J01401901244

除く，ディスチャージヘッドライト付き車

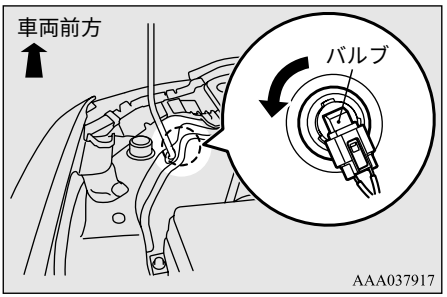
1. 運転席側のバルブを交換するときは，ウォッシャータンクの注ぎ口を止めているボルトを外し，注ぎ口を車両後方に移動させます。



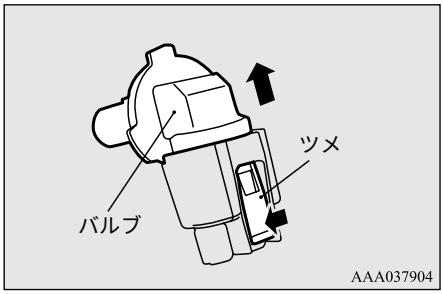
2. キャップを反時計回りに回して外します。



3. バルブを反時計回りに回して外します。



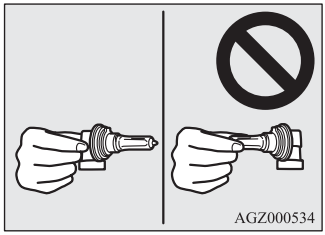
4. ソケットのツメを押しながら，バルブを引き抜きます。



5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3%水溶液を含ませて，油をふき取ってください。



◆ ディスチャージヘッドライト（ハイ／ロービーム）

J01401800103

⚠注意

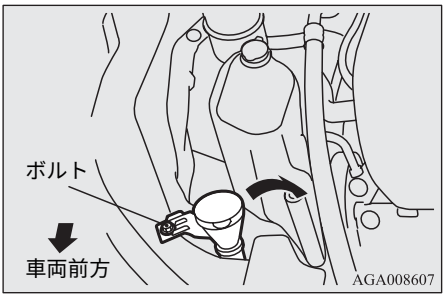
- ディスチャージヘッドライトのバルブ交換の際は必ず三菱自動車販売会社にご相談ください。
  電源回路，バルブおよび電極部分には高電圧が発生しており，感電するおそれがあります。

◆ ベンディングライト（アダプティブフロントライティングシステム(AFS)）

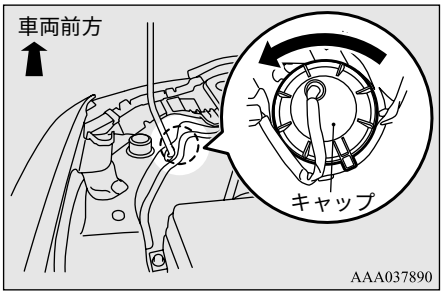
J01403100100

ディスチャージヘッドライト付き車

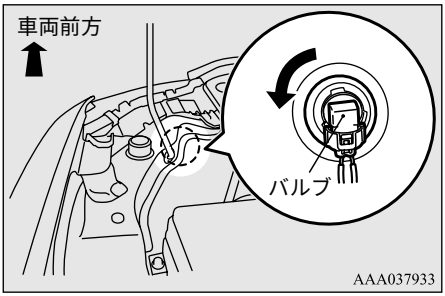
1. 運転席側のバルブを交換するときは，ウォッシャータンクの注ぎ口を止めているボルトを外し，注ぎ口を車両後方に移動させます。



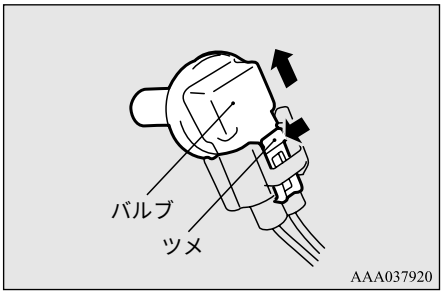
2. キャップを反時計回りに回して外します。



3. バルブを反時計回りに回して外します。



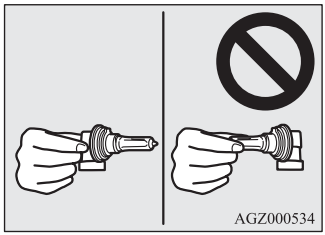
4. ソケットのツメを押しながら，バルブを引き抜きます。



5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

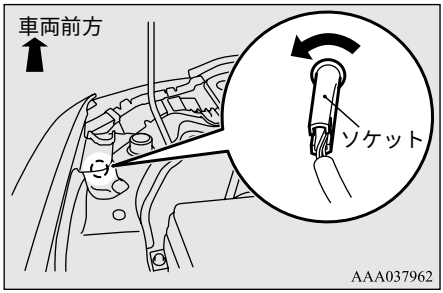
- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3%水溶液を含ませて，油をふき取ってください。



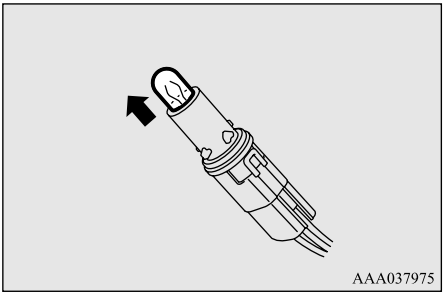
◆ 車幅灯（除く，ディスチャージヘッドライト付き車）

J01402000636

1. ソケットを反時計回りに回して外します。



2. ソケットからバルブを引き抜きます。

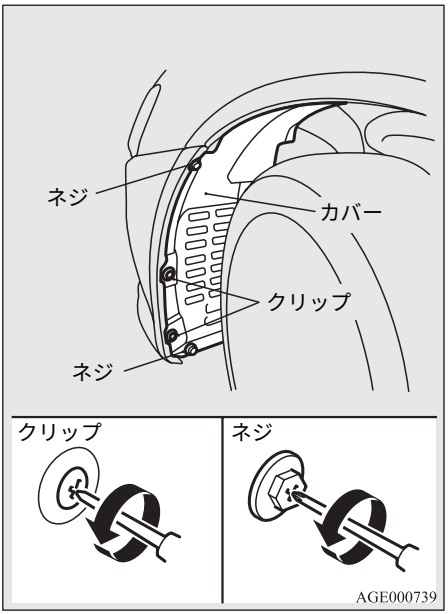


3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

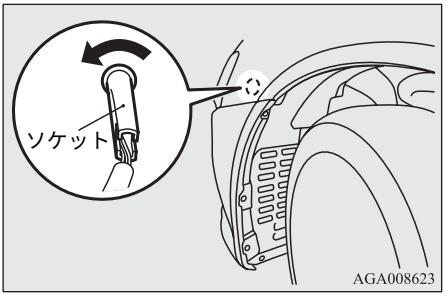
◆ 車幅灯（ディスチャージヘッドライト付き車）

J01402000551

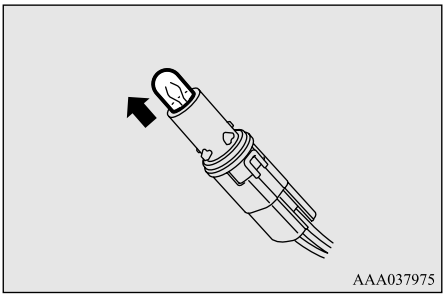
1. 交換したいバルブの反対方向側にハンドルを一杯に回して作業スペースを作ります。
2. クリップ（2箇所）とネジ（2箇所）を外し，カバーをめくります。



3. ソケットを反時計回りに回して外します。



4. ソケットからバルブを引き抜きます。



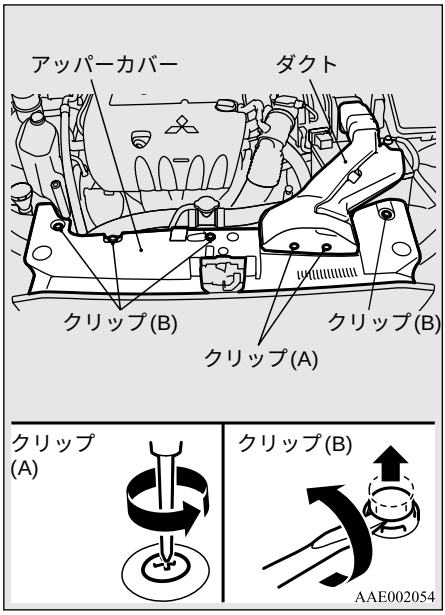
5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ 方向指示灯（フロント）

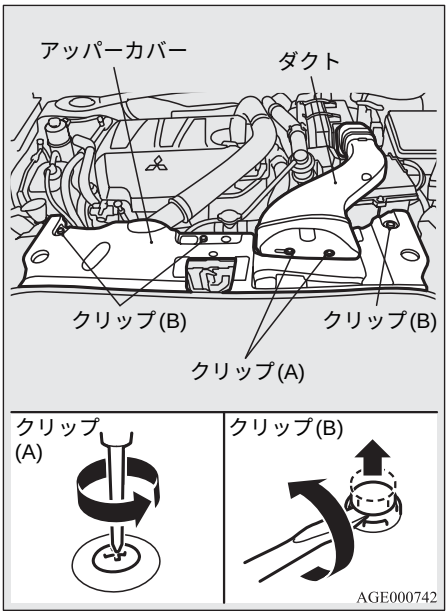
J01402100536

1. クリップ（除く，ターボ車は 6 箇所，ターボ車は5箇所）を外し，ダクトとアッパーカバーを取り外します。

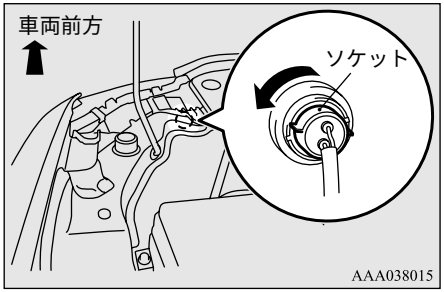
除く，ターボ車



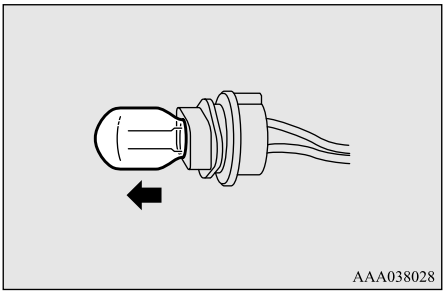
ターボ車



2. ソケットを反時計回りに回して外します。



3. ソケットからバルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ 方向指示灯（サイド）

J01402200289

アドバイス

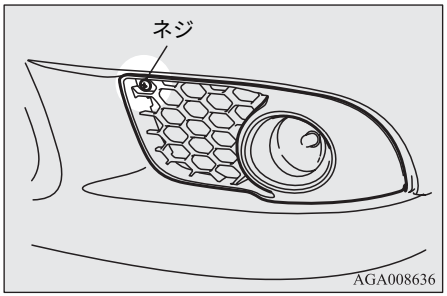
- 方向指示灯（サイド）はバルブ（電球）のみの修理・交換はできません。
  修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

◆ フロントフォグランプ

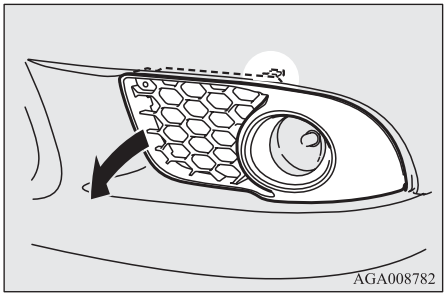
タイプ別装備

J01403200521

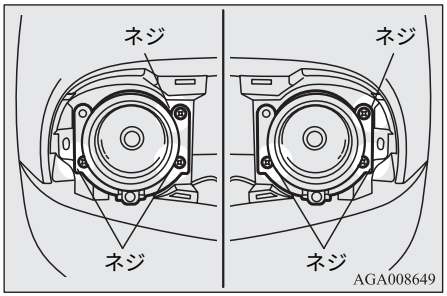
1. ネジを外します。



2. カバーを矢印の方向に引いて取り外します。

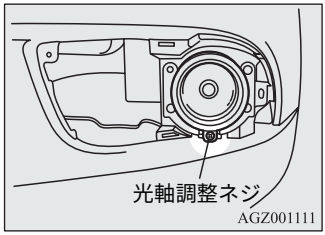


3. ネジ（3 箇所）を外し，ランプ本体を取り外します。

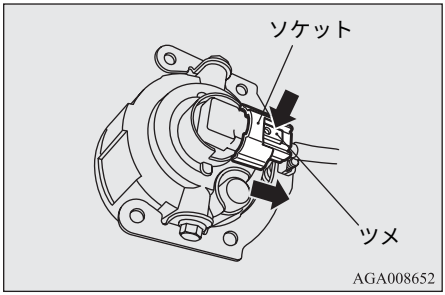


アドバイス

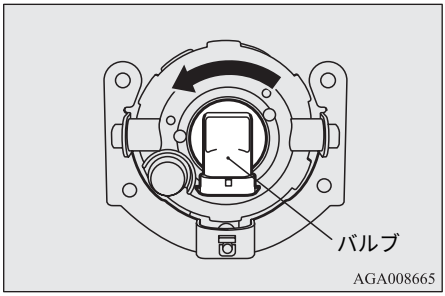
● ネジを外すときに，誤って光軸調整ネジを動かさないように注意してください。



4. ツメを押しながらソケットを引き抜きます。



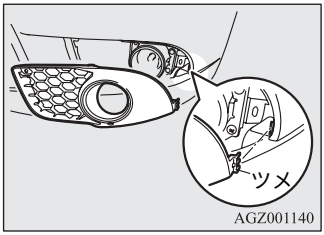
5. バルブを反時計回りに回して外します。



6. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

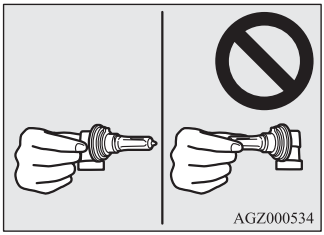
● カバーを取り付ける際はランプ本体のツメを車体の穴に合わせ，取り付けます。



⚠注意

● ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。

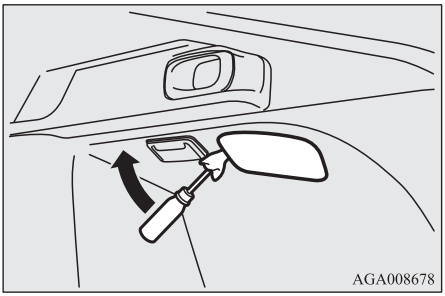
● ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。



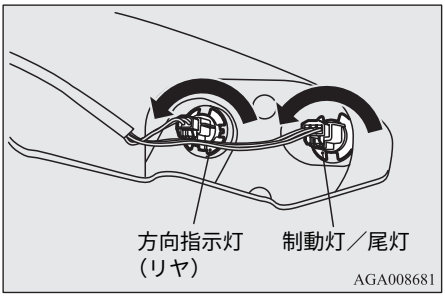
◆ リヤコンビネーションランプ

J01403000486

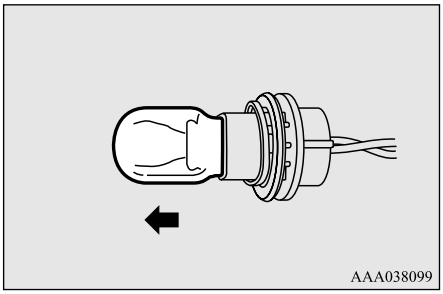
1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，カバーをこじて外します。



2. ソケットを反時計回りに回して外します。



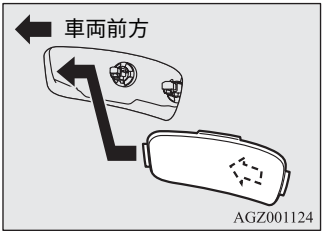
3. ソケットからバルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

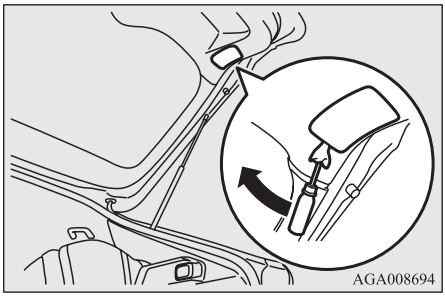
● カバーを取り付ける際はカバーの裏側にある矢印が車体前方を向くように取り付けます。



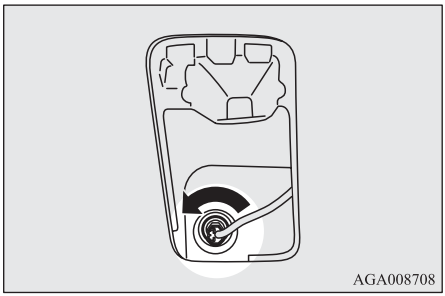
◆ 後退灯

J01402500165

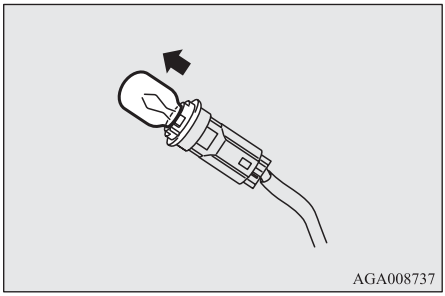
1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをカバーの切り欠き部に差し込み，カバーをこじて外します。



2. ソケットを反時計回りに回して外します。



3. ソケットからバルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

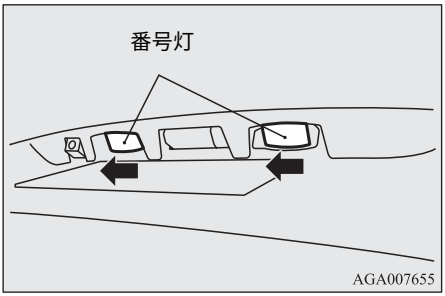
アドバイス

● カバーを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。

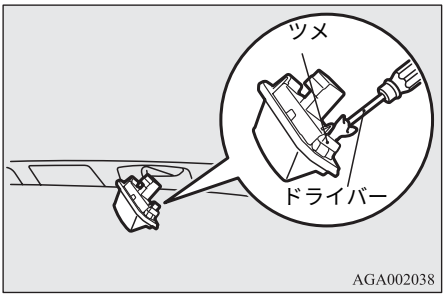
◆ 番号灯

J01402600498

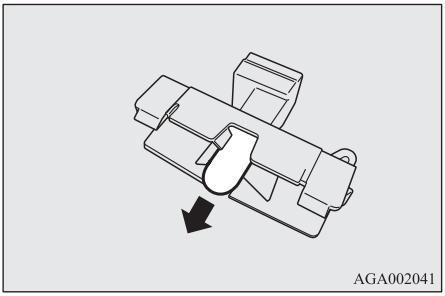
1. ランプ本体を左側へ押しながら外します。



2. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを使って，ツメをこじてレンズを外します。



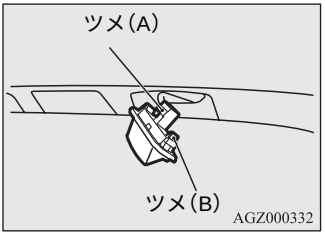
3. ソケットからバルブを引き抜きます。



4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

● ランプ本体を取り付けるときは，ツメ（A）を先に入れ，ツメ（B）を後で合わせて取り付けます。



◆ ハイマウントストップランプ

J01402700109

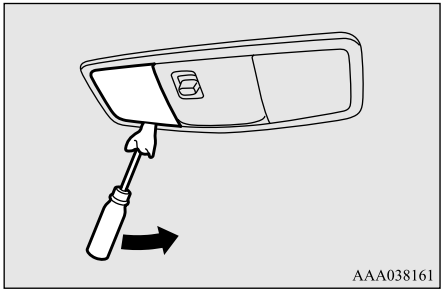
アドバイス

● ハイマウントストップランプはバルブ（電球）ではなくLEDを使用しています。修理・交換の際は三菱自動車販売会社にご相談ください。

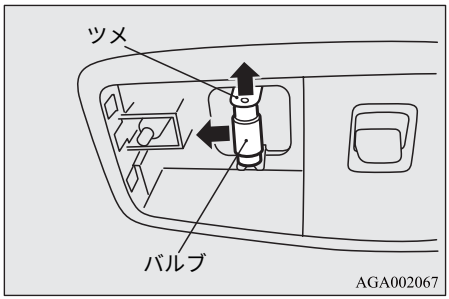
◆ マップ＆ルームランプ（フロント）

J01404400487

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んで，レンズをこじて外します。



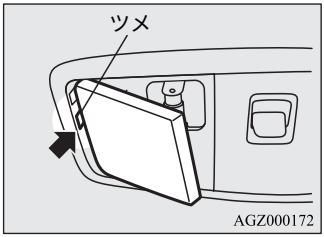
2. ツメを押しながらバルブを取り外します。



3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

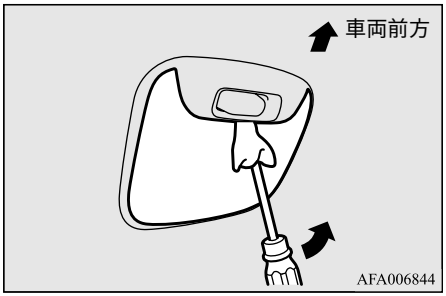
- バルブを交換するときは,マップ&ルームランプ（フロント）のスイッチを消灯の位置にしてください。
- レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。



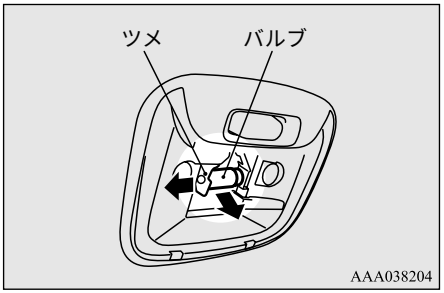
◆ ルームランプ（リヤ） タイプ別装備

J01404700262

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠き部に差し込んで，レンズをこじて外します。



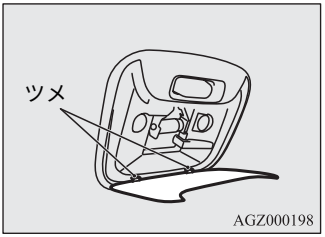
2. ツメを押しながら，バルブを取り外します。



3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

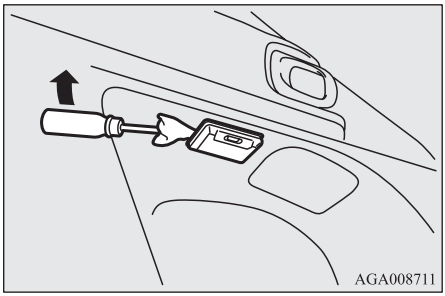
- バルブを交換するときは，ルームランプ（リヤ）のスイッチの位置をOFFにしてください。
- レンズを取り付けるときは，ツメを車体側の穴に合わせて取り付けます。



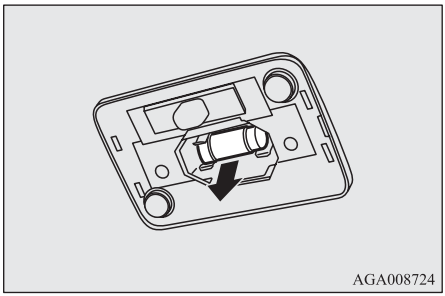
◆ カーゴルームランプ

J01406600047

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠き部に差し込んで，レンズをこじて外します。



2. ソケットからバルブを引き抜きます。



3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

- バルブを交換するときは，カーゴルームランプのスイッチの位置を OFF にしてください。

MEMO

サービスデータ

メンテナンスデータ 14- 2
タイヤ,ホイールのサイズ 14- 9
タイヤの空気圧 14- 10
カスタマイズ（機能の設定変更） 14- 11

メンテナンスデータ

J01600101355

- 日常点検，定期点検の内容およびエンジンオイルなど油脂類の交換時期については，別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長，全幅，全高），車両重量，エンジン型式，排気量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

燃料の量と種類

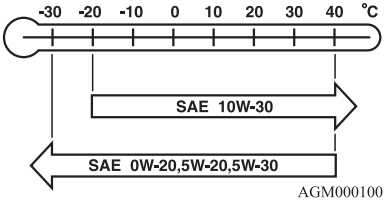
J01600500118

<table>
<tr><th>項目</th><th>容量</th><th colspan="2">使用銘柄</th></tr>
<tr><td>2WD</td><td>約59L</td><td rowspan="2">除く，ターボ車</td><td rowspan="2">無鉛レギュラーガソリン</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4WD</td><td rowspan="2">約55L</td></tr>
<tr><td>ターボ車</td><td>無鉛プレミアムガソリン*（無鉛ハイオク）
*: 無鉛プレミアムガソリンが入手できないときは,無鉛レギュラーガソリンも使用できますが,エンジン出力低下等の現象が発生します。</td></tr>
</table>

- 燃料は指定されたものを補給してください。→P. 2-3

オイル類の量と種類

J01601200141

<table>
<tr><th rowspan="2">項目</th><th colspan="2" rowspan="2">容量</th><th colspan="4">使用銘柄</th></tr>
<tr><th>三菱自動車
純正銘柄</th><th>API
分類</th><th>ILSAC
規格</th><th>SAE
粘度番号</th></tr>
<tr><td rowspan="7">エンジン
オイル</td><td rowspan="4">除く，
ターボ車</td><td rowspan="4">約4.3L
（オイル
フィルター内
約0.3Lを
含む）</td><td rowspan="2">ダイヤクイーン
SM</td><td>SM</td><td rowspan="2">GF-4</td><td>0W-20
5W-30</td></tr>
<tr><td>SM/CF</td><td>10W-30</td></tr>
<tr><td>ダイヤクイーン
SLスーパー</td><td>SL相当</td><td>—</td><td>5W-20
10W-30</td></tr>
<tr><td>ダイアクイーン
SJ</td><td>SJ相当
/CF</td><td>—</td><td>10W-30</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ターボ車</td><td rowspan="3">約5.1L
（オイル
フィルター内
約0.3L）</td><td rowspan="2">ダイヤクイーン
SM</td><td>SM</td><td rowspan="2">GF-4</td><td>5W-30</td></tr>
<tr><td>SM/CF</td><td>10W-30</td></tr>
<tr><td>ダイヤクイーン
SLスーパー</td><td>SL相当</td><td>—</td><td>10W-30</td></tr>
<tr><td colspan="6">● エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。
 
</td></tr>
</table>

⚠注意

● ターボ車は0W-20および5W-20を使用しないでください。0W-20および5W-20は低粘度のオイルであるため潤滑不良がおき，エンジンが焼きつくおそれがあります。5W-30または10W-30をご使用ください。

アドバイス

● 工場出荷時，ターボ車以外は0W-20，ターボ車は5W-30を入れてあります。これらはエンジンの始動性を良くしたり，燃費の向上に効果があります。
● 悪路や山道，登降坂路の走行，短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）での走行は通常走行と比べてエンジンオイルの劣化が早くなります。このような使われ方をしたときは通常より早めに交換してください。

オイル類の量と種類

J01600600164

項目		容量	使用銘柄
オートマチックトランスミッション(CVT)オイル		約7.8L	三菱純正ダイヤクイーン CVTF-J1
ツインクラッチSSTオイル		約7.6L（オイルクーラー内約0.5Lを含む）	三菱純正ダイヤクイーン SSTF-I
トランスファーオイル(4WD車)	除く，ACD付き車	約0.54L	三菱純正ダイヤクイーン スーパーハイポイドギヤオイル SAE90（GL-5）
	ACD付き車	約0.8L	三菱純正ダイヤクイーン LSDギヤオイル
AWC制御フルード（油圧配管内含む）(ACD付き車)		約0.9L	三菱純正ダイヤクイーン ATF SP III
リヤディファレンシャルオイル（4WD車）	除く，ACD付き車	約0.5L	三菱純正ダイヤクイーン スーパーハイポイドギヤオイル SAE80（GL-5）
	ACD付き車	約0.55L	三菱純正ダイヤクイーン LSDギヤオイル
ブレーキ液		所要	三菱純正ダイヤクイーン ブレーキフルードスーパー4（DOT4）
パワーステアリングオイル		所要	三菱純正ダイヤクイーン パワステフルード

LSD：リミテッドスリップディファレンシャル

冷却水の量と種類

J01600700165

項目	容量	使用銘柄
冷却水 （コンデンスタンク内 約0.65Lを含む）	約7.0L	三菱純正ダイヤクイーン スーパーロングライフクーラント

ウォッシャー液の量と種類

J01600800153

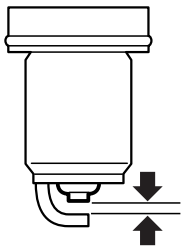
項目	容量	使用銘柄
ウォッシャー液	約4.0L	三菱純正ダイヤクイーン ウインドウウォッシャー液

点火プラグの種類

J01600900154

項目	使用銘柄	電極部のすきま
除く， ターボ車	NGK:日本特殊陶業製:FR6EI DENSO:デンソー製:K20PSR-B8	0.7~0.8mm
ターボ車	NGK:日本特殊陶業製:ILKR8E6	0.5~0.6mm

拡大図（電極部のすきま）



AAM000203

● 点火プラグの点検，交換は三菱自動車販売会社に依頼してください。

バッテリーの種類

J01601400169

項目	型式
除く,寒冷地仕様車	55D23L
寒冷地仕様車	75D23L

⚠警告

- バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。
- バッテリーを取り付けるときは，＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

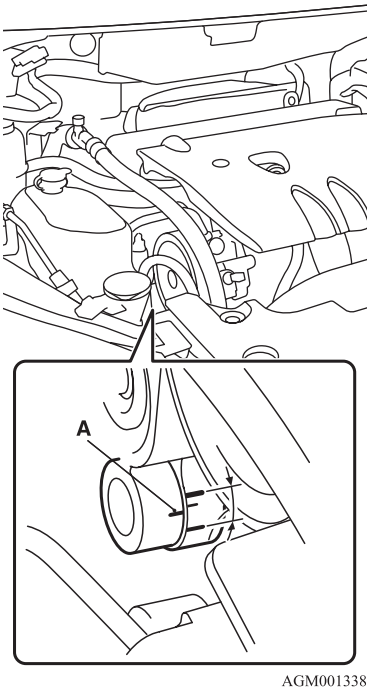
アドバイス

- バッテリー交換後は，お客様が設定した記憶の内容が消去される場合があります。消去されたときは，それぞれの手順でもう一度設定しなおしてください。

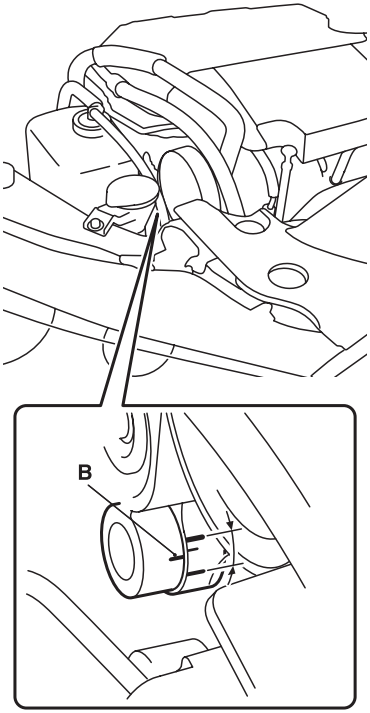
整備基準値

J01601000165

除く，ターボ車

項目	サービスデータ	
ブレーキペダル	遊び	3~8mm
	踏み込んだときの床板とのすきま（踏力約500N{約50kgf}）	85mm以上
駐車ブレーキ	引きしろ（操作力約200N{約20kgf}）	3~5ノッチ
ベルトのたわみ量	 AGM001338	インジケーター（A）が範囲内にあること

ターボ車

項目	サービスデータ	
ブレーキペダル	遊び	3~8mm
	踏み込んだときの床板とのすきま（踏力約500N{約50kgf}）	85mm以上
駐車ブレーキ	引きしろ（操作力約200N{約20kgf}）	3~5ノッチ
ベルトのたわみ量	 AGM001341	インジケーター（B）が範囲内にあること

タイヤ，ホイールのサイズ

J01600201213

タイヤ，ホイールを交換するときは，つぎのことをお守りください。
- 4輪とも同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ，ホイールを装着してください。

タイヤ，ホイールのサイズなどは三菱自動車工業が国土交通省に届け出をしています。

⚠注意

- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- 4WD車は4輪に駆動力がかかるため，必ず同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  タイヤおよびホイールを交換する際は三菱自動車販売会社へご相談ください。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。お手持ちのものを使われるときは，三菱自動車販売会社にご相談ください。

項目	タイヤ	ホイール
除く，スポーツサスペンション装着車	205/60R16 92H	16×6 1/2JJ（46mm）〔114.3mm〕5穴
スポーツサスペンション装着車	215/45R18 89W	18×7JJ（46mm）〔114.3mm〕5穴

（ ）内は，オフセット（インセット）量（ホイールの取り付け面とリムの中心との距離）
〔 〕内は，PCD（ホイール取り付け穴のピッチ円直径）

冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。

タイヤの空気圧

J01600300813

タイヤサイズ		空気圧（kPa {kgf/cm²}）	
標準タイヤ	205/60R16 92H	220 {2.2}	
	215/45R18 89W	除く，ターボ車	220 {2.2}
		ターボ車	240 {2.4}
応急用タイヤ	T125/70D 16 T125/90D 16	420 {4.2}	

カスタマイズ（機能の設定変更）

J01600400797

つぎの機能をお好みの設定に変更することができます。
詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスエントリー（除く，キーレスオペレーションシステム付き車）	リモコンスイッチのUNLOCKスイッチを押した後，自動的に施錠されるまでの時間 →P. 4-4	約30秒	○
		時間を長くする	
	リモコンスイッチで施錠・解錠したときの非常点滅灯による作動確認 →P. 4-4	施錠時:1回点滅 解錠時:2回点滅	○
		施錠時:1回点滅 解錠時:点滅しない	
		施錠時:点滅しない 解錠時:2回点滅	
		施錠時:2回点滅 解錠時:1回点滅	
		施錠時:2回点滅 解錠時:点滅しない	
		施錠時:点滅しない 解錠時:1回点滅	
		点滅しない	
	リモコンスイッチでできるパワーウインドウの開閉操作[*1] →P. 4-4	閉じるのみ	○
		開ける，閉じる	
		開閉しない	
	リモコンスイッチでできるサンルーフの閉じる操作[*1] →P. 4-4	作動する	○
		作動しない	
	リモコンスイッチでできるドアミラーの格納・復帰操作[*1] →P. 4-4	作動する	○
		作動しない	

[*1]：パワーウインドウ，サンルーフ，ドアミラーの設定項目はそれぞれ単独で変更されず，組み合わせにより同時に変更されます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム（キーレスオペレーションシステム付き車）	キーレスオペレーション機能で可能な操作 →P. 4-6	ドアおよびリヤハッチの施錠・解錠，およびエンジンの始動	○
		ドアおよびリヤハッチの施錠・解錠のみ	
		エンジンの始動のみ	
		キーレスオペレーション機能を働かなくする	
	LOCKスイッチによるドアおよびリヤハッチ施錠後の解錠禁止時間 →P. 4-10	約3秒	○
		約5秒	
		無し	
	キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能でドアおよびリヤハッチを解錠した後，自動的に施錠されるまでの時間 →P. 4-10，4-24	約30秒	○
		時間を長くする	
	キーレスオペレーションキーのスイッチまたはキーレスオペレーション機能でドアおよびリヤハッチを施錠・解錠したときの非常点滅灯による作動確認 →P. 4-10，4-24	施錠時:1回点滅 解錠時:2回点滅	○
		施錠時:1回点滅 解錠時:点滅しない	
		施錠時:点滅しない 解錠時:2回点滅	
		施錠時:2回点滅 解錠時:1回点滅	
		施錠時:2回点滅 解錠時:点滅しない	
		施錠時:点滅しない 解錠時:1回点滅	
		点滅しない	

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
キーレスオペレーションシステム（キーレスオペレーションシステム付き車）	キーレスオペレーション機能でドアおよびリヤハッチを施錠・解錠したときのブザー音による作動確認 →P. 4-10	有り	○
		無し	
	キーレスオペレーションキーのスイッチでドアおよびリヤハッチを施錠・解錠したときのブザー音による作動確認 →P. 4-24	有り	
		無し	○
	キーレスオペレーションキーのスイッチでできるパワーウインドウの開閉操作[*2] →P. 4-24	閉じるのみ	○
		開ける,閉じる	
		開閉しない	
	キーレスオペレーションキーのスイッチでできるサンルーフの閉じる操作[*2] →P. 4-24	作動する	○
		作動しない	
	キーレスオペレーションキーのスイッチでできるドアミラーの格納・復帰操作[*2] →P. 4-24	作動する	○
		作動しない	
	ドアおよびリヤハッチスイッチでできるパワーウインドウとサンルーフの閉じる操作[*2] →P. 4-10	作動する	○
		作動しない	
	ドアおよびリヤハッチスイッチでできるドアミラーの格納操作[*2] →P. 4-10	作動する	○
		作動しない	
	ドア閉時のキーレスオペレーションキー持ち出し監視機能の有無 →P. 4-17	有り	
		無し	○

[*2]：パワーウインドウ，サンルーフ，ドアミラーの設定項目はそれぞれ単独で変更されず，組み合わせにより同時に変更されます。詳しくは三菱自動車販売会社にご相談ください。

装備	調整機能	設定項目		出荷時の設定
セキュリティーアラーム*3	システムの設定 →P. 4-33	警報作動する		
		警報作動しない		○
	室内警報時間 →P. 4-40	約10秒		○
		時間を短くする		
パワーウインドウ，サンルーフ	エンジンスイッチをOFFにした後に開閉できる時間（タイマー機能） →P. 4-42，4-44	約30秒		○
		時間を長くする		
		タイマー機能を働かなくする		
パワーウインドウ	ロックスイッチをONにしたときに運転席スイッチで開閉できるドアガラス →P. 4-43	全席		○
		運転席のみ		
センタードアロック	エンジンスイッチがONのときにセレクターレバーまたはシフトレバーを🅿に入れると解錠 →P. 4-28	解錠する	常時	
			パワーウインドウロックスイッチをONにすると解錠しない	
		解錠しない		○

*3 : お客様自身でもカスタマイズ（機能の設定変更）可能です。
→「システム作動の設定変更のしかた」P. 4-35

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ヘッドライト	自動点灯のタイミング（オートライトコントロールセンサーの感度調整） →P. 6-54	標準	○
		早くする	
		遅くする	
	ヘッドライトオートカット機能（自動消灯） →P. 6-56	作動する	○
		作動しない	
	降車後照明として利用するときのライトスイッチの位置 →P. 6-56	≡○のみ	○
		≡DC≡と≡○	
方向指示灯	車線変更時の3回点滅機能 →P. 6-60	作動する	○
		作動しない	
	車線変更時の3回点滅機能が作動するまでのレバー操作時間 →P. 6-60	短い	○
		長い	
	方向指示灯が作動するエンジンスイッチの位置 →P. 6-60	ON	○
		ONまたはACC	
フロントワイパー（除く，レインセンサー付き車）	車速感応 →P. 6-63	有り	○
		無し	
フロントワイパー（レインセンサー付き車）	雨滴感応*4 →P. 6-63	有り	○
		無し	
	車速感応*4 →P. 6-63	有り	
		無し	○
フロント・リヤウォッシャー	ウォッシャー液を噴射させたときのワイパー作動 →P. 6-67	連動する	○
		連動しない	
リヤワイパー	間けつ作動時間 →P. 6-68	約8秒	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
	連続作動モード →P. 6-68	作動する	
		作動しない	○

*4：雨滴感応有りと車速感応有りは同時に設定できません。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
ドアミラー	自動格納・復帰の条件 →P. 7-4	車速約30km/h以上で復帰	○
		エンジンスイッチに連動（運転席ドアを閉めてONで復帰，OFFで運転席ドアを開くと格納）	
		キーレスエントリーまたはキーレスオペレーションシステム機能に連動（LOCKで格納，UNLOCKで復帰）	
		自動格納・復帰しない	
エンジンスイッチ	エンジンスイッチがACCのときに自動的に電源をカットする機能 →P. 7-8	30分後にカットする	○
		60分後にカットする	
		電源をカットしない	
マップ＆ルームランプ（フロント），ルームランプ（リヤ）	ドアおよびリヤハッチを閉じたときに消灯するまでの時間（遅延消灯） →P. 8-5，8-6	約15秒	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		遅延消灯機能を働かなくする	
室内灯	点灯し続けたとき，自動的に消灯するまでの時間（自動消灯） →P. 8-8	約30分	○
		時間を短くする	
		時間を長くする	
		自動消灯機能を働かなくする	
エアコン	内外気切り換え・エアコンスイッチの自動制御 →P. 9-7，9-8	許可	○
		拒否	
オーディオ	音質・音量の自動補正機能の設定 →P. 10-5	作動する	○
		作動しない	

A

ABS(アンチロックブレーキシステム) 7-49
ABS警告灯 7-50
ACD 7-41
AFS(アダプティブフロントライティングシステム) 6-61
ASC OFF スイッチ(アクティブスタビリティコントロールオフスイッチ) 7-53
ASC OFF表示 7-54
ASC警告表示 7-55
ASC作動表示 7-54
ASC(アクティブスタビリティコントロール) 7-52

C

CDを聞くときは 10-14
CVT
  INVECS-III CVT 7-12

I

INFO(マルチインフォメーション メータースイッチ) 6-7
INT 6-63，6-68
ISO FIX対応チャイルドシート 5-14

M

MIST 6-63

S

SRSエアバッグ 5-21
SRSエアバッグ警告 5-12
SRSカーテンエアバッグ 5-27
SRSニーエアバッグ 5-25

Z

「!」マーク表示 6-8

ア

アームレスト 5-5
アクセサリーソケット 8-4
アクティブスタビリティコントロール 7-52
アクティブセンターディファレンシャルシステム 7-41
アシストグリップ 8-15
アダプティブフロントライティングシステム(AFS) 6-61
アダプティブフロントライティングシステム(AFS)OFF表示灯 6-50，6-62
アンチロックブレーキシステム(ABS) 7-49
アンテナ 10-29
  テレビアンテナ 10-29
  ルーフアンテナ 10-29

イ

ISO FIX対応チャイルドシート 5-14
インテリアランプオートカット機能(自動消灯) 8-8
インフォメーション画面 6-9，6-17
INVECS-III CVT 7-12

ウ

ウィンカー(方向指示レバー) 6-60
ウォッシャー
  ウォッシャー液の点検・補給 11-3
  フロントウォッシャースイッチ 6-67

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

エ

エアコン
エアコンの上手な使い方 9-16
オートエアコン 9-5
クリーンエアフィルター 9-17
吹き出し口 9-2
エアバッグ
SRSエアバッグ 5-21
SRSエアバッグ警告 5-12
SRSカーテンエアバッグ 5-21
SRSニーエアバッグ 5-21
ASC OFF表示 7-54
ASC警告表示 7-55
ASC作動表示 7-54
AFS(アダプティブフロントライティングシステム) 6-61
ACC電源オートカット機能 7-8
ACD 7-41
ABS 7-49
ASC(アクティブスタビリティコントロール) 7-52
AM/FM電子同調ラジオ＆CDプレーヤー(MP3再生対応) 10-2
ABS警告灯 7-50
エマージェンシーキー 4-19
エラーコード 10-26
エンジンイモビライザー(盗難防止装置) 4-3
エンジンオイル
エンジンオイルの補給 11-2
エンジンオイル量の点検・補給 M
エンジン型式 S
エンジン警告灯 6-51
エンジンスイッチ 7-7
エンジンのかけ方 7-9
エンジンの止め方 7-11
エンジンフード警告表示 4-48
エンジンフード(ボンネット) 4-47
エンジンブレーキ 2-13
エンジンルーム 1-11
エンジン冷却水温表示 6-18

オ

応急用スペアタイヤ 13-15
オーディオ
AM/FM電子同調ラジオ＆CDプレーヤー(MP3再生対応) 10-2
エラーコード 10-26
オーディオの上手な使い方 10-27
オーディオリモコンスイッチ 10-24
オートエアコン 9-5
オートマチックトランスミッション
CVT 7-12
CVT車の運転のしかた 7-21
セレクターレバー 7-13
オートライトコントロール 6-55
オーバーヒート 13-22
オドメーター(積算距離計) 6-10

カ

カーゴフロアボックス 8-11
カーゴルームランプ 8-7, 13-37, 13-53
カードホルダー 8-2
外装品のお手入れ 11-9
カスタマイズ(機能の設定変更) 14-11
ガソリン(燃料) 14-2
カップホルダー 8-12
寒冷時の取り扱い 12-2

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

キ

キー 4-2
エマジェンシーキー 4-19
キーレスエントリー 4-4
キーレスオペレーションシステム 4-6
キックダウン 2-16
機能の設定変更(カスタマイズ) 14-11

ク

区間距離計(トリップメーター) 6-10
曇り取り
ウインドウガラスの曇り取り 9-12
リヤウインドウデフォッガースイッチ 6-69
クラクション(ホーンスイッチ) 6-69
クリープ現象 2-16
クリーンエアフィルター 9-17，11-7
クルーズコントロールスイッチ 7-57
クルーズコントロール(自動定速走行装置) 7-56
グローブボックス 8-9

ケ

警告
ABS警告 7-50
シートベルト警告 5-11
警告灯 6-40，6-51
ABS警告灯 7-50
SRSエアバッグ警告灯 5-12
エンジン警告灯 6-51
充電警告灯 6-51
プリテンショナー警告灯 5-12
ブレーキ警告灯 6-51
警告表示 7-27
エンジンフード警告表示 4-48
充電警告表示 6-53
燃料残量警告表示 6-25
半ドア警告表示 6-13，6-29
ブレーキ警告表示 6-52
ヘッドライトレベリング警告表示 6-59
油圧警告表示 6-54
けん引 13-24

コ

交換
タイヤ 13-16
バルブ(電球) 13-38
ヒューズ 13-29
工具 13-10
後退灯 13-35，13-49
小物入れ
カーゴフロアボックス 8-11
グローブボックス 8-9
フロアコンソールボックス 8-10
フロントコンソールボックス 8-9

サ

サービスデータ 14-2
サンバイザー 8-2
サンルーフ 4-44

シ

CDを聞くときは 10-14
シート 5-2
フロントシート 5-3
ヘッドレスト 5-5
リヤシート 5-5
シートベルト 5-8

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

3点式シートベルト 5-9
プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト 5-12
シートベルト警告 5-11
CVT
INVECS-III CVT 7-12
シガレットライター 8-3
室内灯 8-5
カーゴルームランプ 8-7
ルーム＆マップランプ(フロント) 8-5
ルームランプ(リヤ) 8-6
自動定速走行装置(クルーズコントロール) 7-56
シフトレバー 7-25
シフトレバー位置表示 7-26
ジャッキ 13-10
ジャッキアップ 13-12
車幅灯 6-54，13-35，13-43，13-44
車幅灯表示灯 6-50
車両重量 S
車両寸法 S
充電警告灯 6-51
充電警告表示 6-53
修理の連絡先 M

ス

スタビリティコントロール機能 7-53
ステアリングホイール オーディオリモコンスイッチ 10-24
スピードメーター 6-3
スペアタイヤ 13-15

セ

制動灯 13-35，13-48
積算距離計(オドメーター) 6-10
セキュリティーアラーム 4-33
セレクターレバー 7-13
セレクターレバー位置表示 7-15
センタードアロック 4-28

タ

ターボ車の取り扱い 7-12
タイヤ
空気圧 14-10
スペアタイヤ(応急用) 13-15
タイヤチェーン 12-6
タイヤ,ホイールのサイズ 14-9
タイヤ交換 13-16
タコメーター 6-3

チ

チャイルドシート 5-13
チャイルドプロテクション(後席ドア安全施錠装置) 4-30
駐車ブレーキ
駐車ブレーキ 7-2
ブレーキ警告灯 6-51
チルトステアリング 7-3

ツ

ツインクラッチSST
シフトレバー 7-25
Sport Shift Transmission 7-24
ツインクラッチSST車の運転のしかた 7-36
ツインクラッチSST制御モードスイッチ 7-32
ツインクラッチSST制御モード表示 7-32

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

テ

定期点検 M
テレビアンテナ 10-29
電球(バルブ) 13-35
電子制御4WD機構 7-43

ト

ドア 4-26
　施錠・解錠 4-26
　センタードアロック 4-28
　チャイルドプロテクション 4-30
ドアミラー 7-4
ドアミラーの格納・復帰 7-5
ドアミラー調整スイッチ 7-4
盗難防止装置(エンジンイモビライザー) 4-3
時計 10-30
ドライブモードセレクター(スイッチ) 7-44
トラクションコントロール 7-53
トラクションコントロール機能 7-53
トリップメーター(区間距離計) 6-10

ナ

内装品のお手入れ 11-8

ニ

2段高さ調整カーゴフロア 8-14
日常点検 M

ネ

燃料 14-2
燃料残量警告表示 6-25
燃料噴射装置の洗浄 11-2
燃料補給
　セルフ式ガソリンスタンド 2-26
燃料補給口(フューエルリッド) 4-49

ハ

パーキングブレーキ(駐車ブレーキ) 7-2
排気量 S
灰皿 8-3
ハイドロプレーニング現象 2-12
ハイマウントストップランプ 13-50, 13-35
ハザードランプ(非常点滅灯) 6-62
発炎筒 13-10
バックミラー(ルームミラー) 7-3
バックランプ(後退灯) 13-49
バッテリー上がり 13-20
バッテリー液量の点検・補給 M
パドルシフト 7-20
バニティーミラー 8-2
バルブ(電球)
　交換 13-38
　ワット数 13-35
パワーウインドウ 4-41
パンク(タイヤ交換) 13-16
番号灯 13-35, 13-50
半ドア警告表示 6-13, 6-29
ハンドルの上下調整(チルトステアリング) 7-3

ヒ

ヒーテッドドアミラー 7-6
非常点滅灯 6-50, 13-35, 13-45, 13-46
非常点滅灯スイッチ 6-62
非常点滅表示灯 6-50

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

尾灯 13-35，13-48
ヒューズ 13-29
表示
ASC OFF表示 7-54
ASC警告表示 7-55
ASC作動表示 7-54
警告表示 7-27
シフトレバー位置表示 7-26
セレクターレバー位置表示 7-15
ツインクラッチSST制御モード表示 7-32
表示灯 6-40，6-50
クルーズコントロール表示灯 7-57
車幅灯表示灯 6-50
ドライブモードインジケーター 7-45
非常点滅表示灯 6-50
フロントフォグランプ表示灯 6-50
ヘッドライト上向き表示灯 6-50
方向指示表示灯 6-50
表示灯・警告灯・インフォメーション画面表示一覧 6-40
日よけ（サンバイザー） 8-2

フ

フェード現象 2-13
フォグランプ
フロントフォグランプ 13-46
フロントフォグランプスイッチ 6-63
フロントフォグランプ表示灯 6-50
フューエルリッド（燃料補給口） 4-49
プリテンショナー機構／フォースリミッター機構付シートベルト 5-12
プリテンショナー警告灯 5-12
ブレーキ
アンチロックブレーキシステム (ABS) 7-49
ブレーキ液量の点検・補給 M
ブレーキ警告灯 6-51，6-52
ブレーキパッドの摩耗 13-29
ブレーキ警告表示 6-52
ブレーキランプ（制動灯） 13-48
フロアコンソールボックス 8-10
フロントウォッシャースイッチ 6-67
フロントコンソールボックス 8-9
フロントシート 5-3
フロントフォグランプ 13-35，13-46
フロントフォグランプスイッチ 6-63
フロントフォグランプ表示灯 6-50
フロントワイパースイッチ 6-64

ヘ

ベーパロック 2-13
ヘッドライト 6-54，13-35，13-39，13-40，13-41
ヘッドライトオートレベリング 6-59
ヘッドライト上向き表示灯 6-50
ヘッドライトオートレベリング 6-59
ヘッドライトレベリング警告表示 6-59
ヘッドライトレベリングダイヤル 6-58
ヘッドレスト 5-5
ベンディングライト（アダプティブフロントライティングシステム (AFS)） 13-35，13-42

ホ

ホイール
タイヤ,ホイールのサイズ 14-9
方向指示灯 13-35，13-45，13-46，13-48
方向指示表示灯 6-50
方向指示レバー 6-60
ホーンスイッチ 6-69

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ポジションランプ(車幅灯) 13-43, 13-44
ボトルホルダー 8-13
ボンネット(エンジンフード) 4-47

マ

マップランプ 8-6, 13-37, 13-51
マルチインフォメーション メータースイッチ 6-7
マルチインフォメーションディスプレイ 6-4

ミ

ミラー
- ドアミラー 7-4
- ドアミラーの格納・復帰 7-5
- ドアミラー調整スイッチ 7-4
- バニティーミラー 8-2
- ヒーテッドドアミラー 7-6
- ルームミラー 7-3

メ

メーター
- オドメーター(積算距離計) 6-10
- スピードメーター 6-3
- タコメーター 6-3
- トリップメーター(区間距離計) 6-10

メーター照度調整ボタン 6-3
メンテナンスデータ 14-2

ユ

油圧警告表示 6-54

ヨ

4WD車取り扱い上の注意 7-47
4WD車の上手な運転 7-46

ラ

ライセンスランプ(番号灯) 13-50
ライトスイッチ 6-54
ランプ
- カーゴルームランプ 8-7
- バルブ(電球)の交換 13-38
- フロントフォグランプ 6-63
- マップランプ 8-6
- ルームランプ 8-5, 8-6
- ワット数 13-35

リ

リヤウインドウデフォッガー(曇り取り)スイッチ 6-69
リヤコンビネーションランプ 13-48
リヤシート 5-5
リヤハッチ 4-30
リヤビューカメラ 7-62

ル

ルーフアンテナ 10-29
ルームミラー 7-3
ルームランプ
- フロント 13-37, 13-51
- リヤ 13-37, 13-52

ルームランプ(室内灯) 8-5, 8-6

レ

冷却水量の点検・補給 M

ワ

ワイパー 6-63
ワイパーウォッシャースイッチ 6-67

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ワット数（バルブ） 13-35

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

純正部品のおすすめ

- お客様のお車に最適な純正部品をご使用ください。
- 純正部品は，弊社の新車に使用されているものと同じ部品で，厳しい検査に合格し，その品質が保証されています。
  また，三菱自動車販売会社を通じてお求めになれます。
- 新車時の性能と快適な乗り心地を長く維持していただくために，点検や交換の際は，三菱自動車販売会社にご相談ください。
- 三菱自動車指定の純正部品や油脂類以外のものを使用すると，故障などの原因になることがあります。
- 純正部品には右のマークが貼ってあります。

MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

事故が起きたときは！

あわてずにつぎの処置をしてください。

● 継続事故防止

続発事故を防ぐため，車を路肩などの安全な場所に移動させ，エンジンを止めます。

● 負傷者の救護

- 医師，救急車などが到着するまでの間，可能な応急手当を行います。
  この場合，とくに頭部に傷などがあるときは，そのままの姿勢で動かさないようにしますが，続発事故のおそれがあるときは安全な場所に移動させます。
- 外傷がなくても医師の診断を受けてください。
  後になってから後遺症が出るおそれがあります。

● 警察への届け出

事故が発生した場所，状況および負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し指示を受けます。

● 相手方の確認とメモ

相手方の氏名，住所，電話番号を確認し，事故の状況をメモします。

● ご購入された販売会社と保険会社への連絡

万一にそなえて

安心のため，自賠責保険（強制保険）のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。
詳しくは三菱自動車販売会社へご相談ください。